



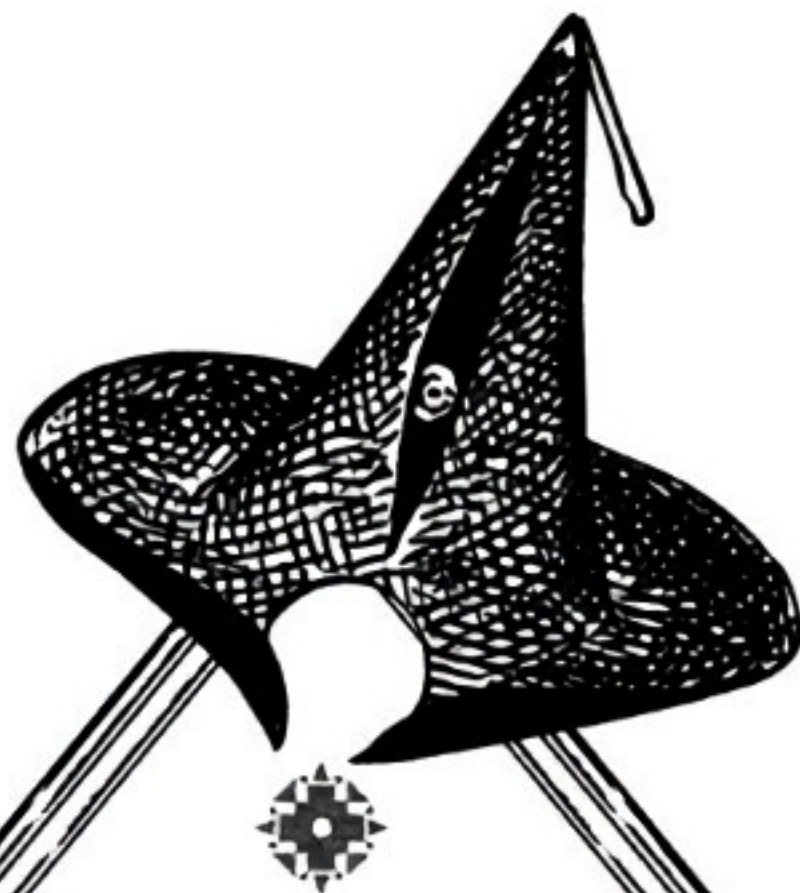
とんがり帽子の
アトリエ

ATELIER OF WITCH HAT

自浜 鴎

KAMOME SHIRAHAMA

5



とんがり帽子の
アトリエ

ATELIER OF WITCH HAT

白浜 鷗

KAMOME SHIRAHAMA

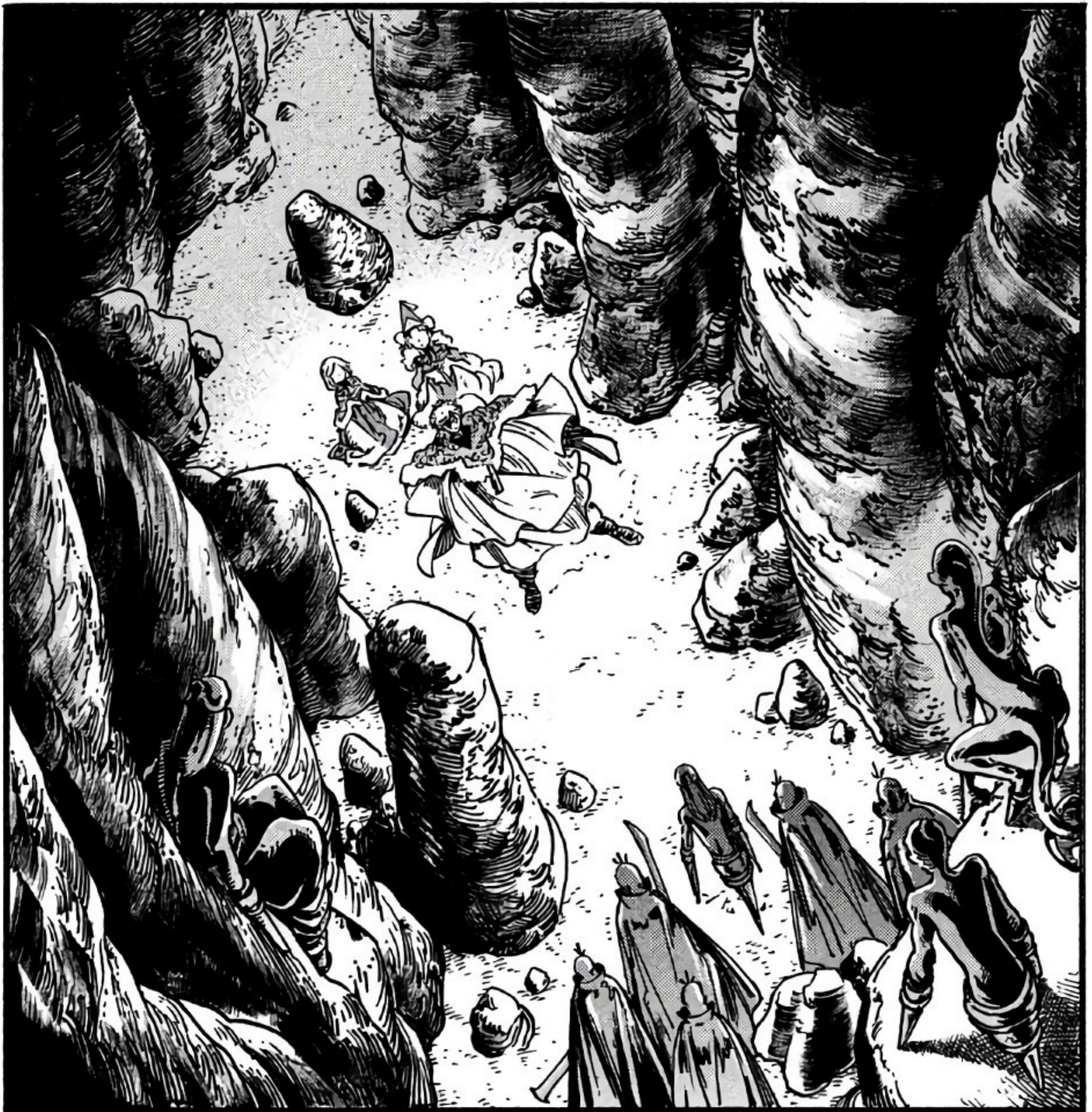
5



ATELIER OF WITCH HAT

◆
KAMOME
SHIRAHAMA







魔法使いは
結託の日以来
人の争いや戦に
加担することも
禁じられている

何故だか
わかるかい？

僕らが
戦わない
理由はね

戦いに
ならないから
だよ





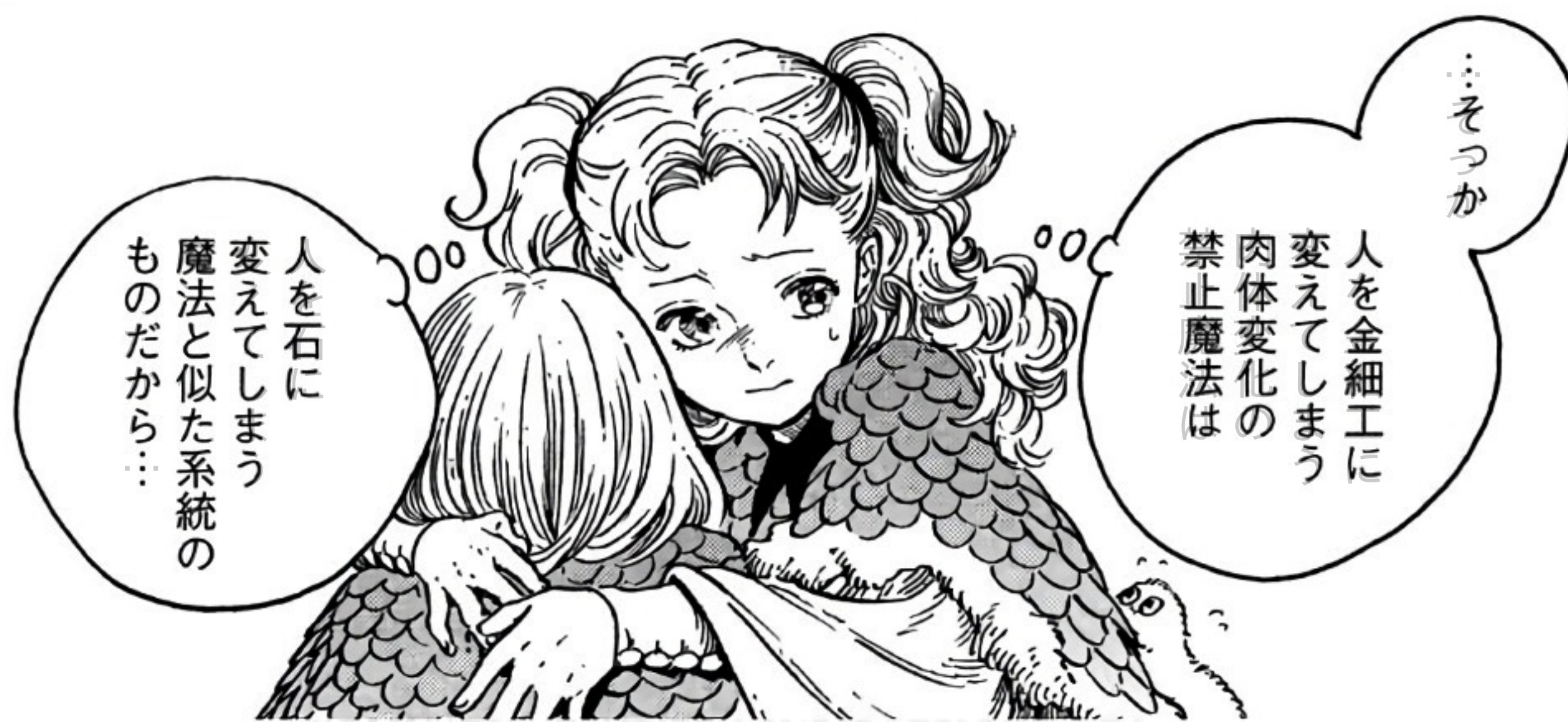
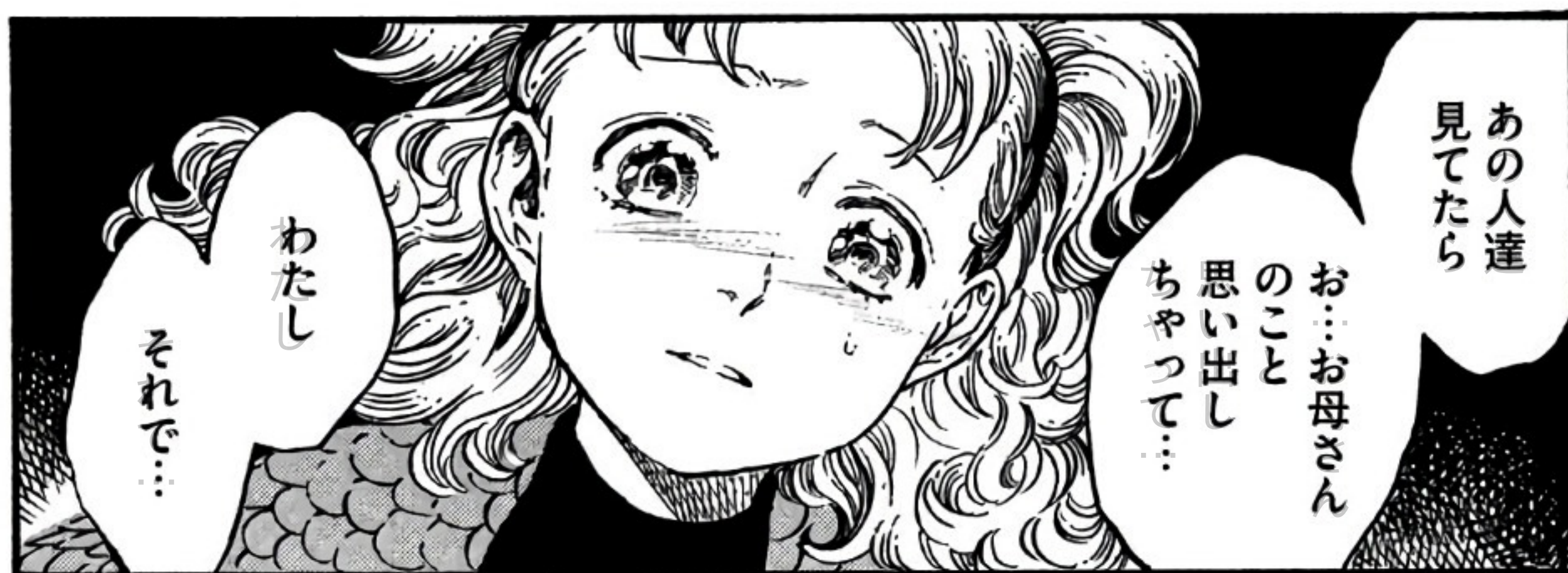
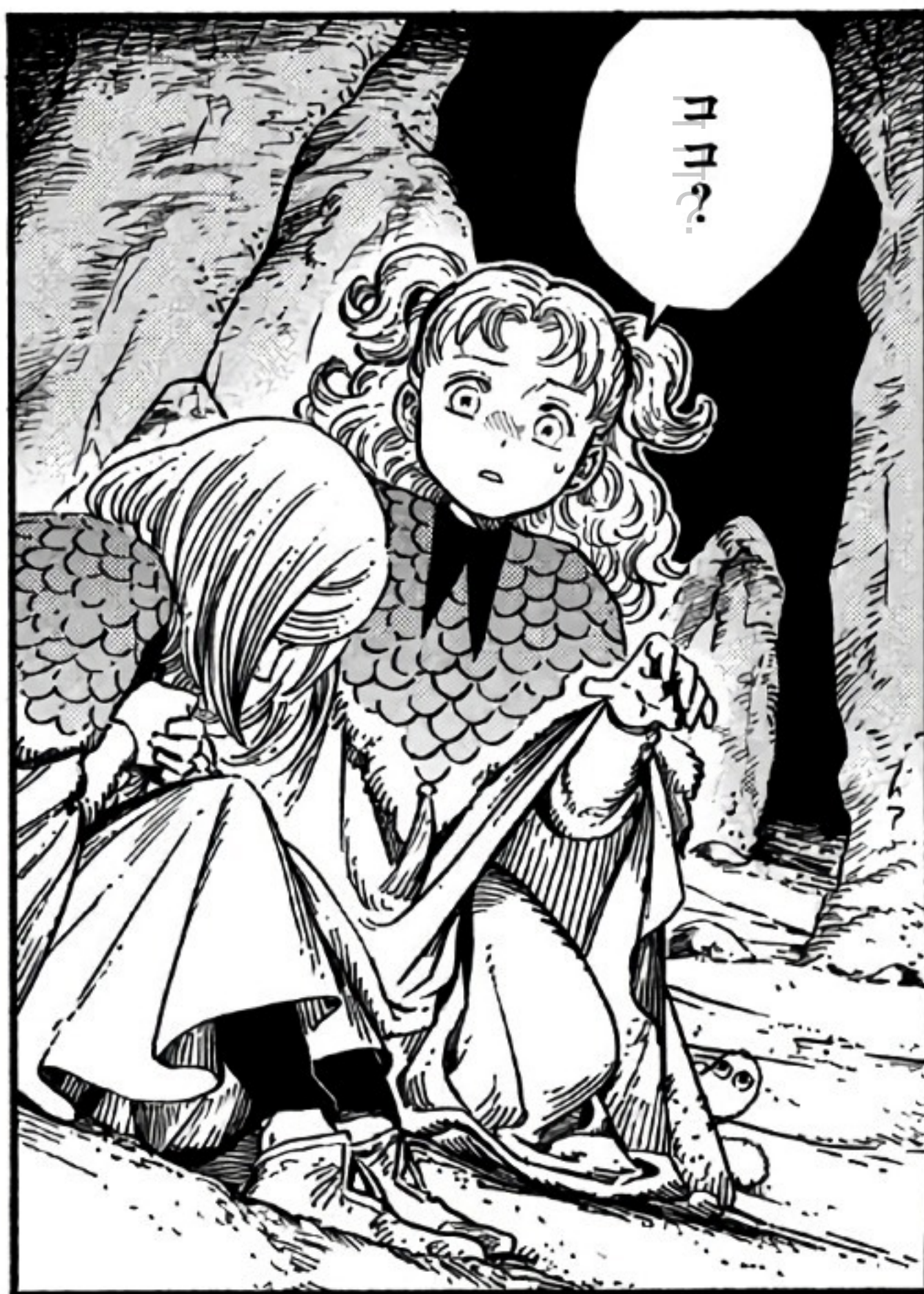
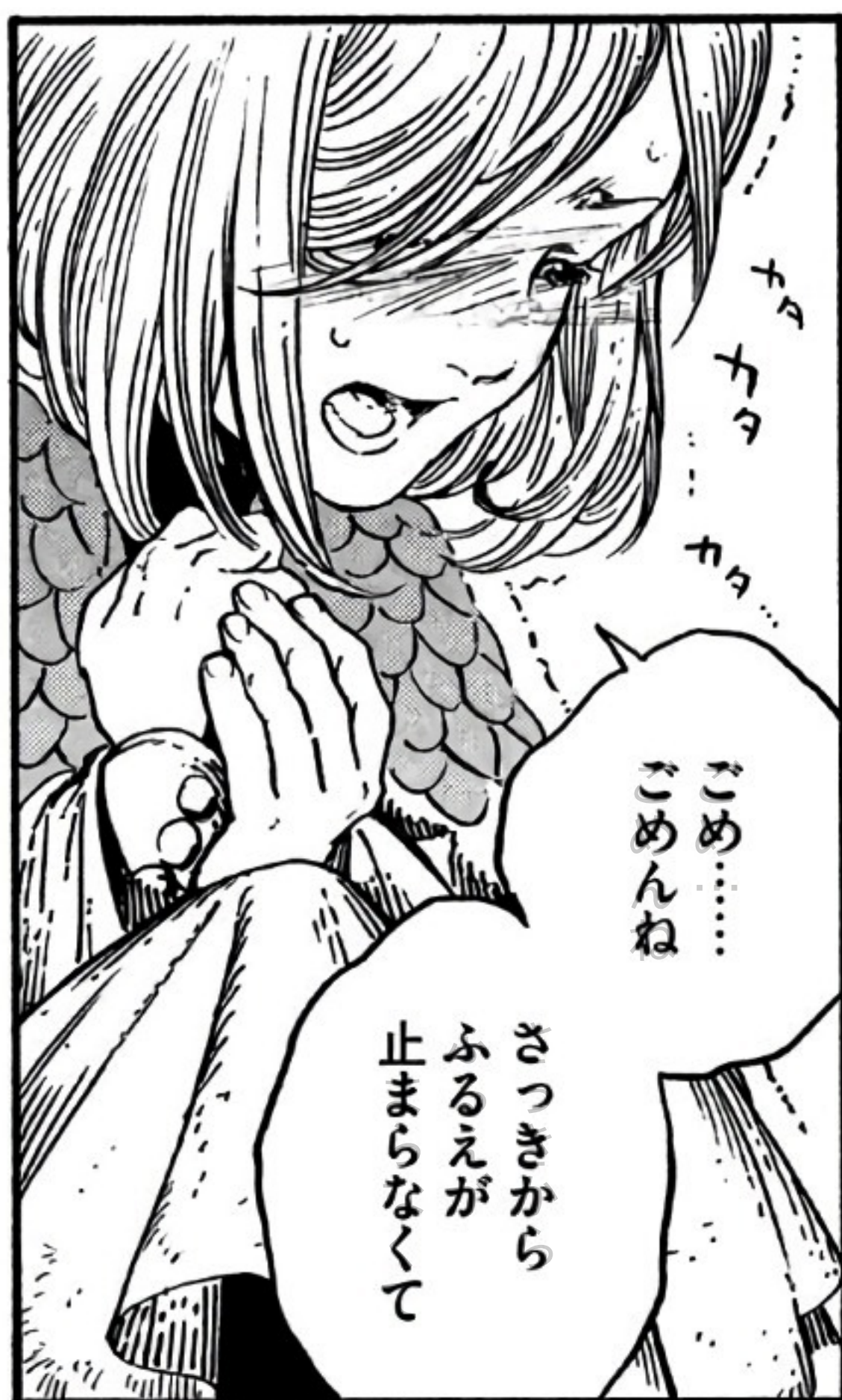
ユコ!
テティア達も
何か...

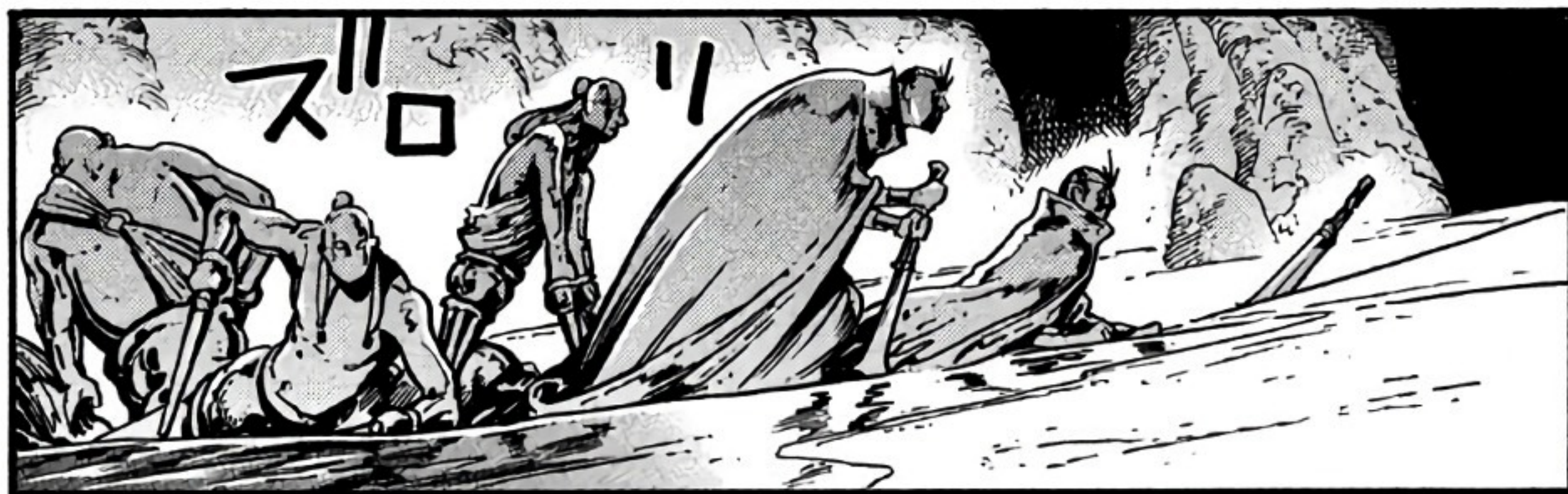
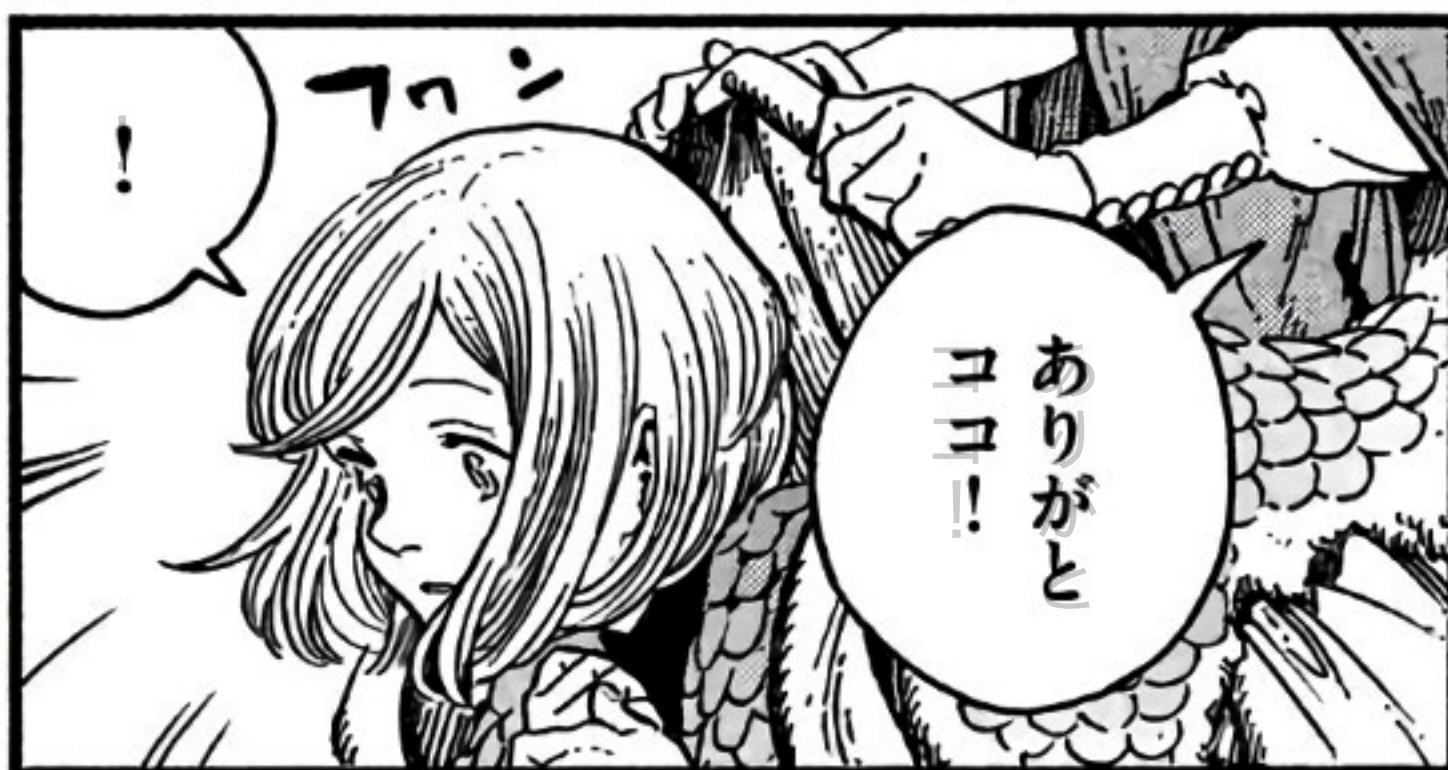
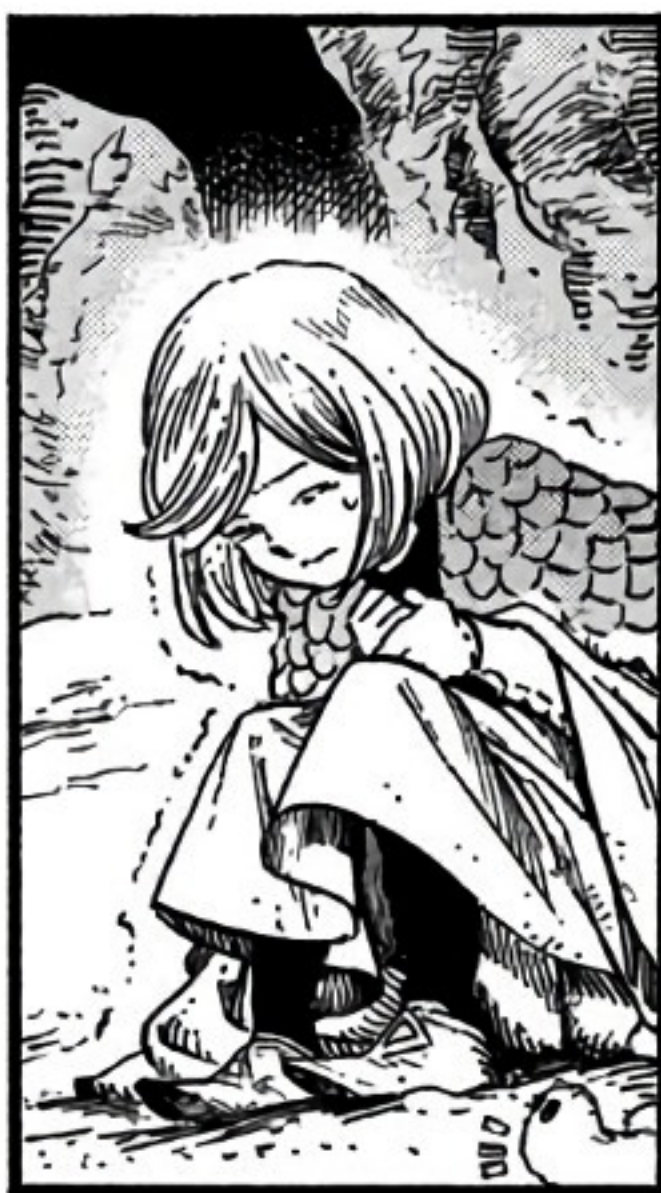
あんな状態で
一人で戦うの
無茶だよ

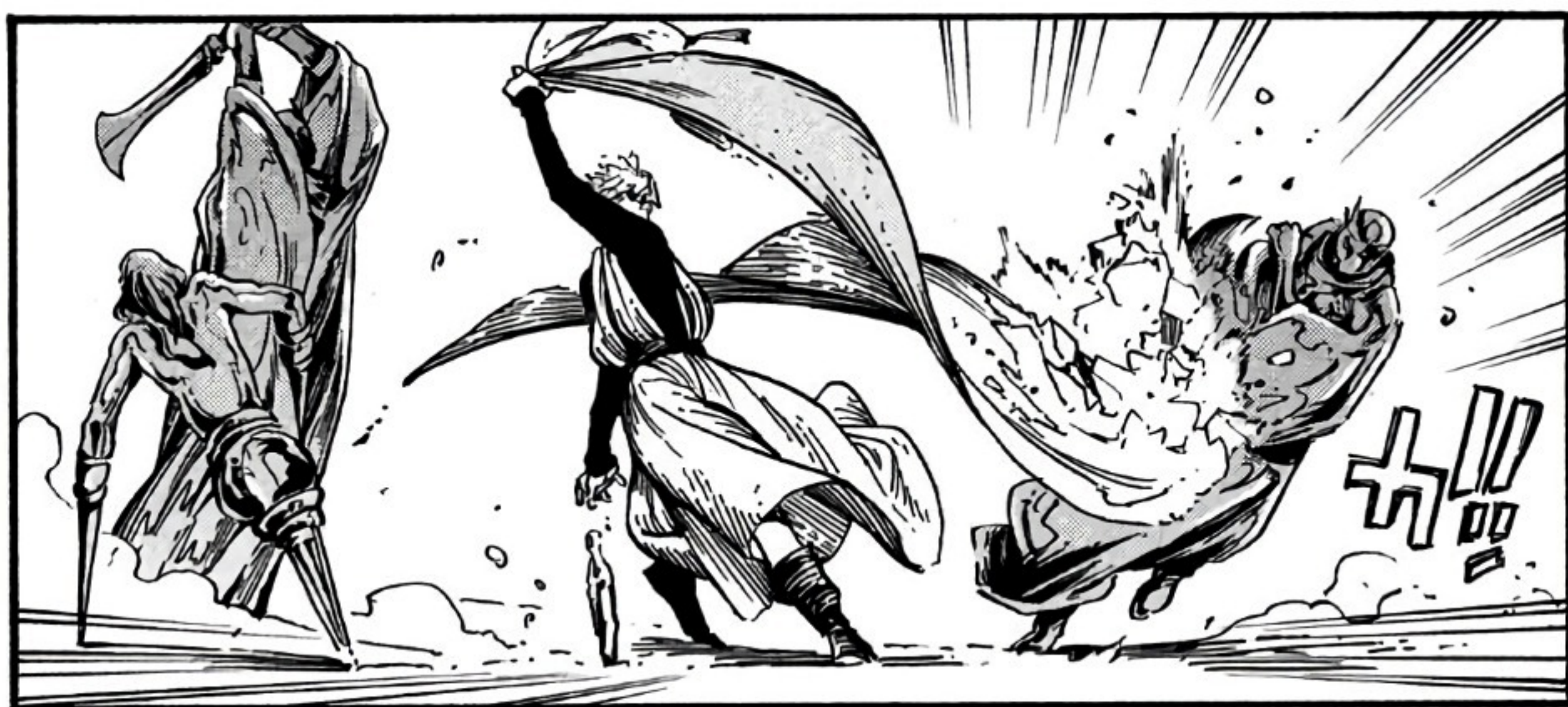
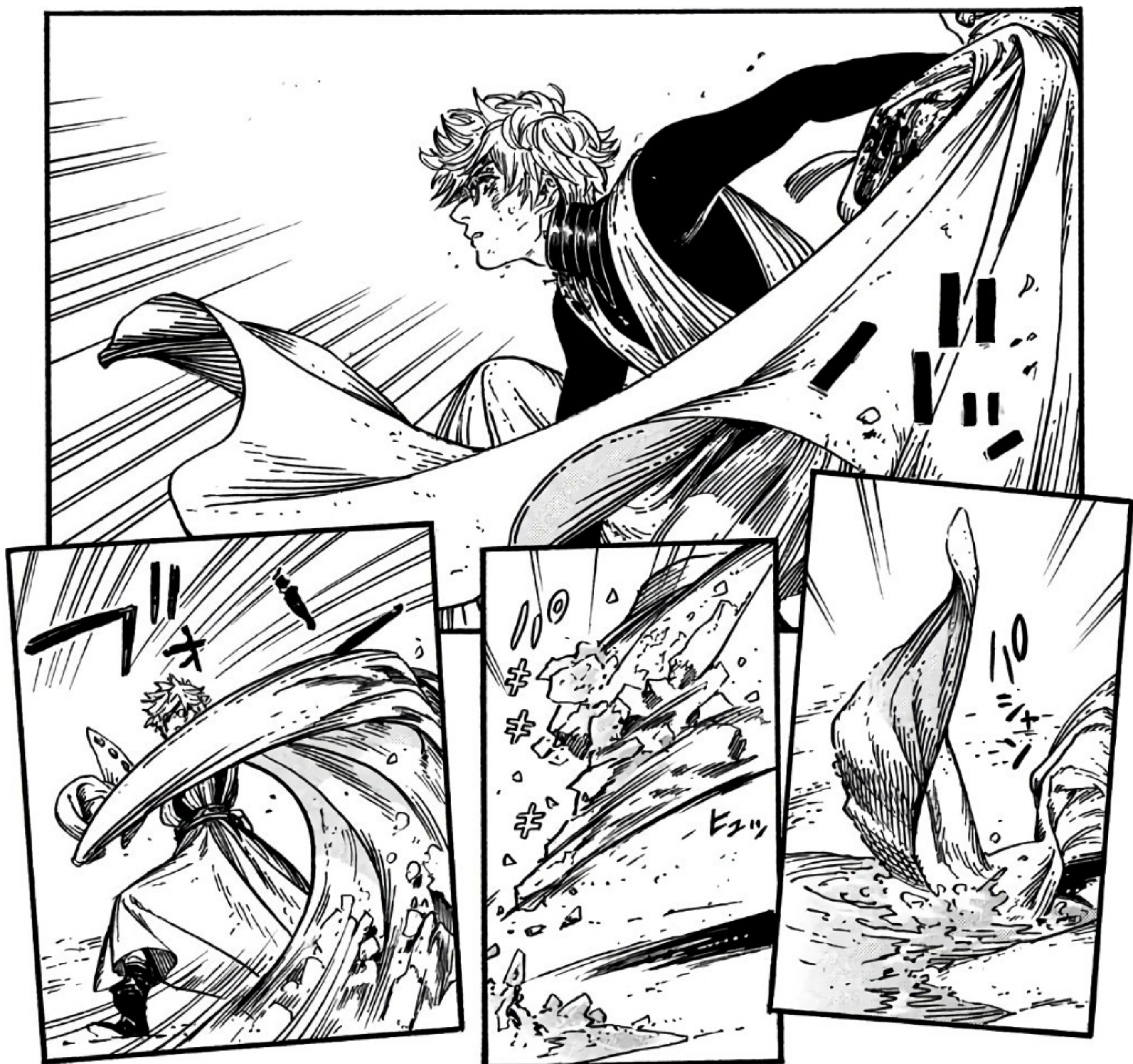
利き手で
ペンを握る
力が入らないから
腕全体を
杖にしてるんだ

はあ、
はあ、

あんな
大きな魔法を
一瞬で...
キーフリー
先生
すごい...!







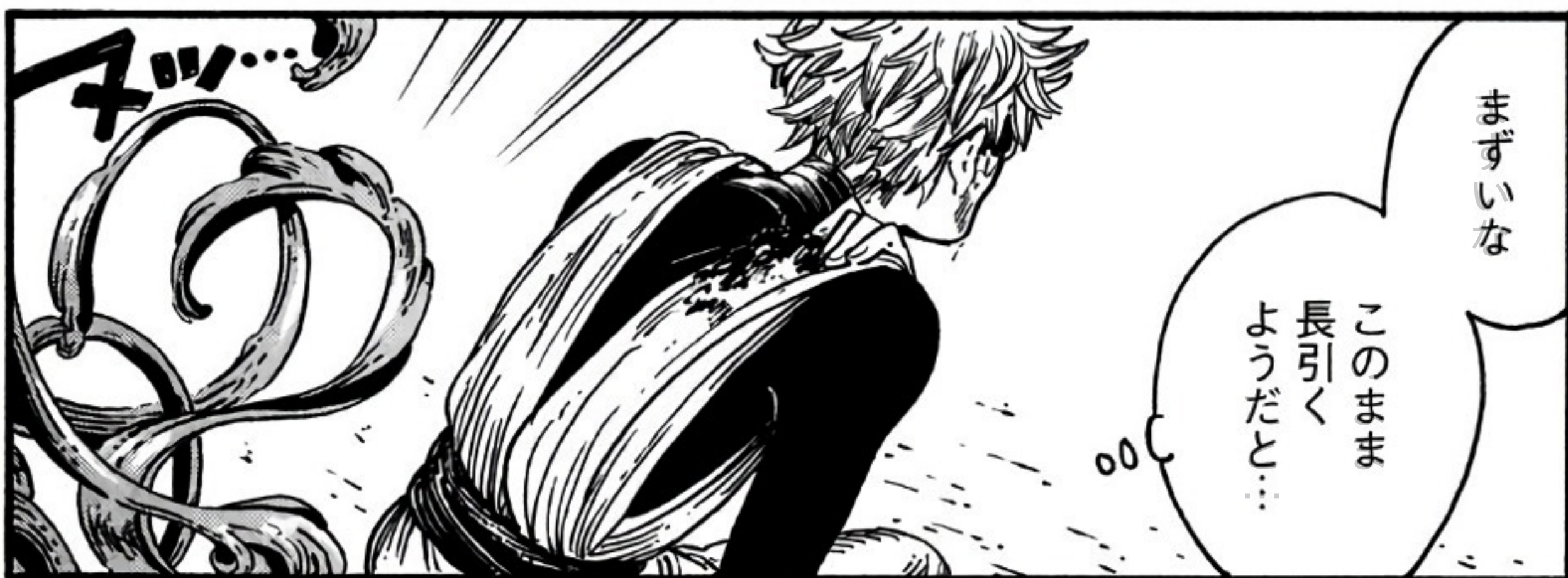
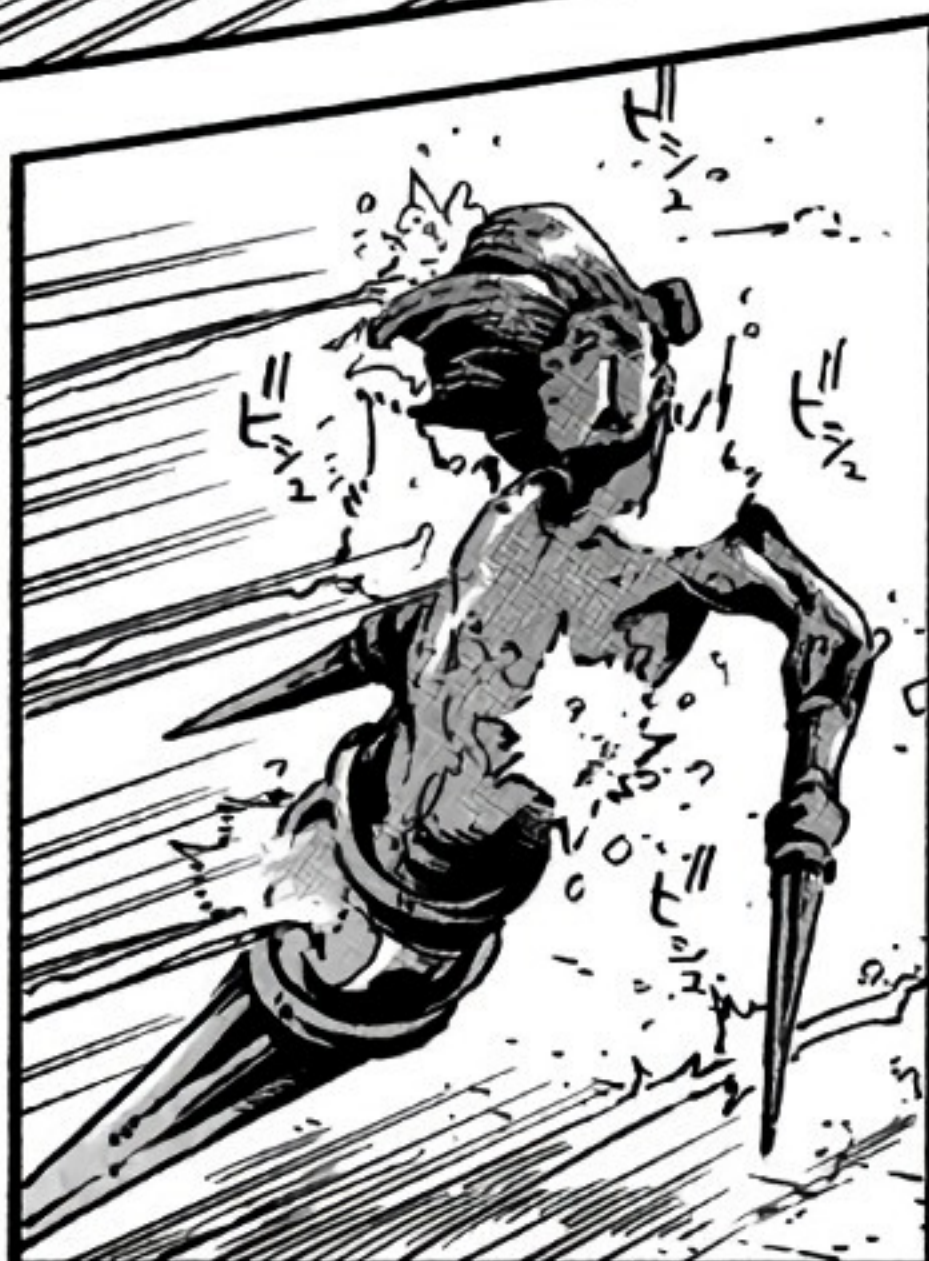
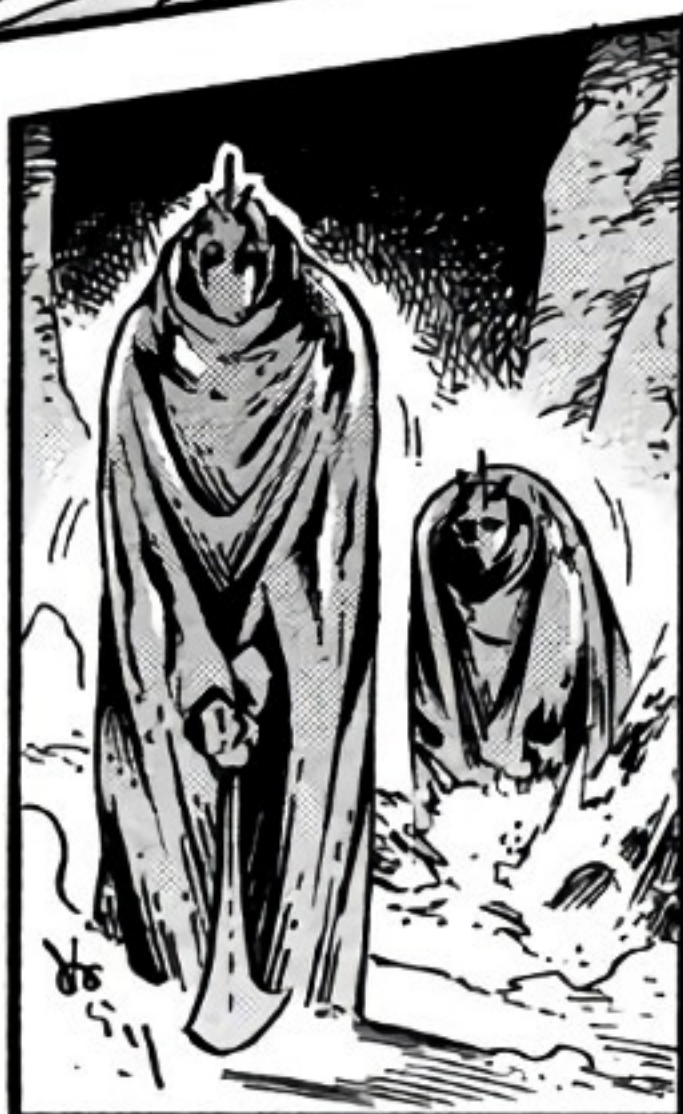


魔法使いへの
恨みをはらすのは
諦めてくれない
かな……

君達を
傷つきたいわけ
じゃないんだ！



次から
次へと……



まずいな

このまま
長引く
ようだと……



あの日から続く
永却の憎しみを
忘れるなど
有り得ない



金の身体が
朽ちぬように

金の怒りも
朽ちぬもの



諦める
だと？



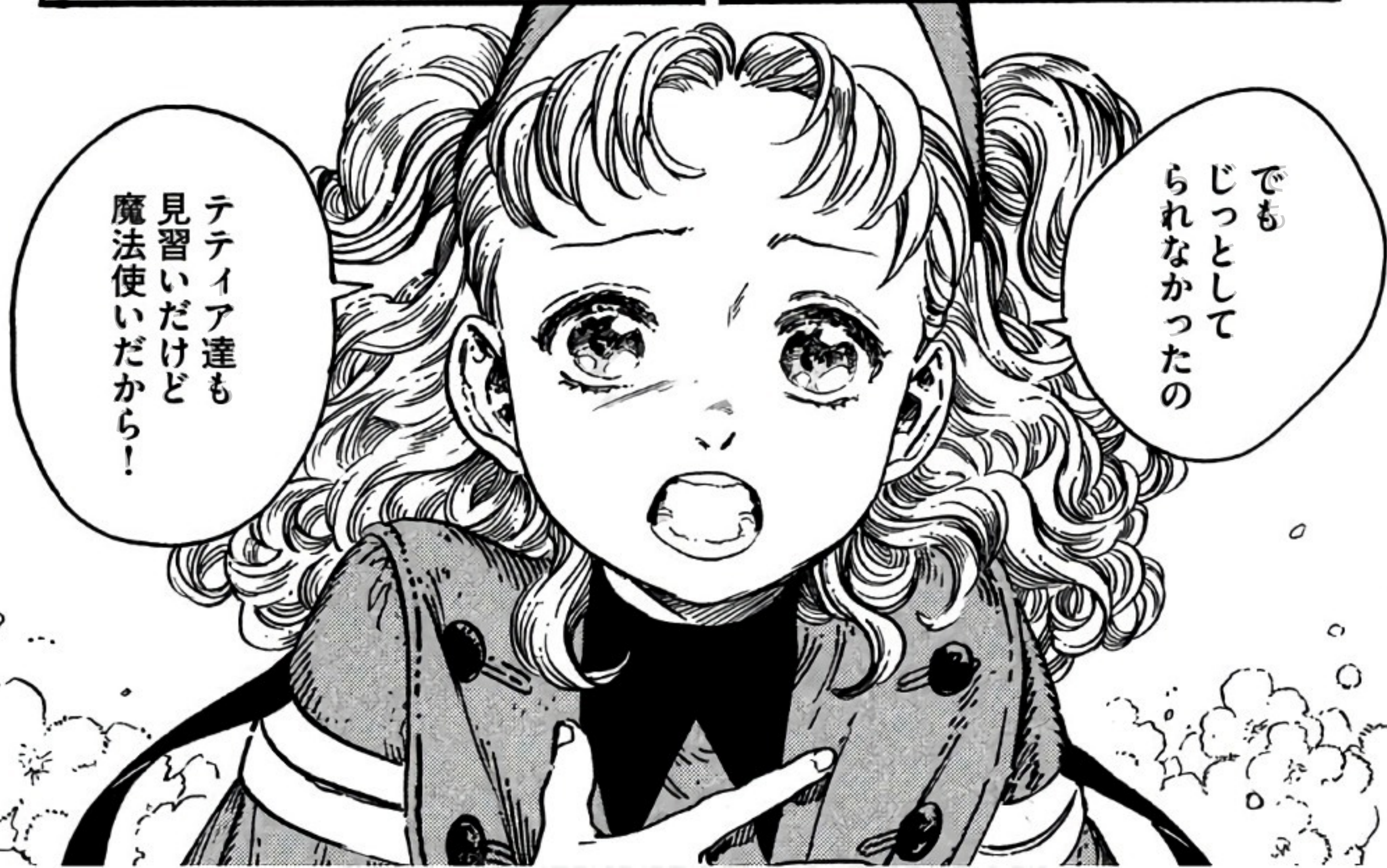
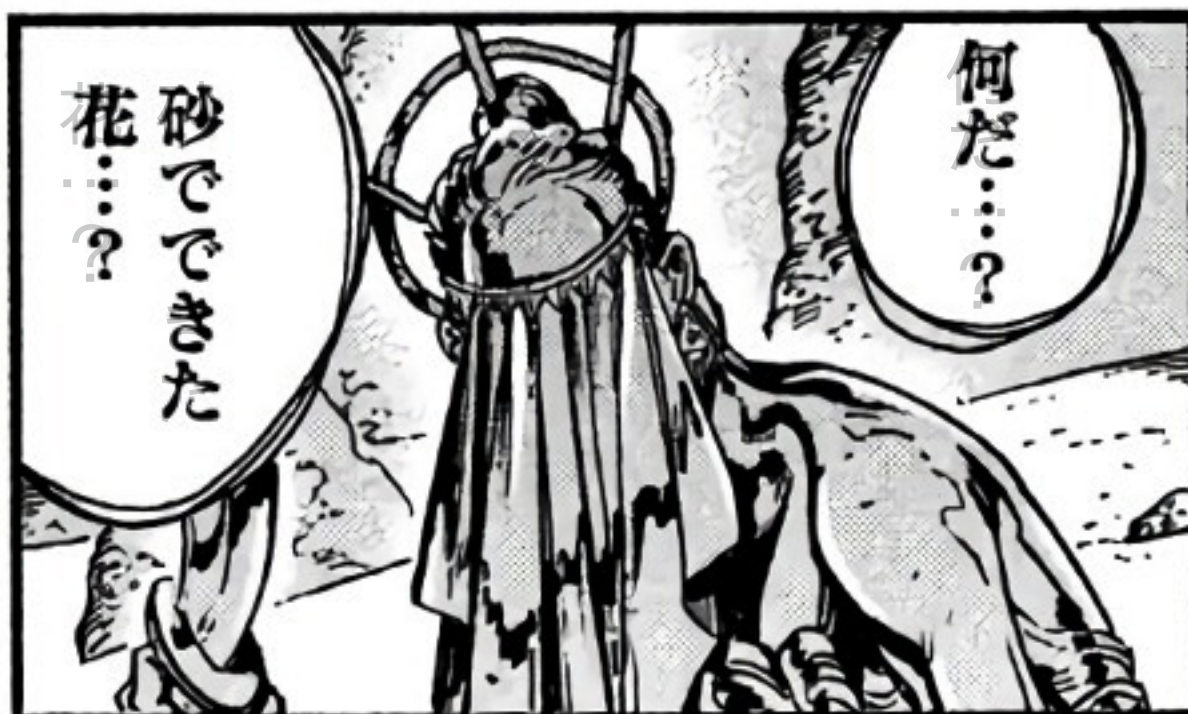
！

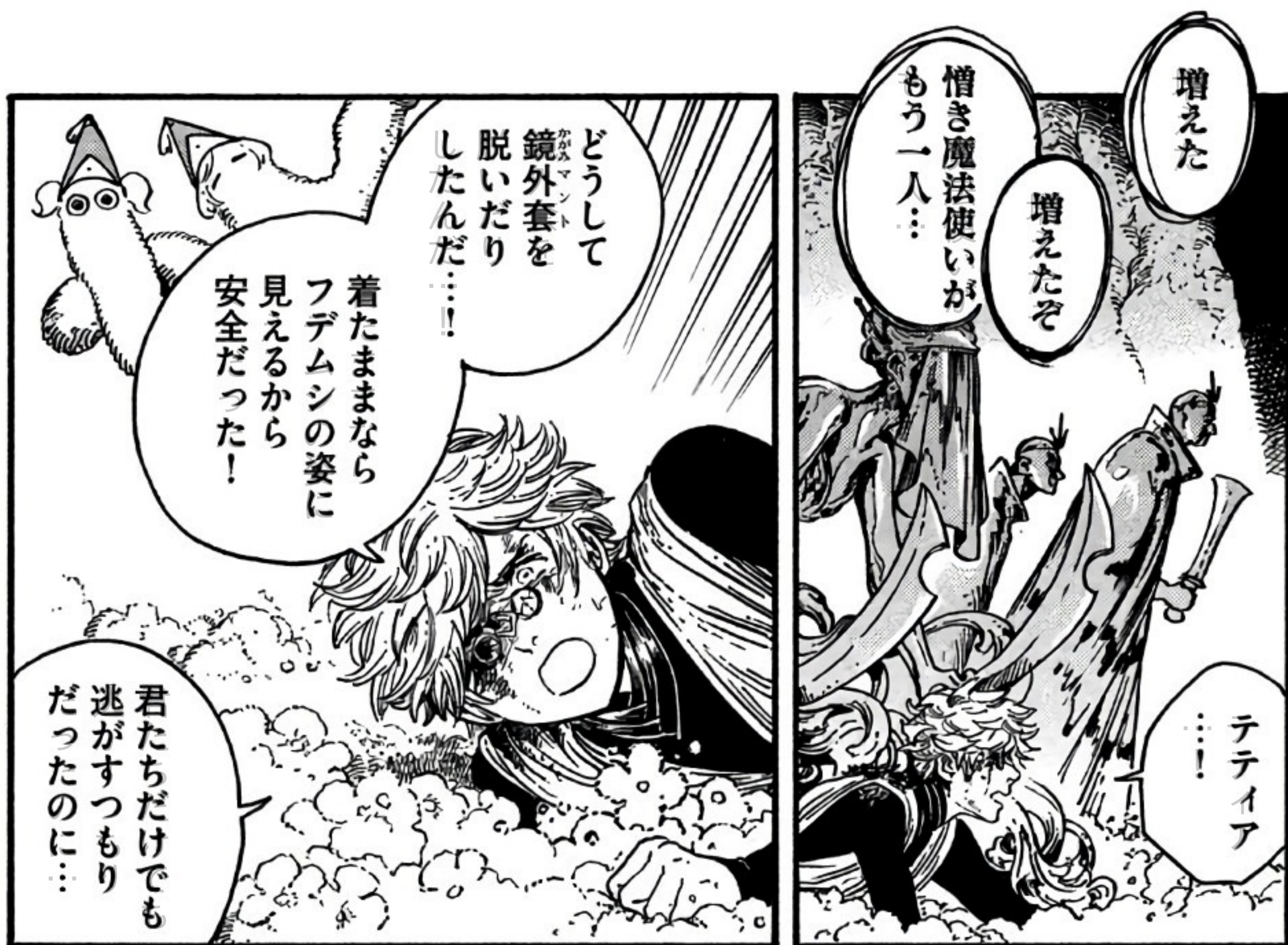


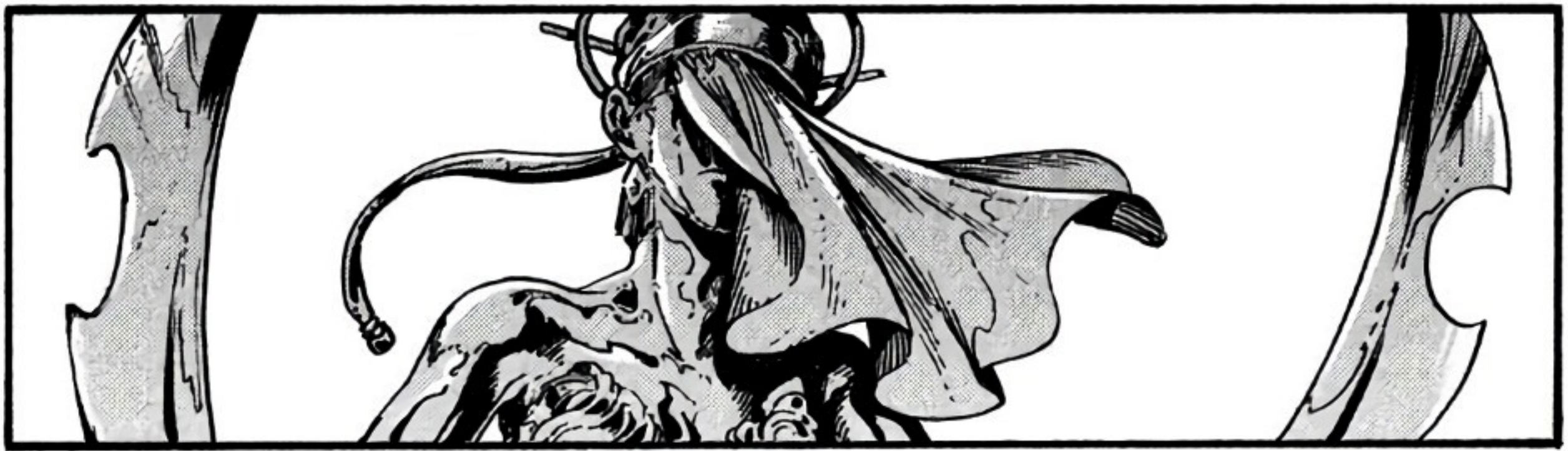
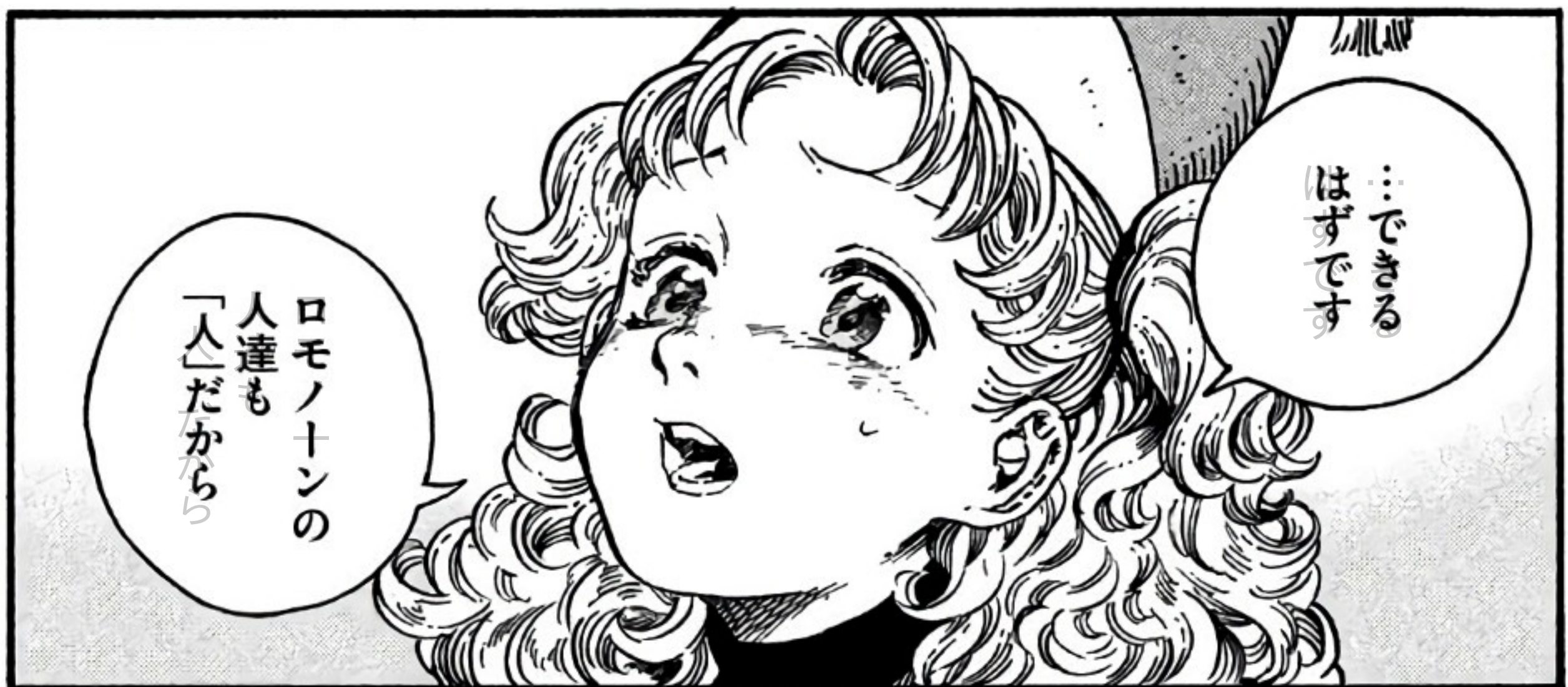
この苦しみは
苦しむ者にしか
理解るまい

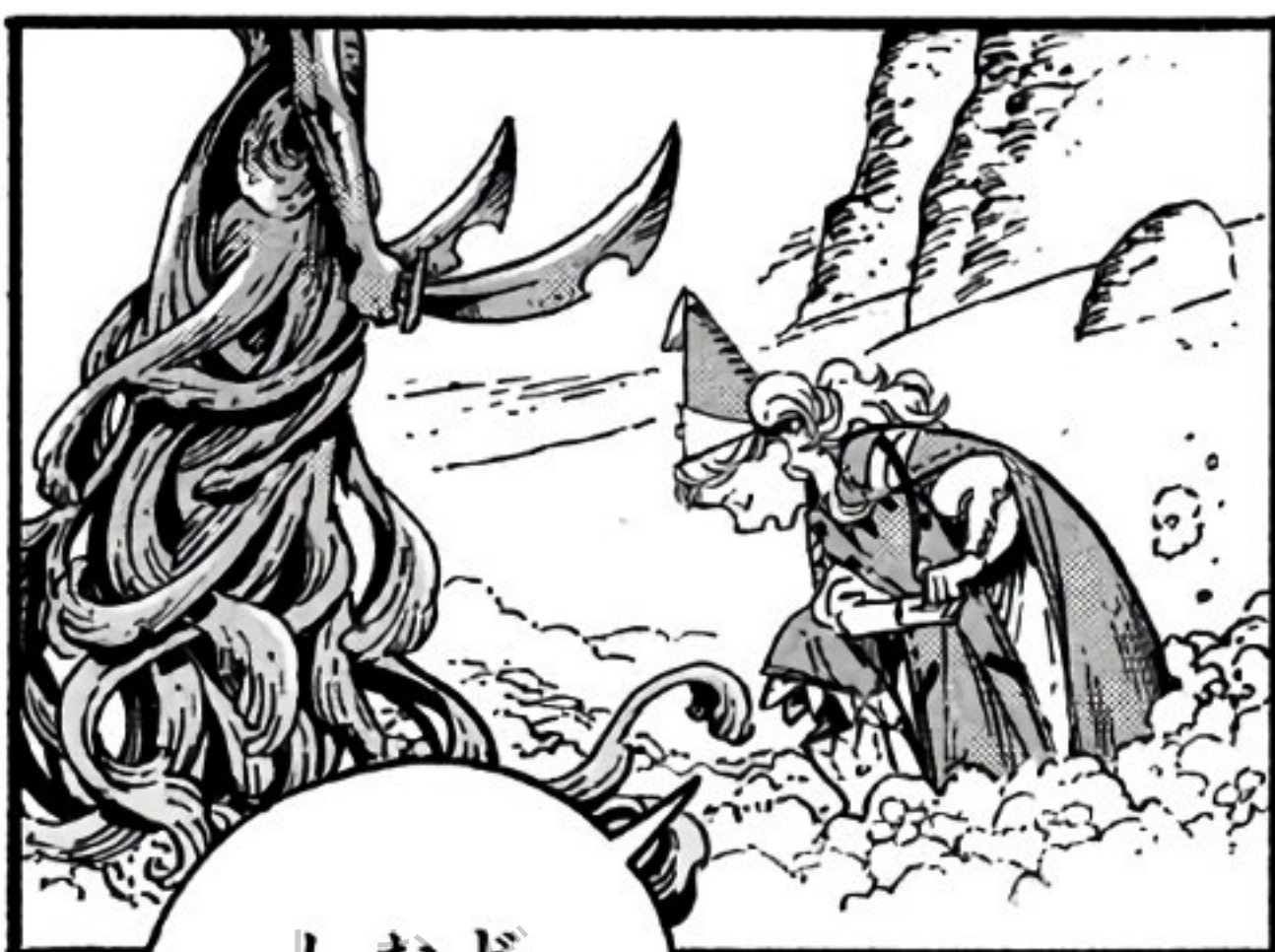
ならば

貴様も苦しめ
魔法使い！











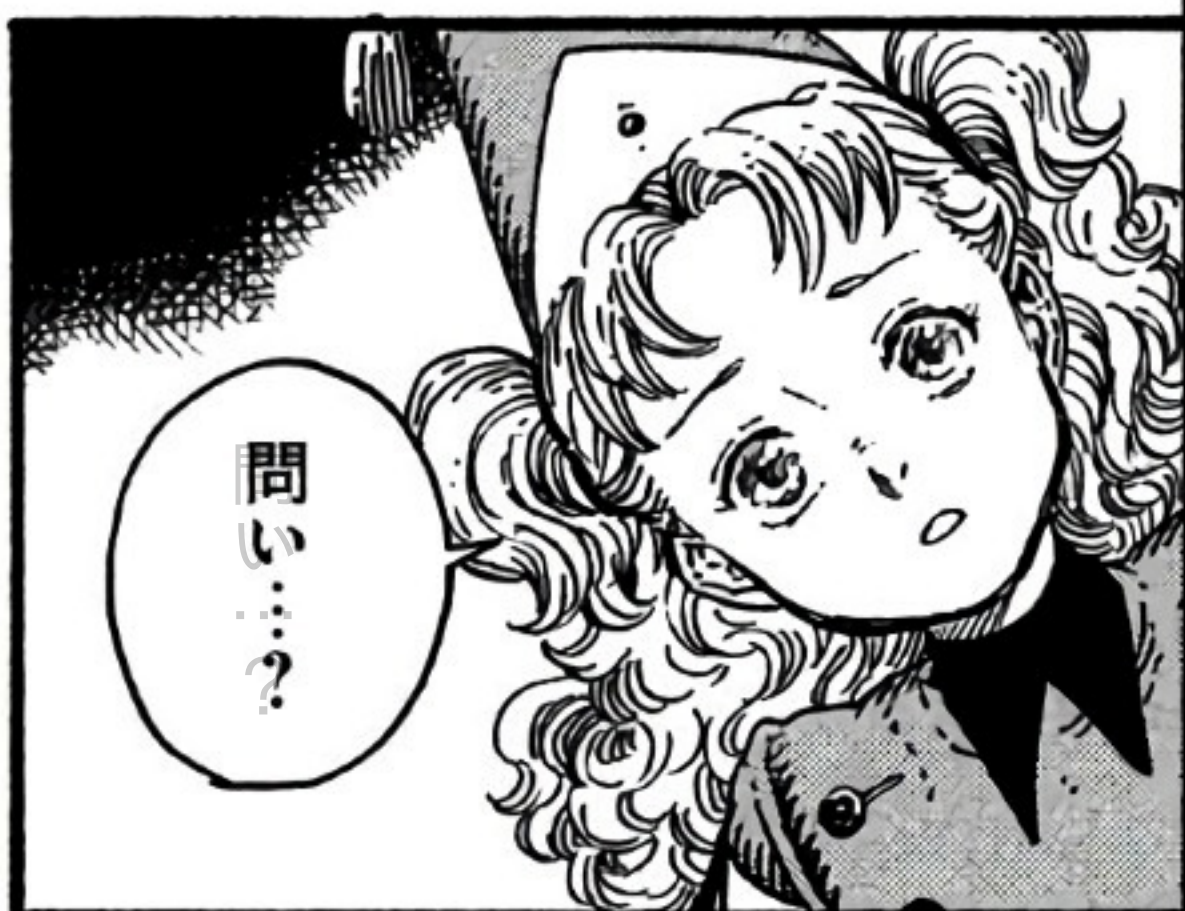


魔法使いの
幼子よ

真に世が
変わったと
いうのであれば



我らの問いに
答えてみせよ

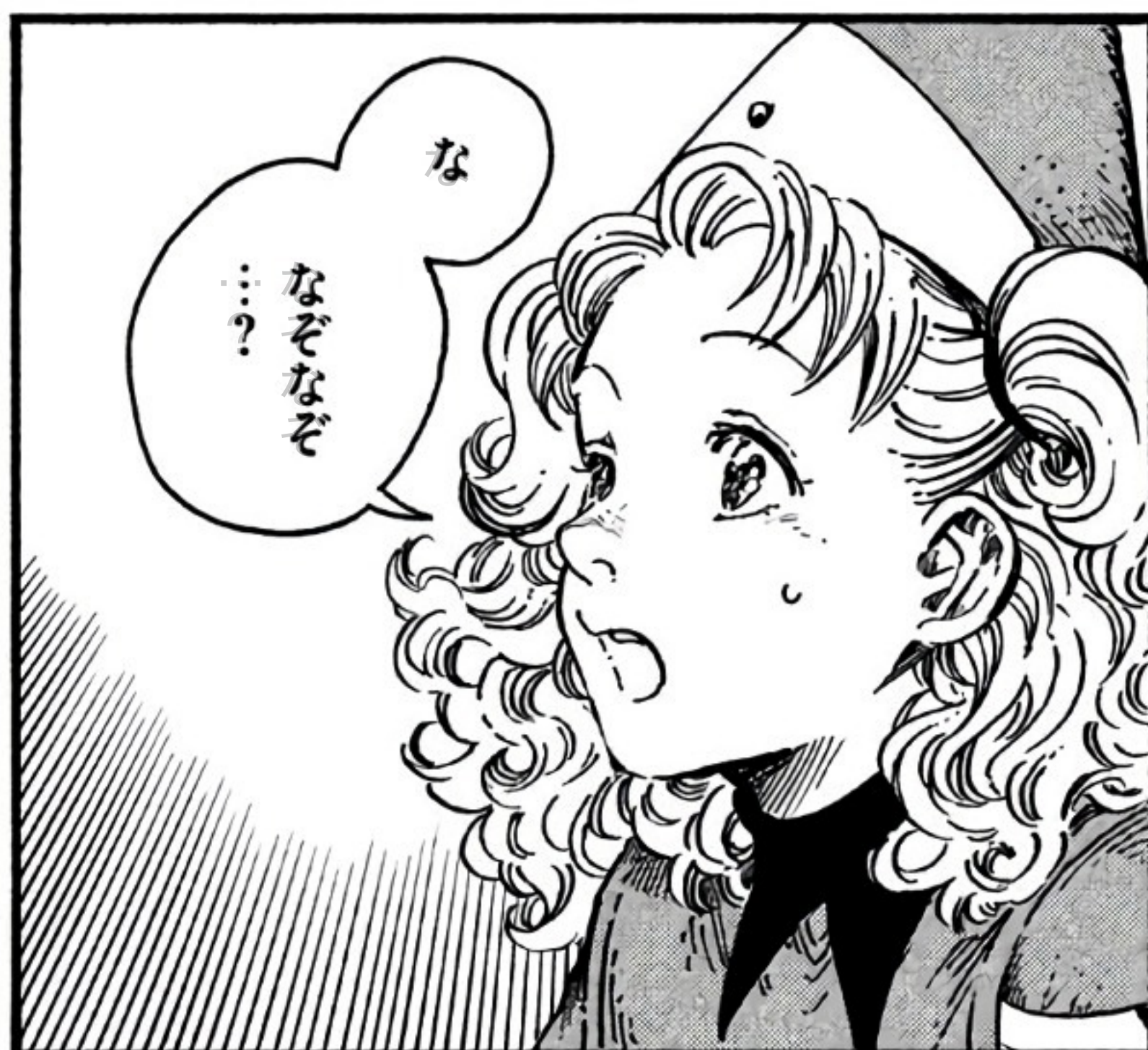


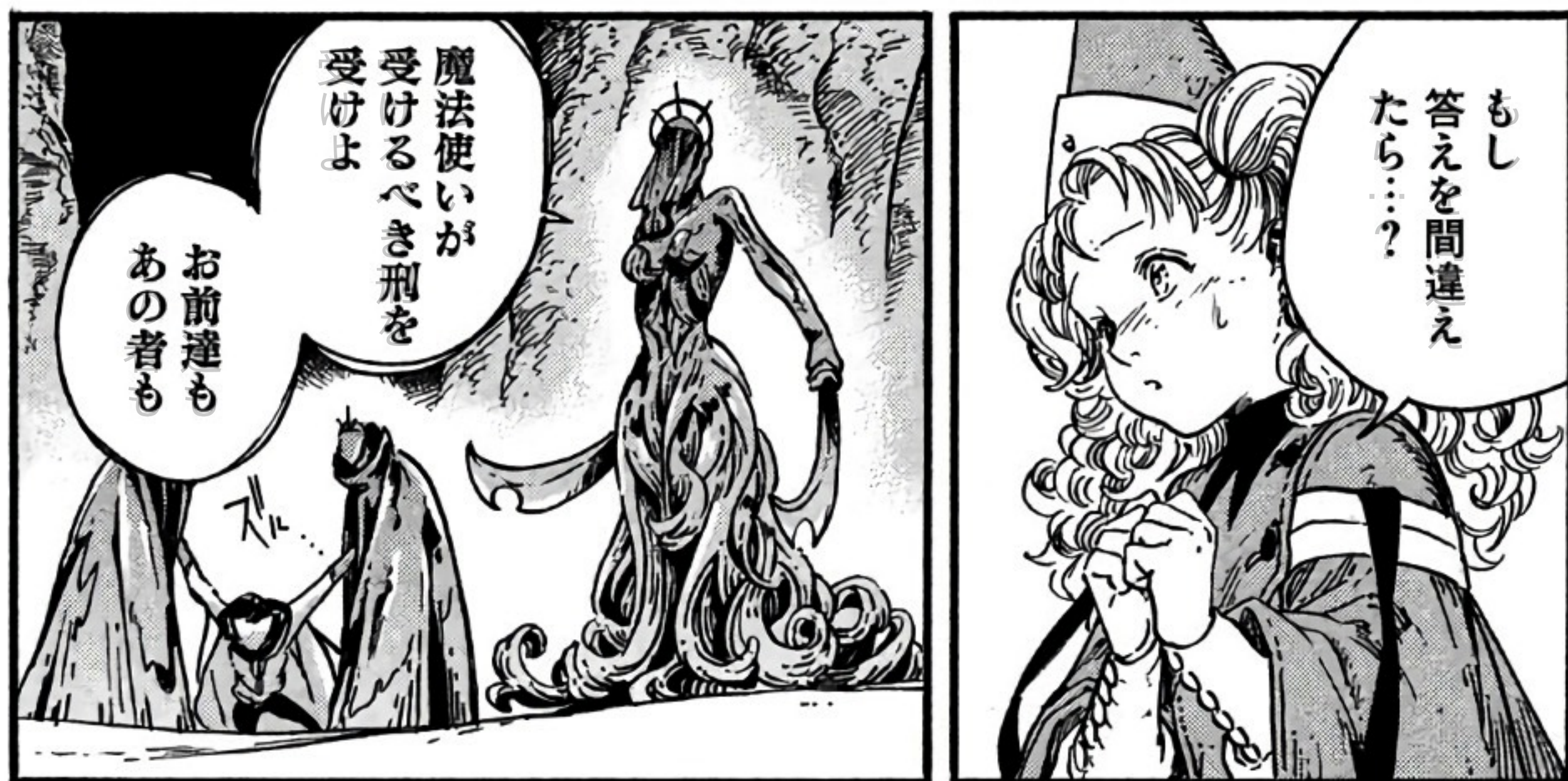
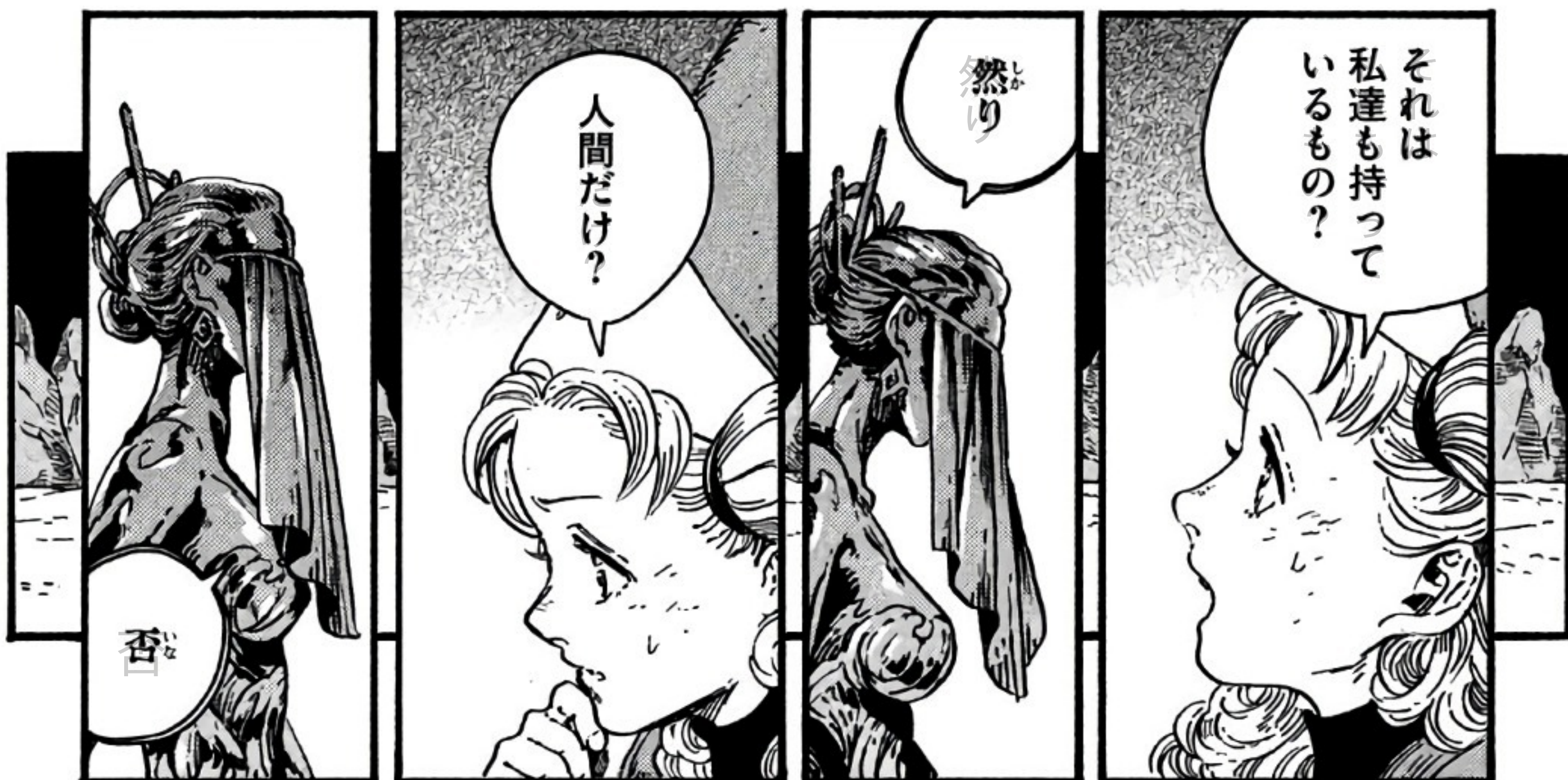
問い……？

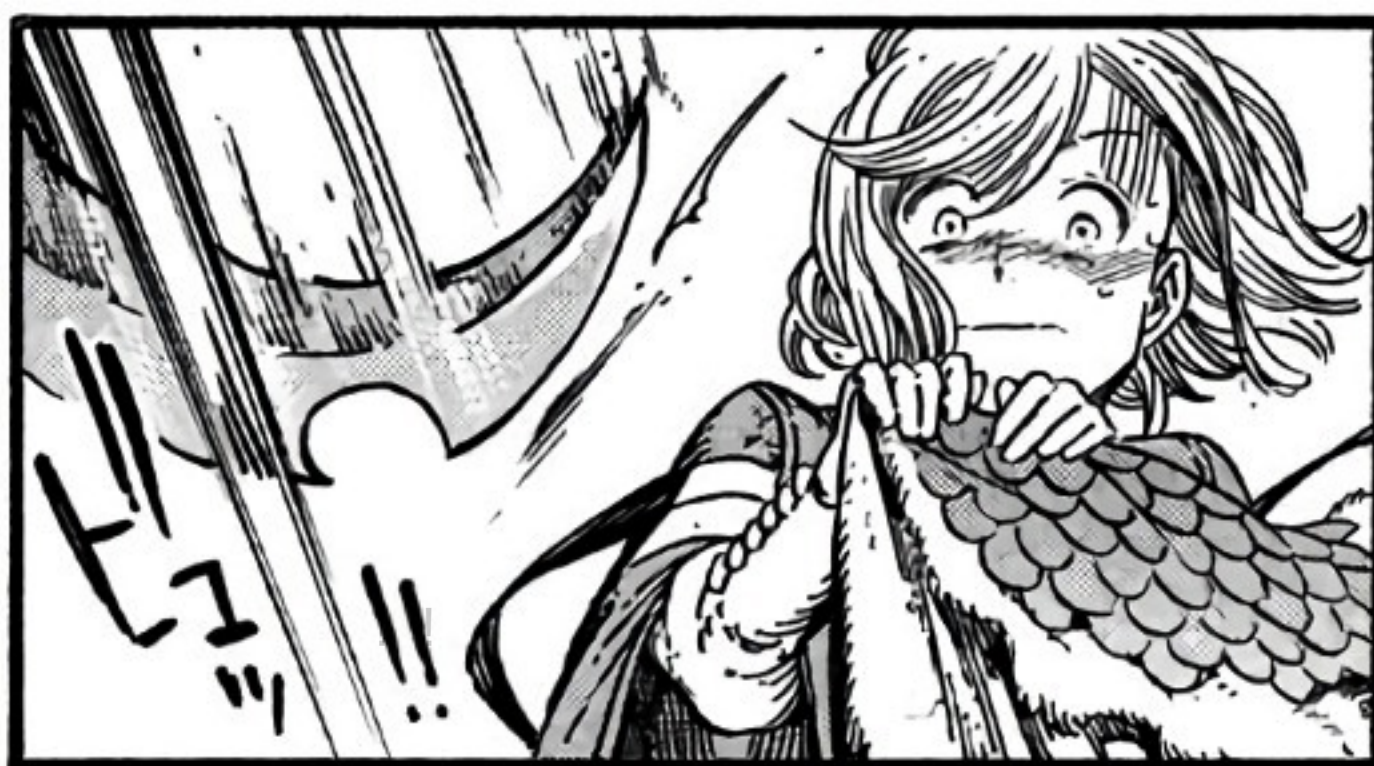


我らは
幾千年もの間
忘れられた
地の底で

この怒りを
抱えてきた
のだ









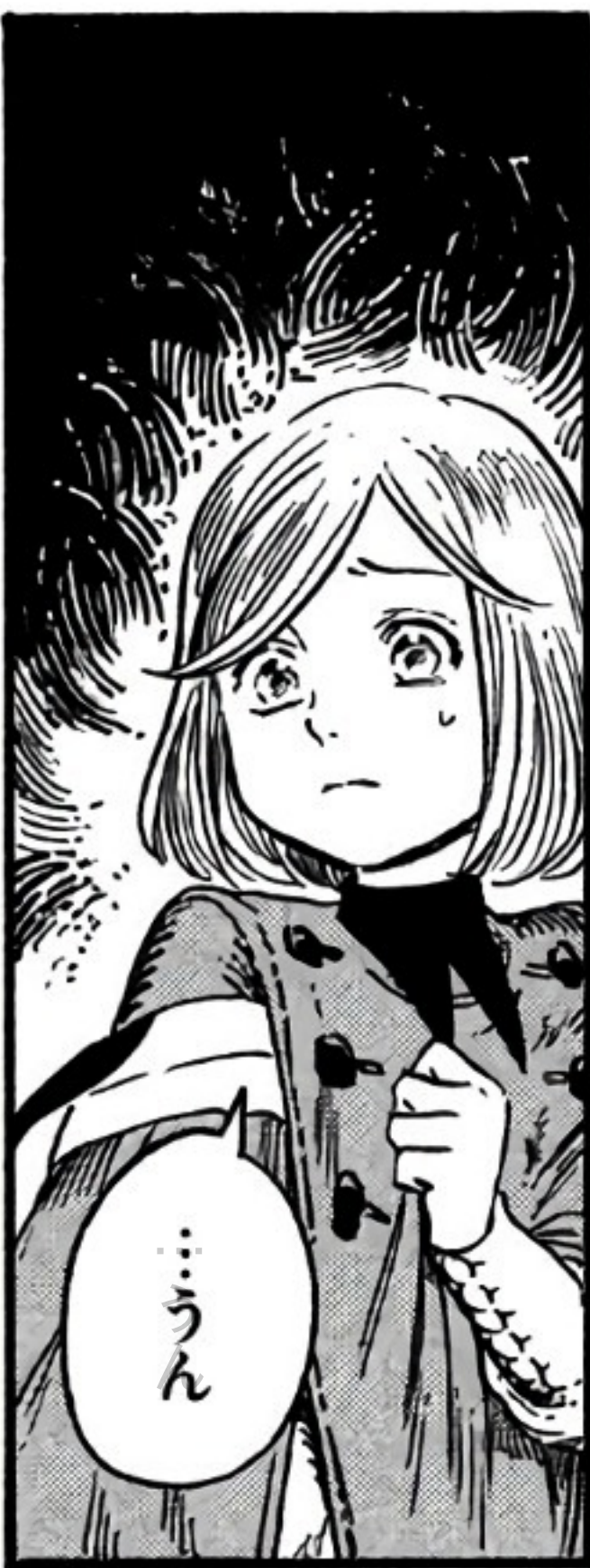
ココ!



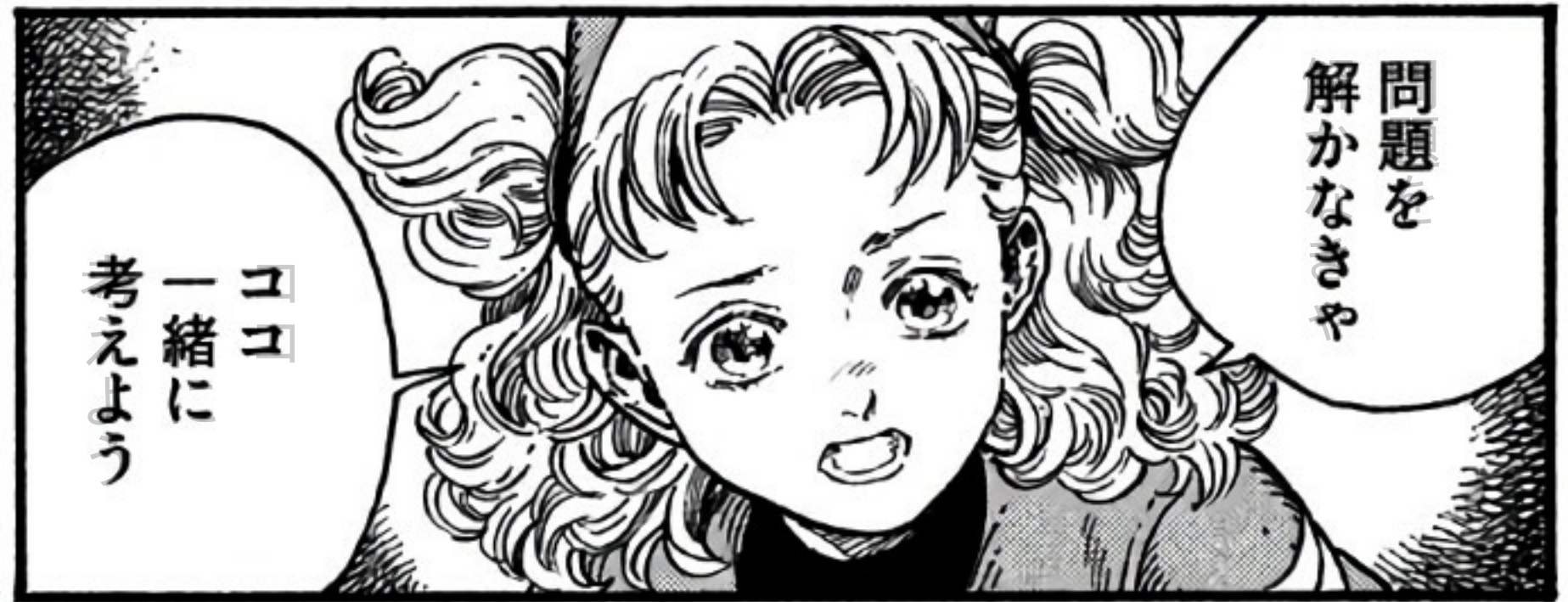
意識が
ないみたい

無事だと
いいけど...

アガツトたちは
いないみたい



...うん



問題を
解かなきゃ

ココ
一緒に
考えよう



いろいろ
考えたけど
わからないや...

答えが
思いつかない
んじゃない



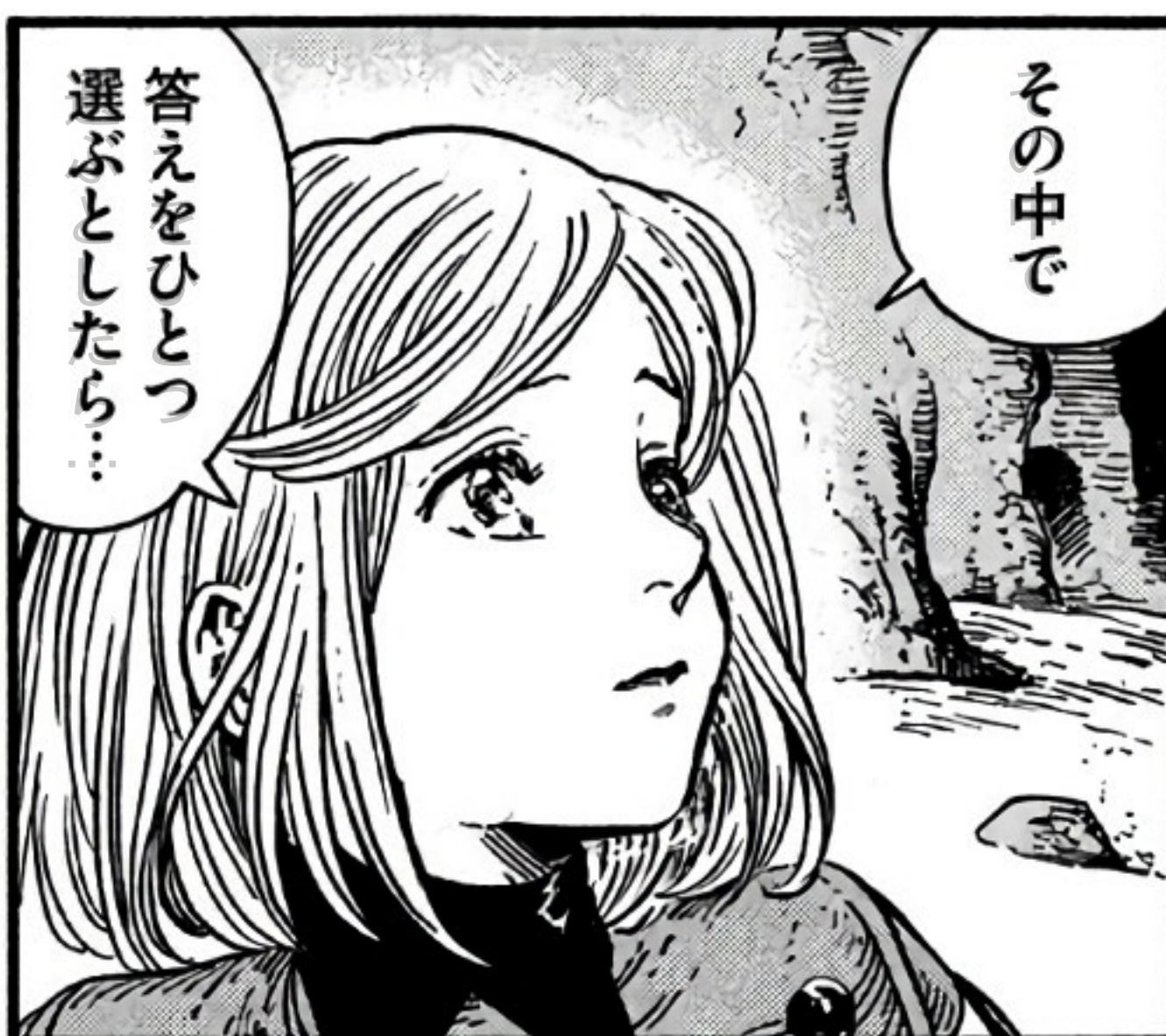
...たくさん
ありすぎるの

ここには
太陽の光も
美味しいご飯も
暖かい寝床も
何もない...



目的だ

魔法に大切なことは
技術とアイデアと
あともう一つある



その中で

答えをひとつ
選ぶとしたら…



言葉の殻の
中心にある

おおもとの
望みを
探ってごらん

！

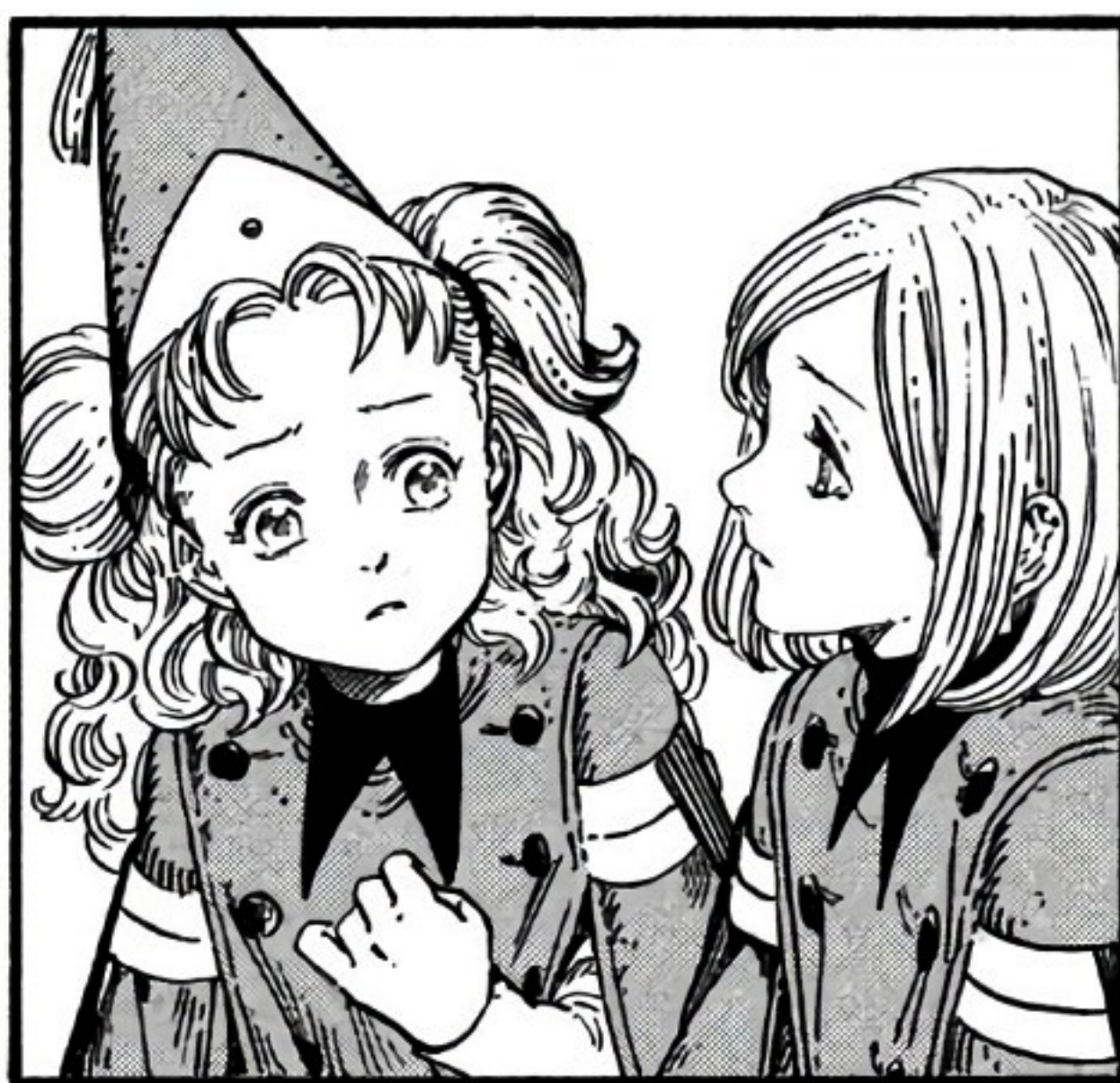


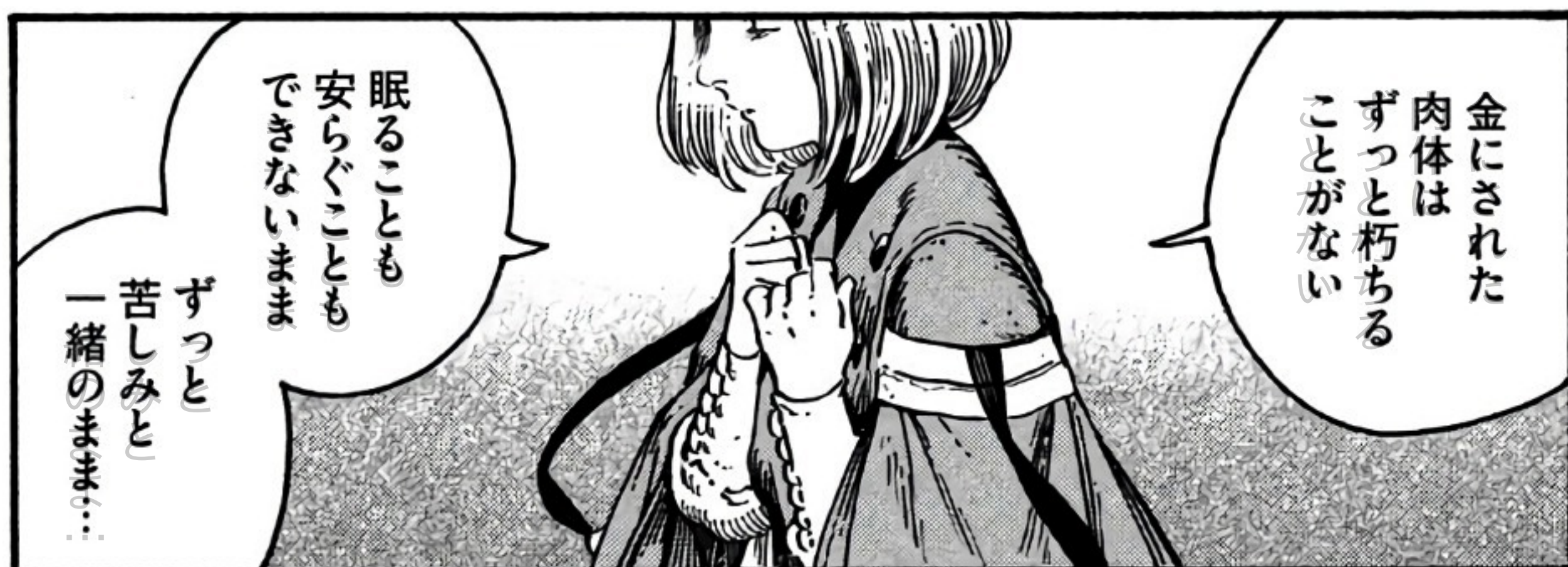
魔法使いに
望むこと…

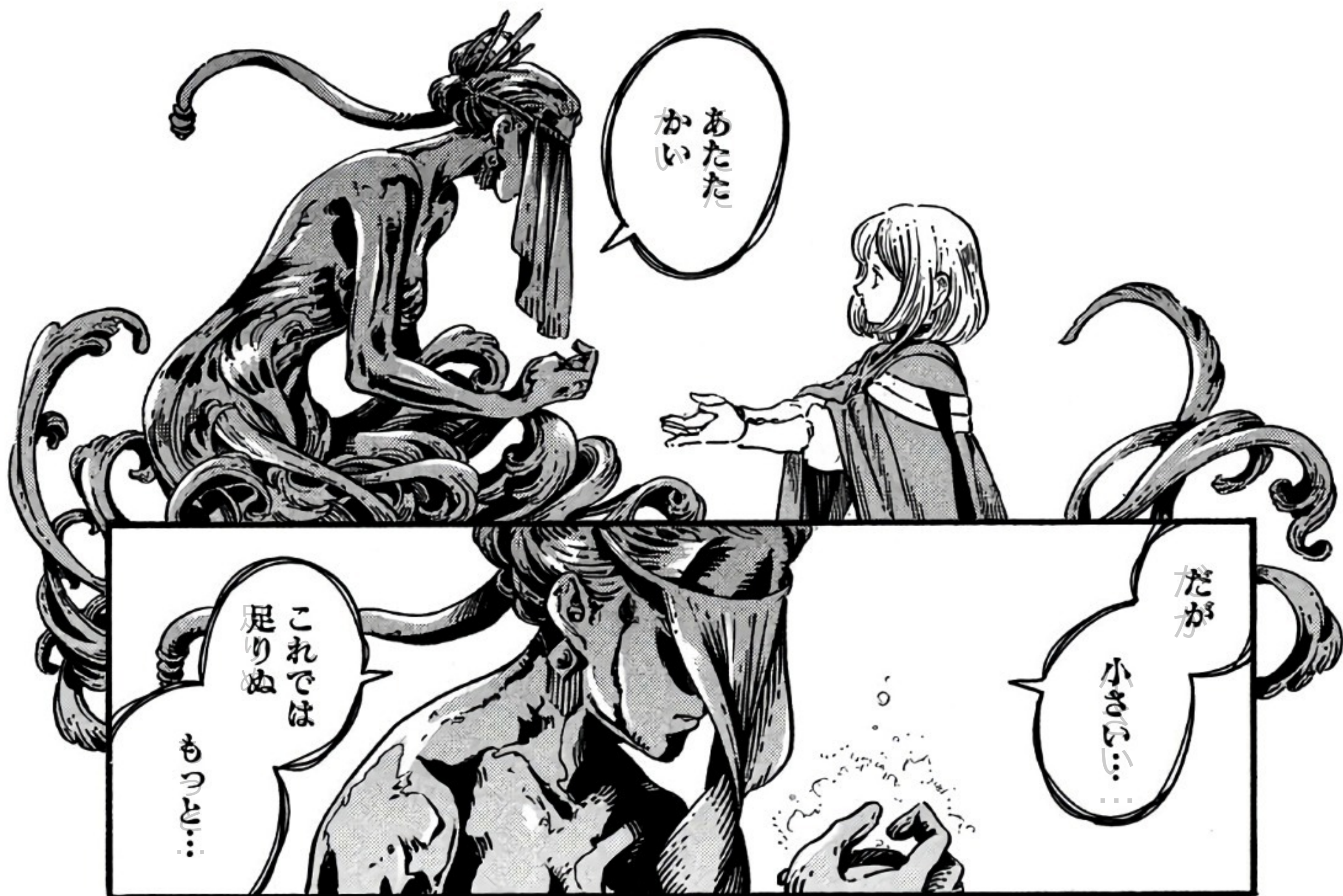


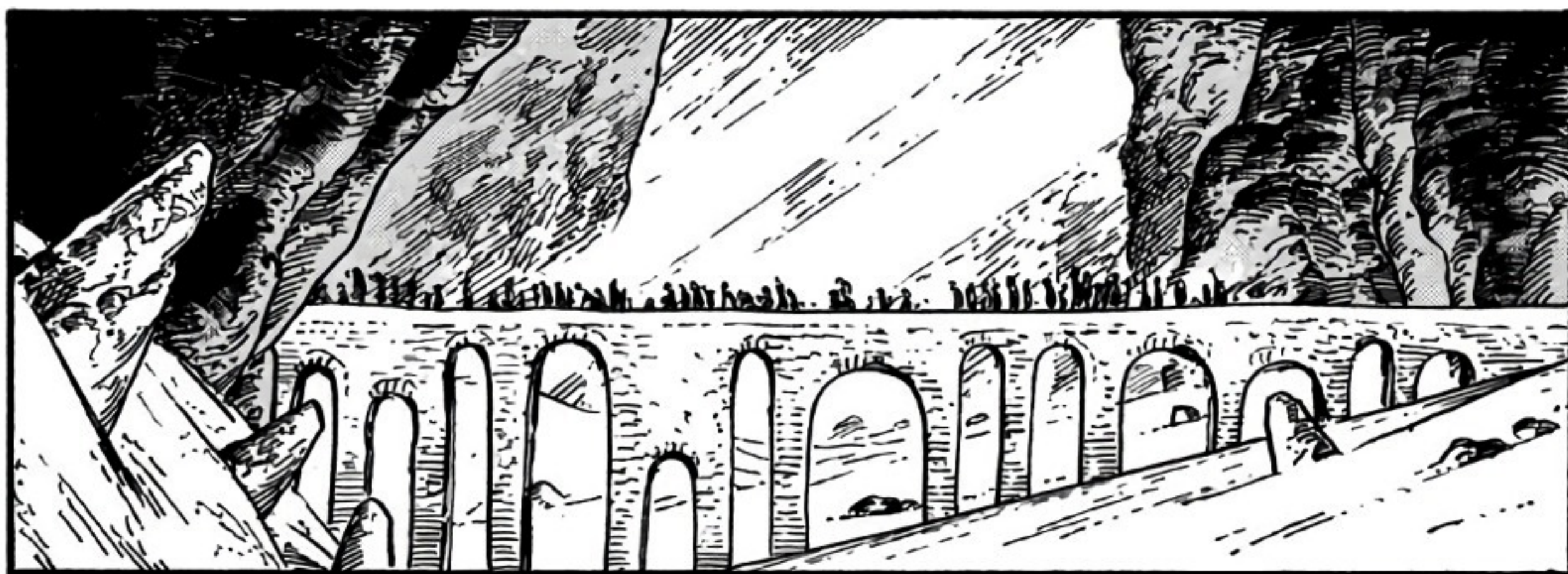
何を望むか
何がしたいか…
魔法使いに何を
して欲しいのか

そこさえ
見定めれば
おのずと答えも
見えてくる











からだ
身体が
溶けてる……！

オルーギオの
魔法は
肌に触れても
火傷しないよう

繊細な均衡で
調整されている……

増幅鏡で
乱暴に陣を
引き延ばした
だけでは
その
温度は……

そ……
そんなの
ダメです！

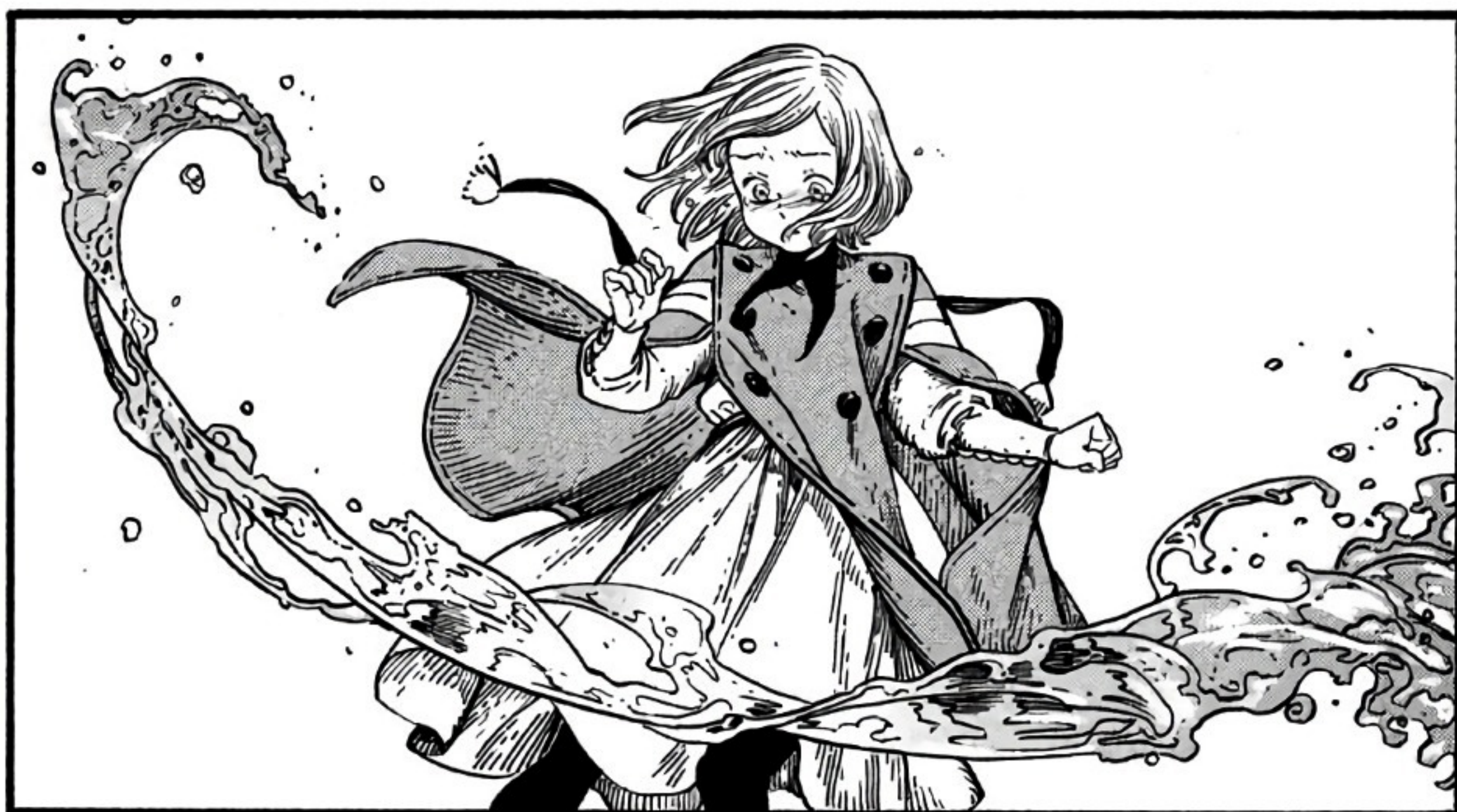
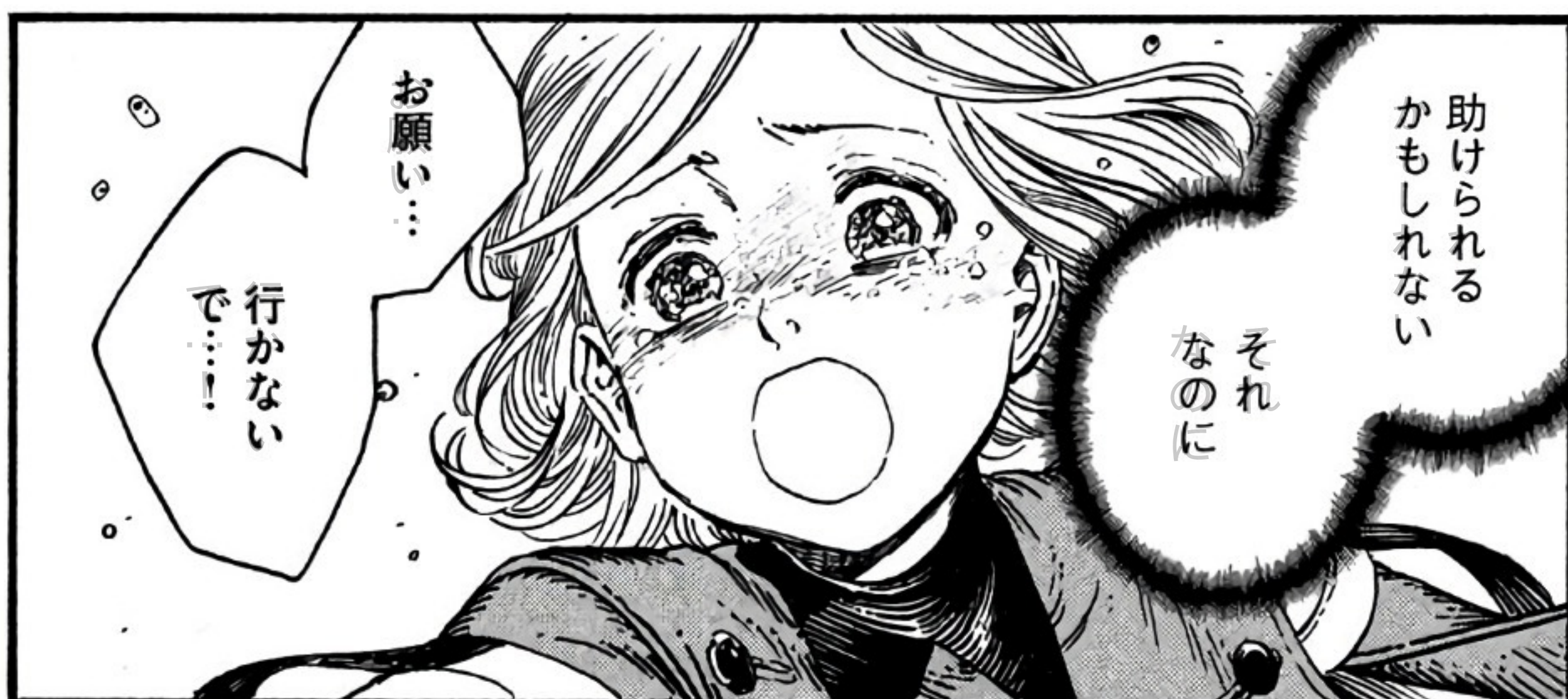
ココ！

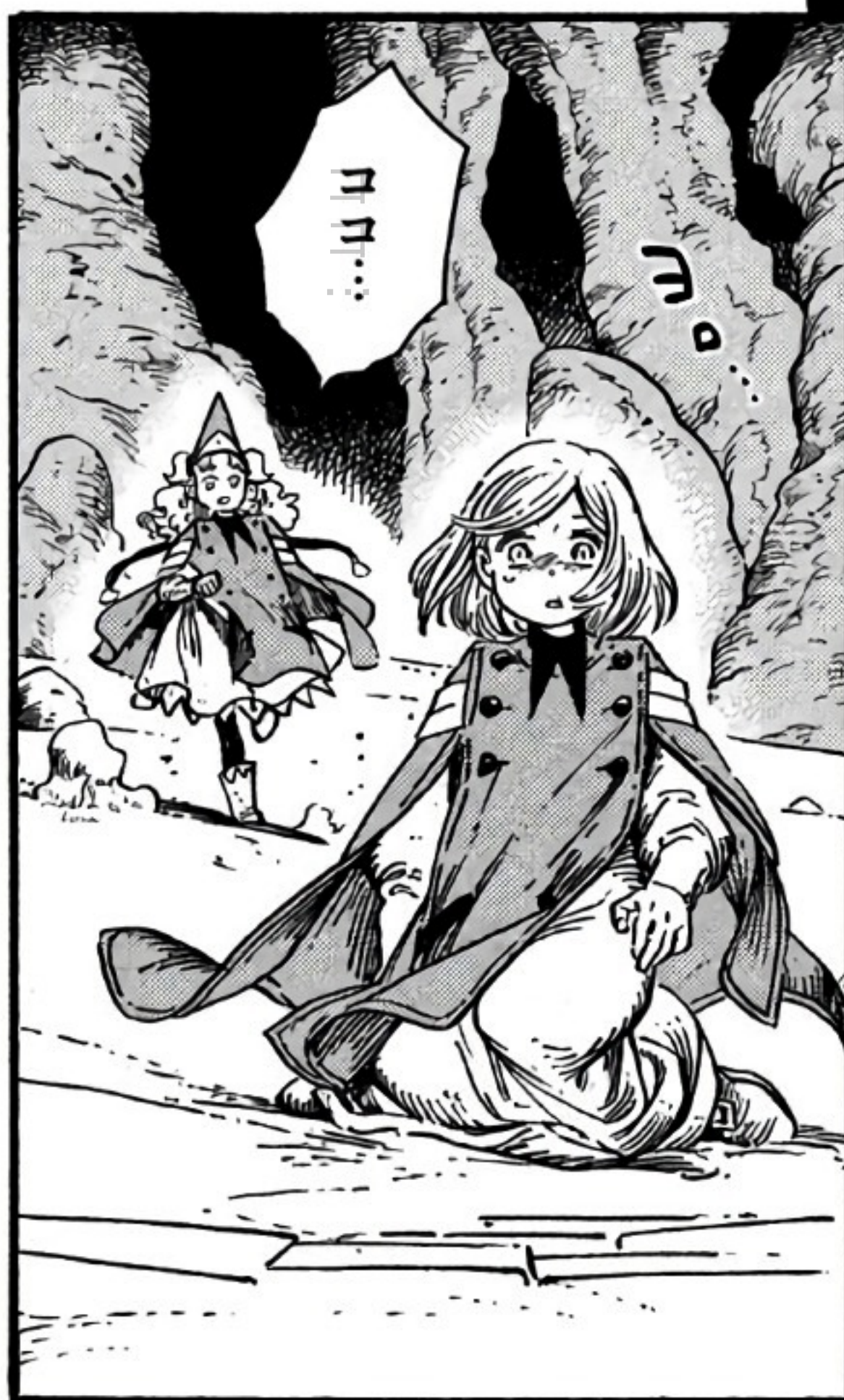
待って
ください！

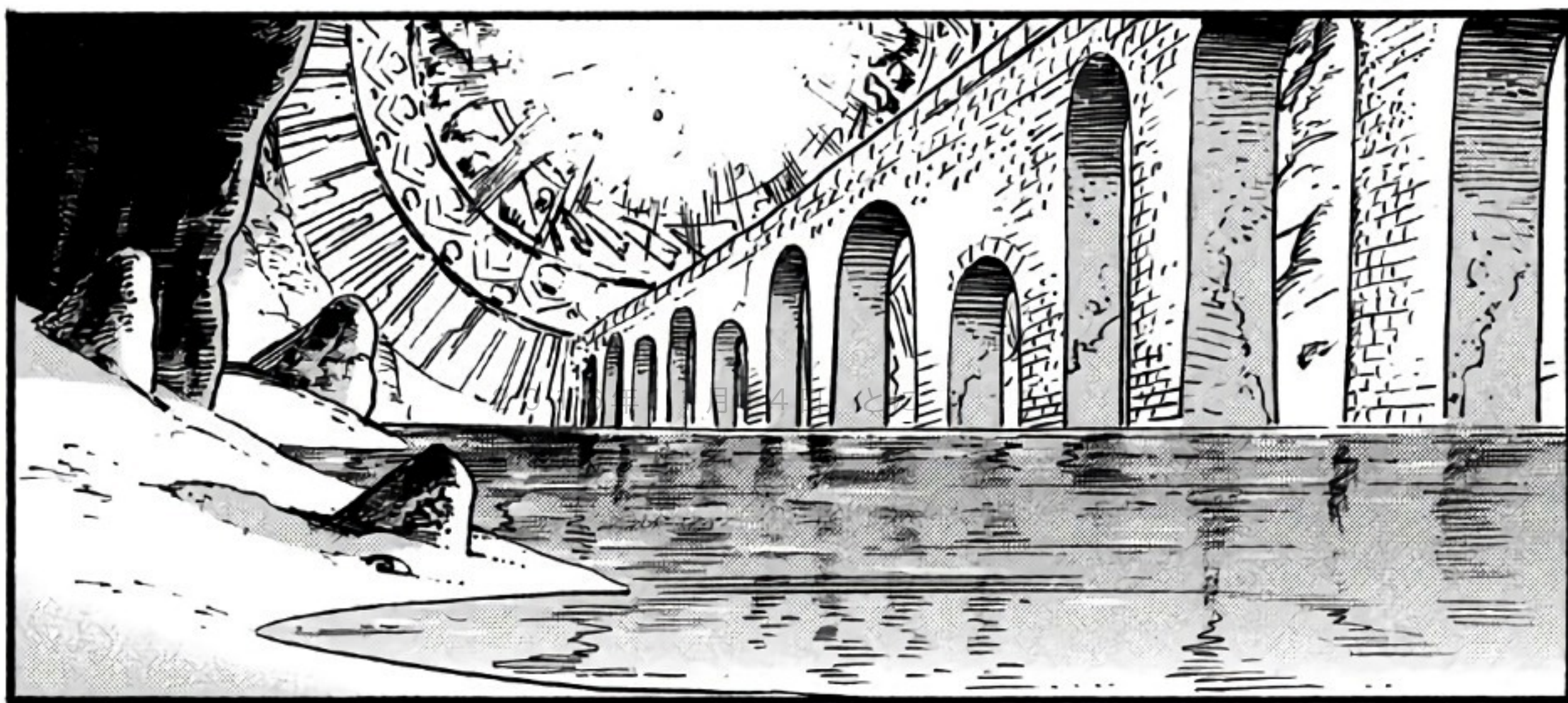
待って！

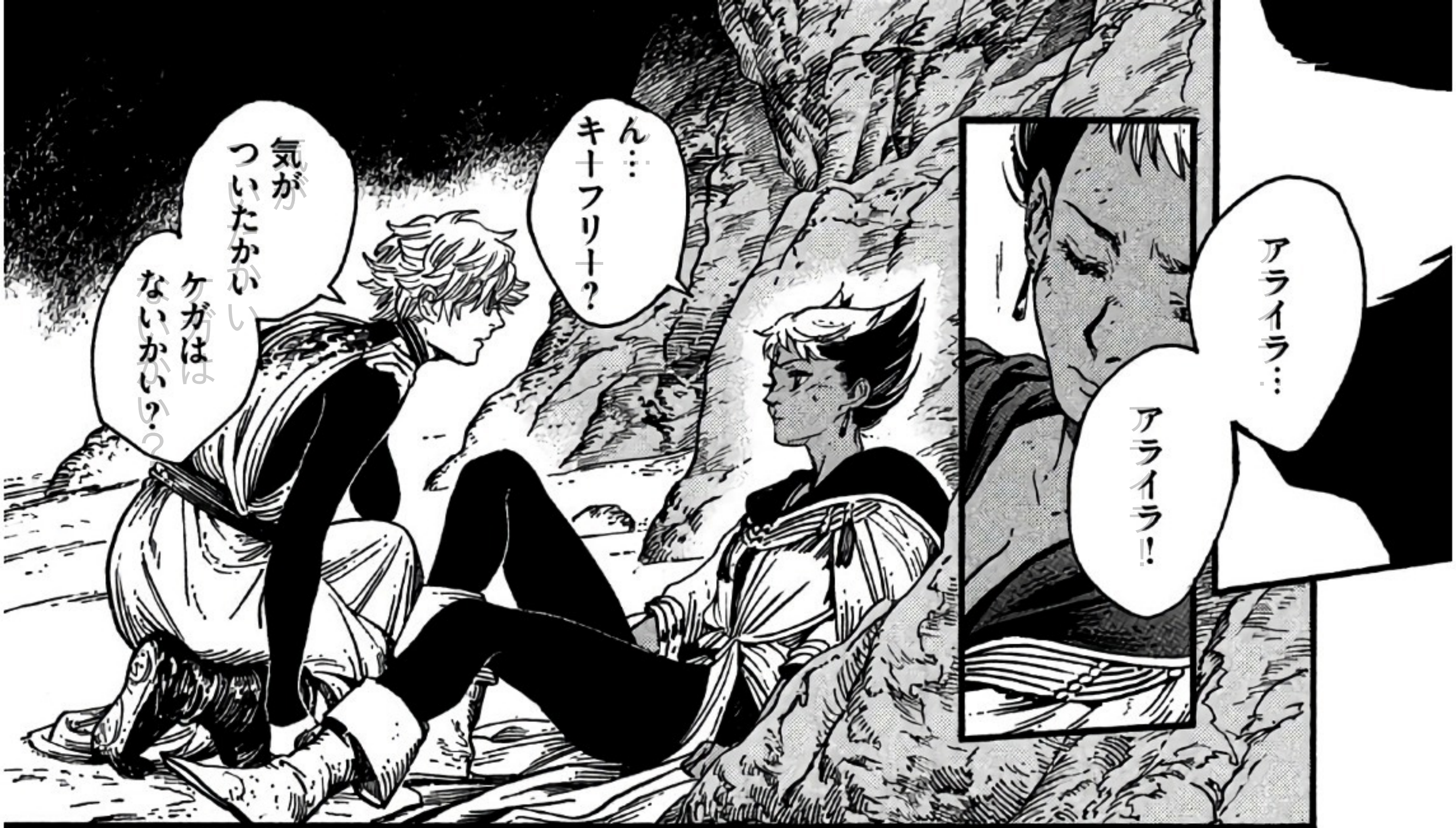
図書の塔を
目指すのも

反転魔法を
試すのも
全部全部
これからののに









むちやくちやに
暴れて
抵抗したら

あいつ
ここに落として
いった

何も刻まれ
なかったのは
不幸中の
幸いだが――

刻む……
って

魔法陣の
刺青^{いんずみ}だよ

身体に
魔墨^{まぼく}が
染み込んだ
者は

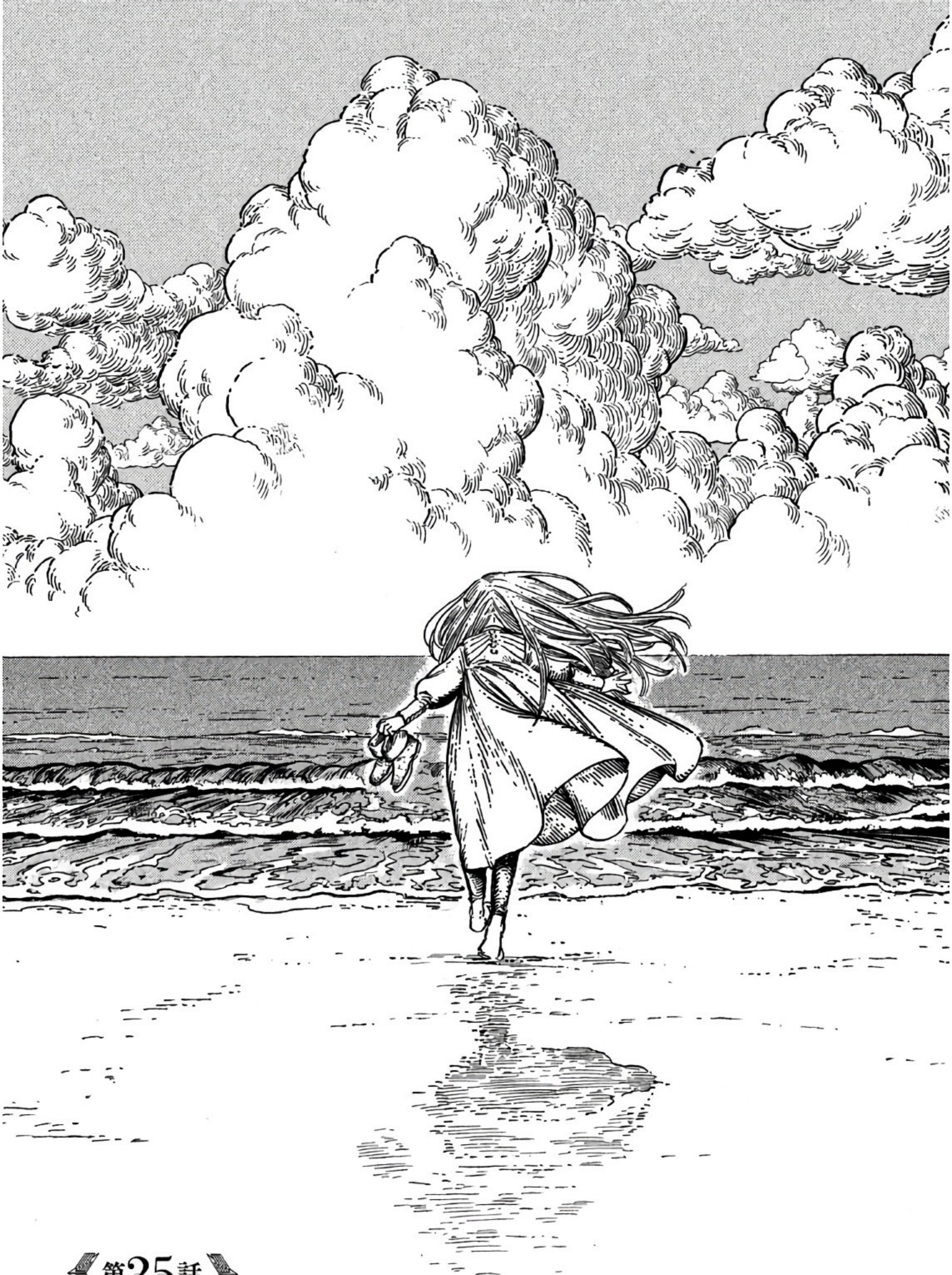
もう二度と
元には戻れ
ない――…

とんがり帽子のアトリエ

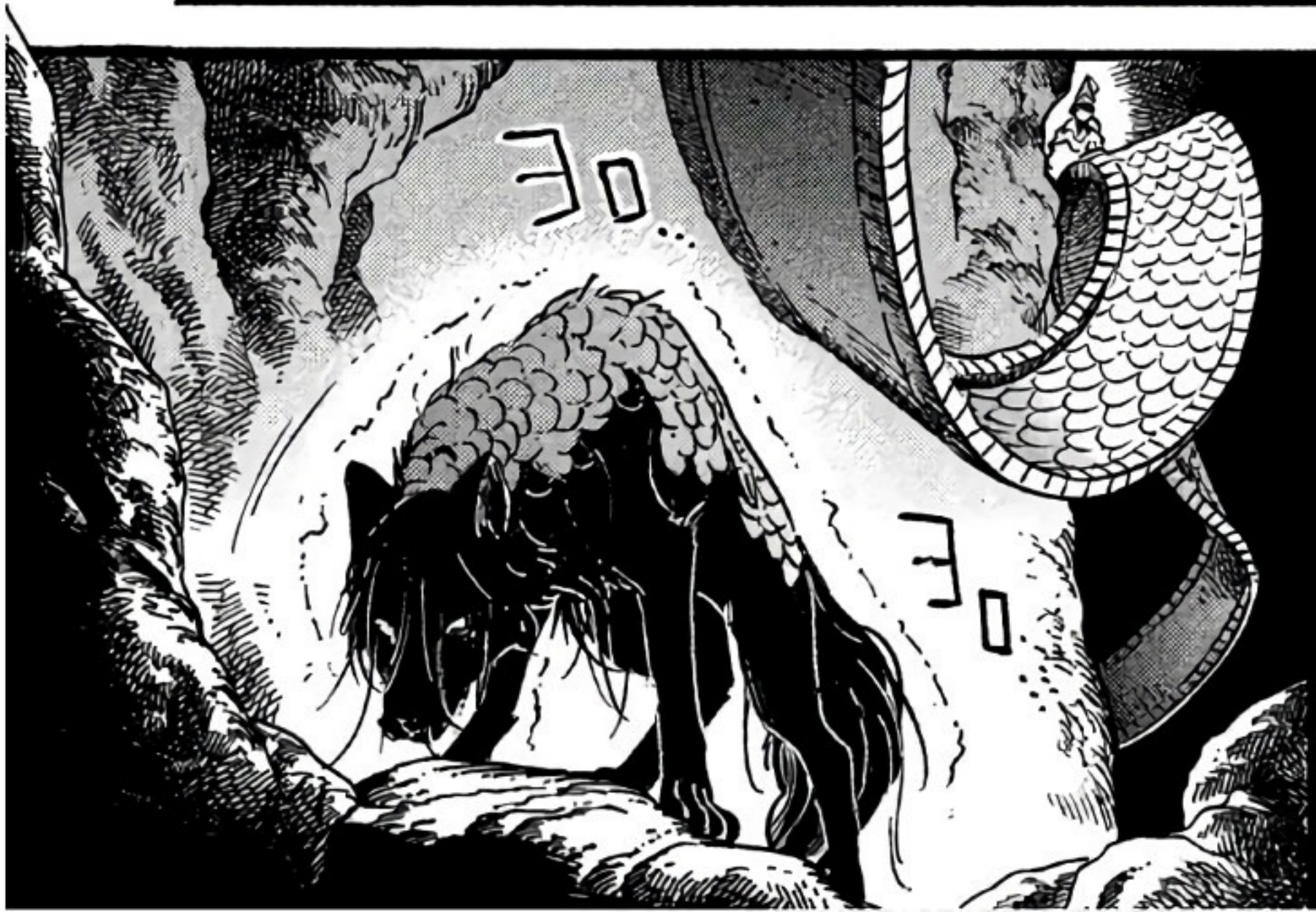
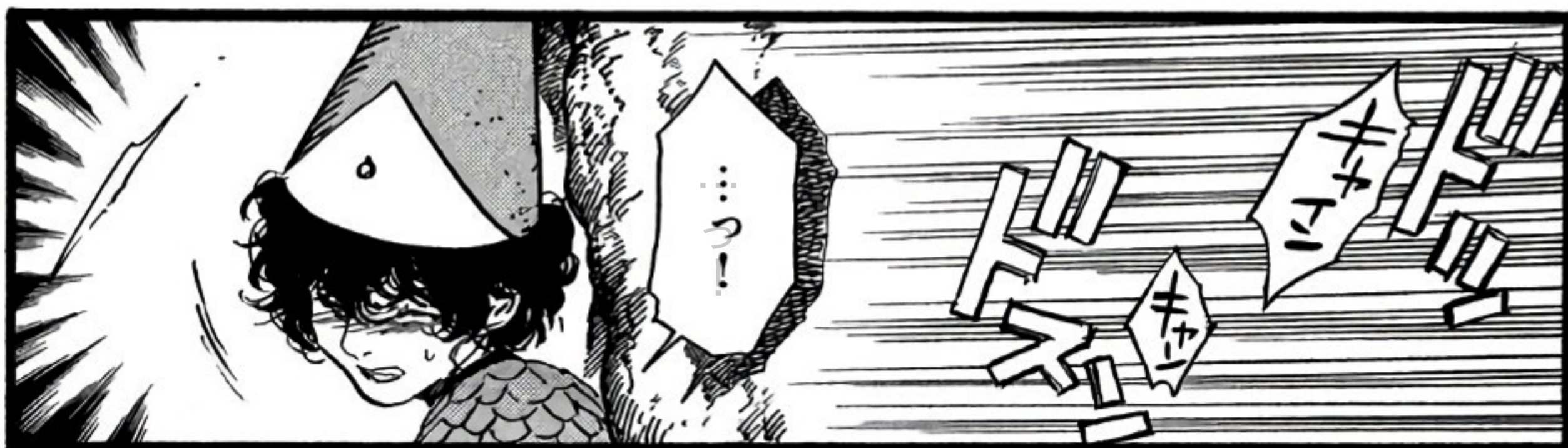


ATELIER OF WITCHAHAT















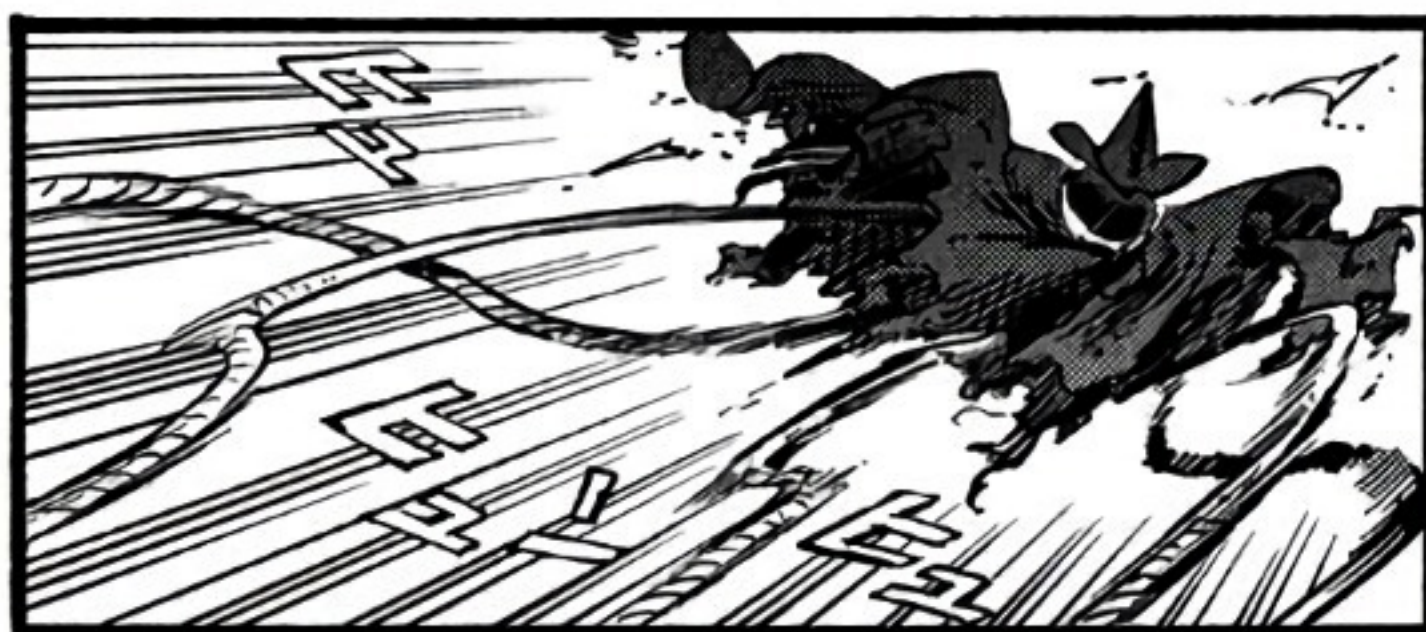
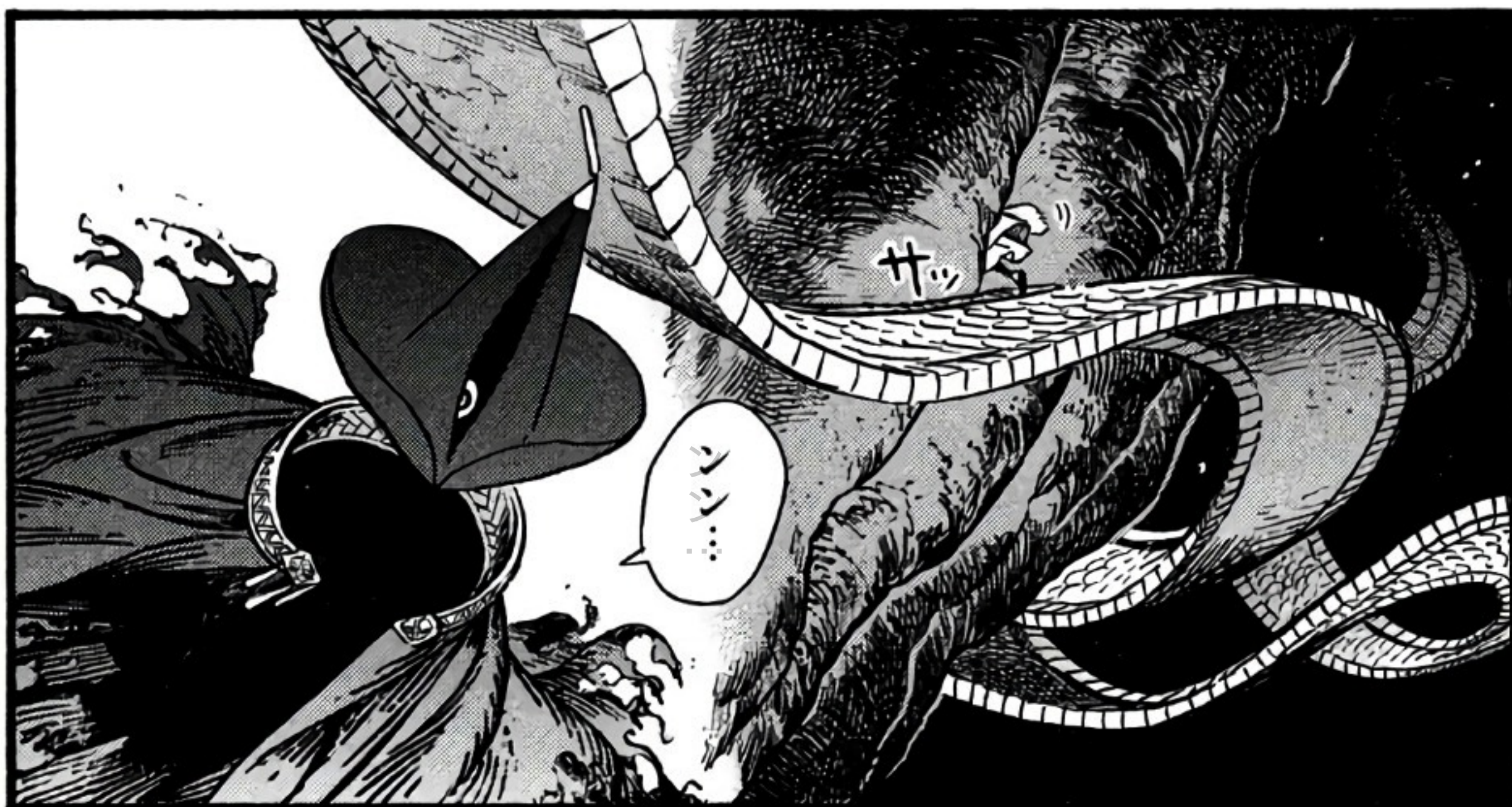
だから私が
助けなきや

でも彫られて
しまった刺青は
消えない

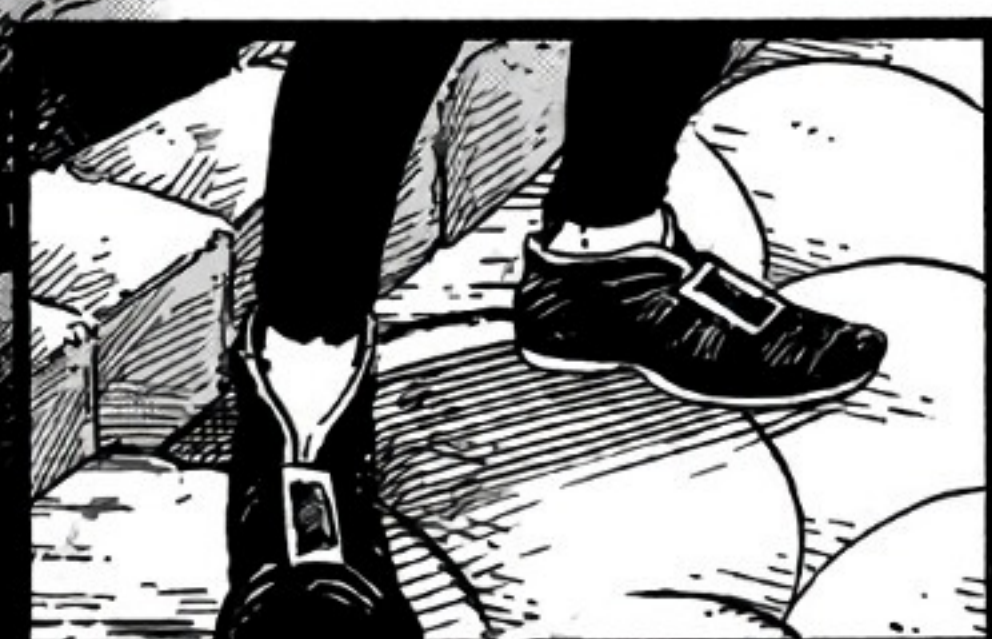


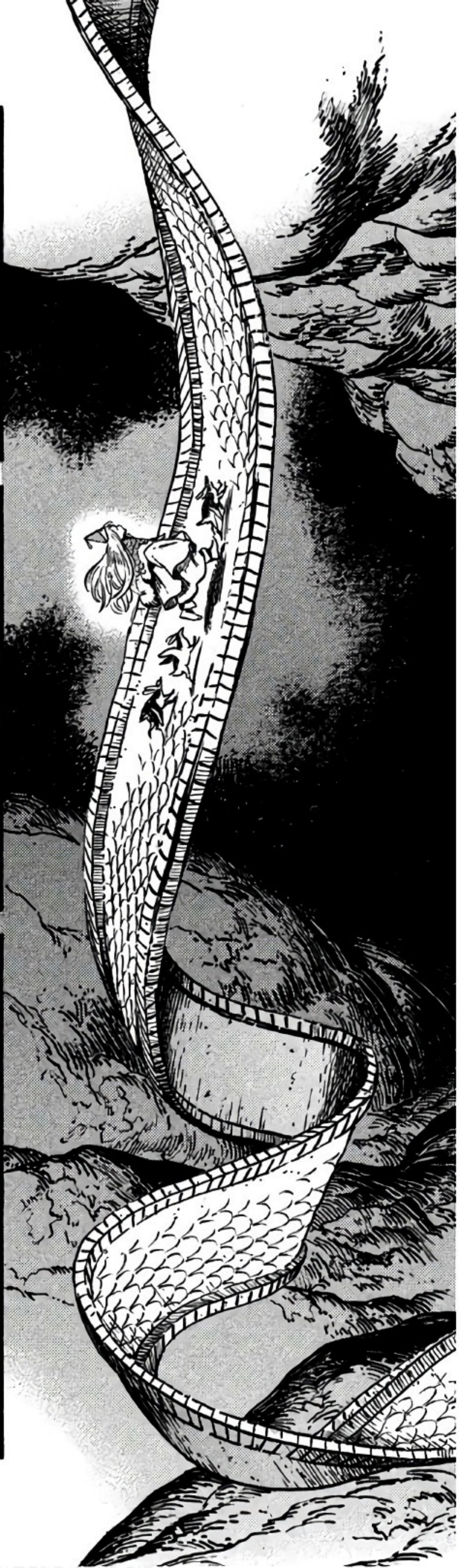
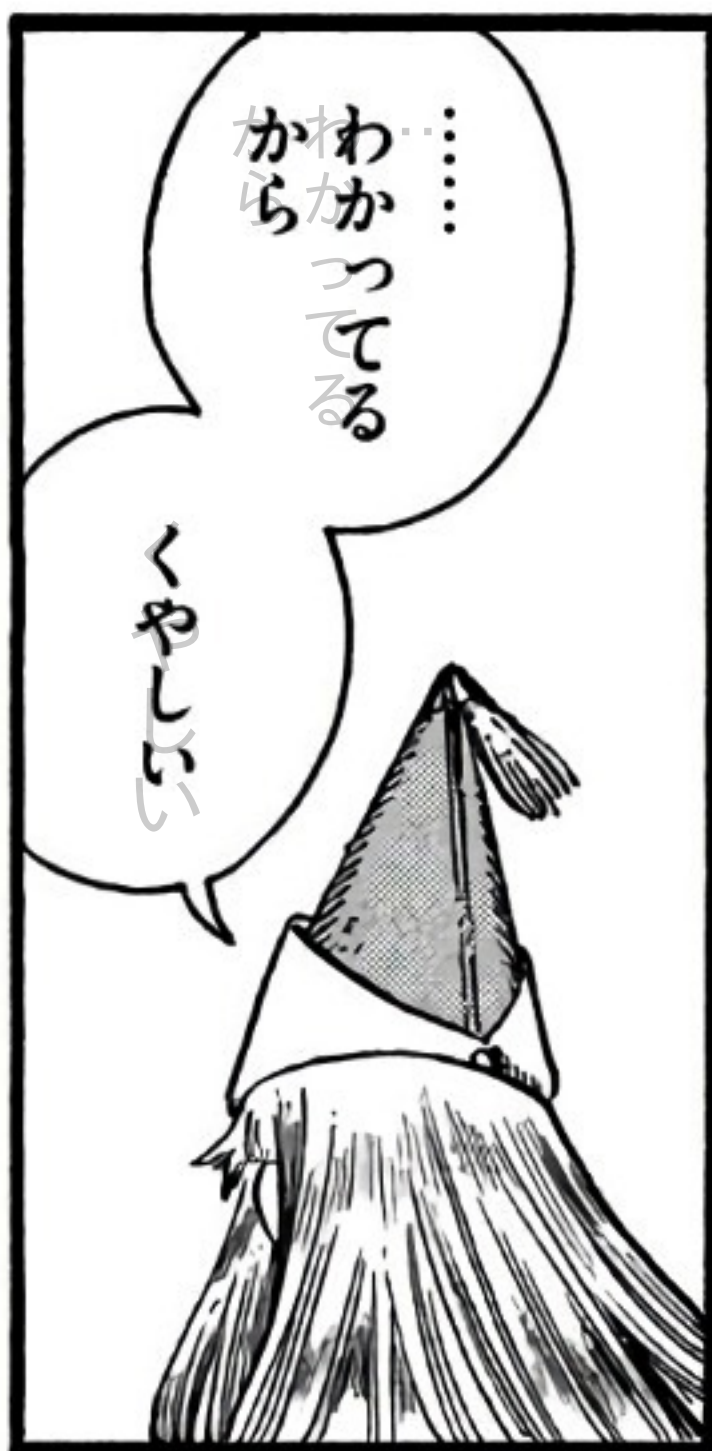
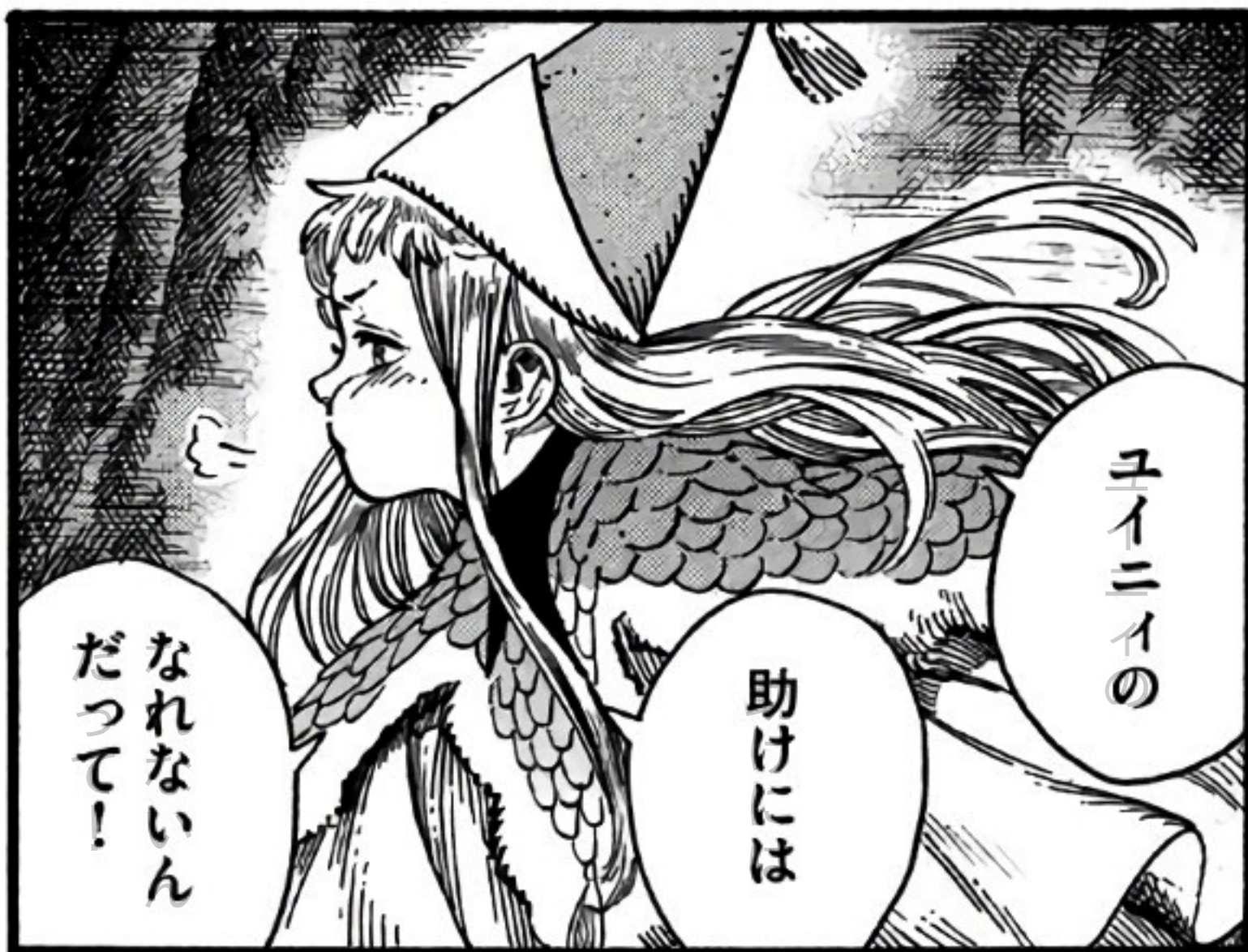
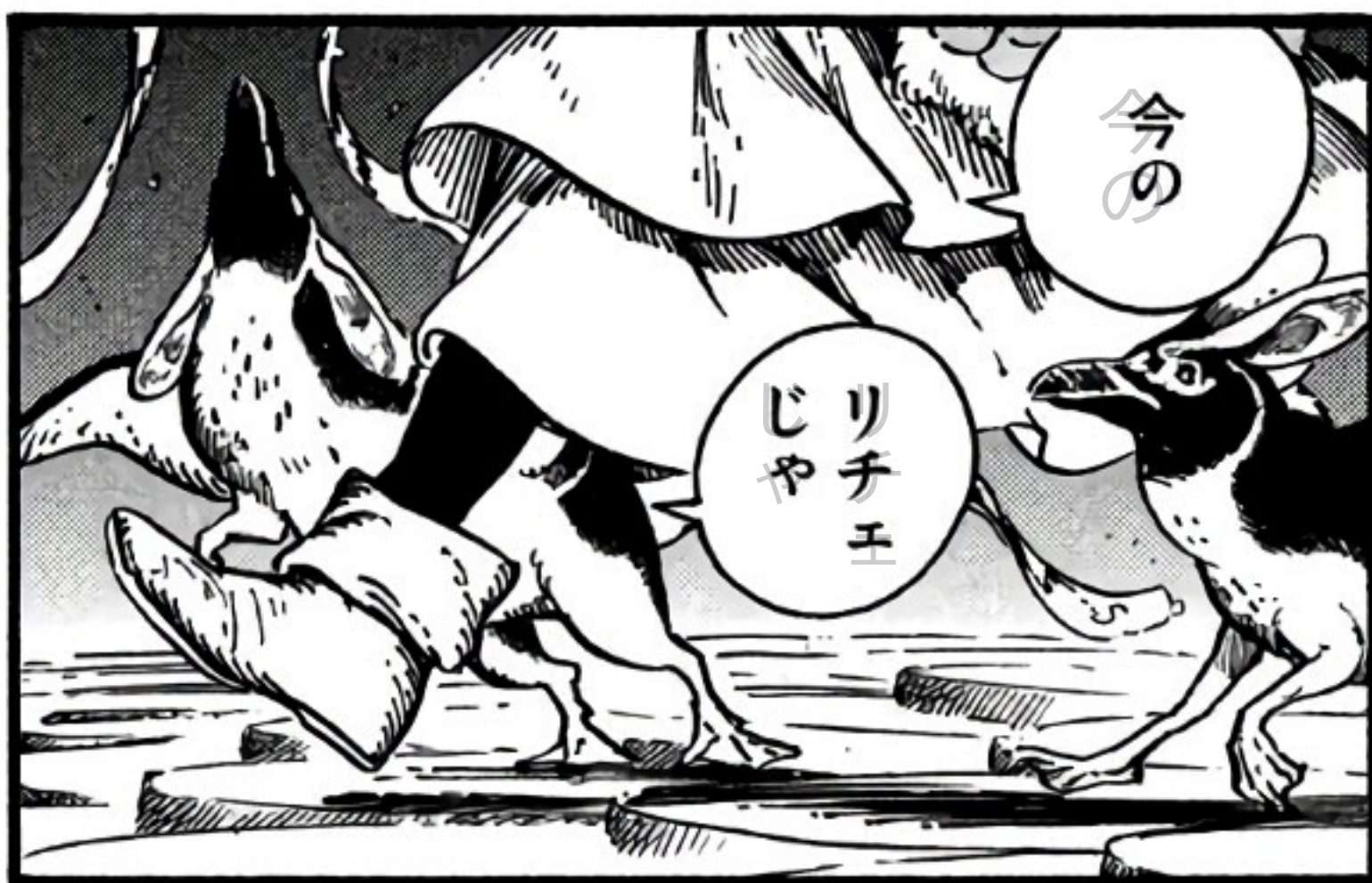
どうすれば
助けられる？

どう
すれば…











わかってる
自分に足りない
ものくらい

でも
それでいいと
思ってた

だって
ずっと
怖かった



押しつけ
られたものに
押し流されて

自分が
消えて
しまうのが



兄のリリフィンに
ついていくと
言って聞かない
ものですから



すみません…
この手昔から
頑固な性格で

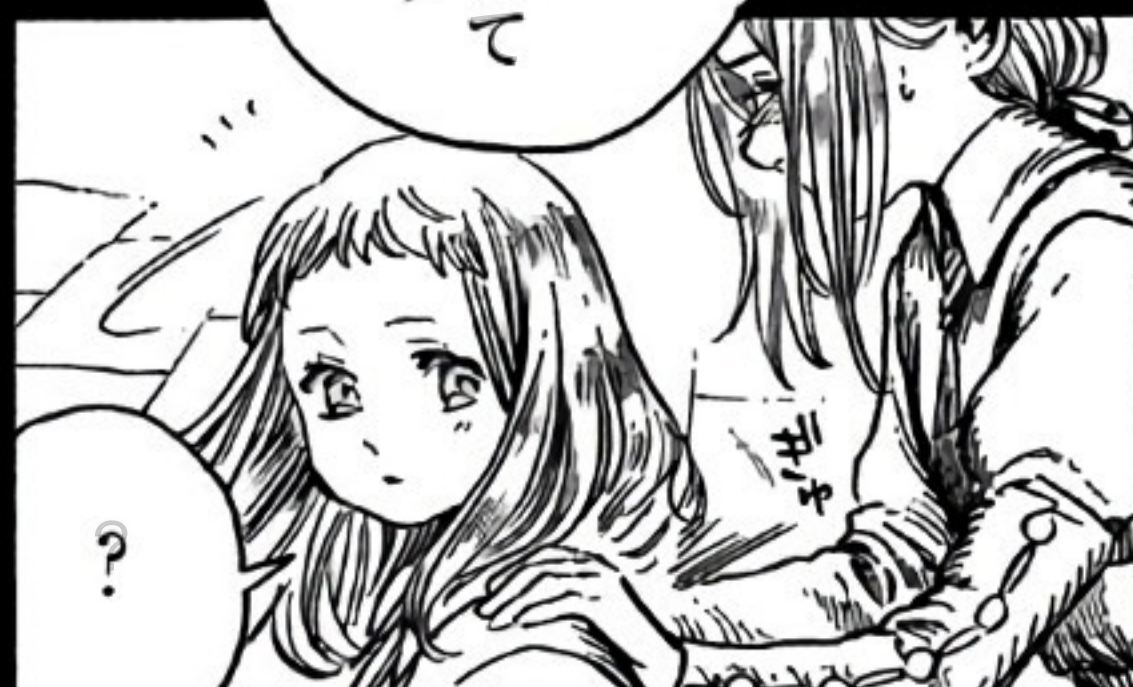


4年前

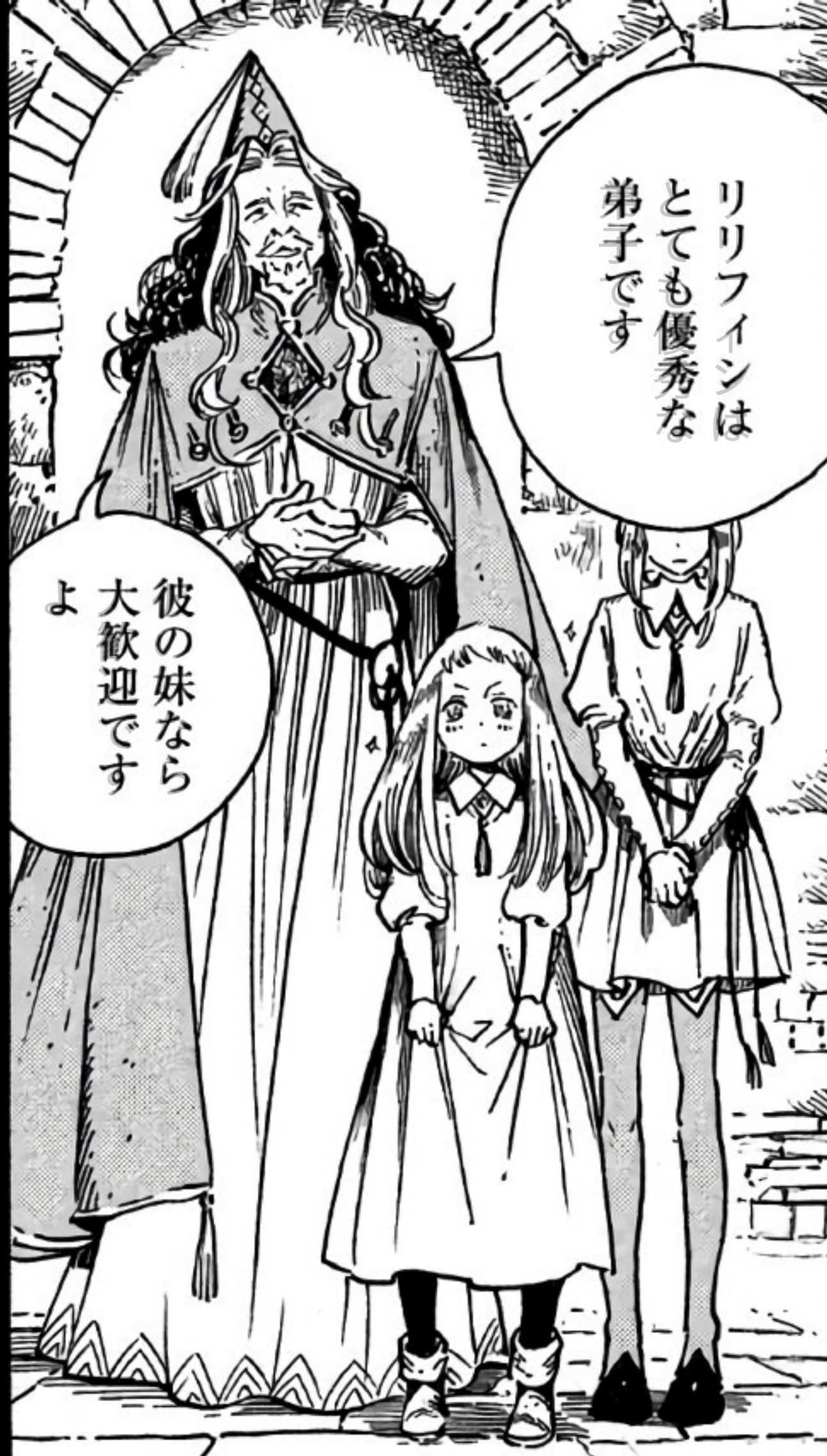


ご安心ください
必ずや
世の役に立つ

立派な
魔法使いにして
みせましょう



?



リリフィンは
とても優秀な
弟子です

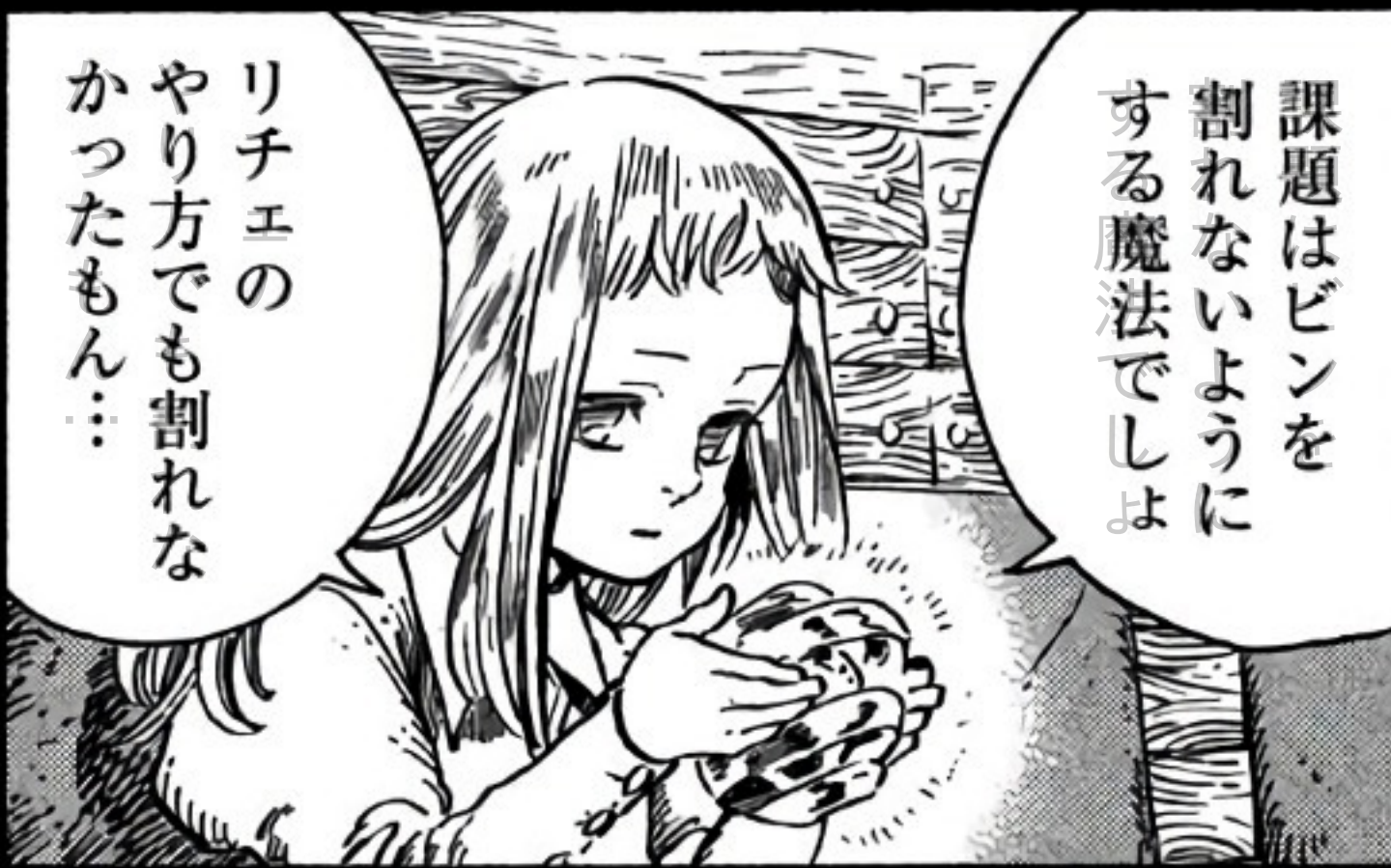
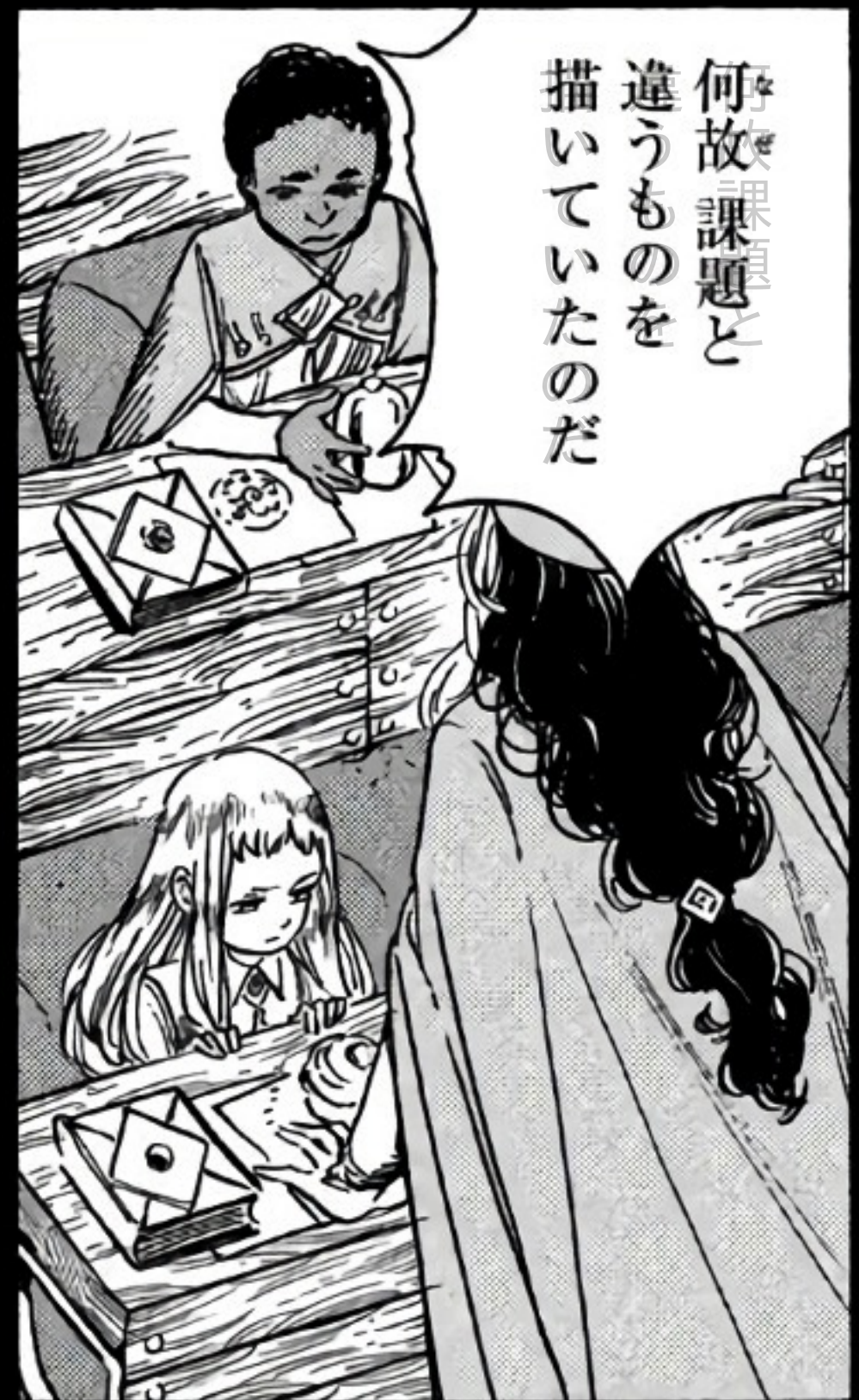
彼の妹なら
大歓迎です
よ

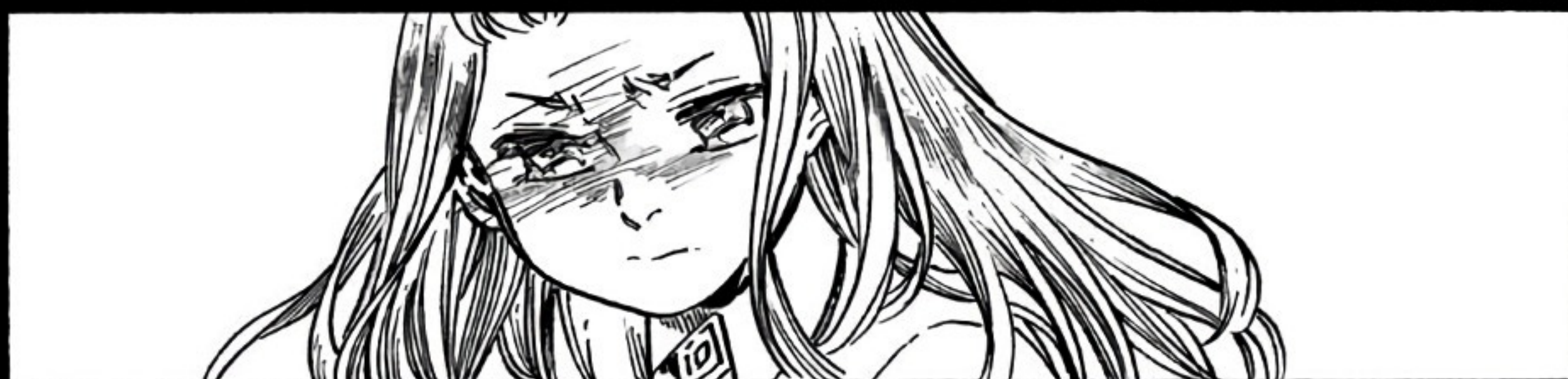


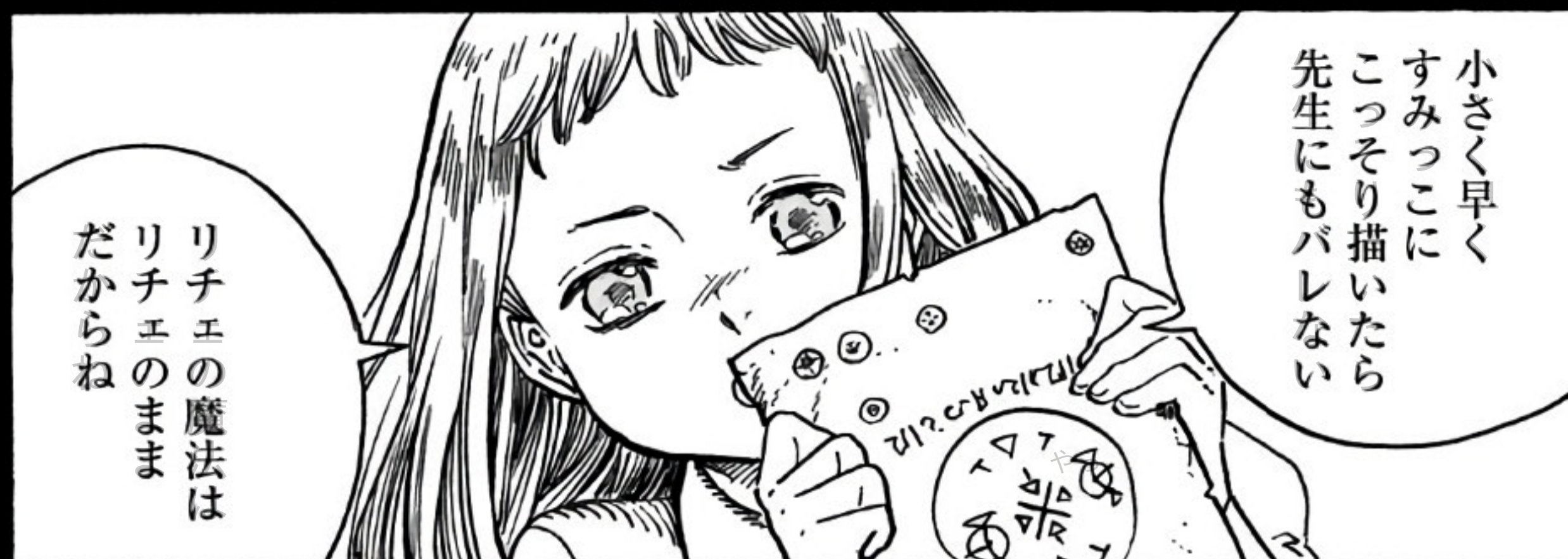
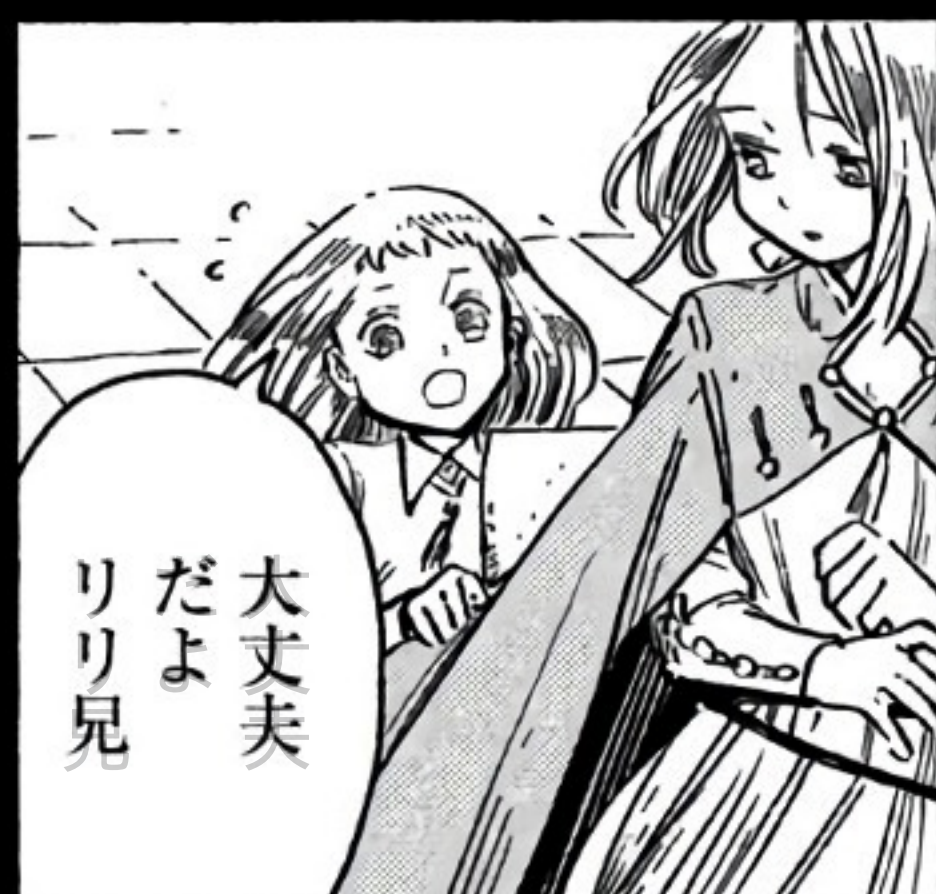
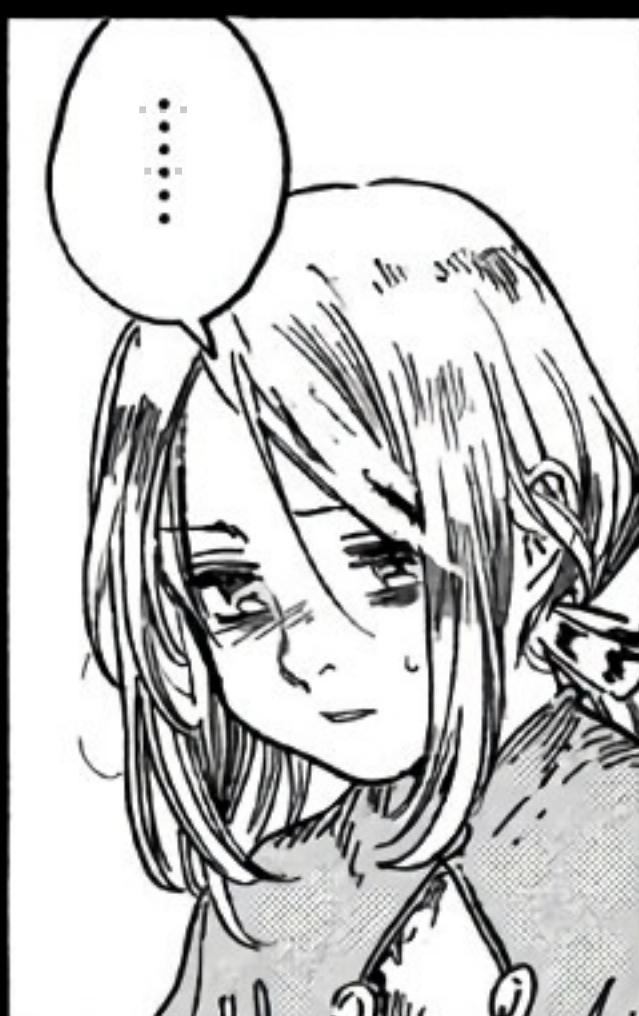
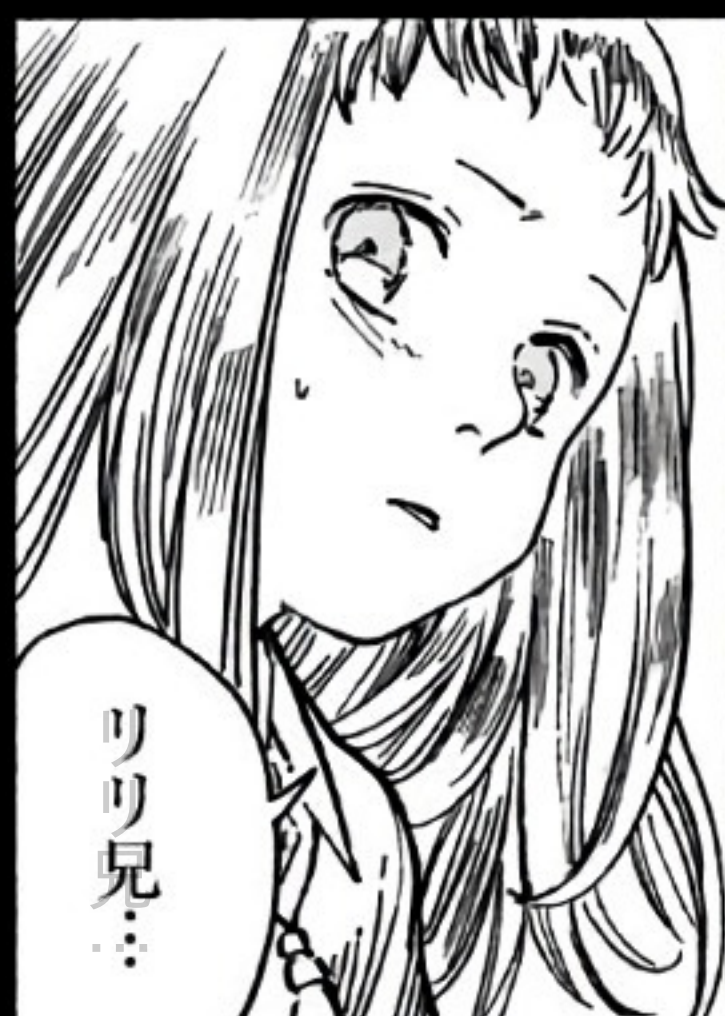
リリ兄?



また
お前か
リチエリット!!

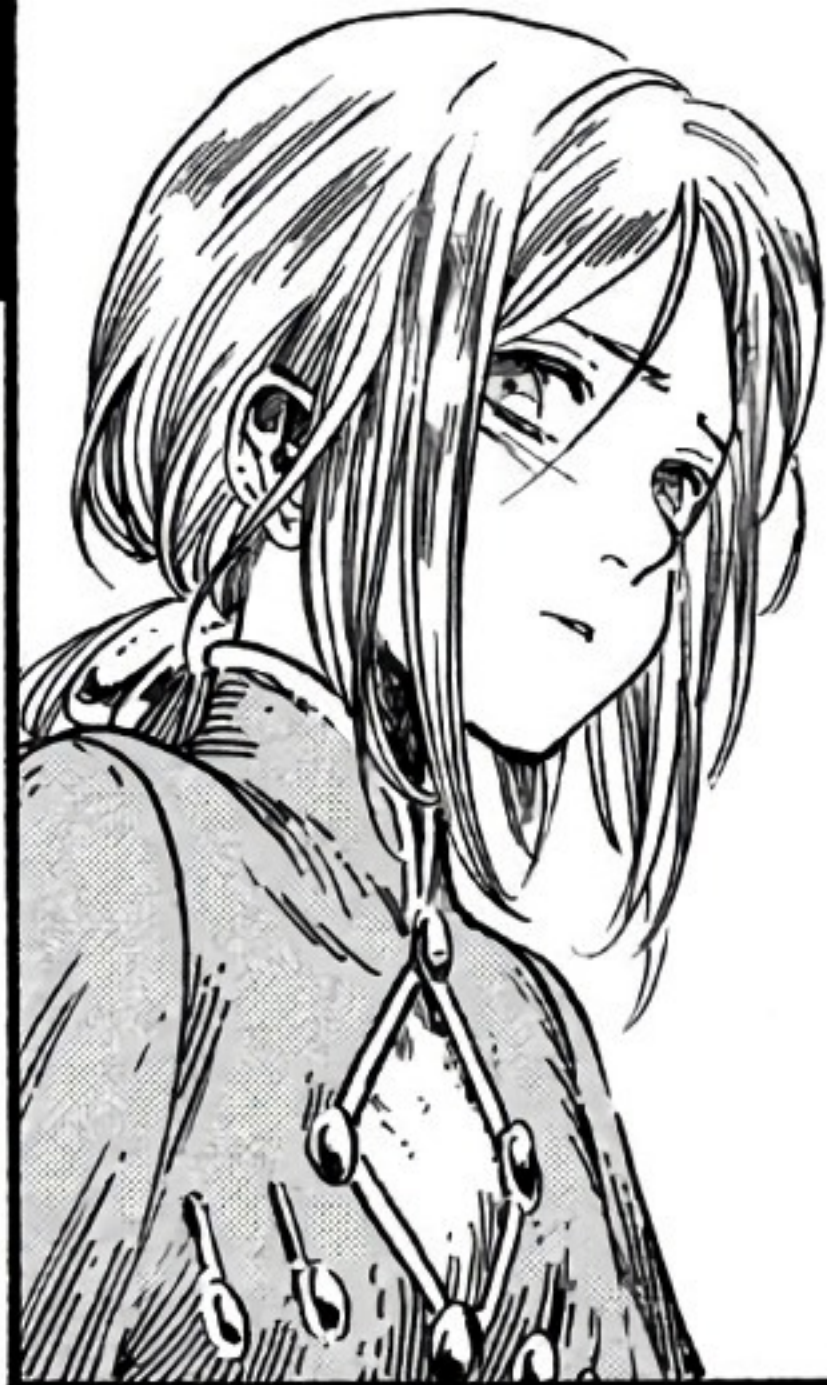








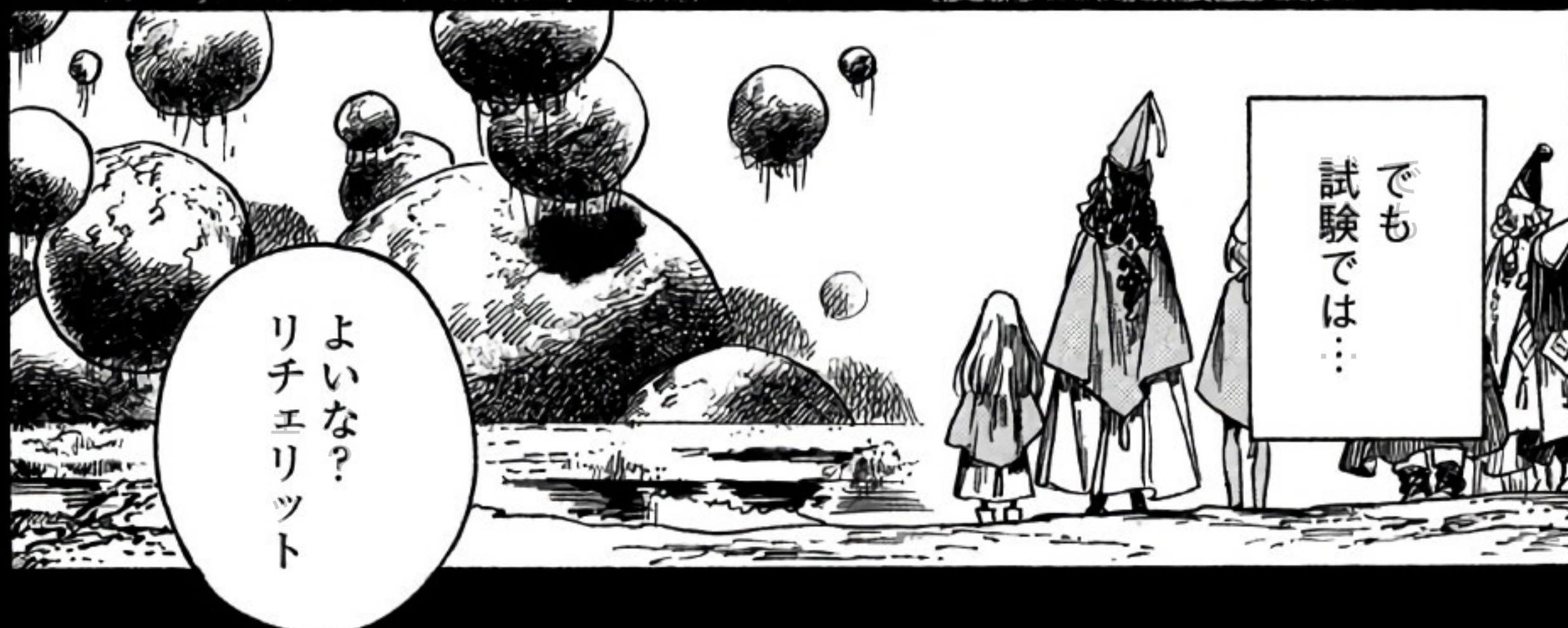
リチエリットは
リリ兄を救う
天才ですね



描きたい
魔法は
こっさり早く

誰にも
バレないくらいに
小さく細かく

こうして
いれば
リチエは消えない



でも
試験では…

よいな？
リチエリット

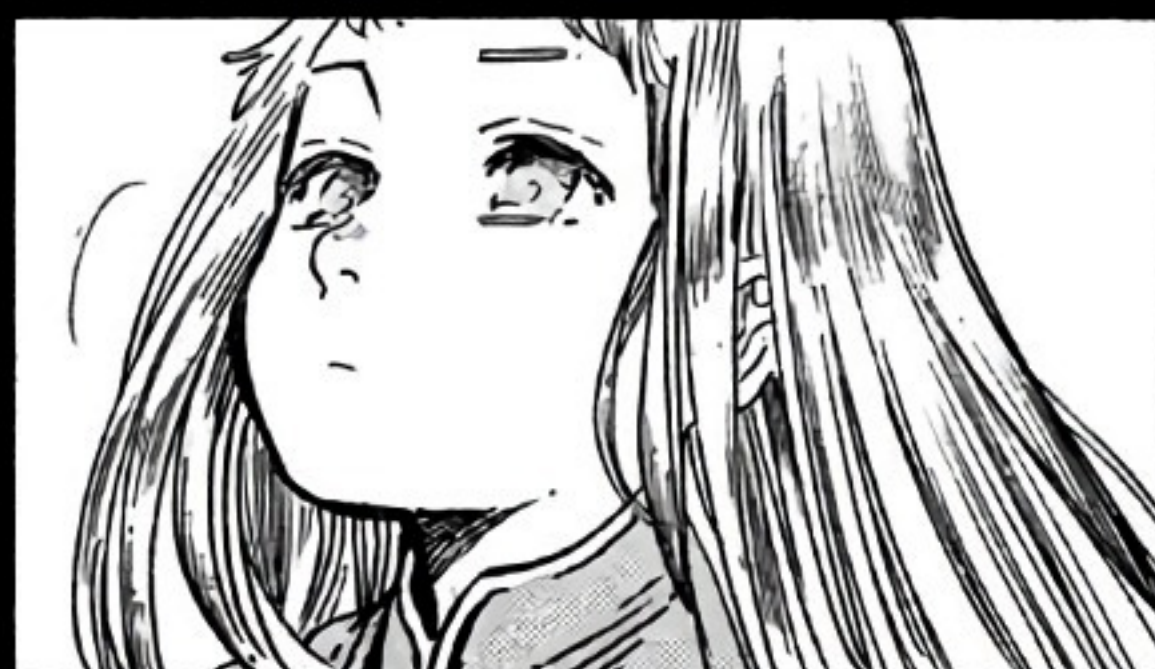
他の門弟と
同じように

私の
教えた通りに
やれば良いのだ

返事は？

……

はい
先生
はい先生




キラキラの
橋をかけたら
どうだろう？

石のリボンで
はしごを
つくったら？

だけど
それは
大人の思う
正解じゃない


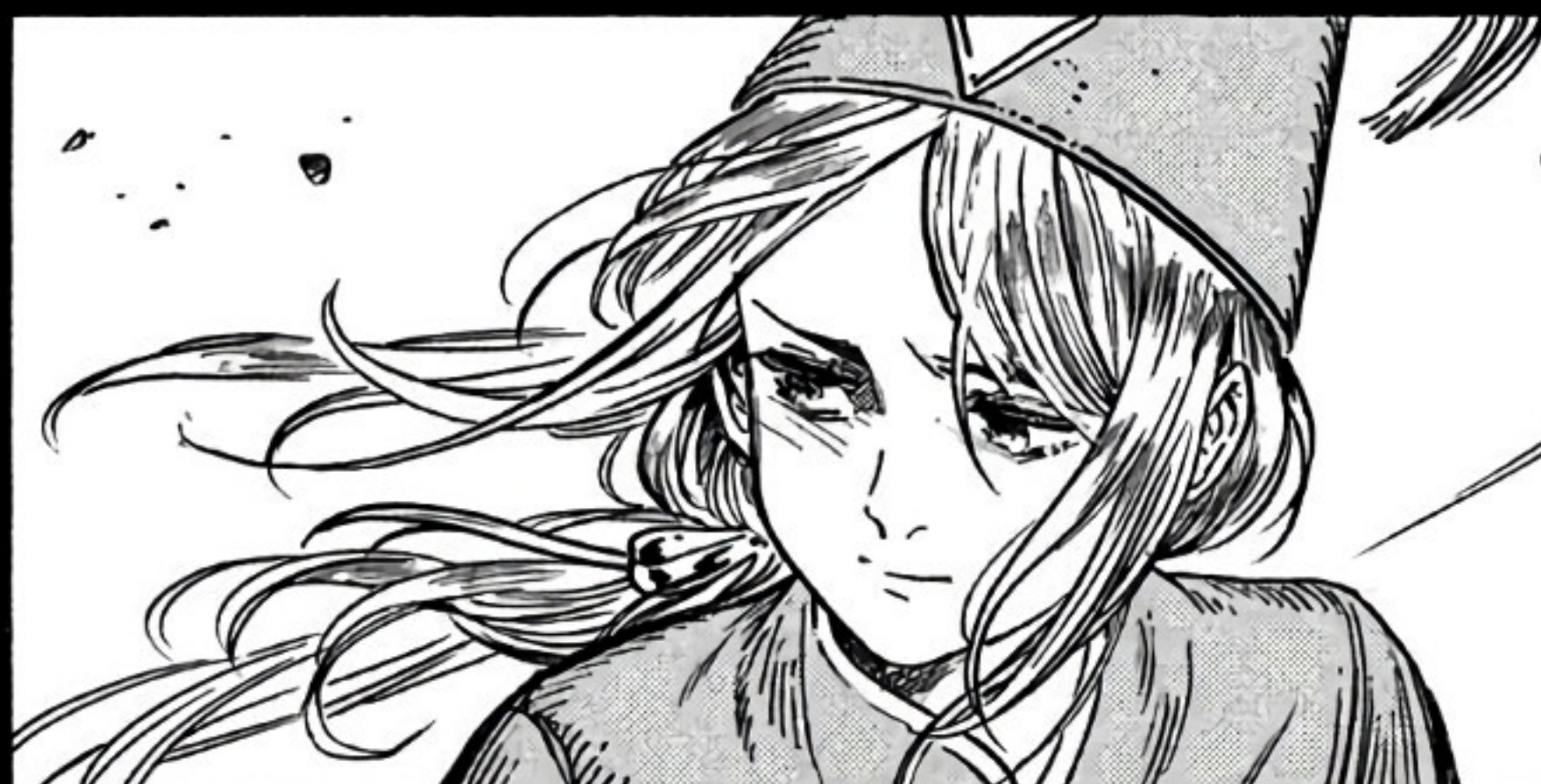





試験では
リチエは
リチエのままじゃ
ダメなんだ



リチエの
ままじゃ…



大人の
言う通りに
したら自分が
消えちゃう



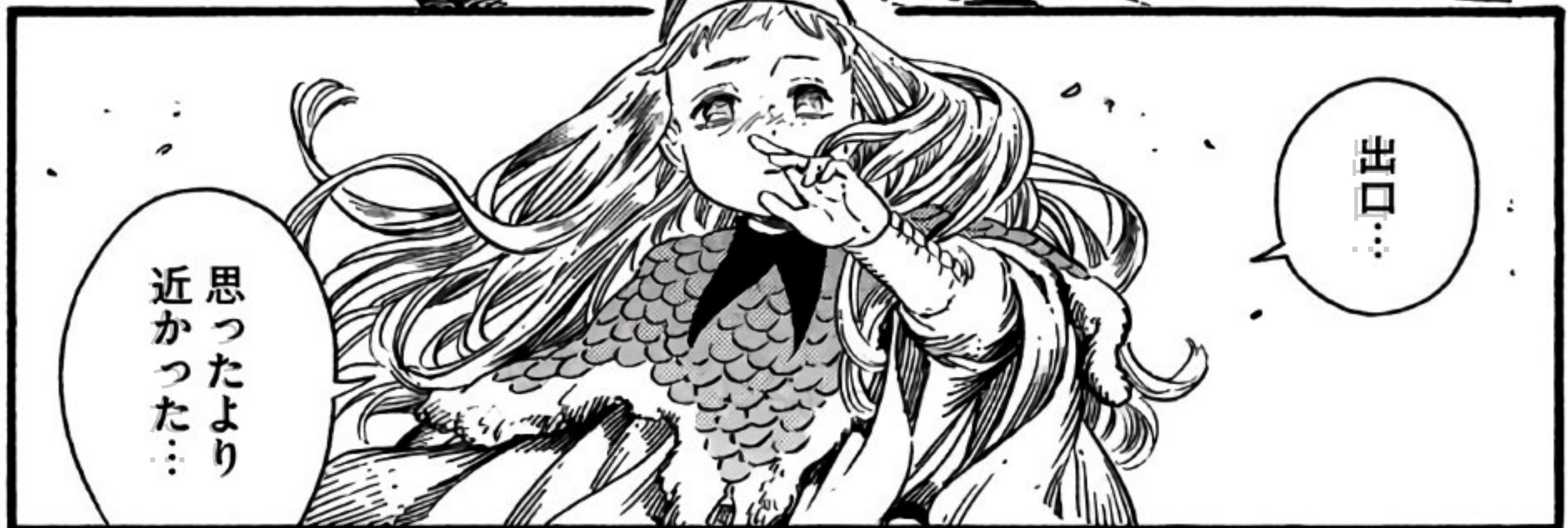
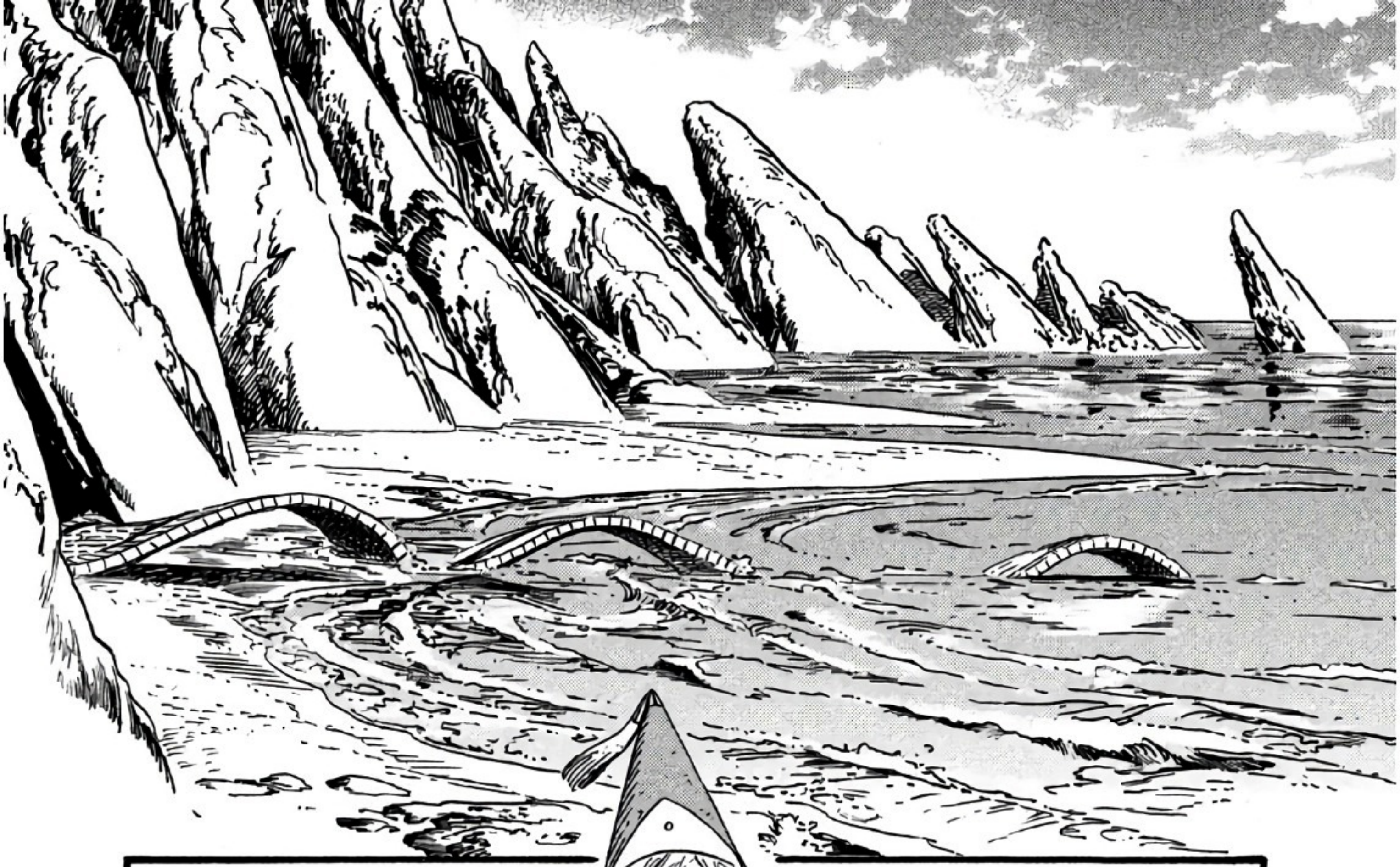
自分を
守ったら
肝心な時に
役立たず

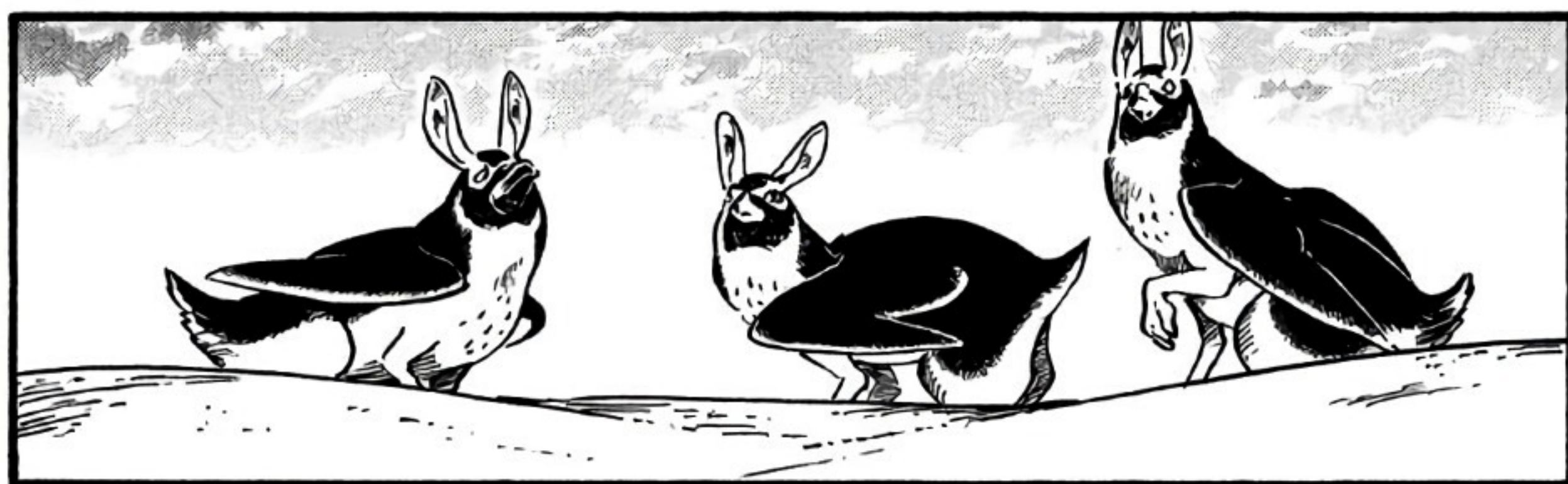
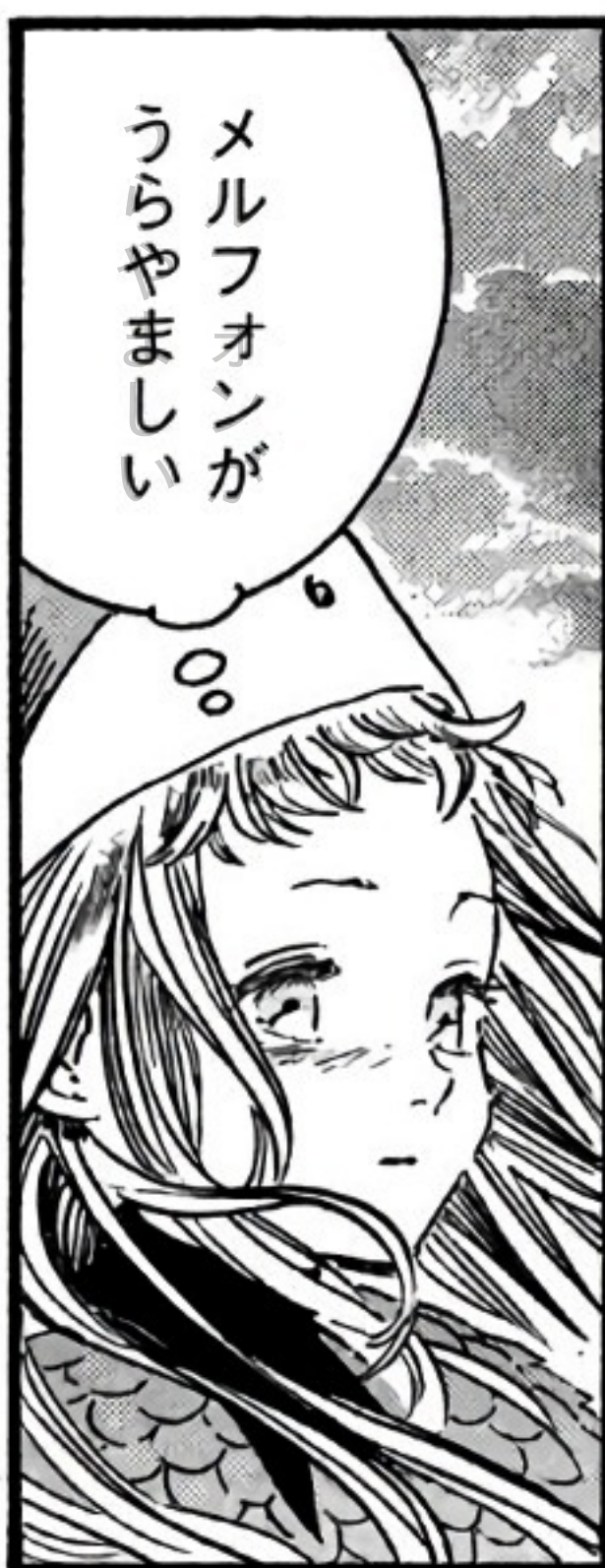
リチエは
どうすれば
良かったの？

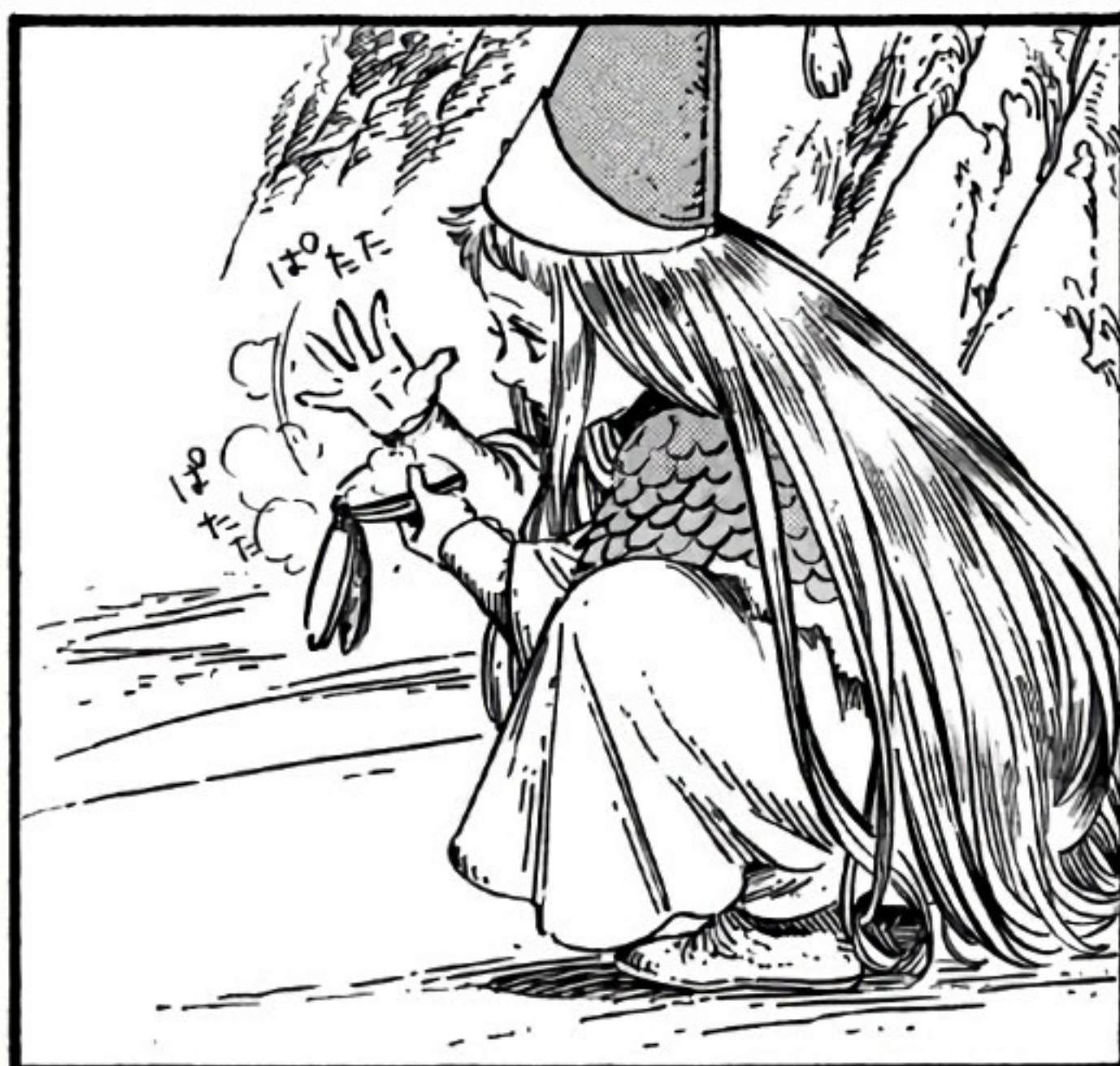
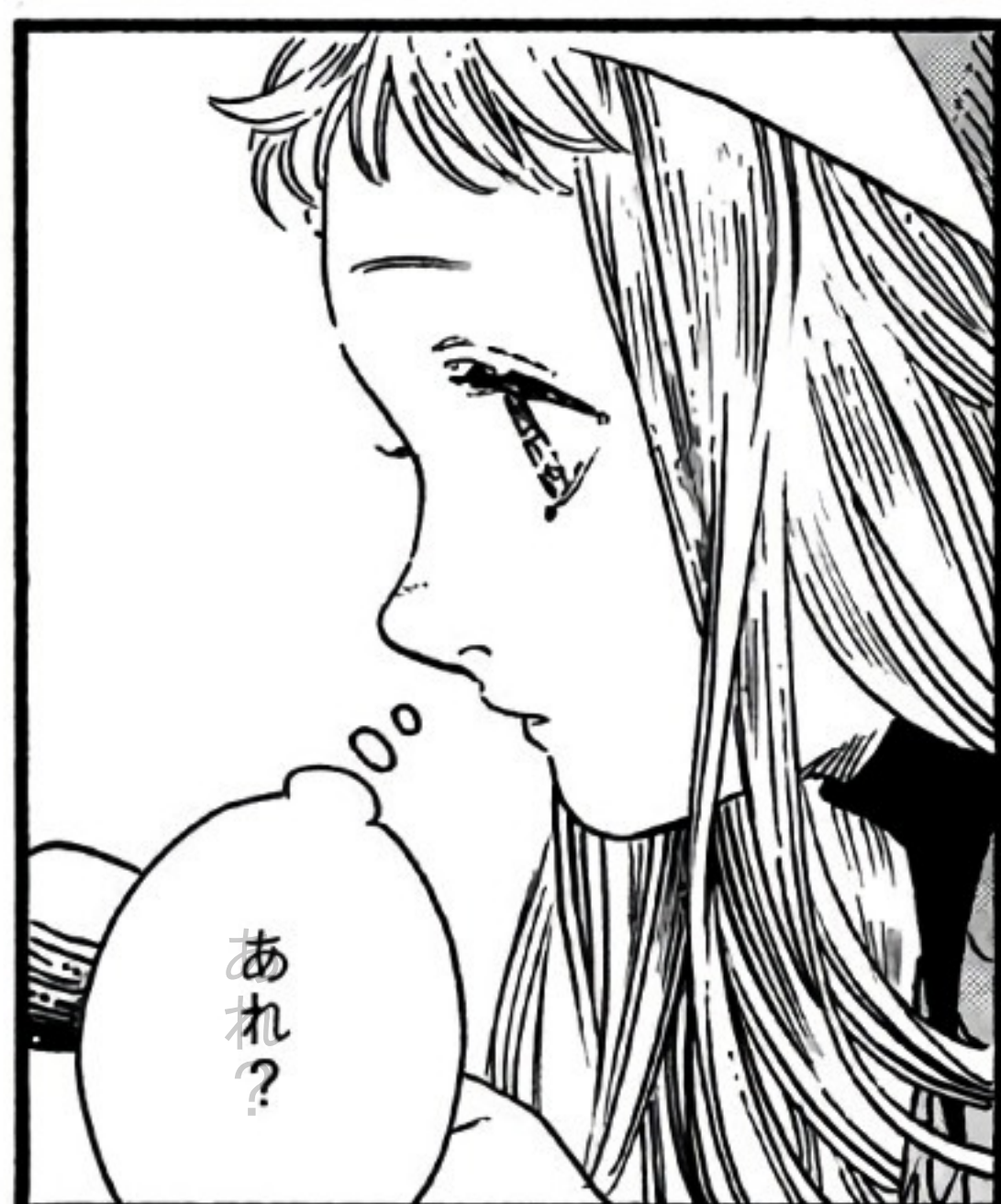
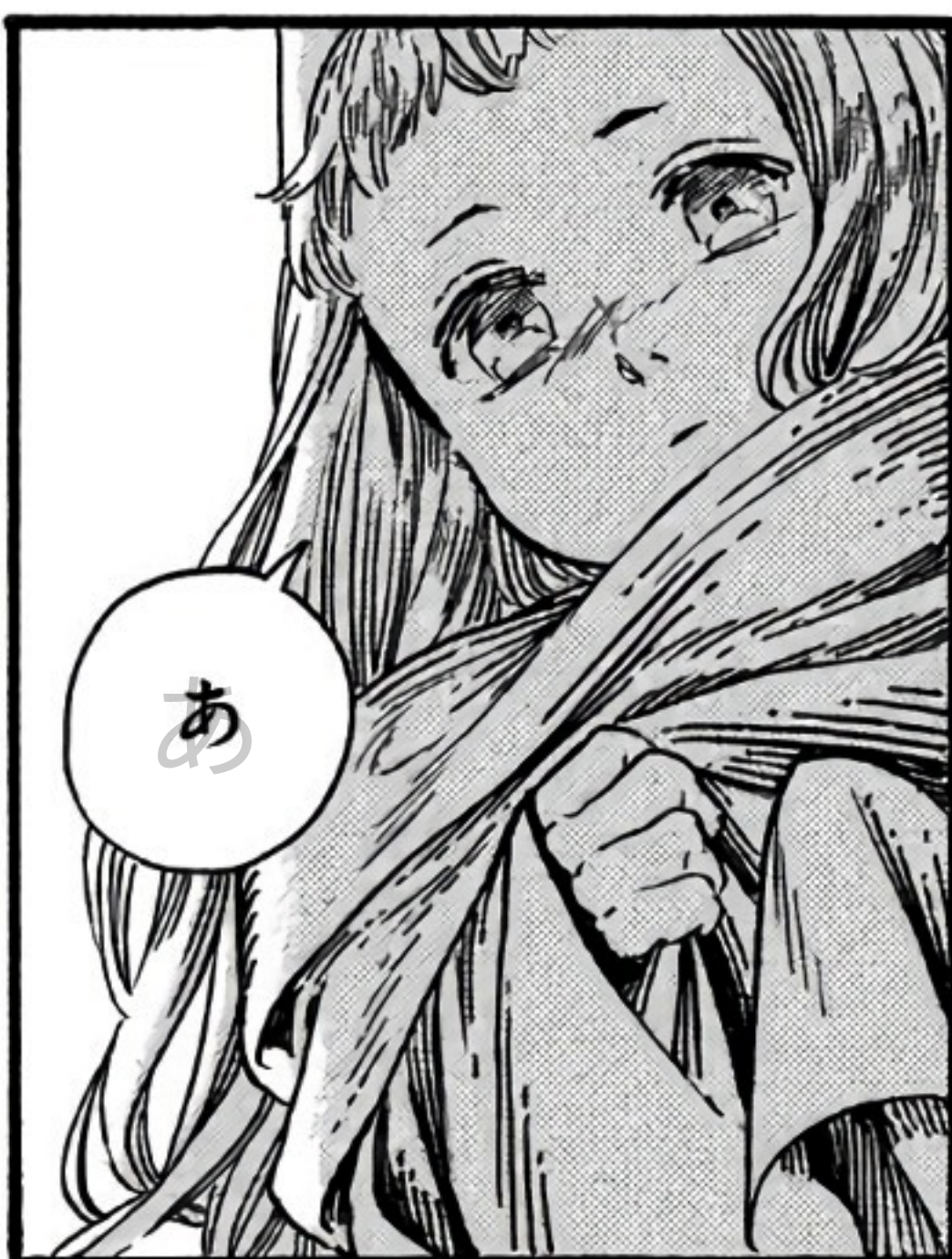
どの道を
どう進めば

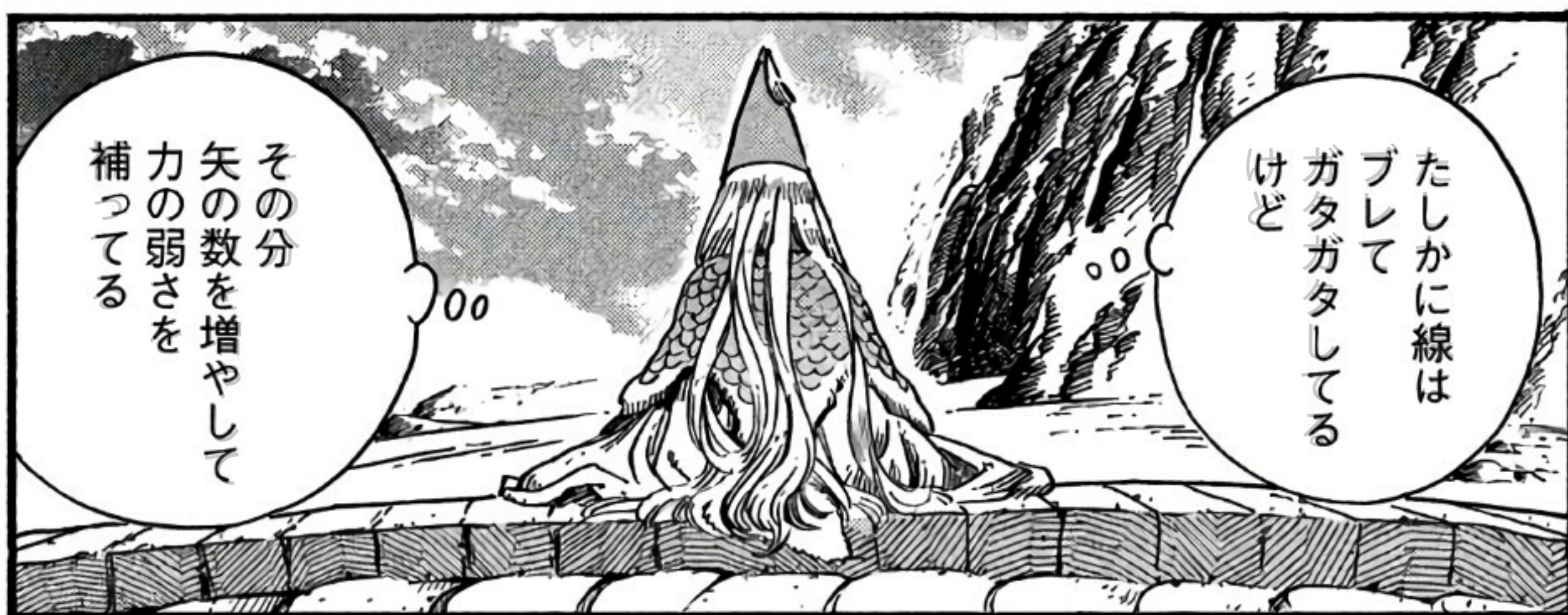
リチエは
リチエの思う
リチエに
なれるの











怖かった

逃げるように
大講堂から遠い
キトリエ先生の
アトリエに
移っても

意地になって
学ぶことを
拒んだ

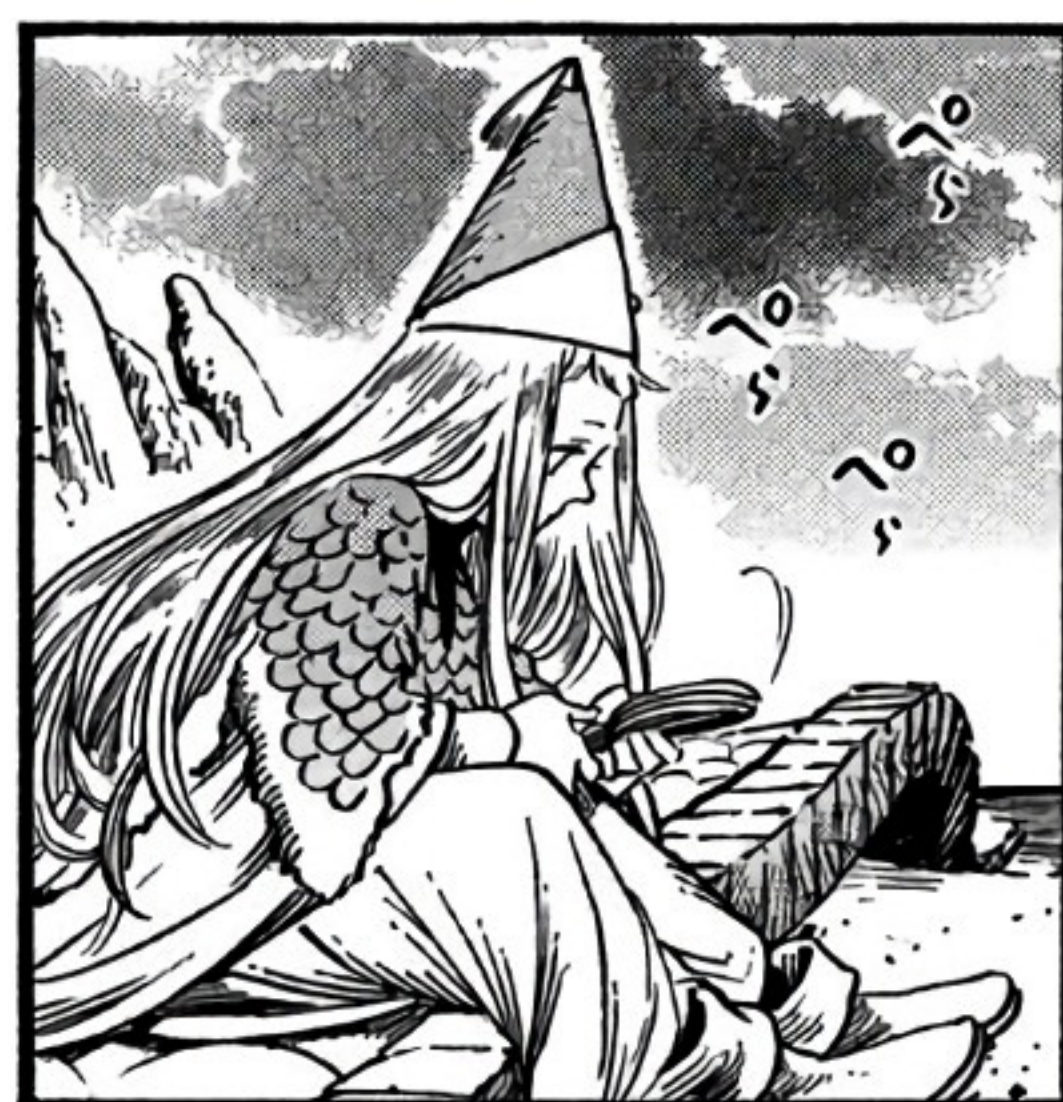
たくさん魔法を
学べば
学べば

その分
自分が
消えちゃって

つまらない
誰かに
なる気がして

でも

消えないん
だ



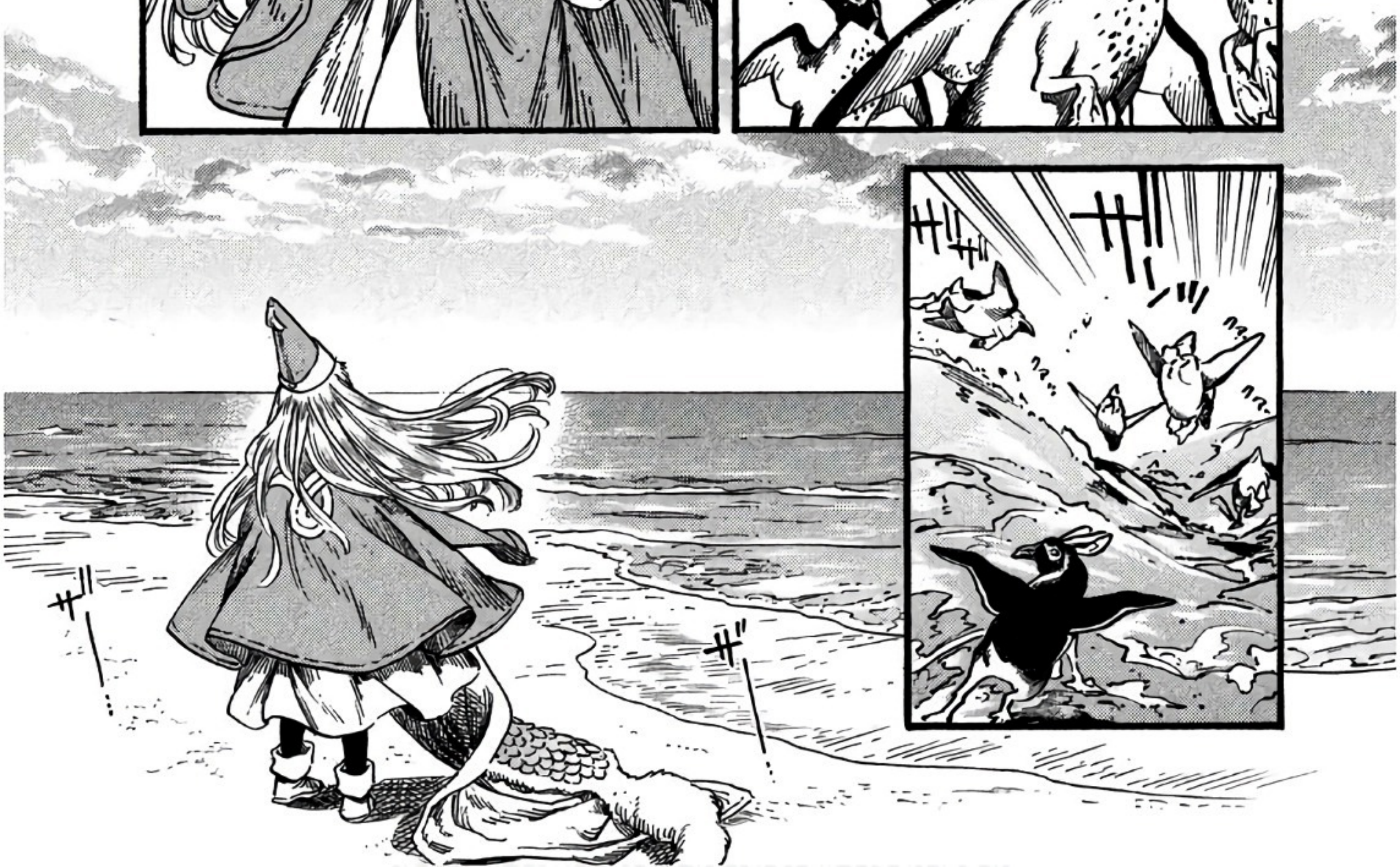
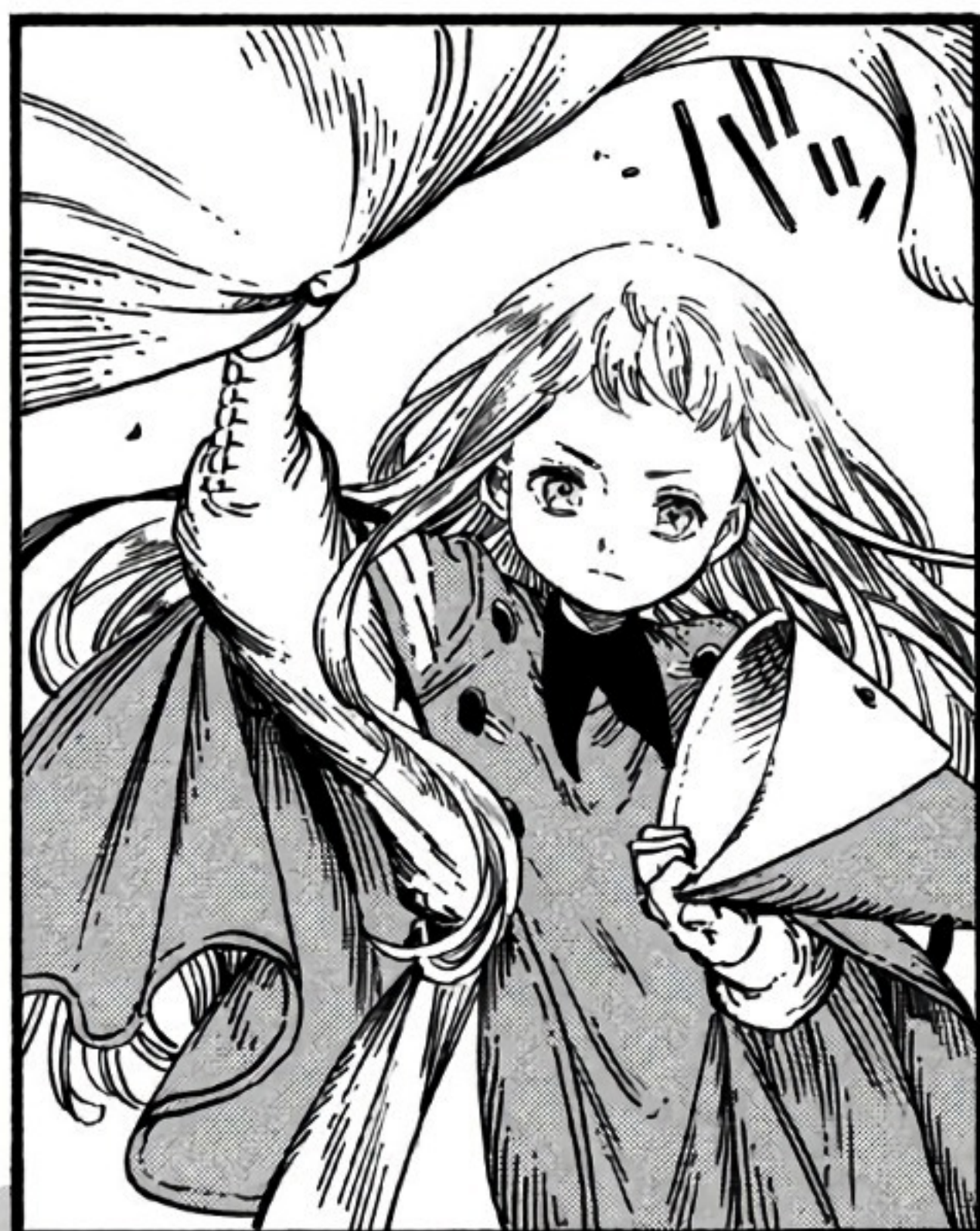
だって
ここにいる

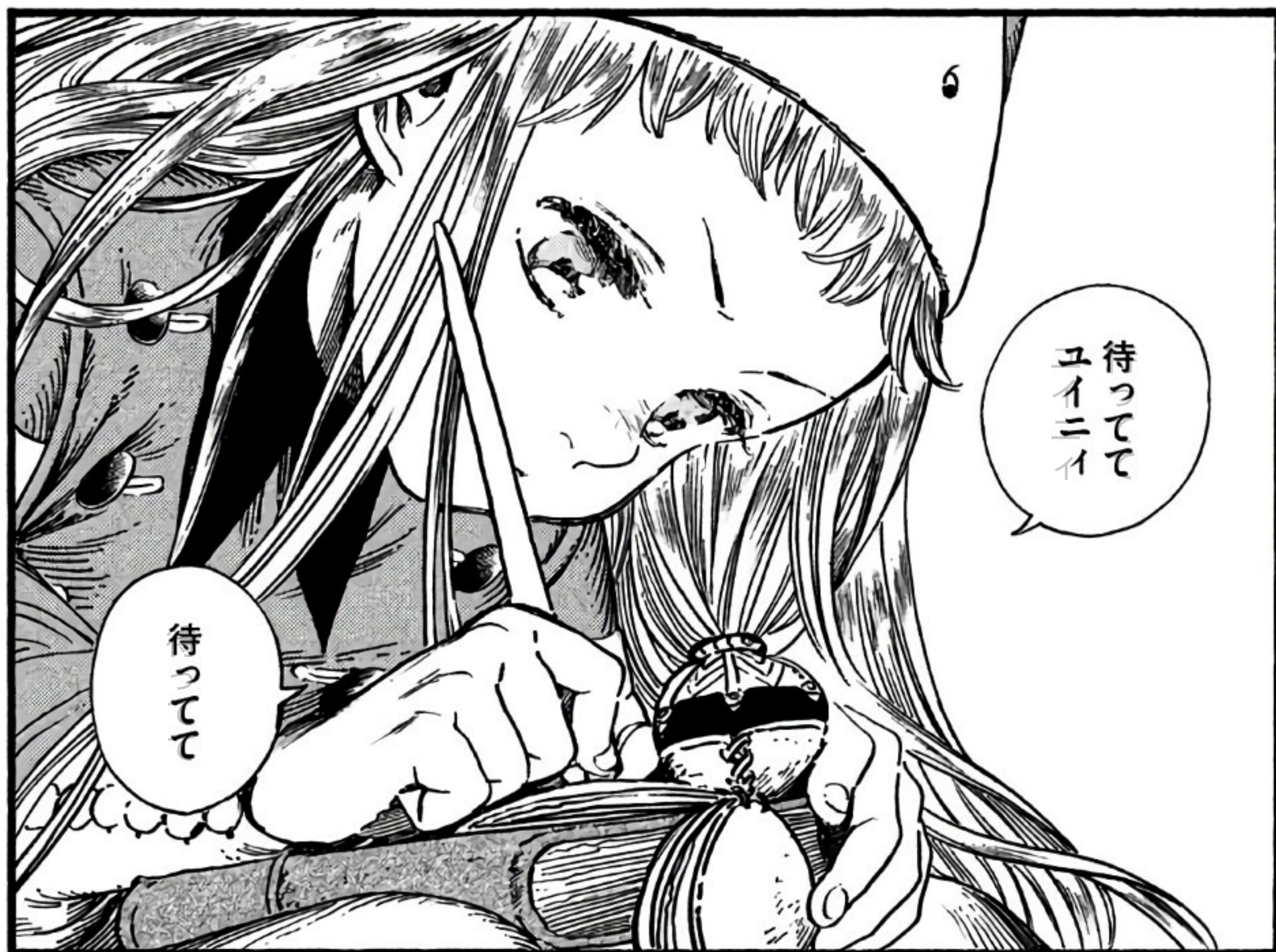
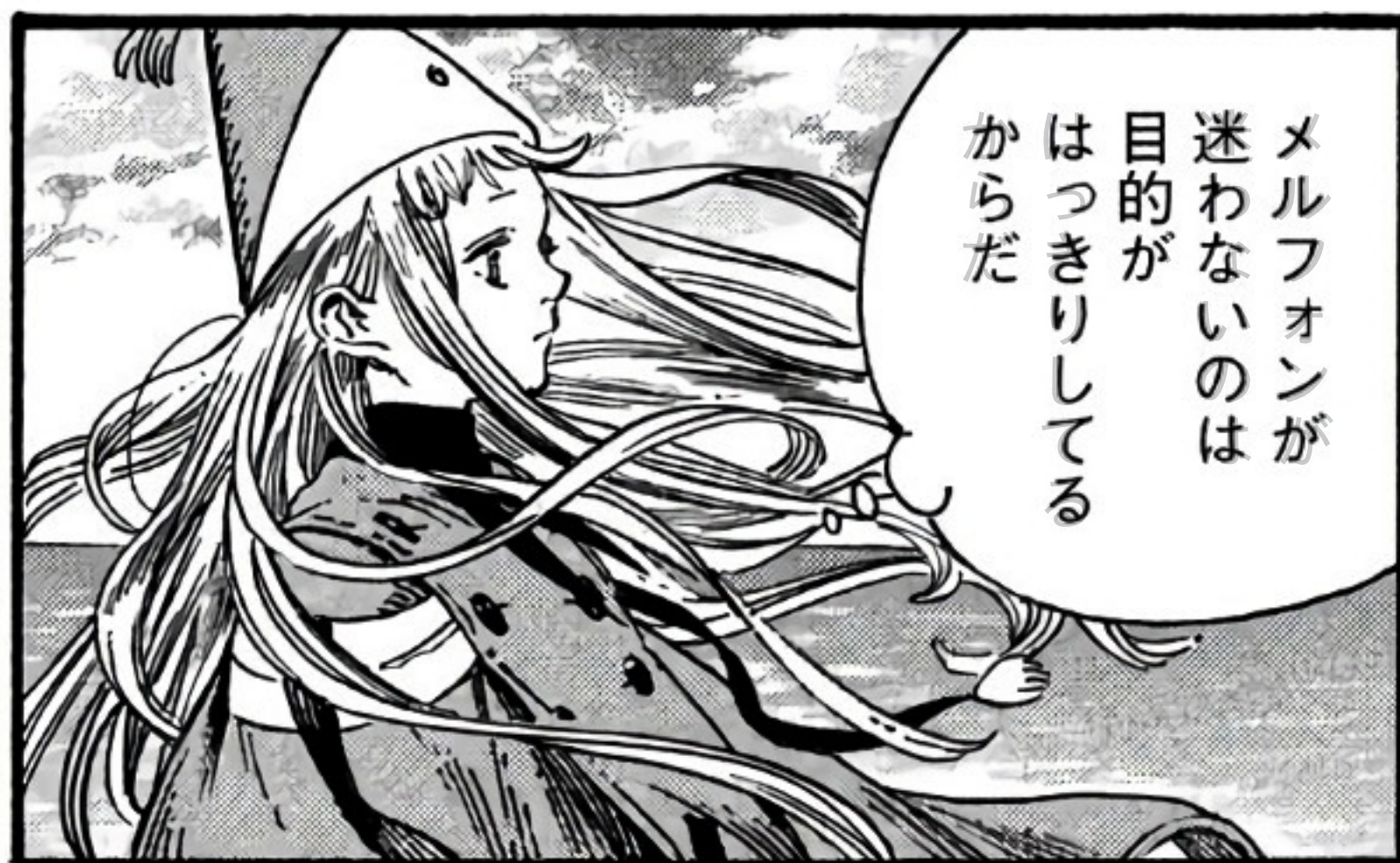
どんな
一本の線の
中にも

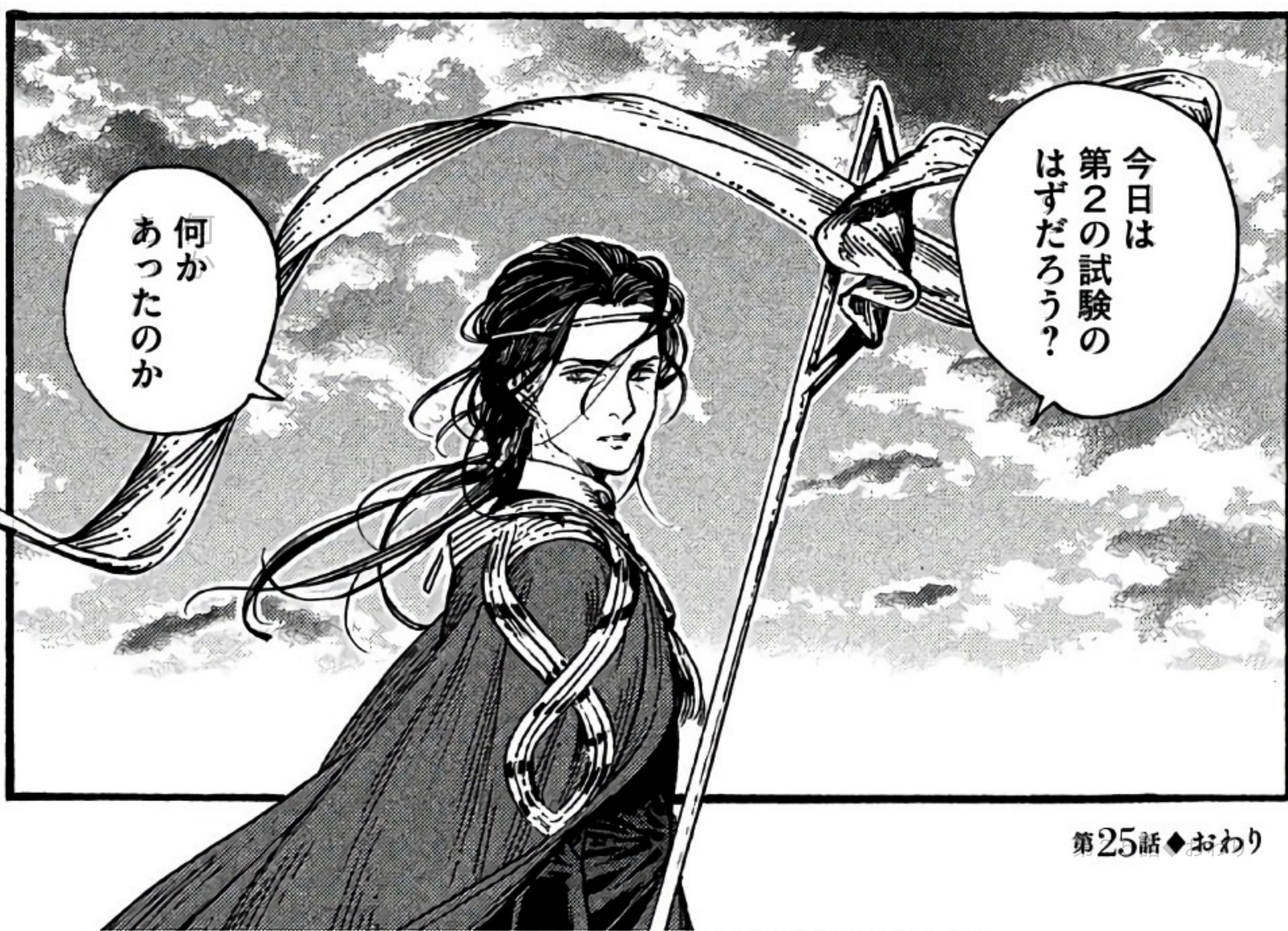
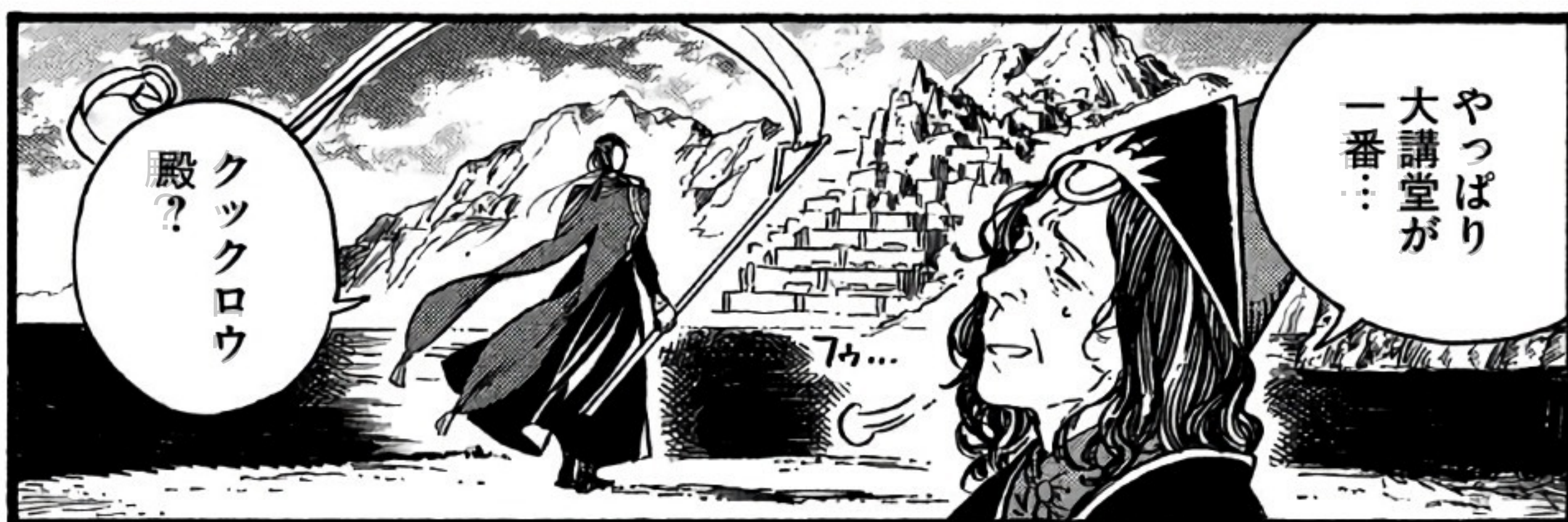
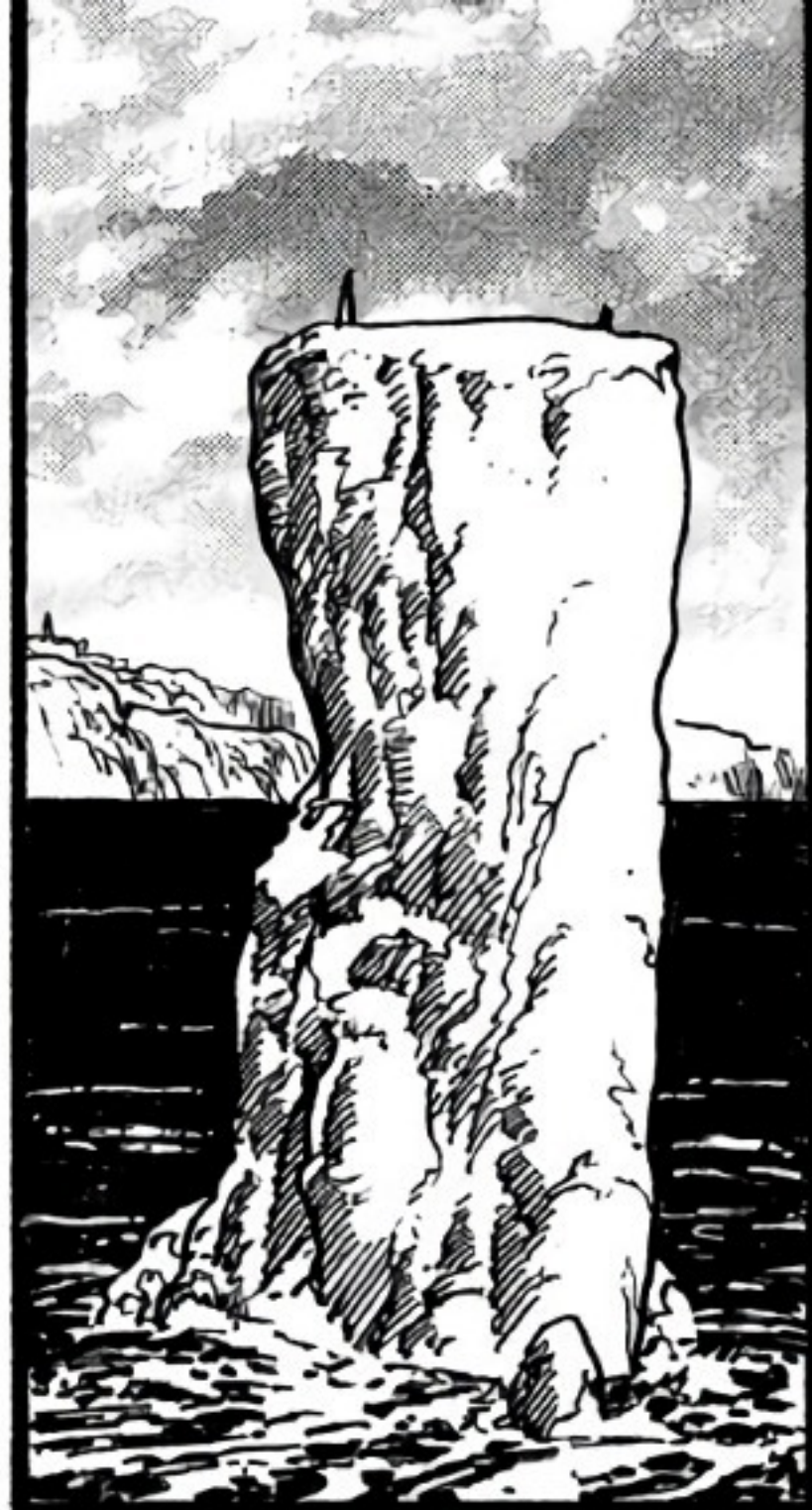
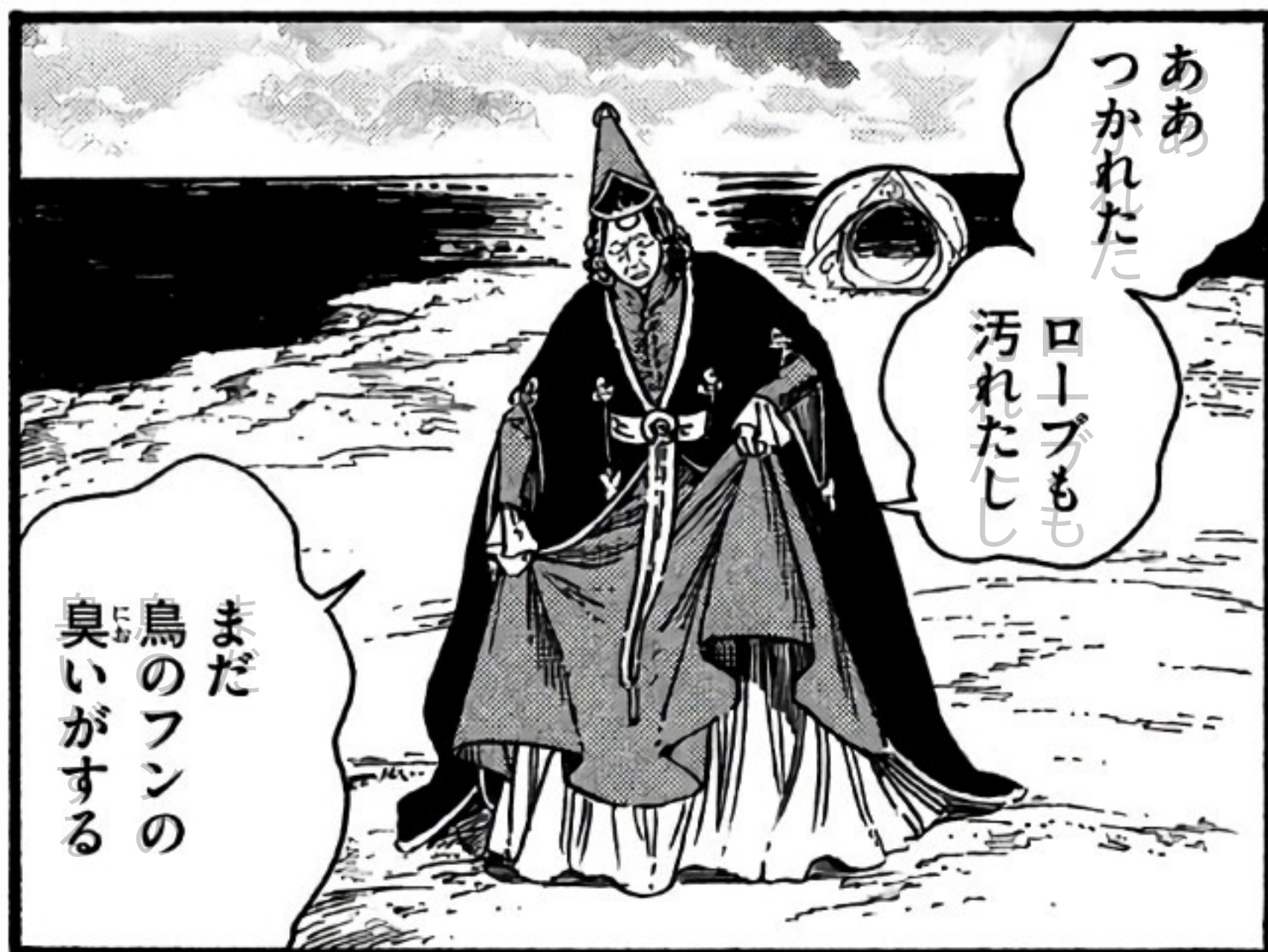
最初から
ずっと

自分が
いたんだ







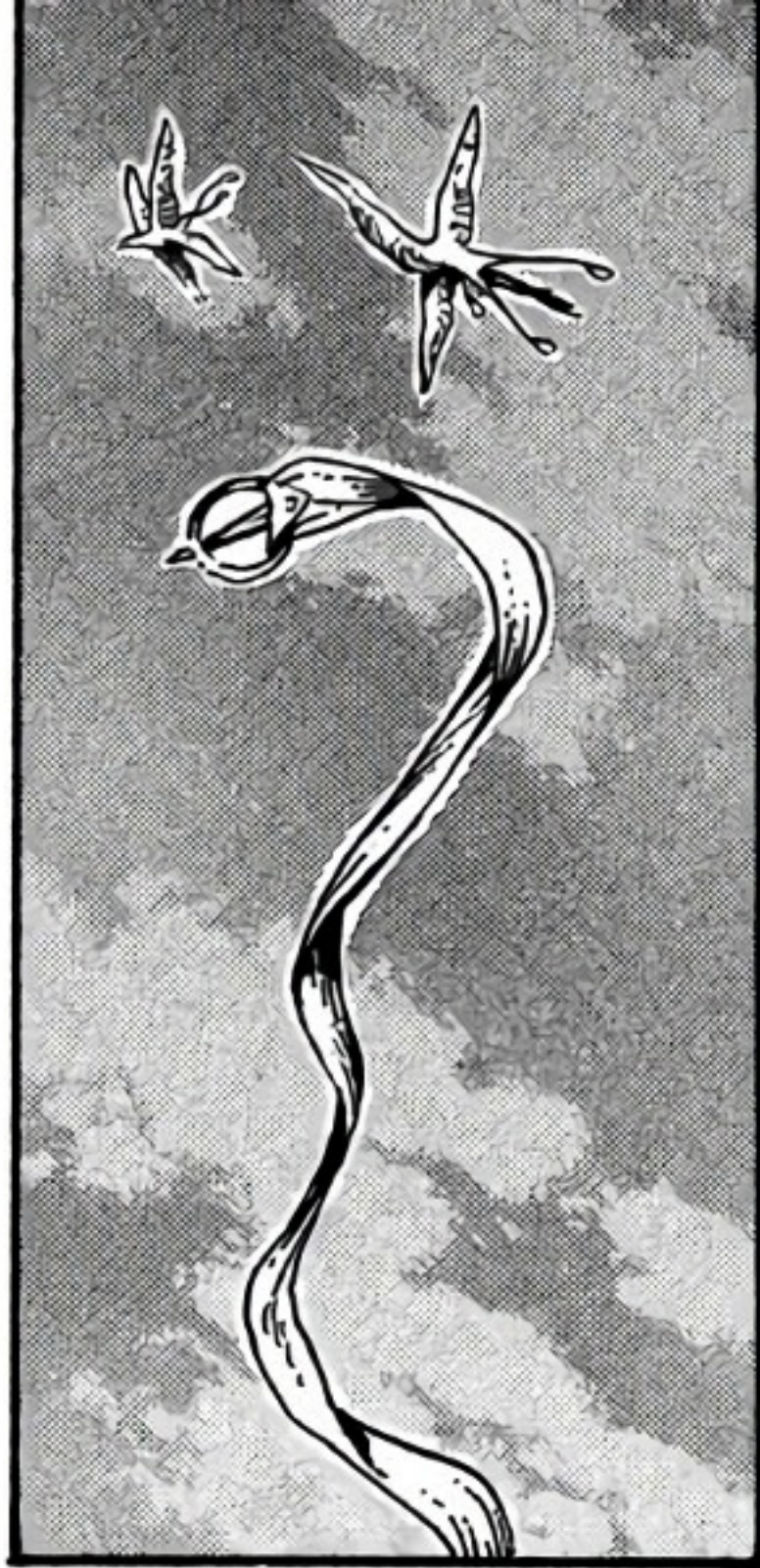


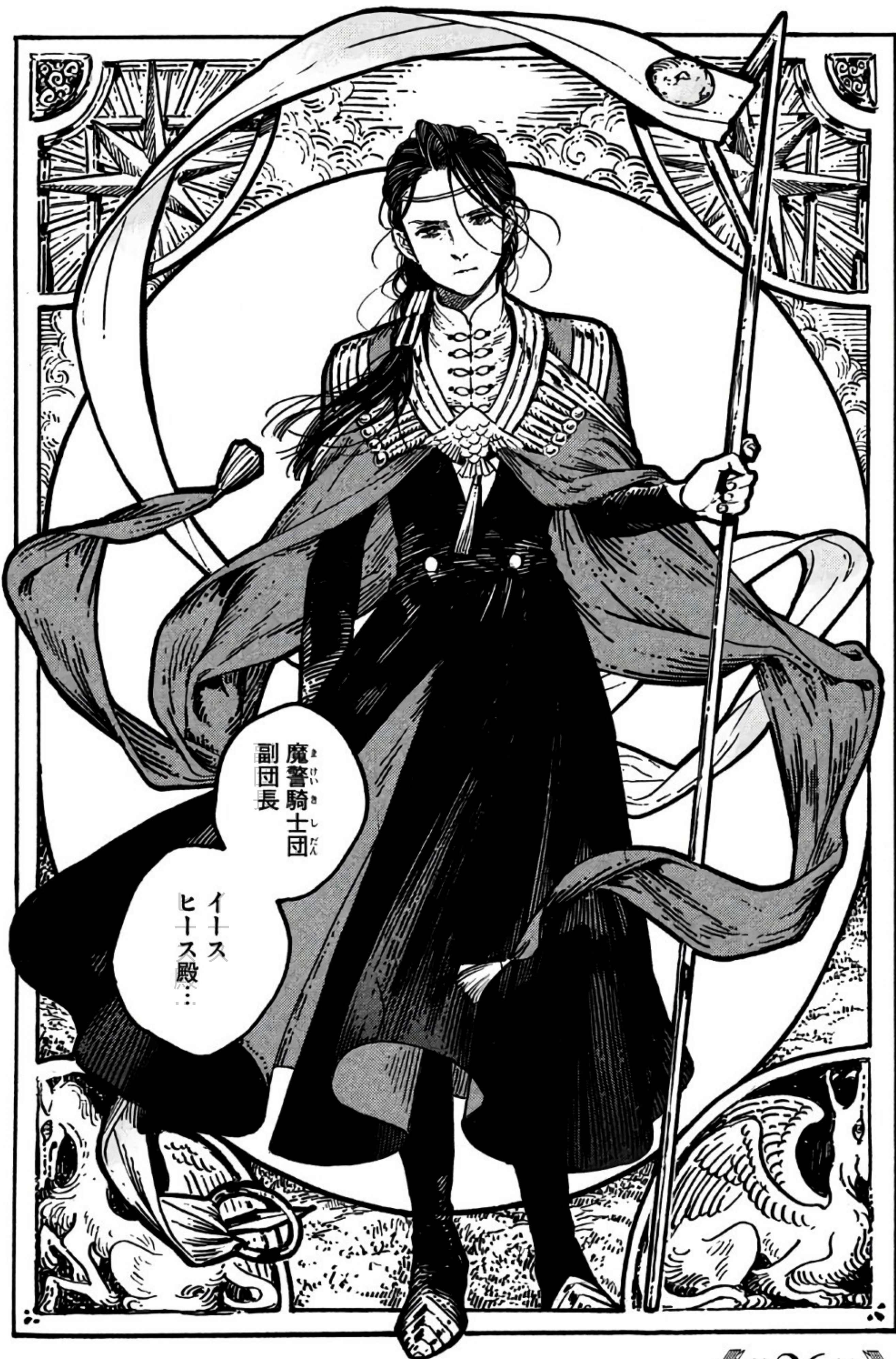
とんがり帽子のアトリエ

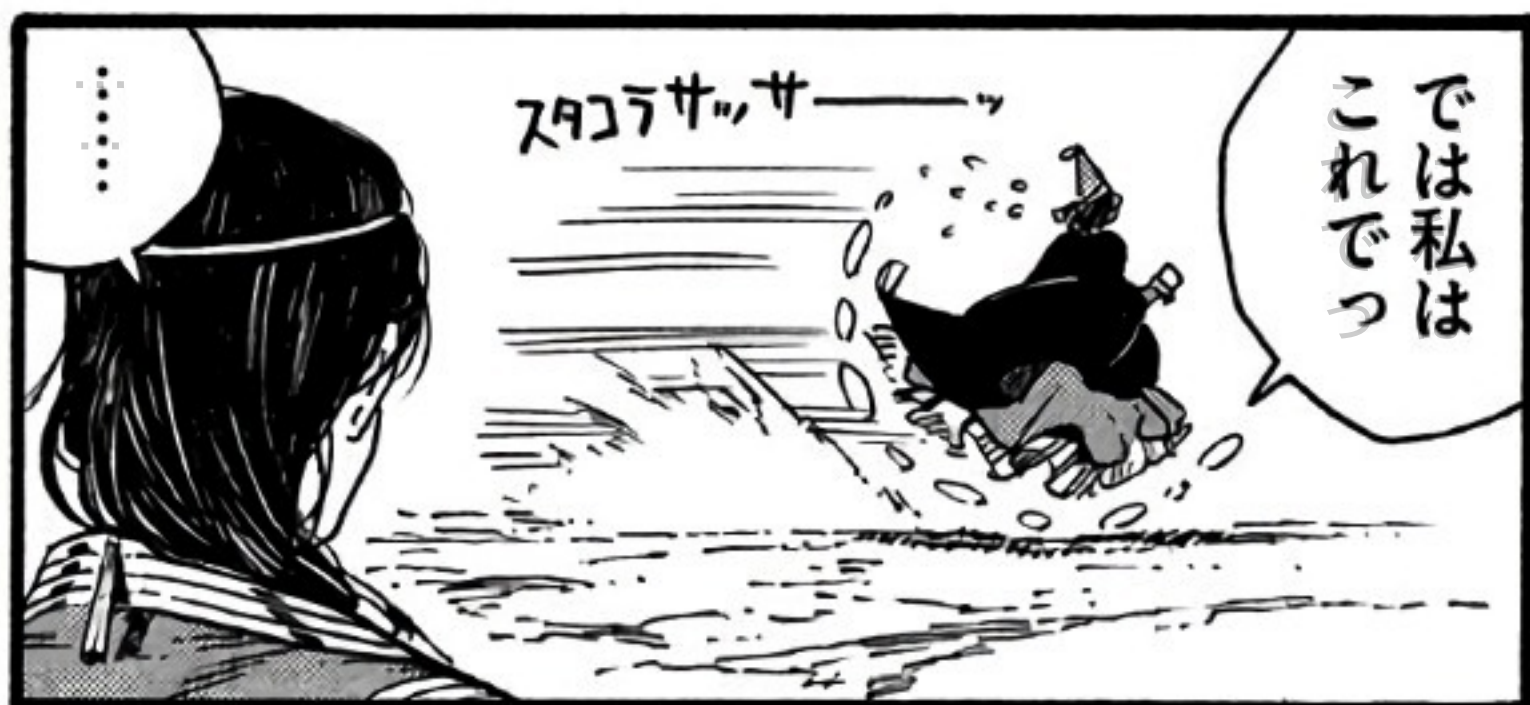
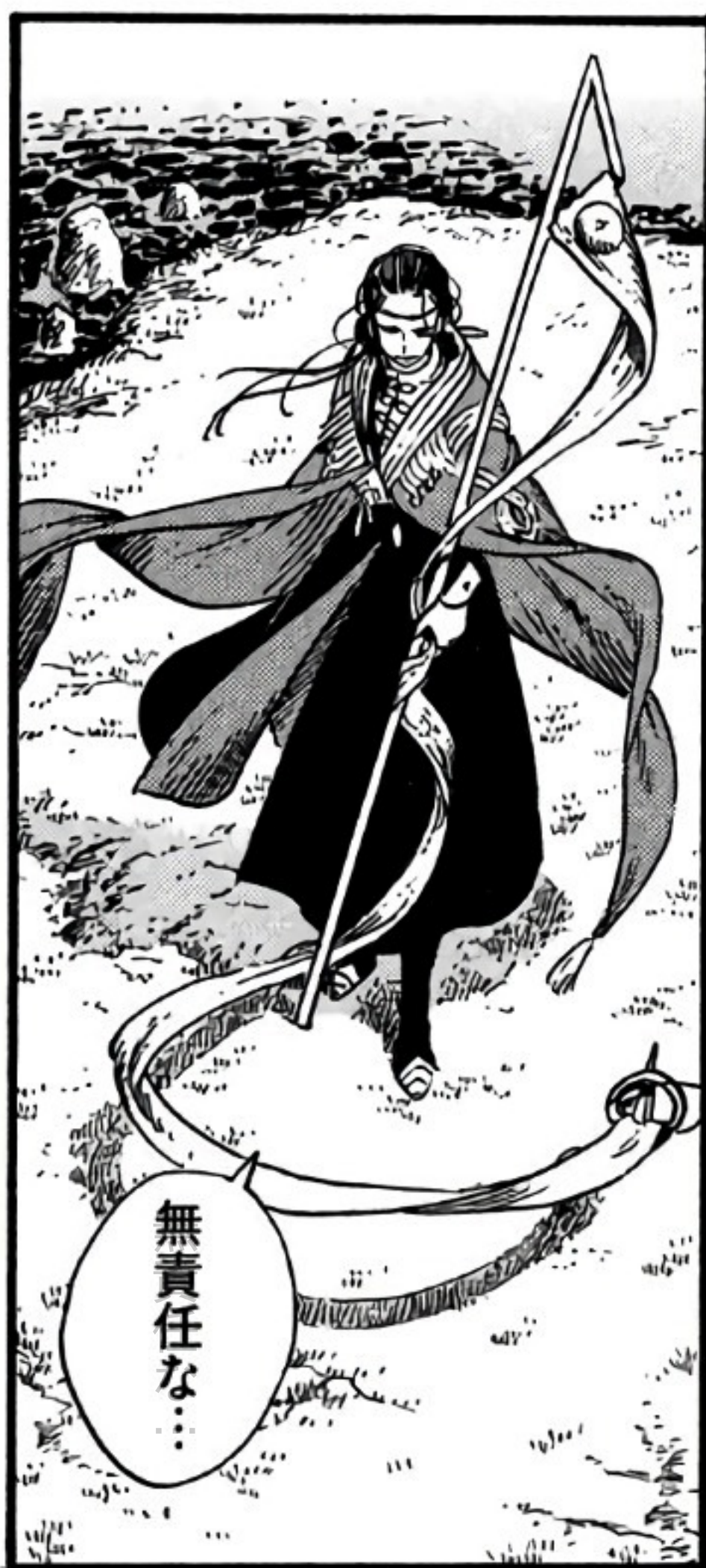


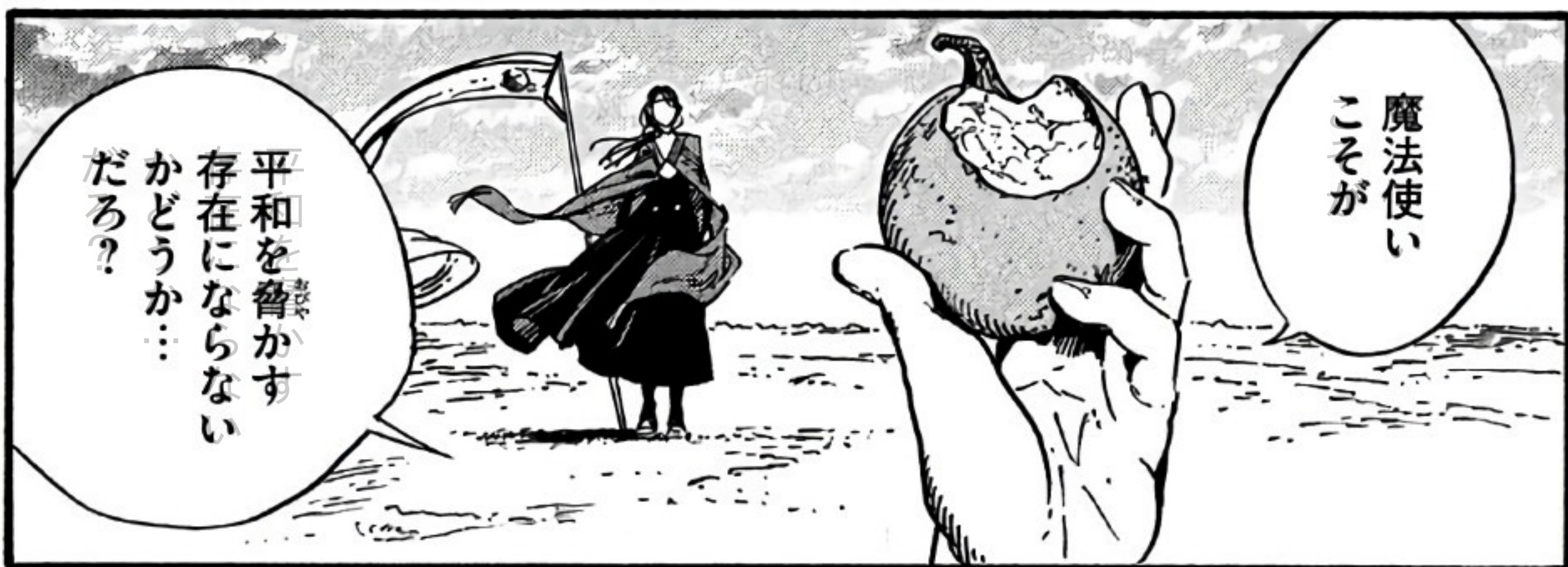
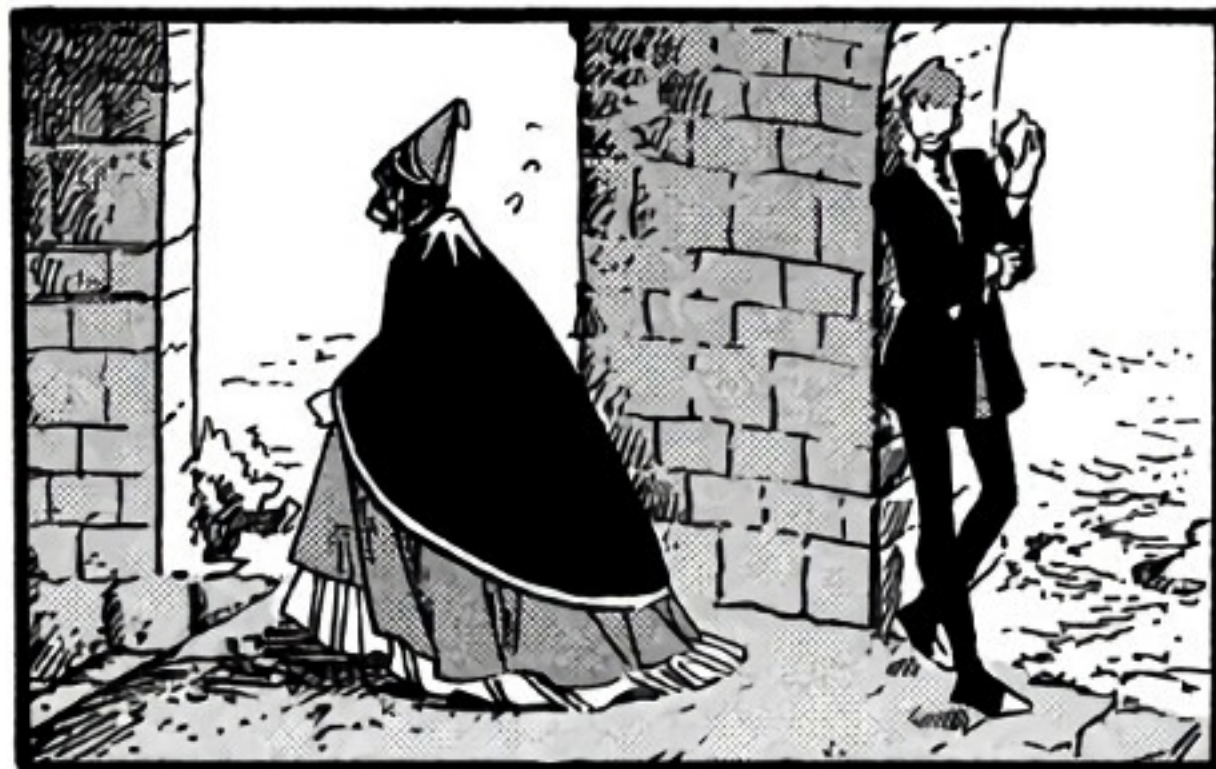
ATELIER OF WITCHAHAT

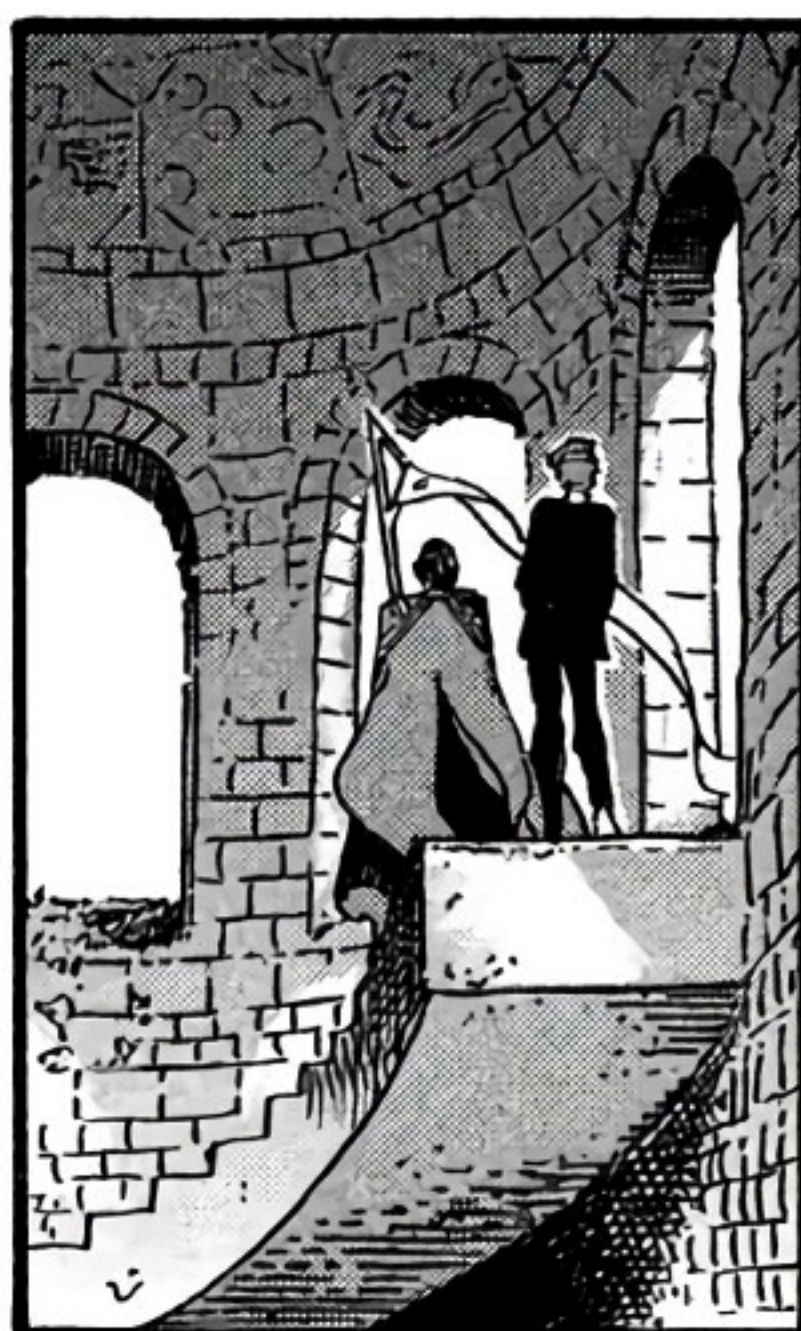
















イースヒース
副団長っ！



俺早く外で
暴りたいなあ

待ちきれ
なくて
ウズウズ
だよお！

キン

キン

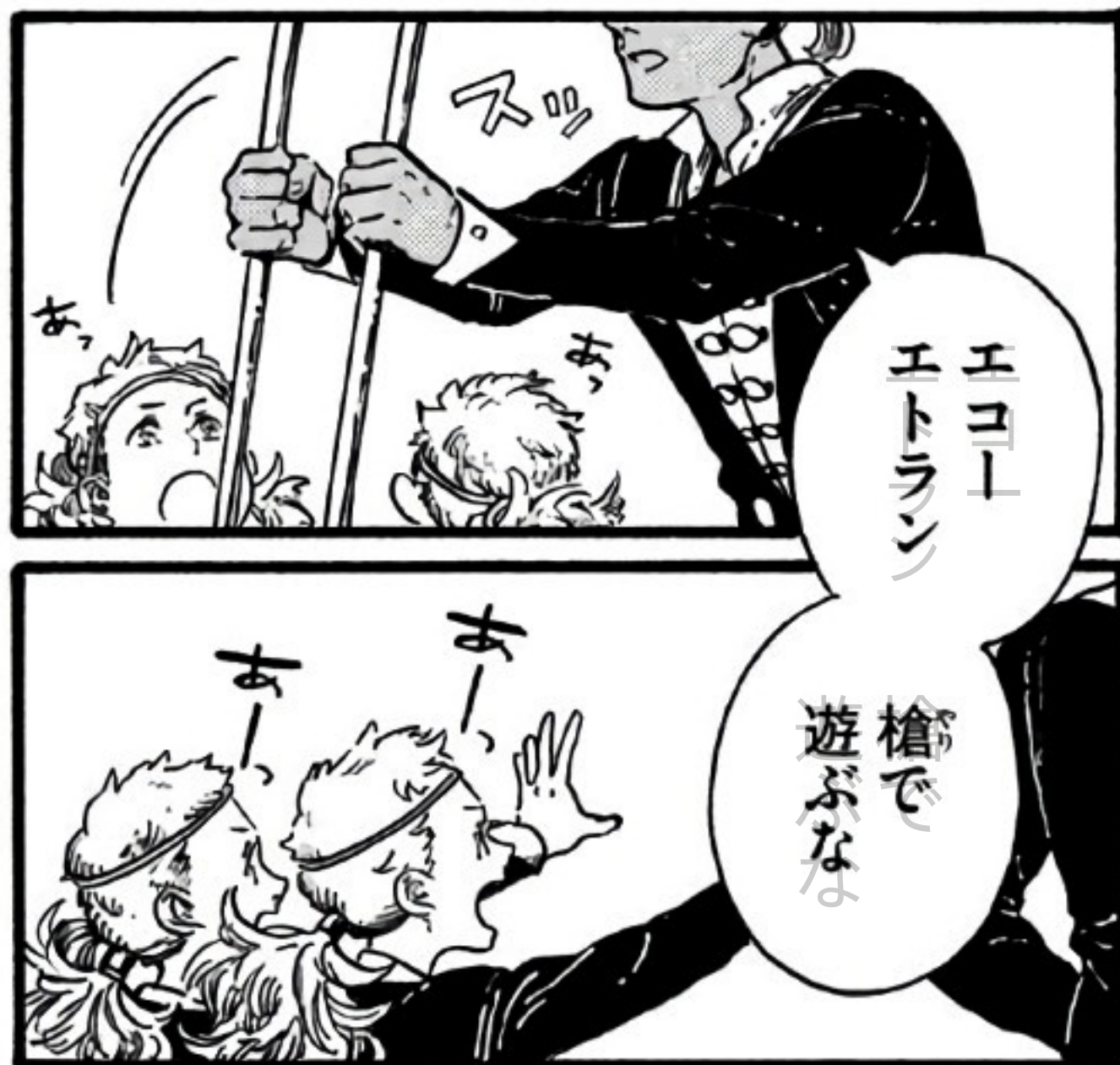
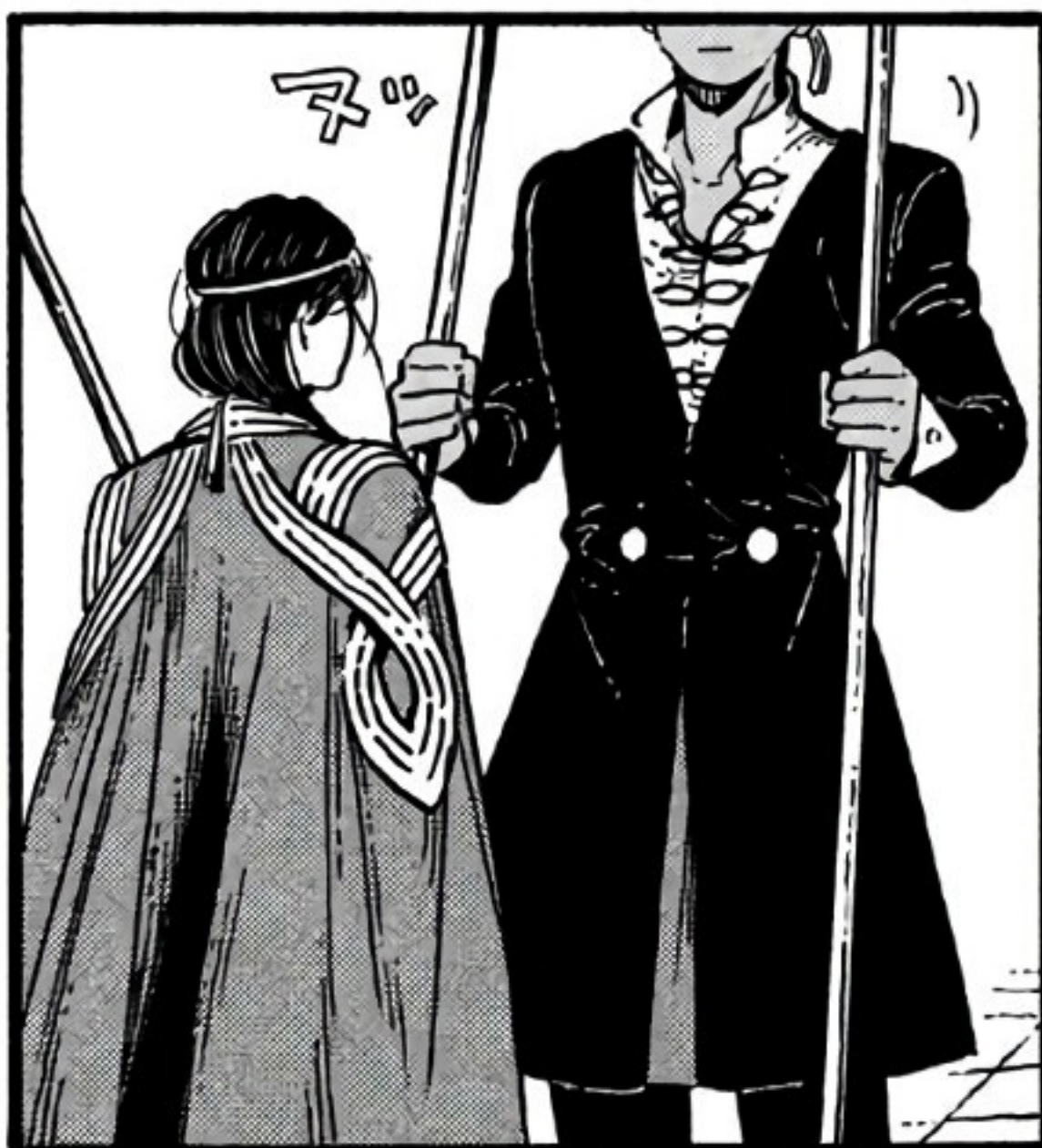
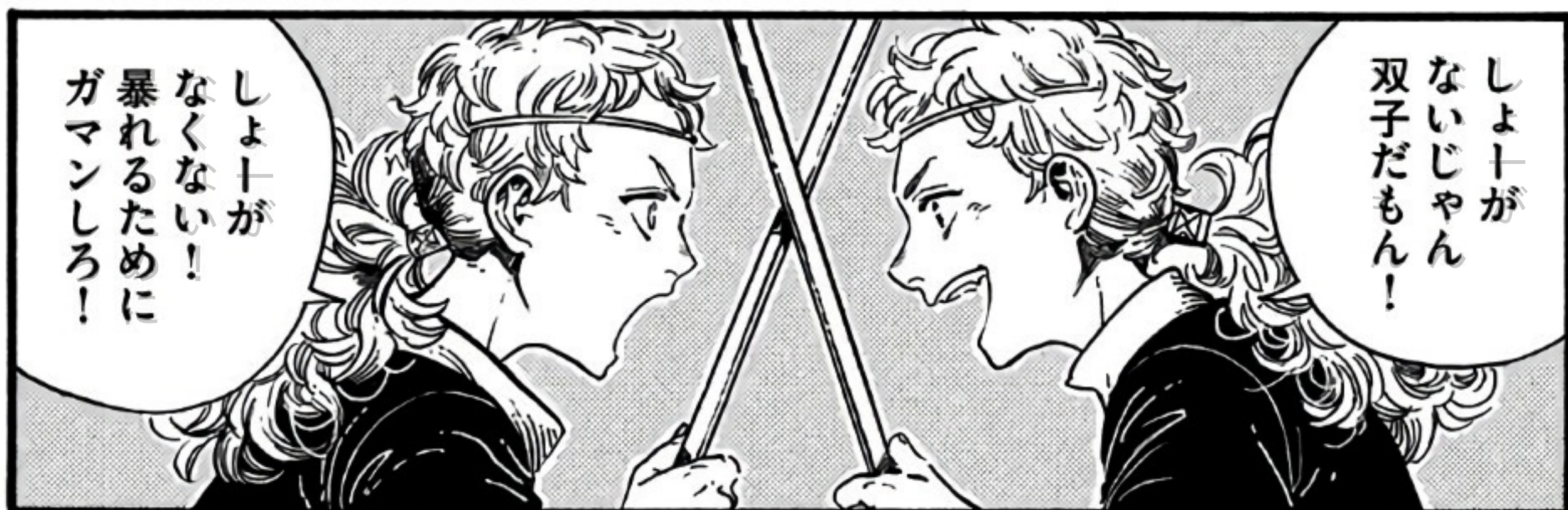
キン

こら
エコー！

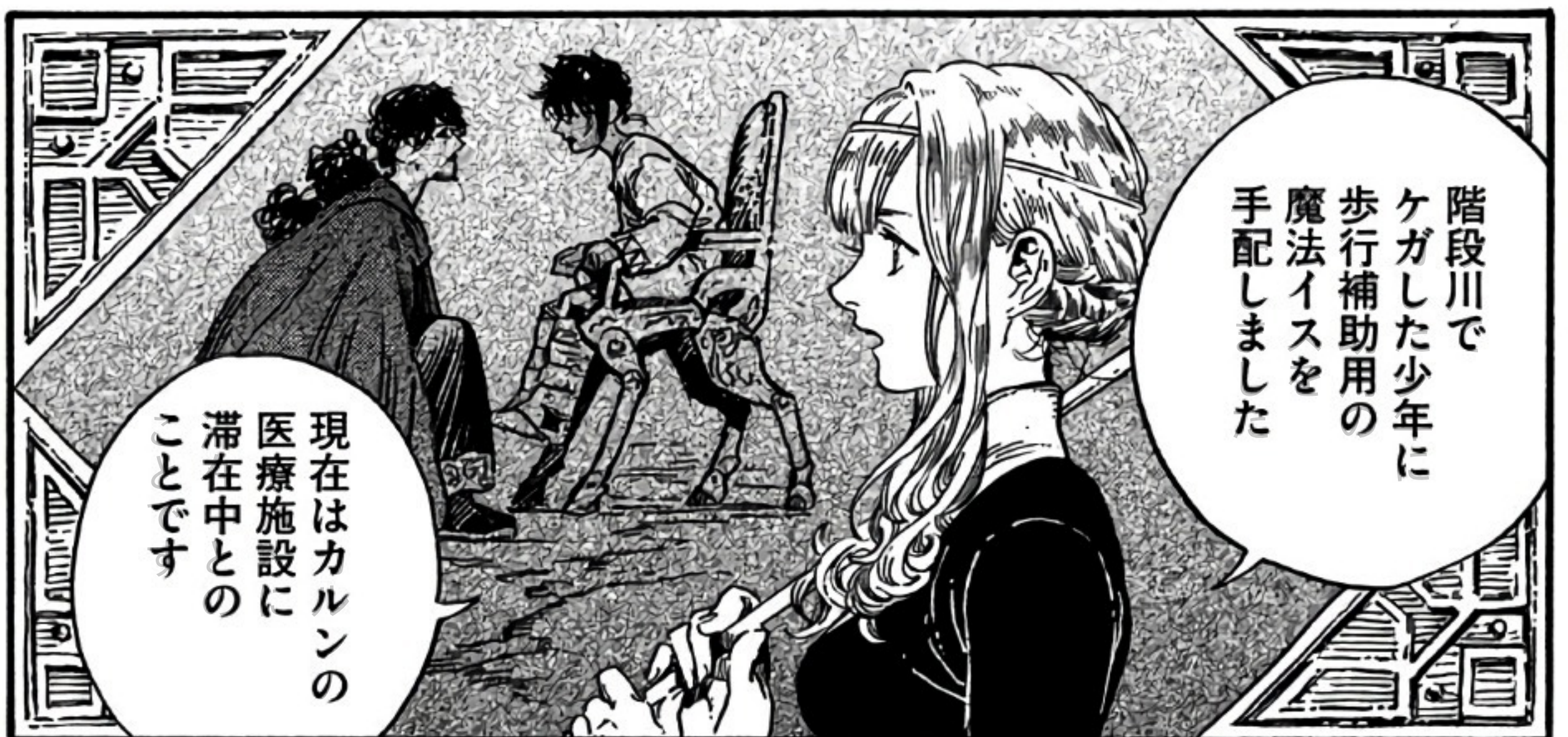
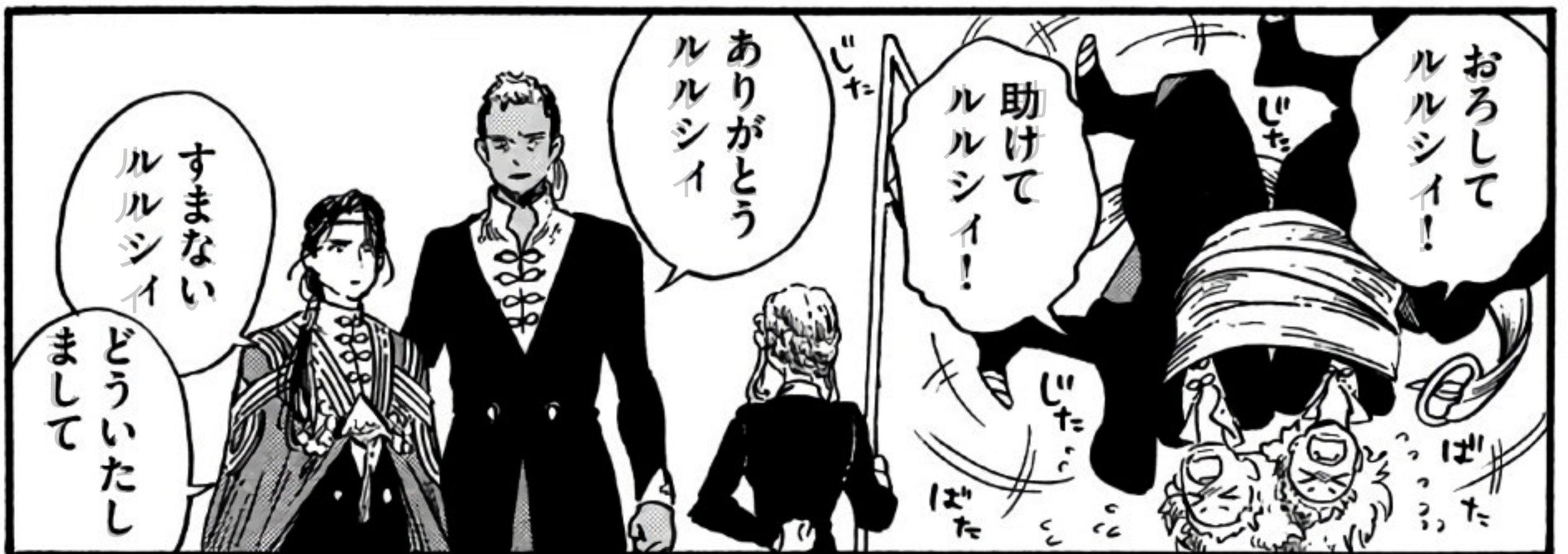


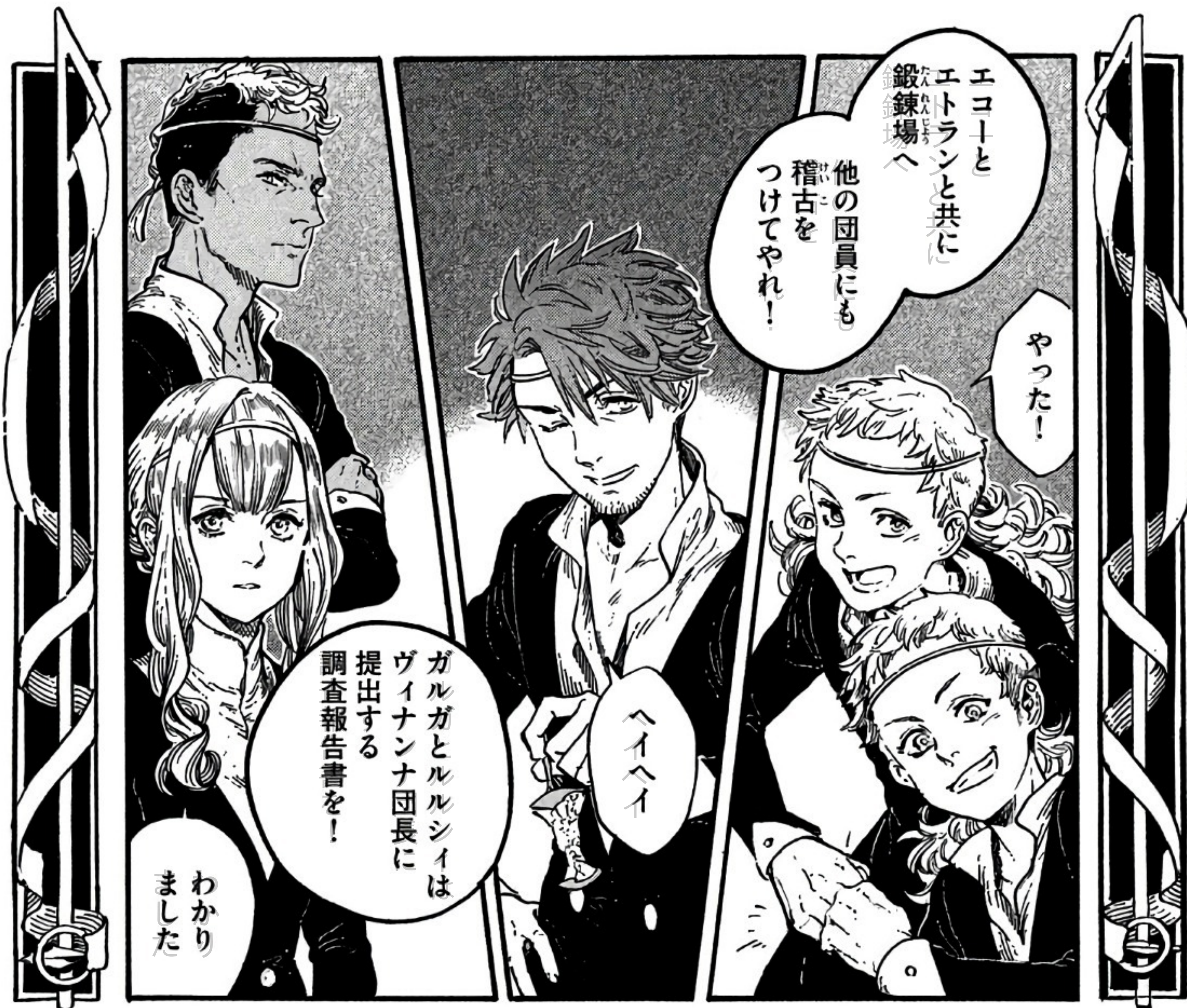
ねえねえ
まだ？

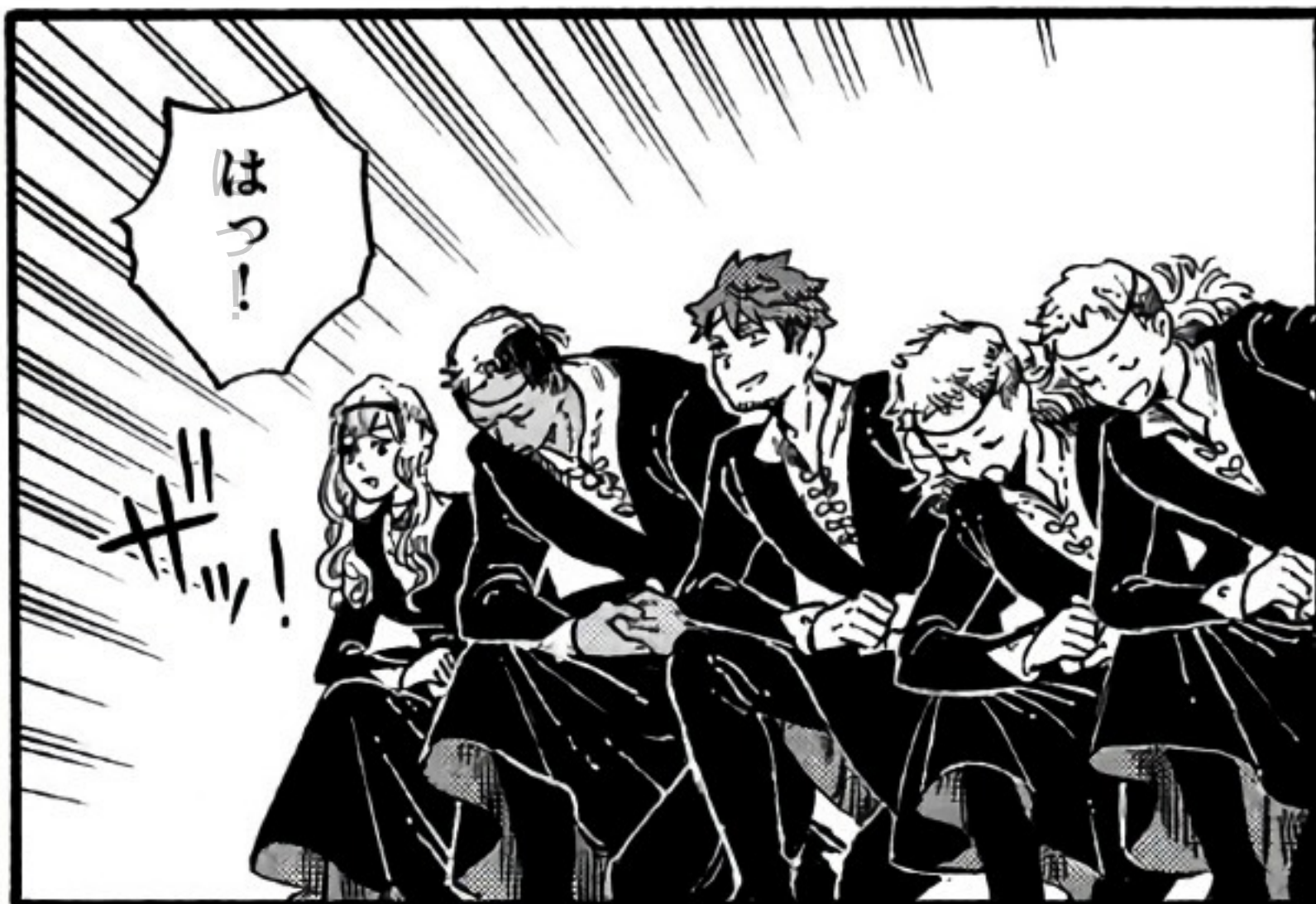
次の
魔警団への
出動要請！

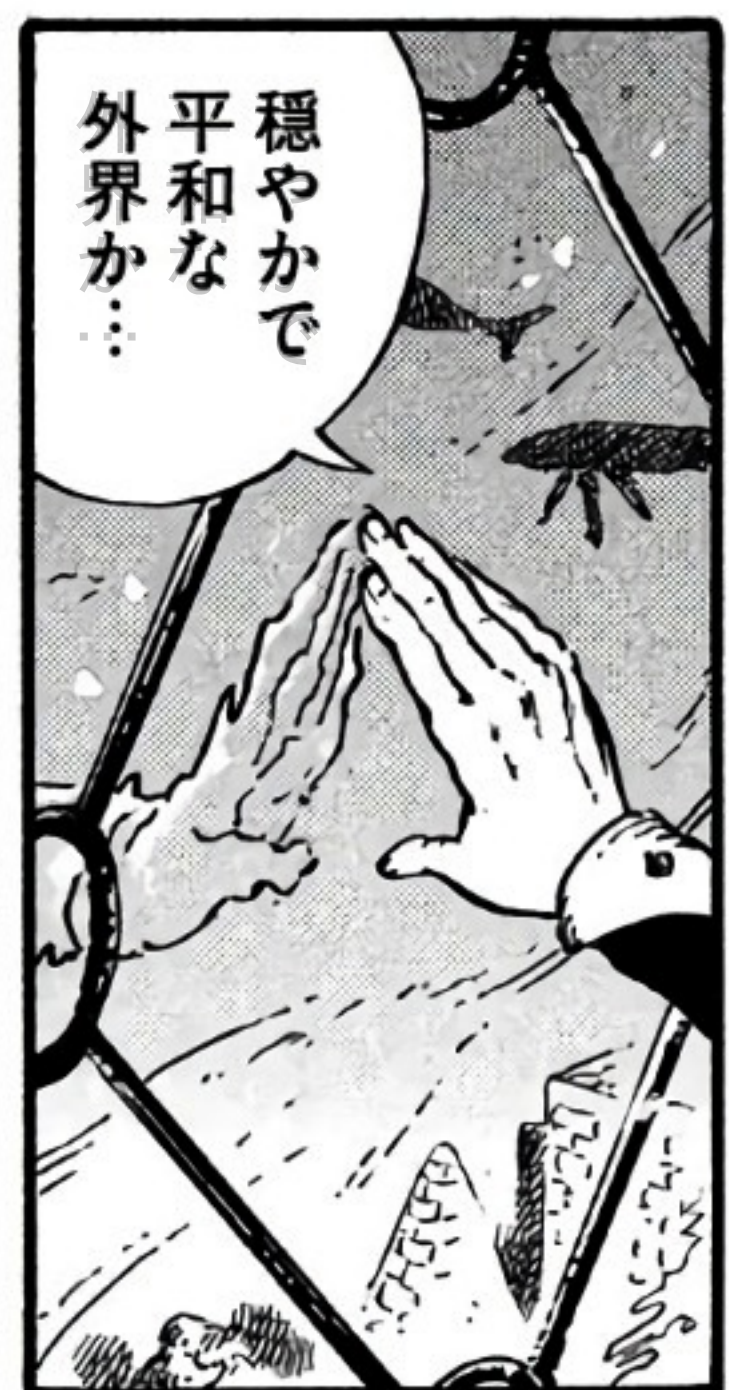
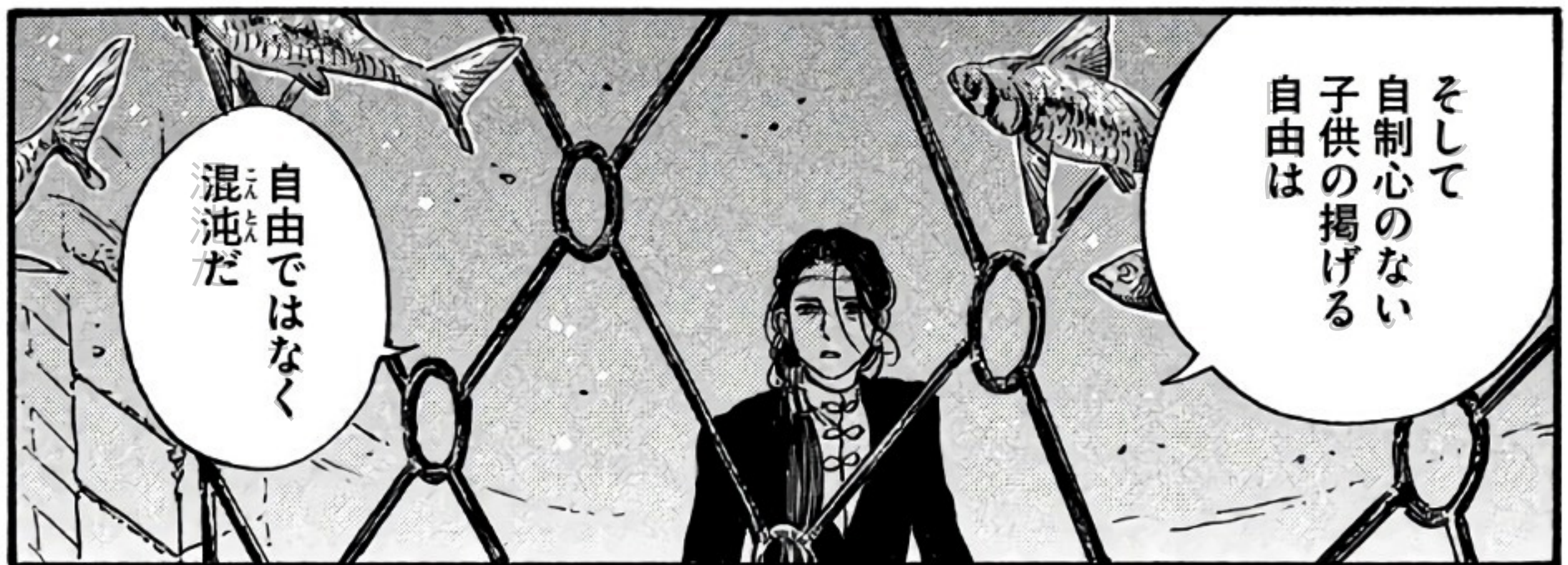


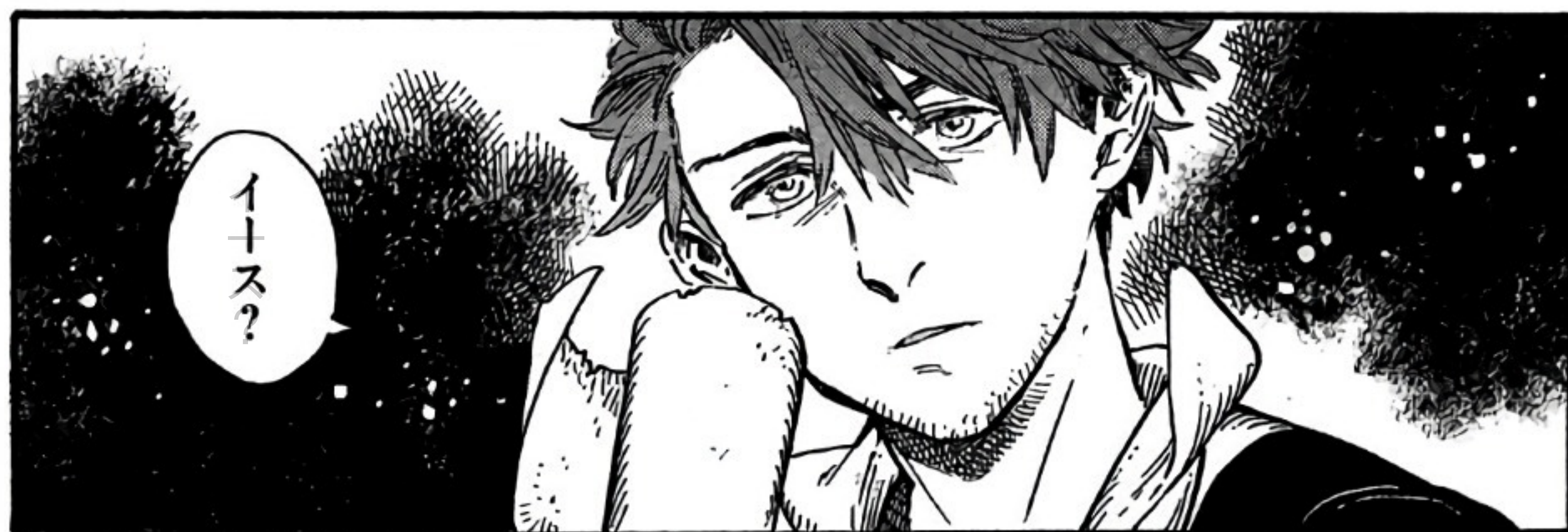


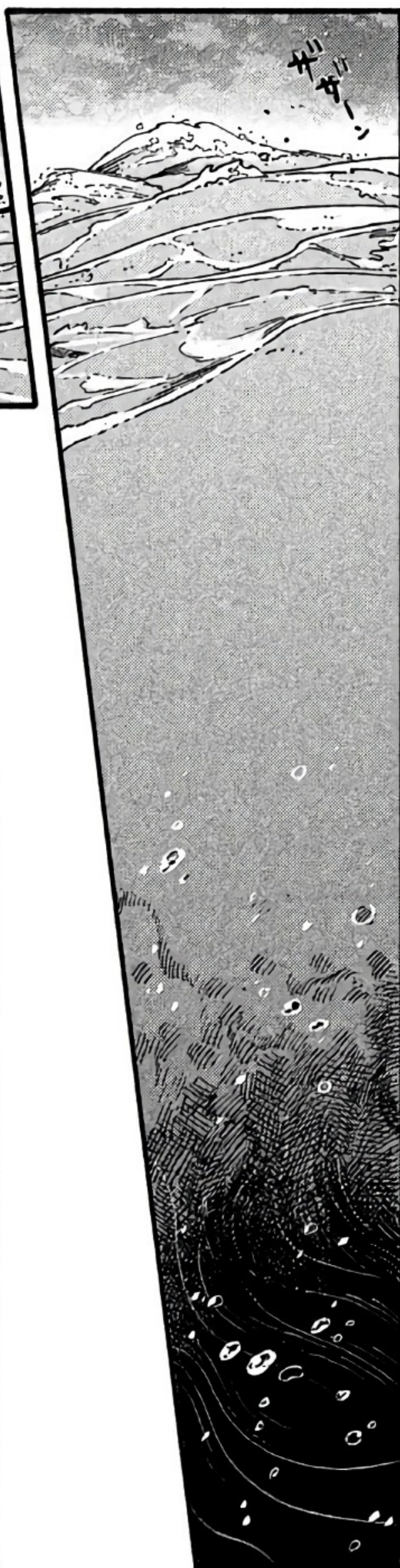
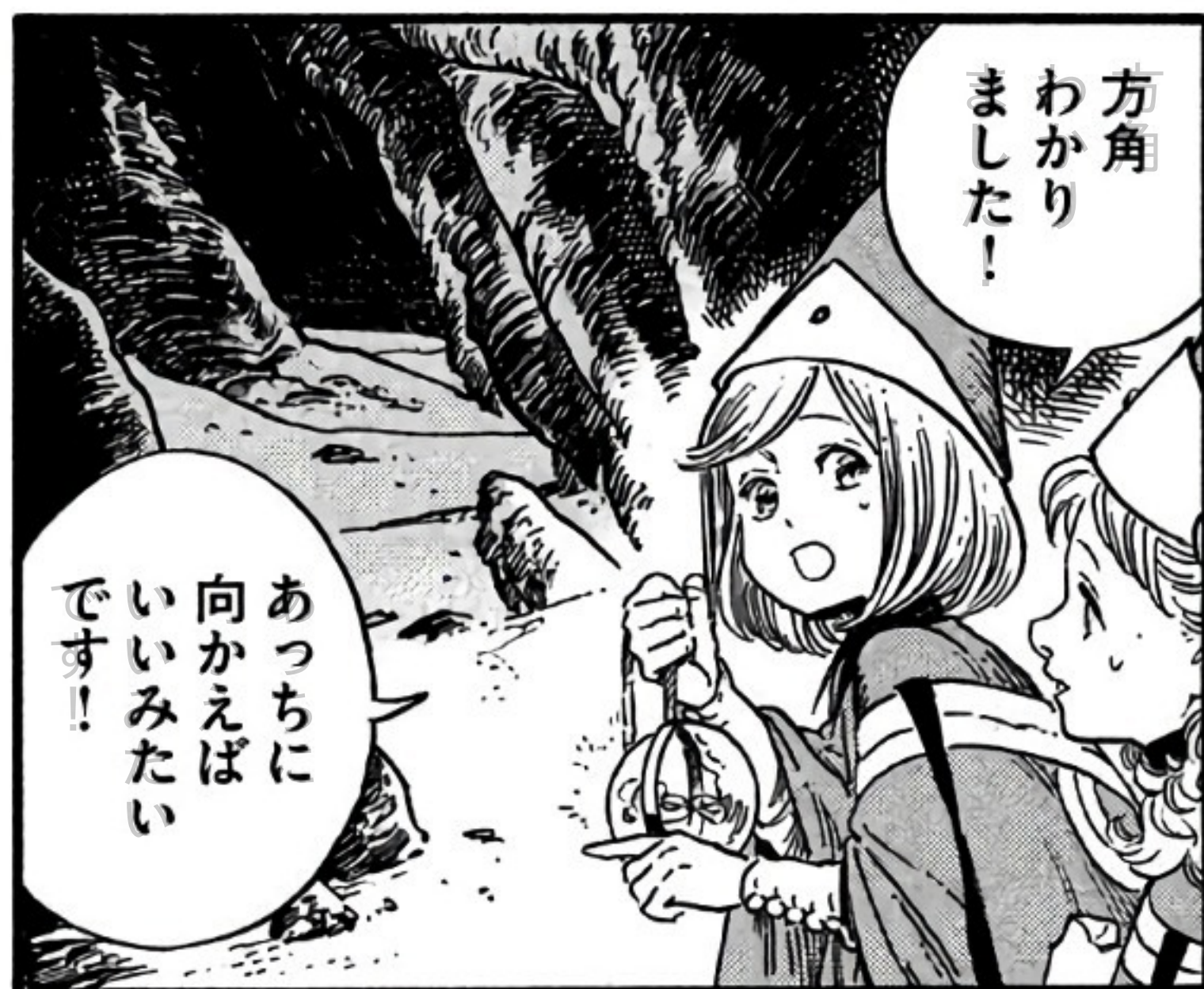
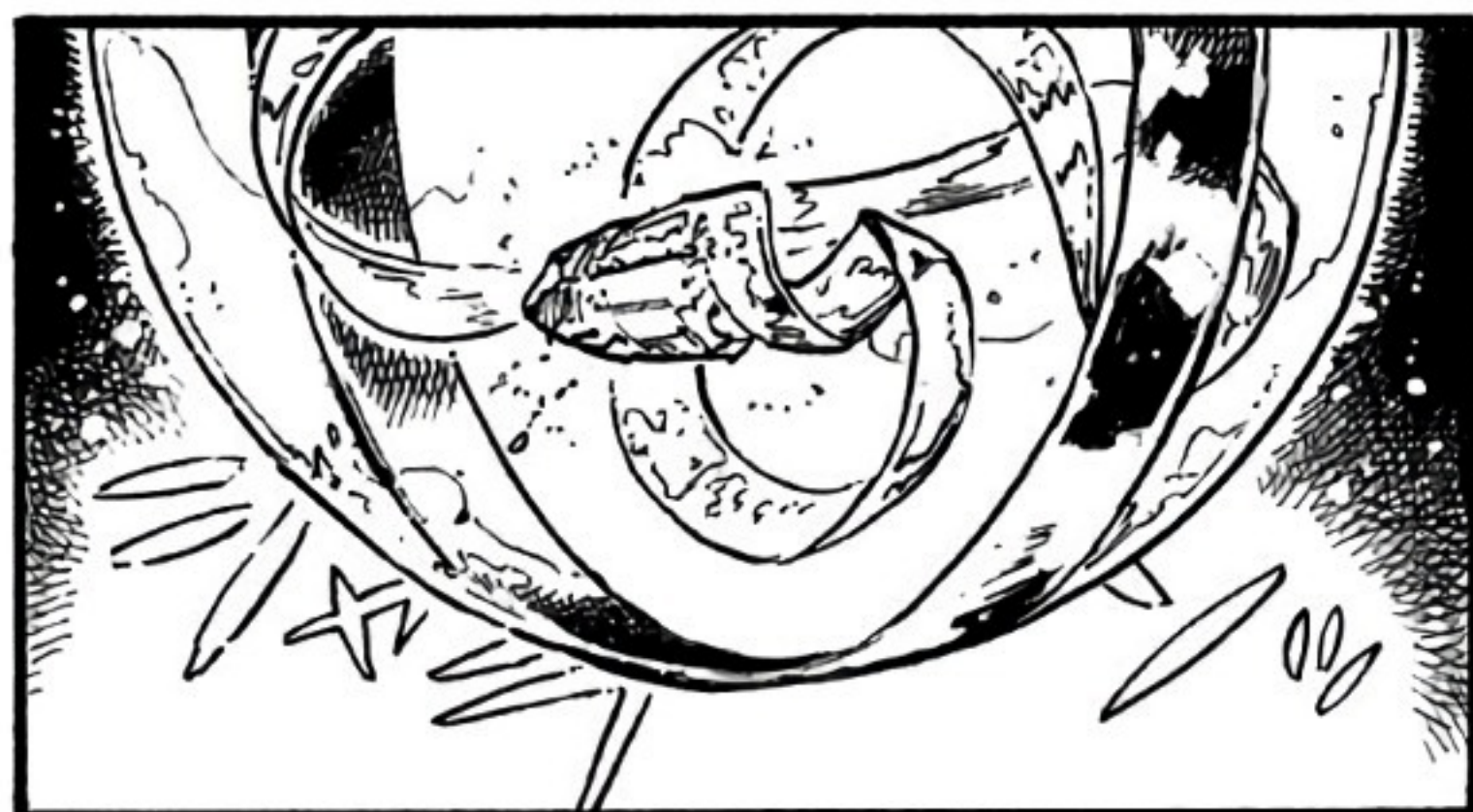
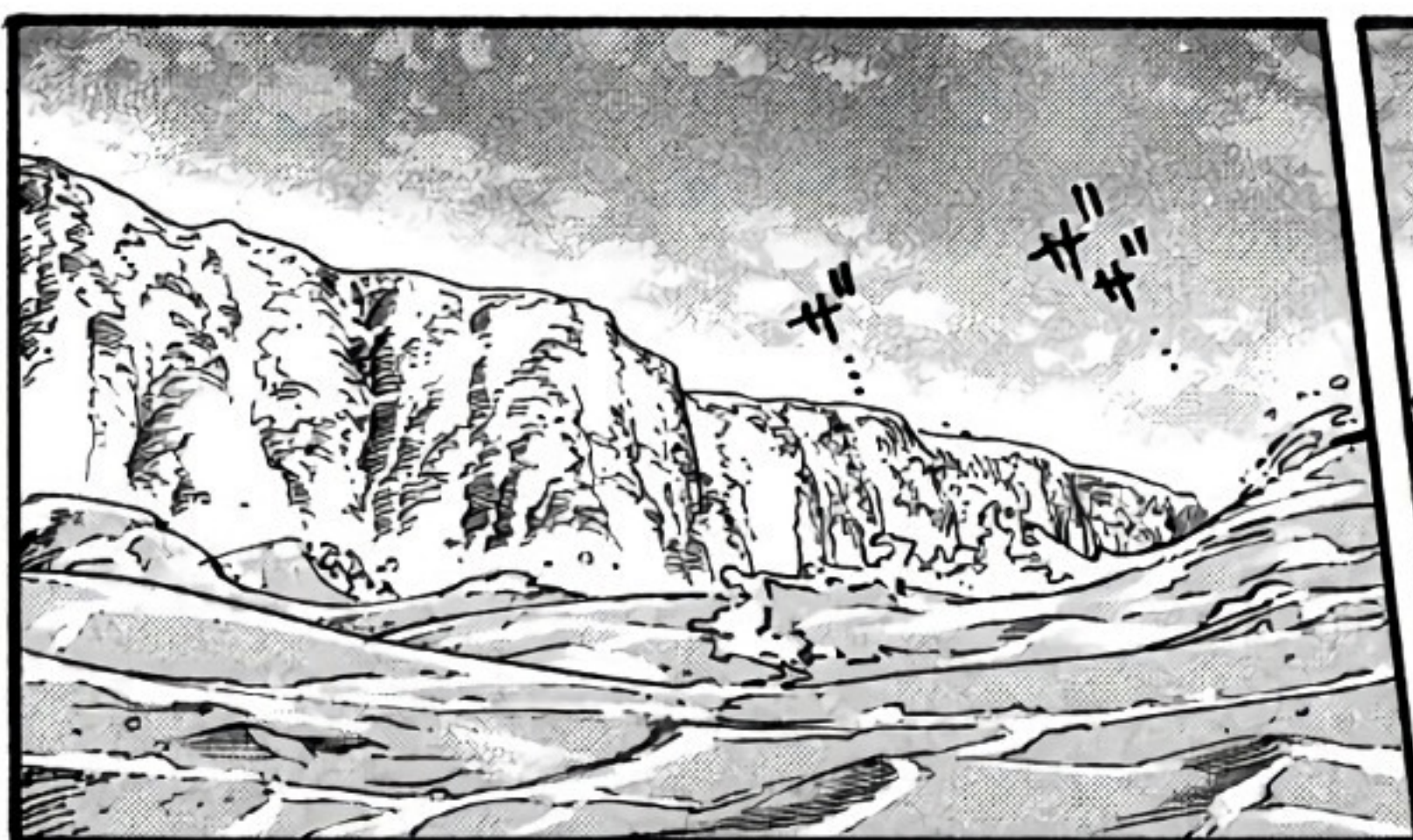

















ここには
古い魔法が
息づいてる

他に
どんな危険が
ひそんでいる
のか

まだ
わからないん
だから…

フ
フ

見つけ
ましたよ

希望の
子…!!

とんがり帽子のアトリエ

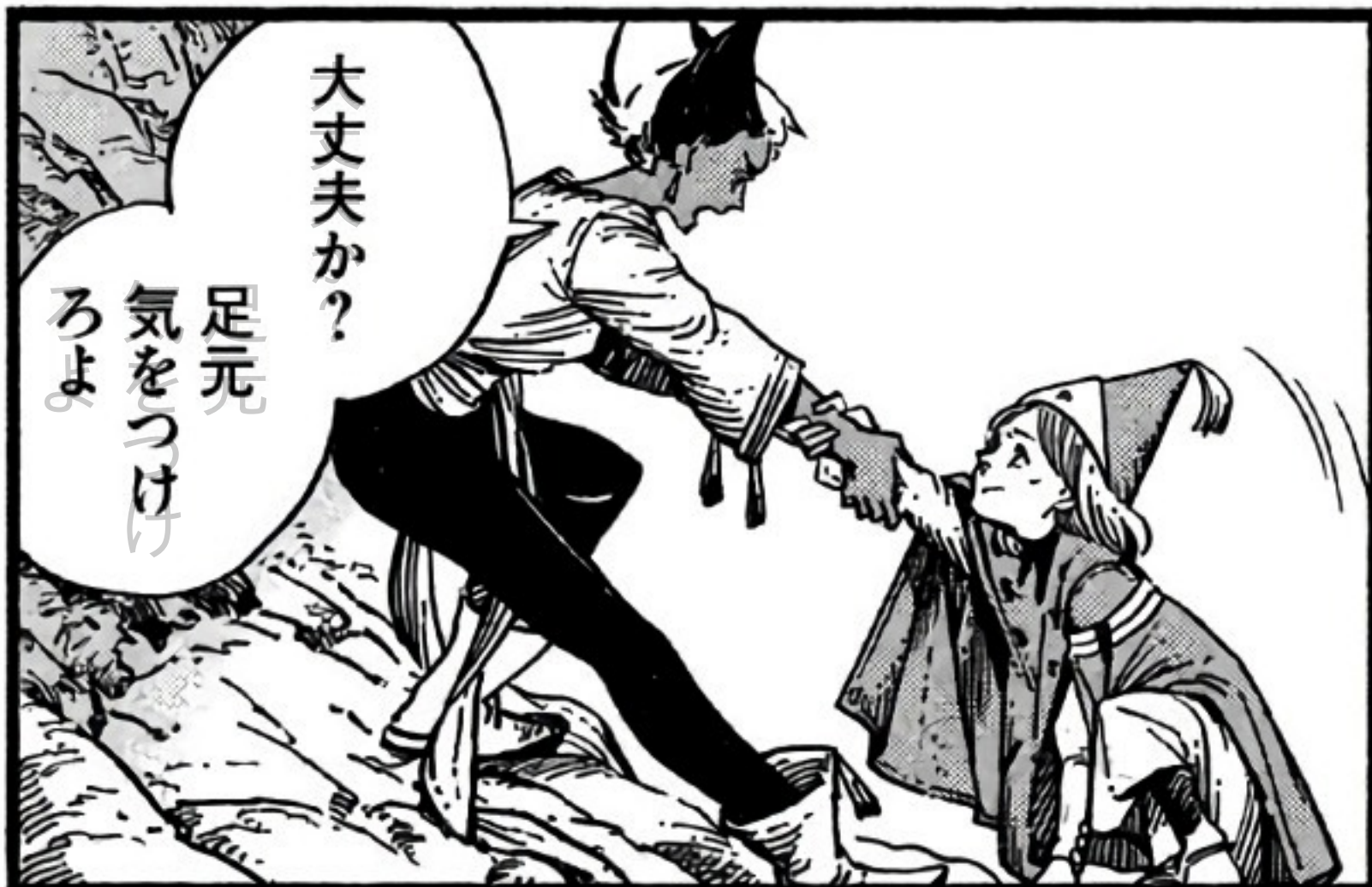
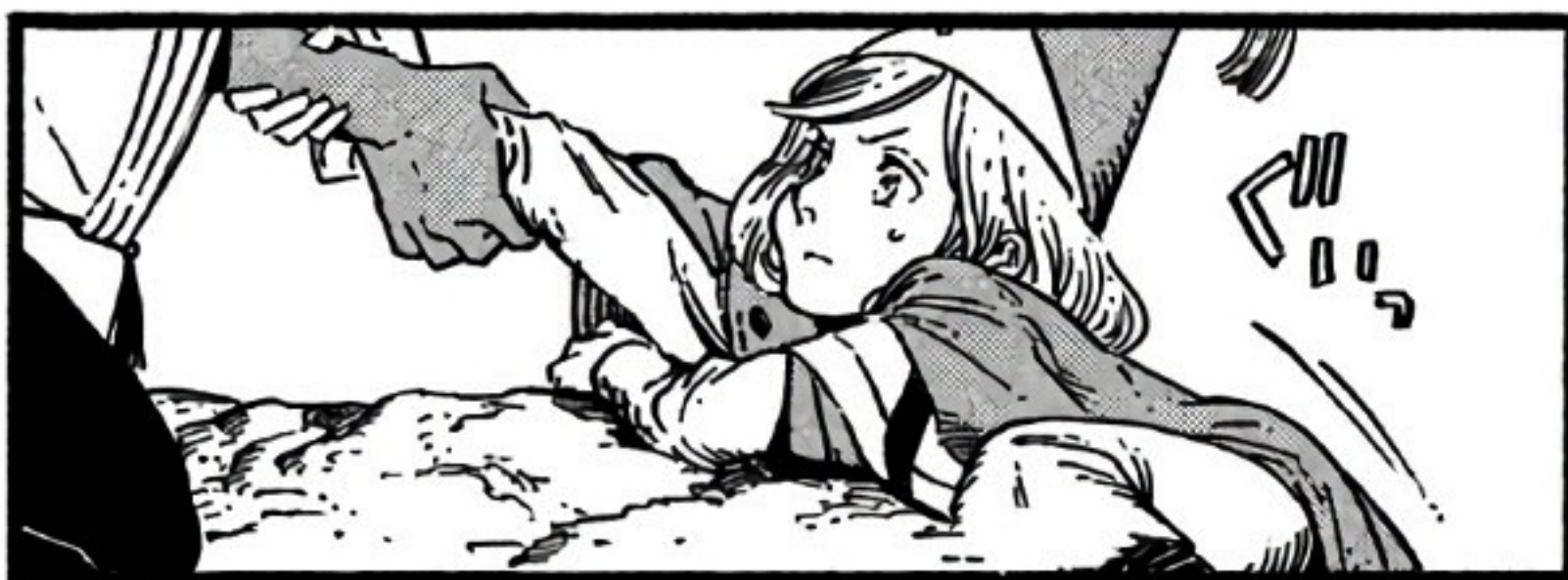


ATELIER OF WITCHAHAT



第27話





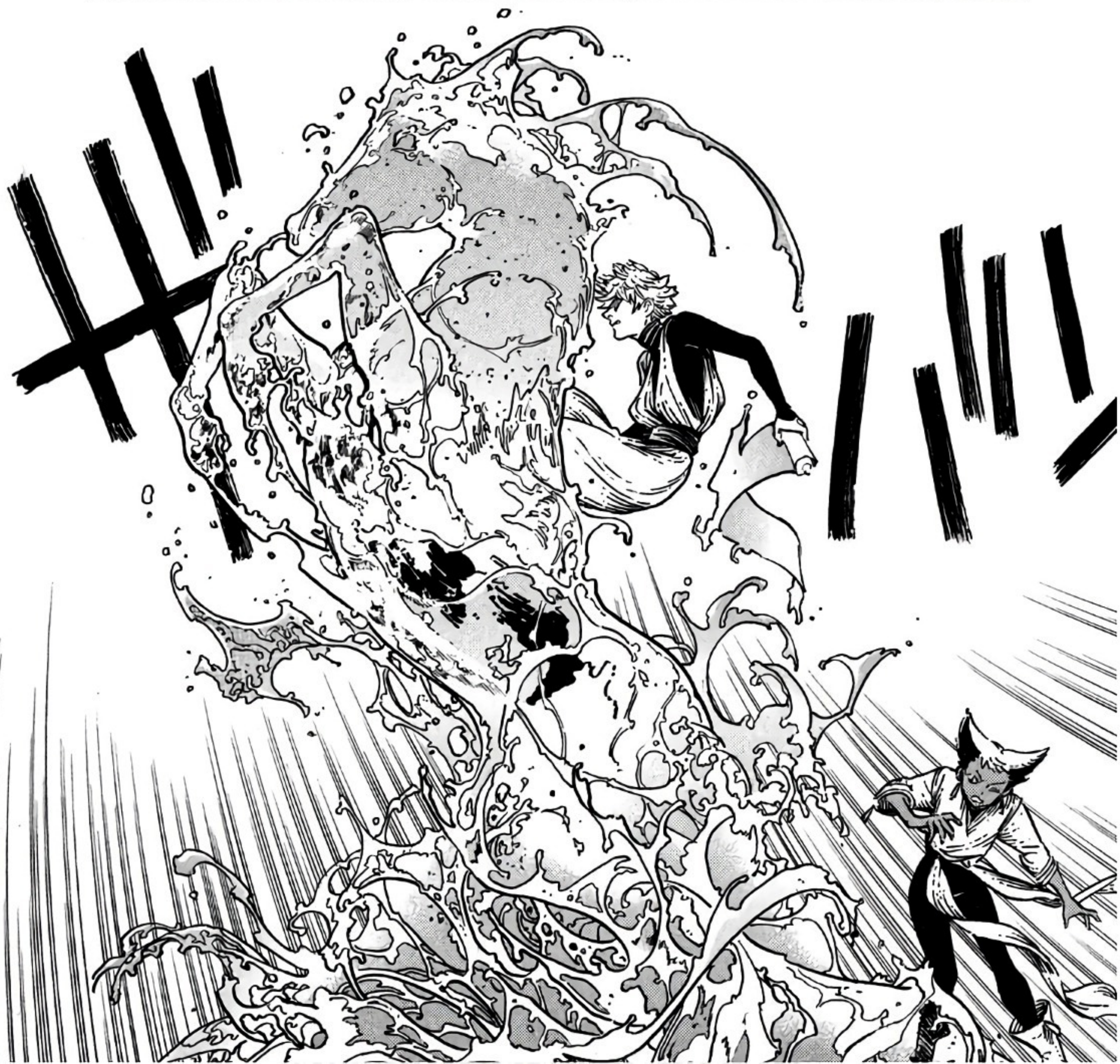
足を
踏み外しちや
いけないから…

気をつけ
ない…

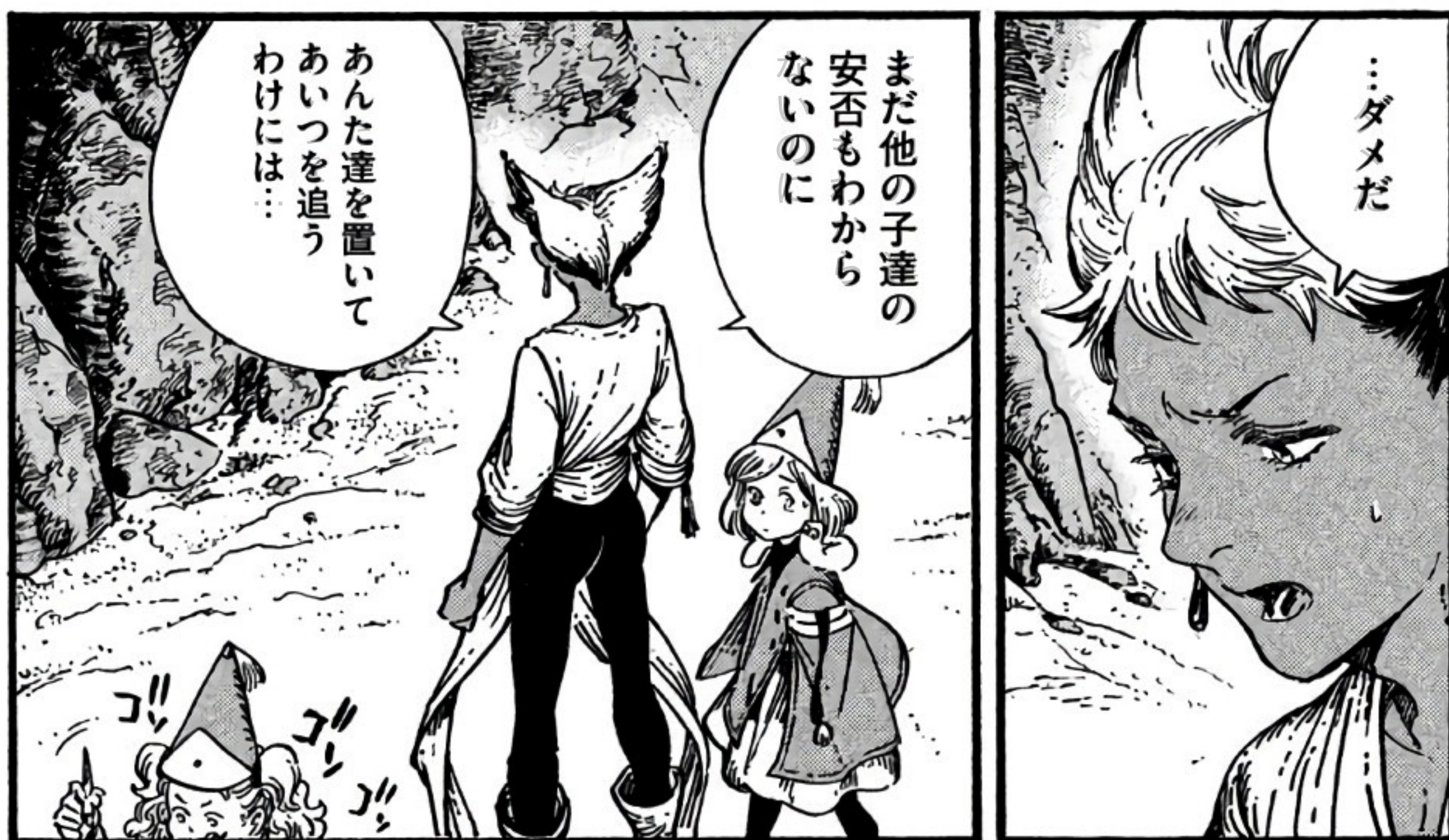
と…?

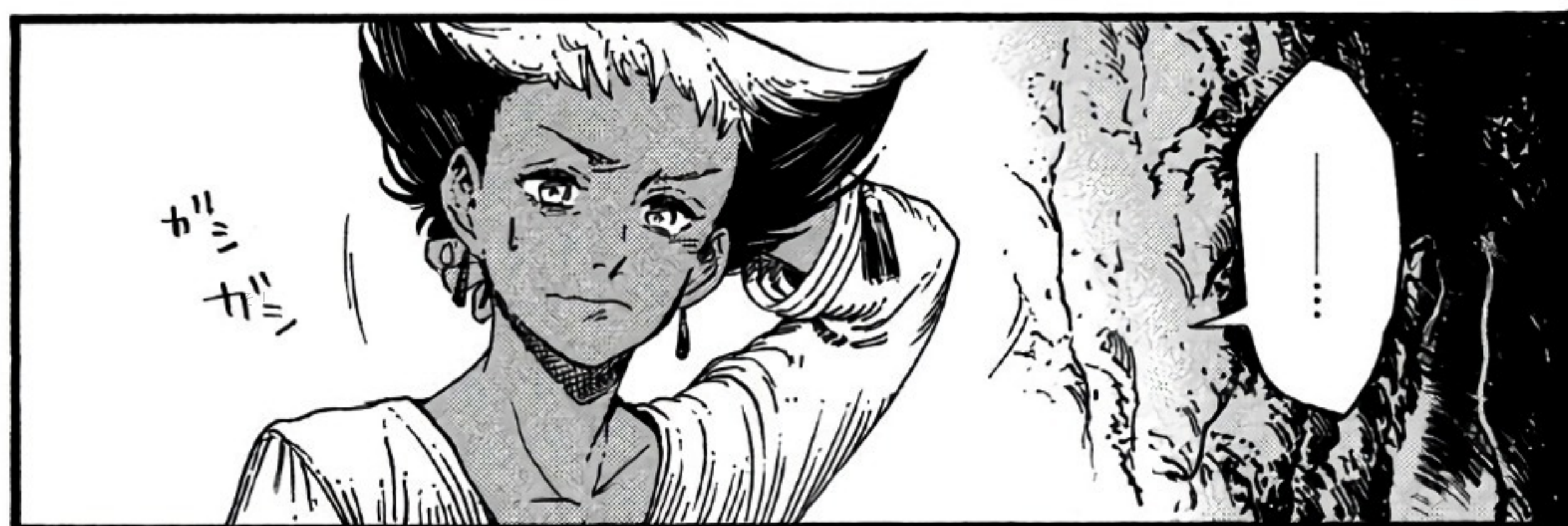
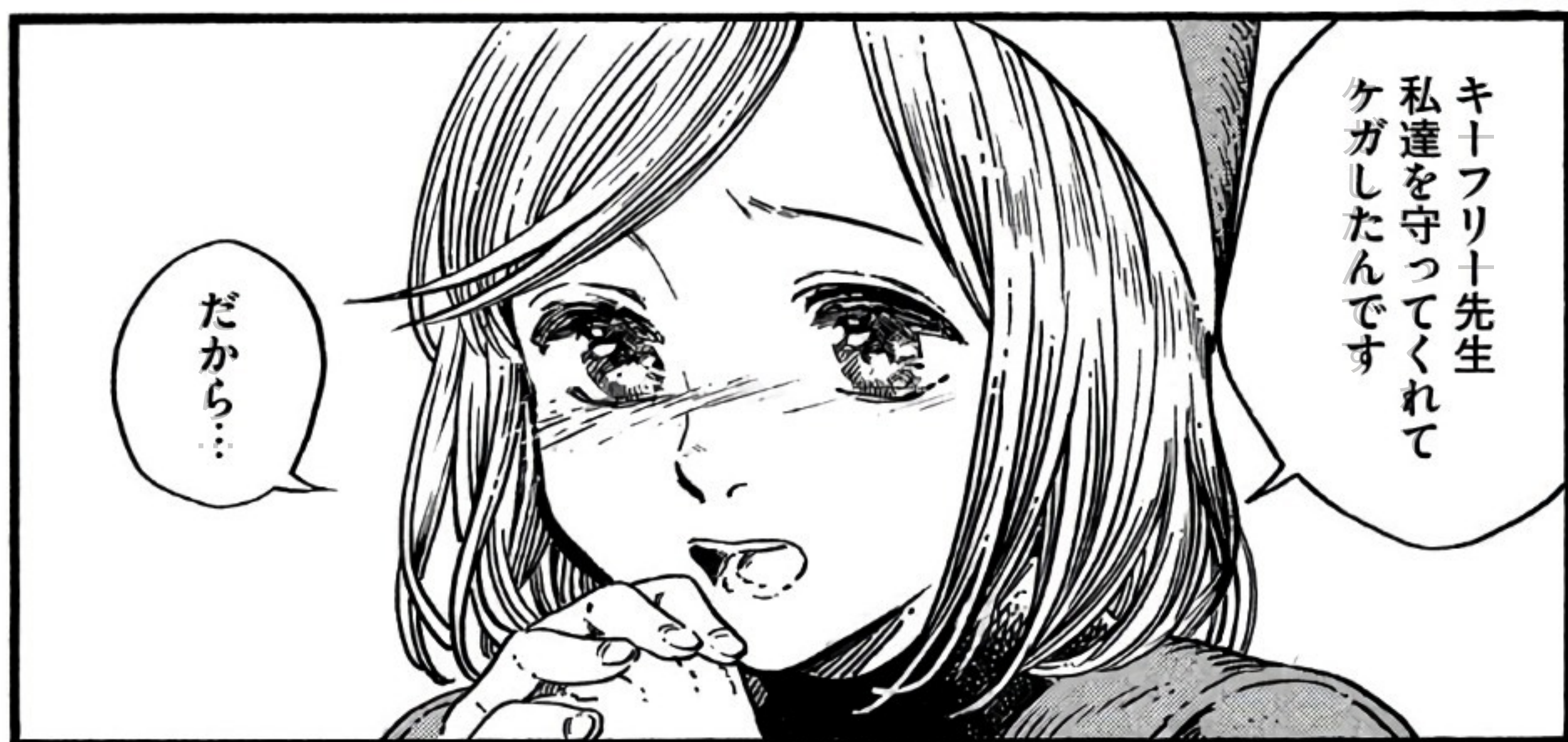
急に
壁がっ…!!

なつなに…
なんで!?









風で防護壁を
作る魔法陣を
渡しておく

何かあったら
これを使え

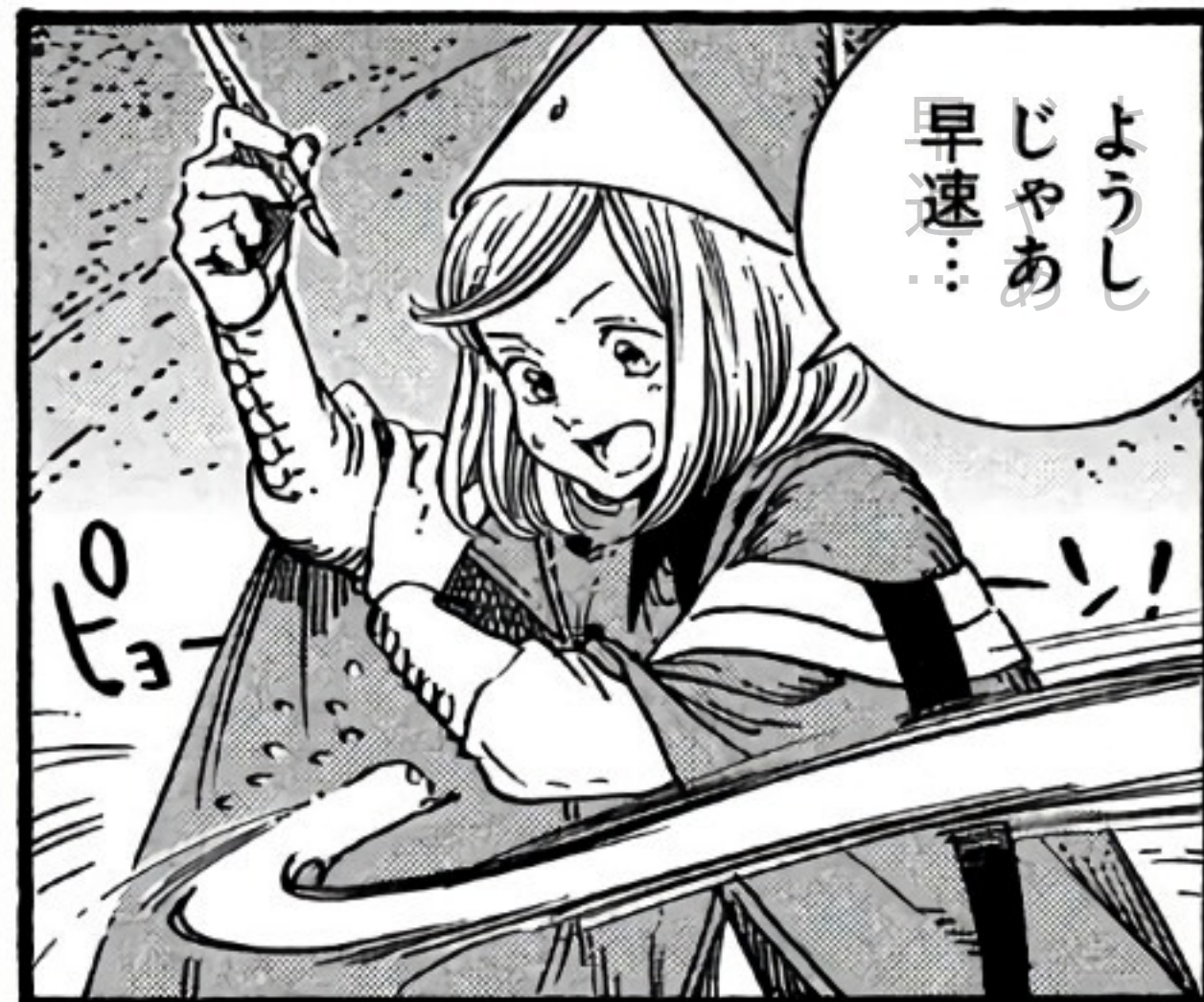
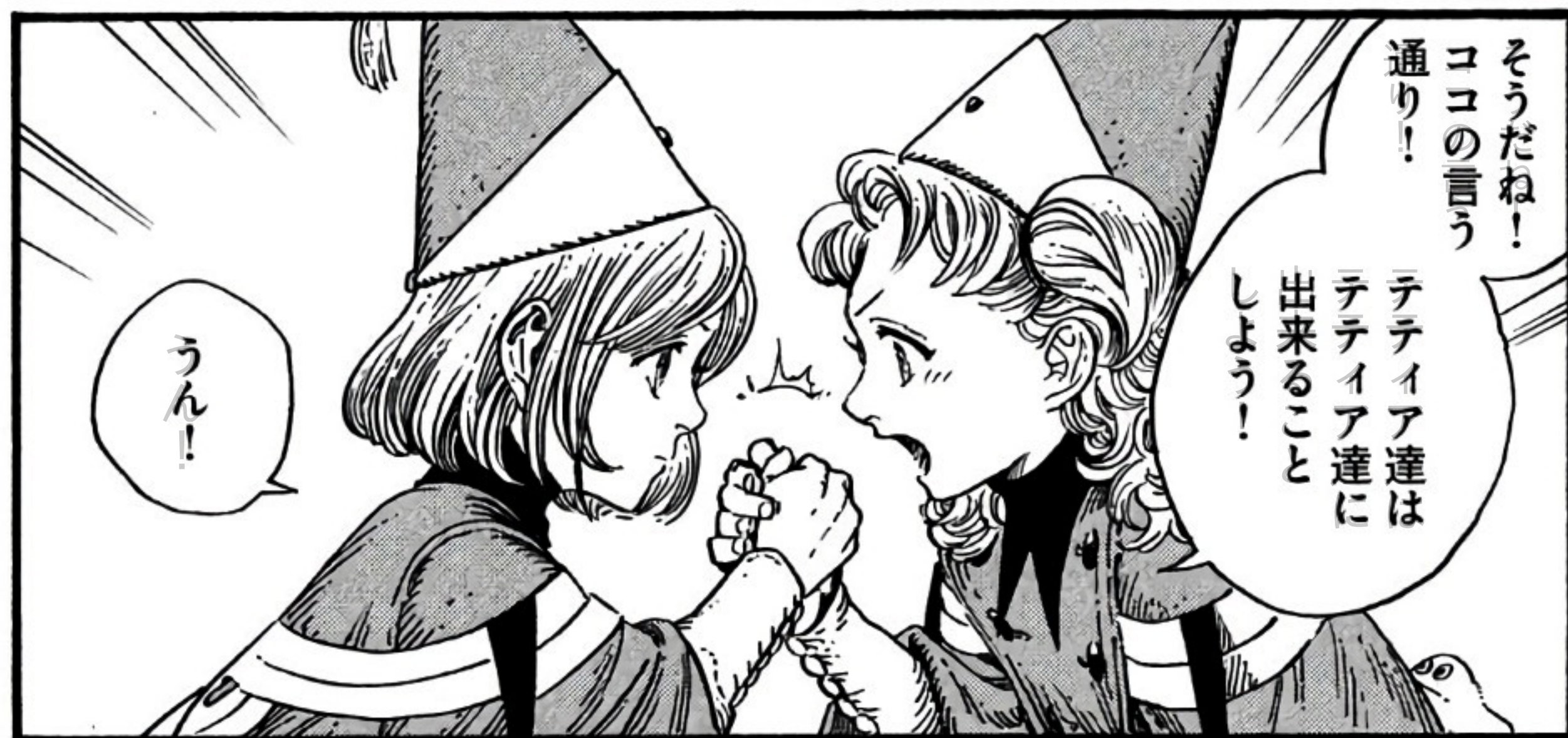
キーフリーを
連れて
すぐ戻る！

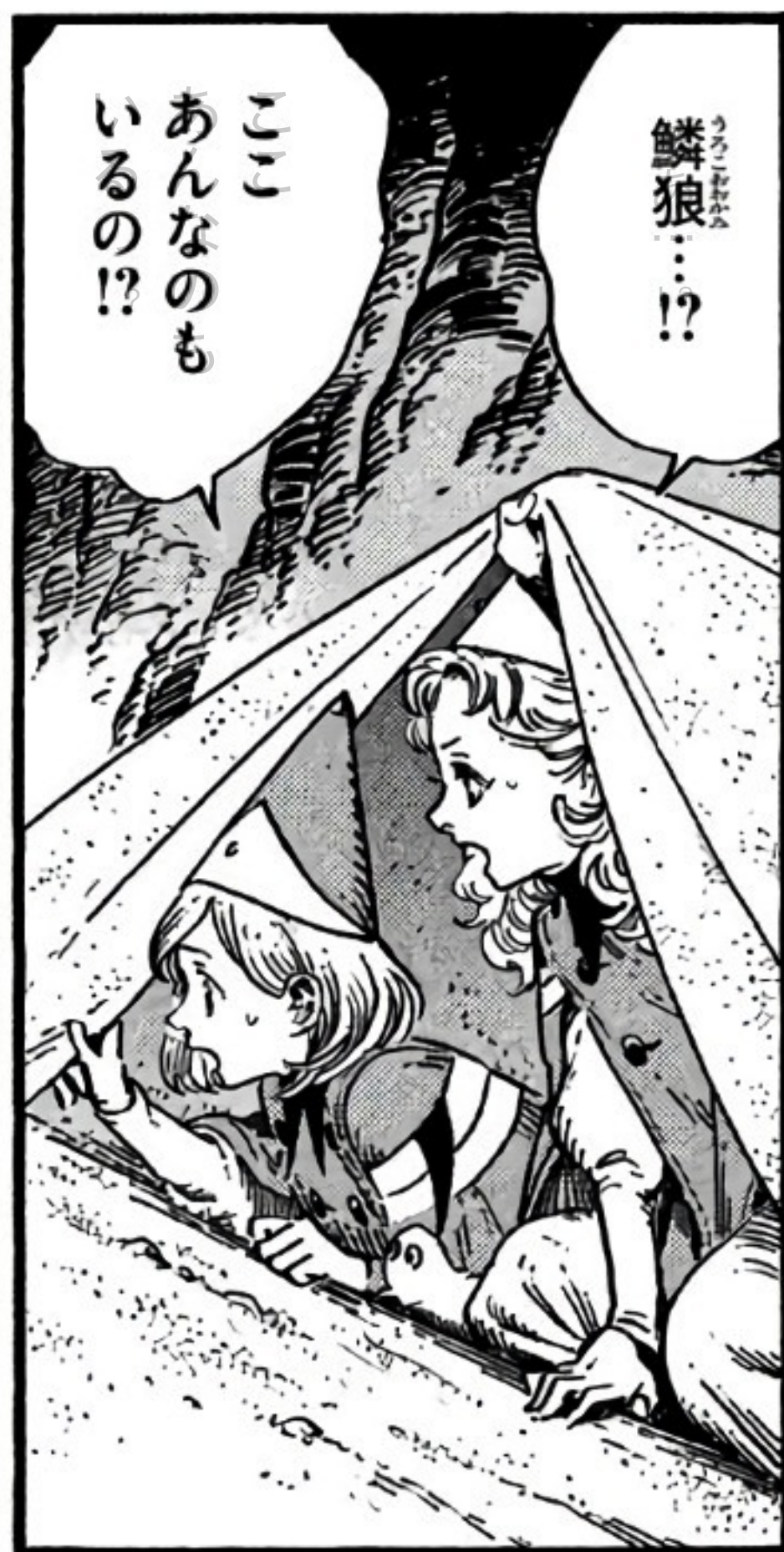
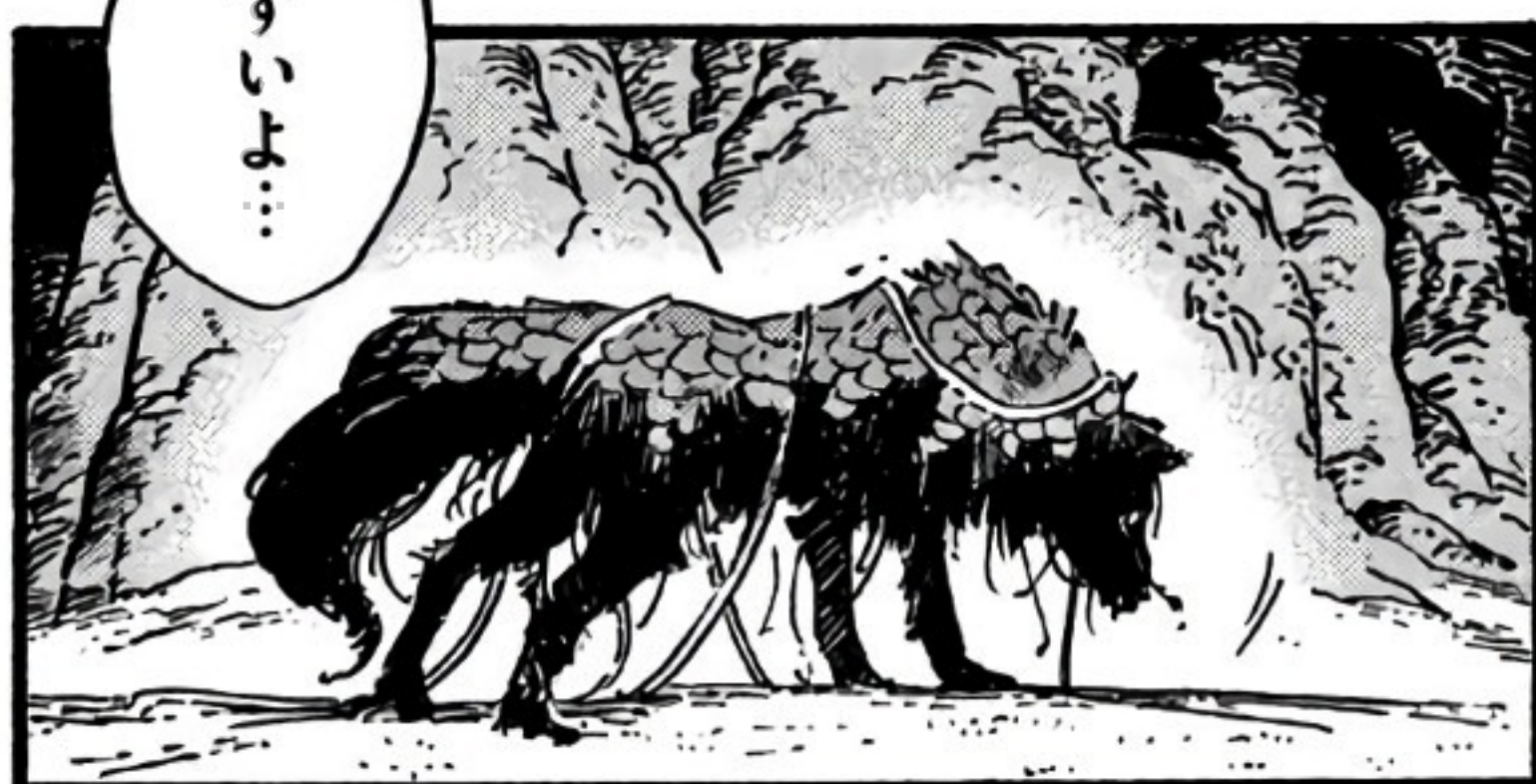
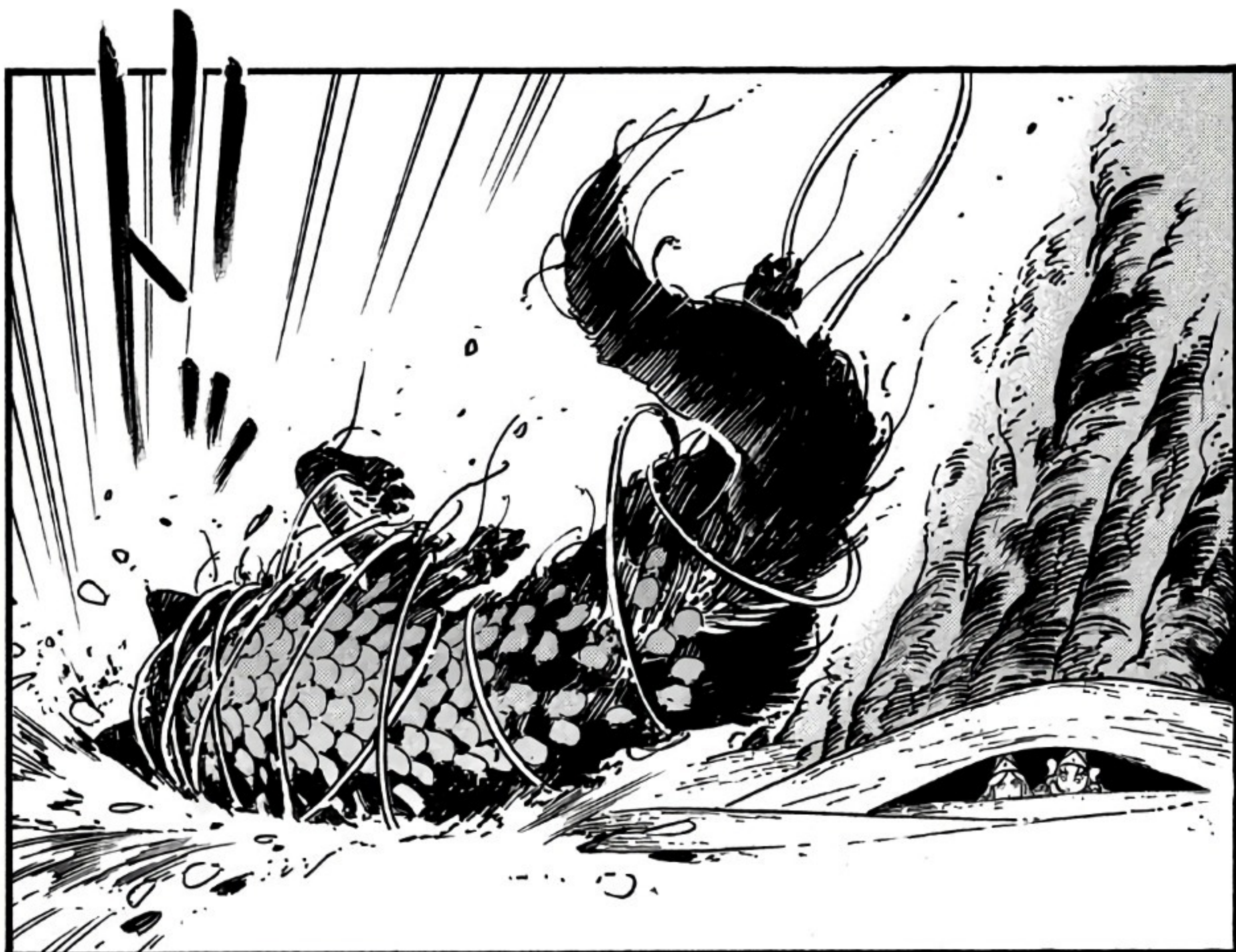
先生達
きっと大丈夫
だよな……って

ココ？
何してるの？

何か
役に立つかも
しれない魔法を

いまのうちに
描いておけ
ないかなって







怯えた
手負いの
獣^{けもの}って

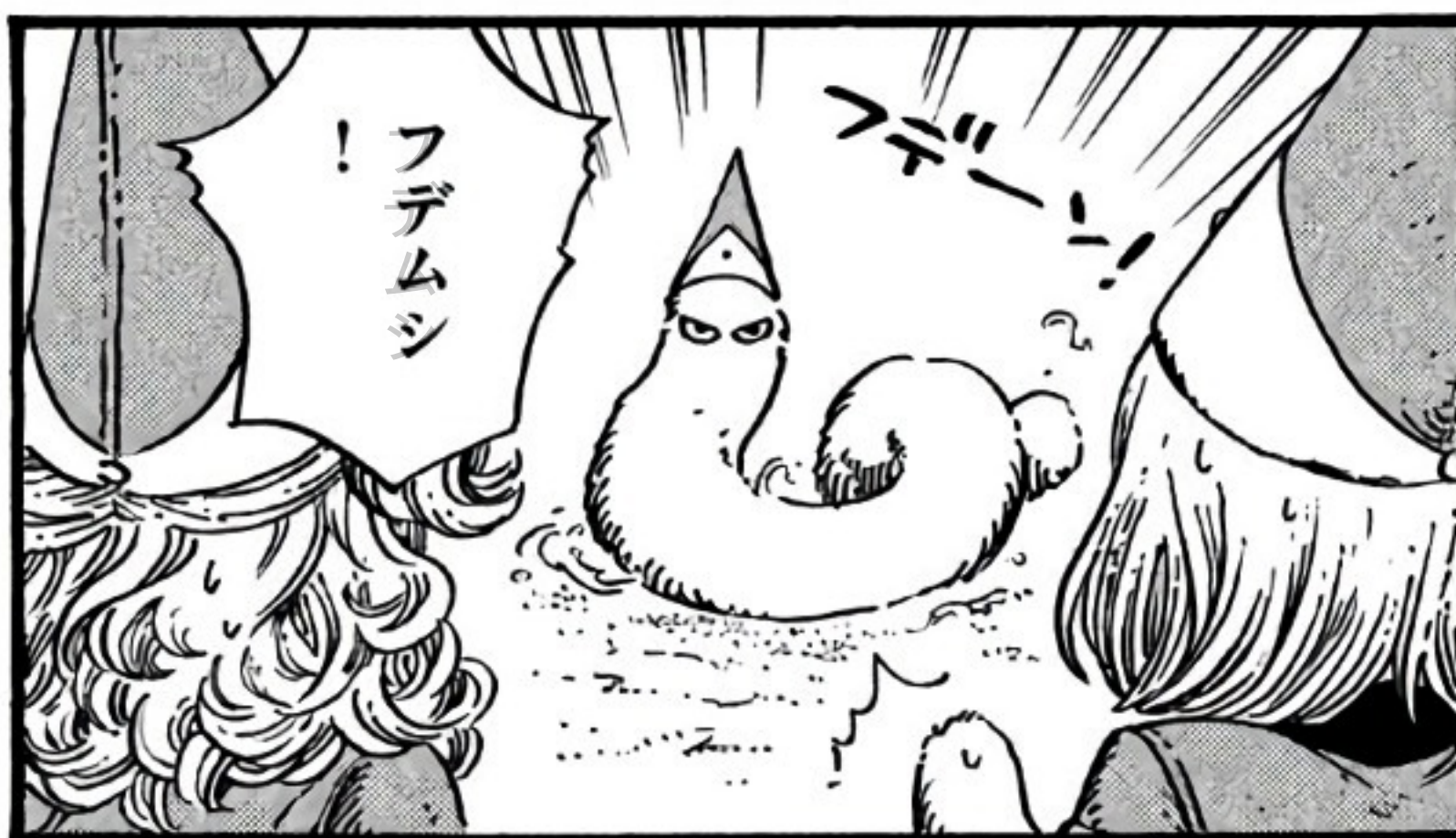
すごく
狂暴で攻撃的
だから！



ア…
アライラさんの
魔法陣を！

早く！

タッ
タッ





アガツト!!

よかった
無事だったん
だね!



違う!
私よ!!



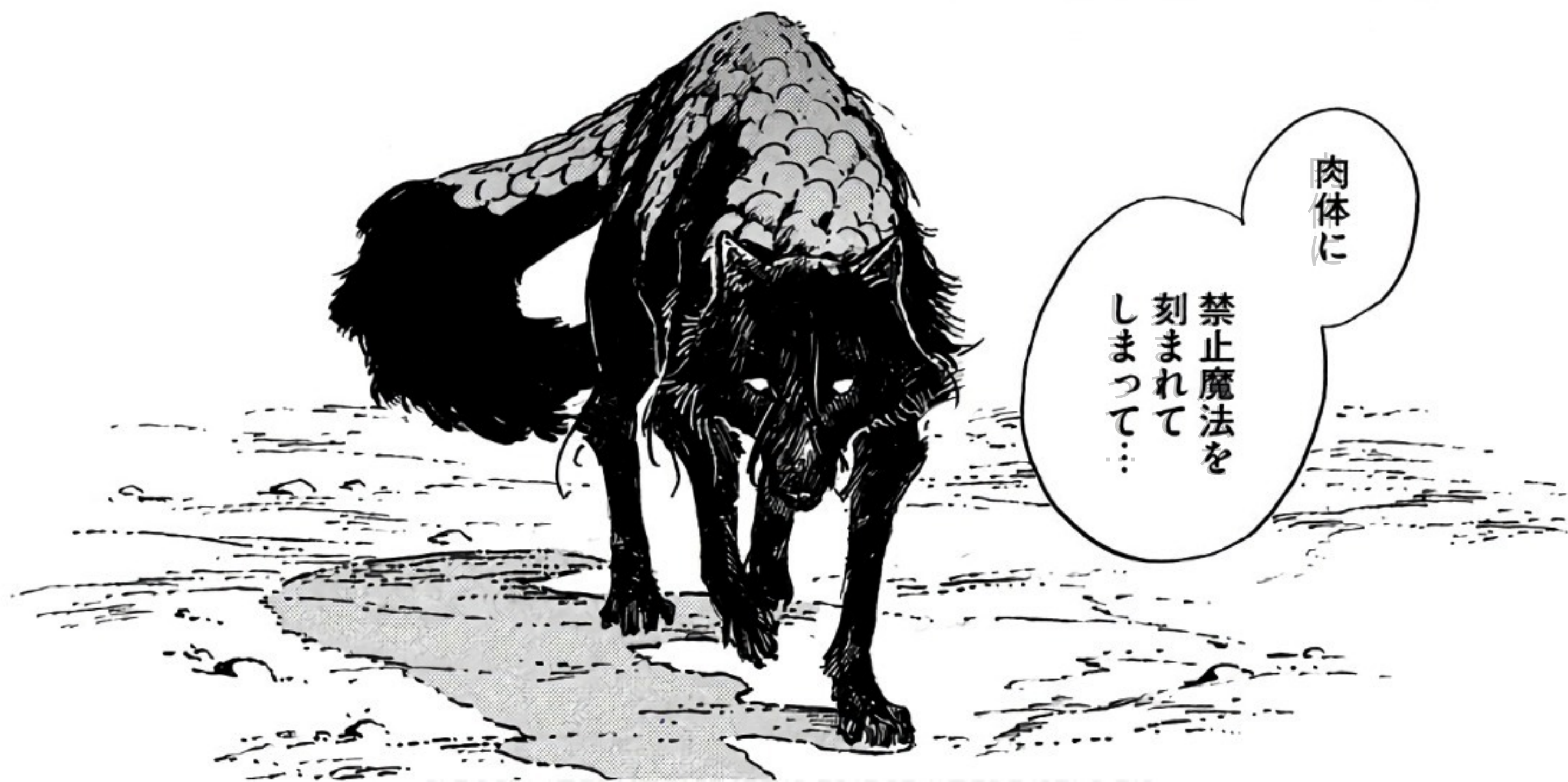
ユイニイは



あとの
二人は?

リチエ達は
一緒じゃ
ないの!?

リチエは
無事よ
出口に
向かったわ



肉体に

禁止魔法を
刻まれて
しまつて...



そんな

まさか…
この狼が

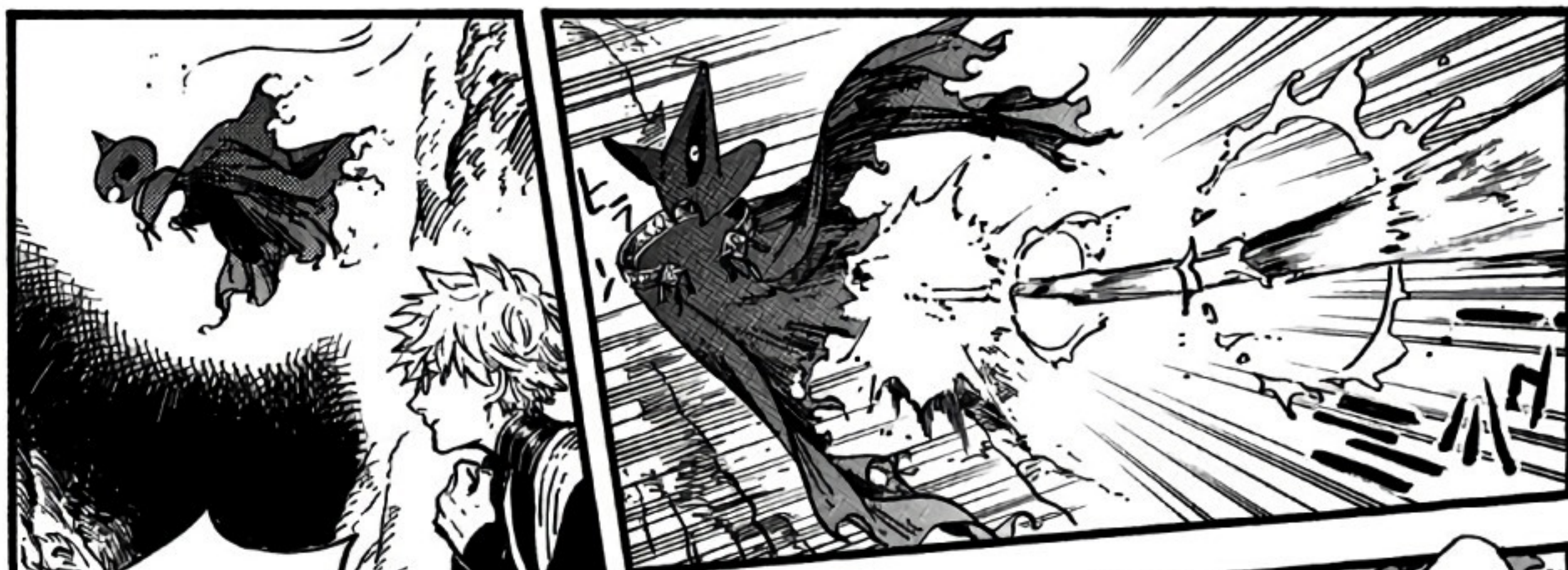
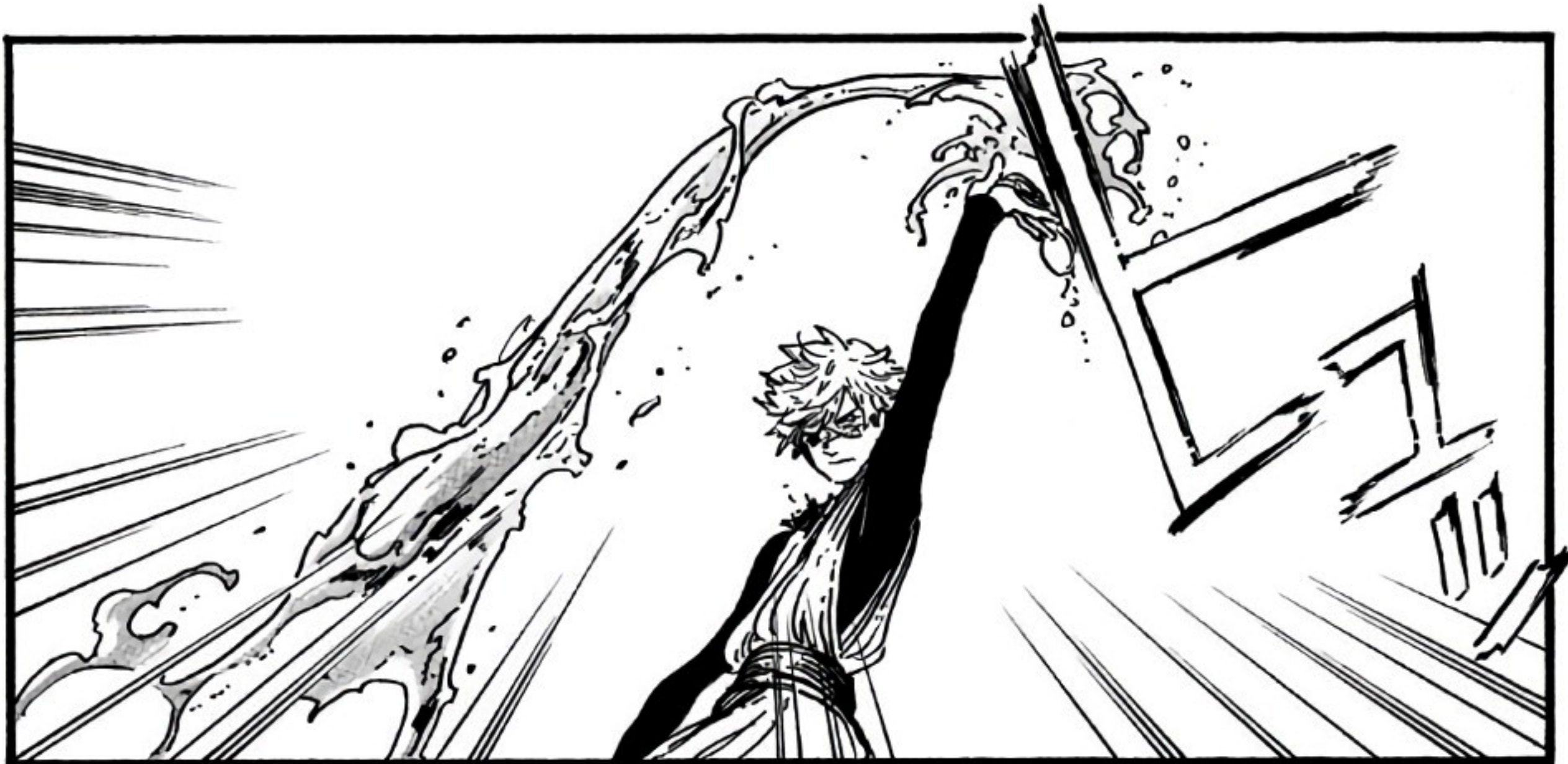


ユイニイ君…
なの…!?

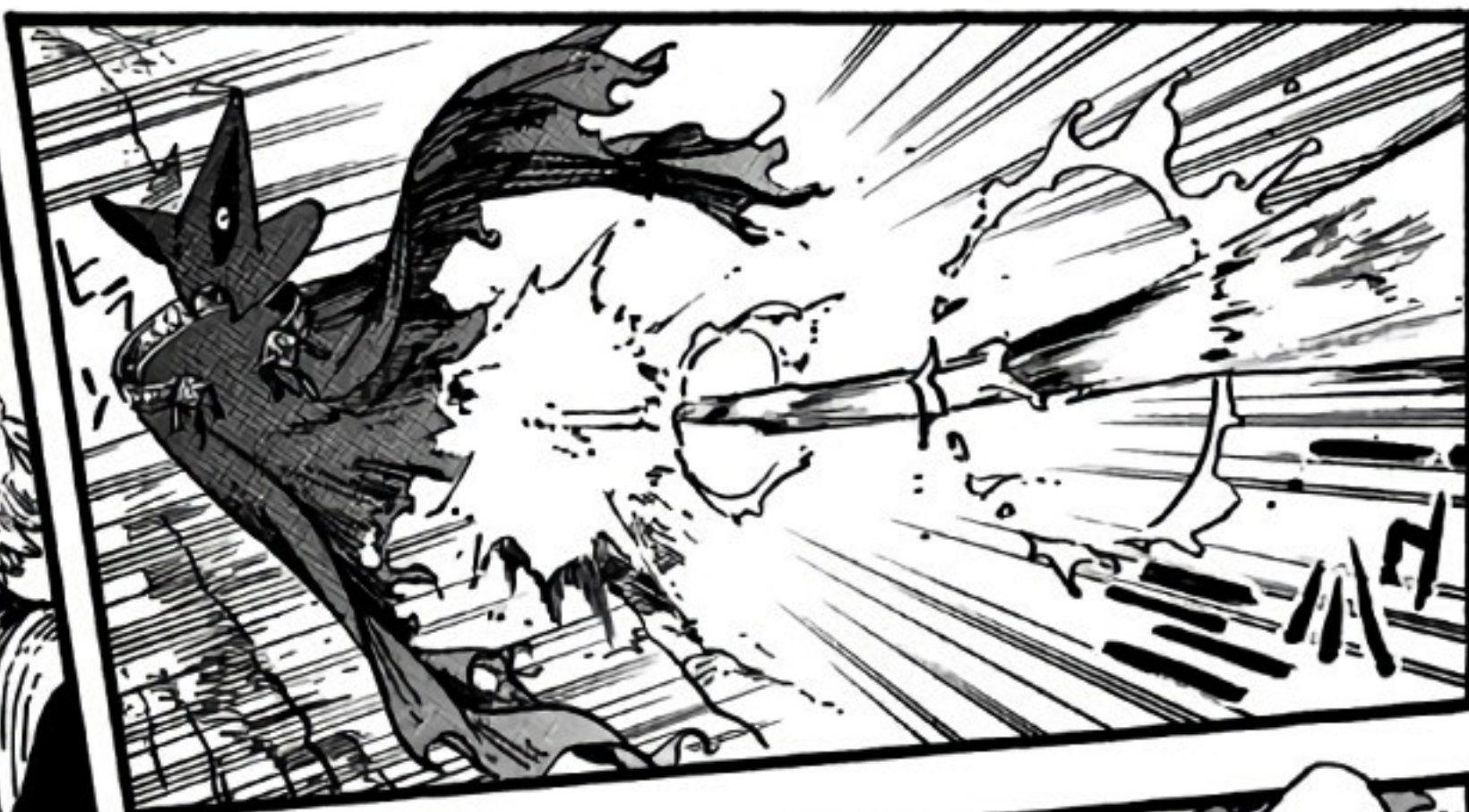


そうよ

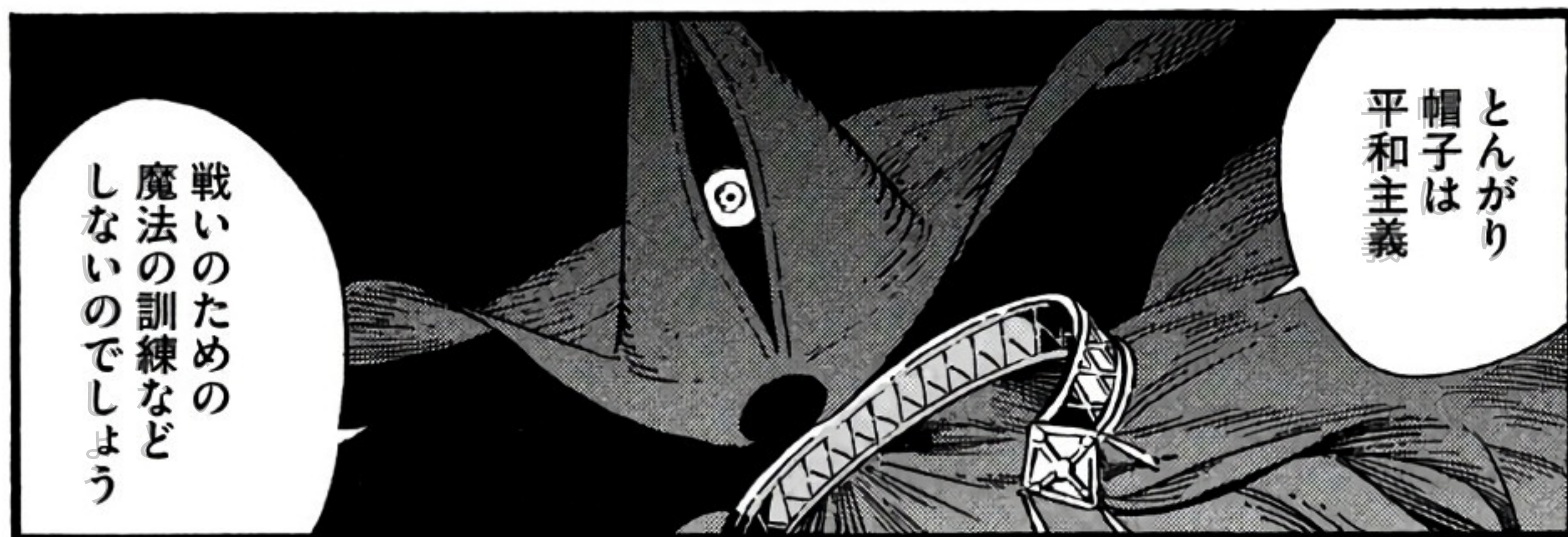
あゝ姿なき
つばあり帽に
やられたの…!!



この身体の
どこに当てる
おつもりですか



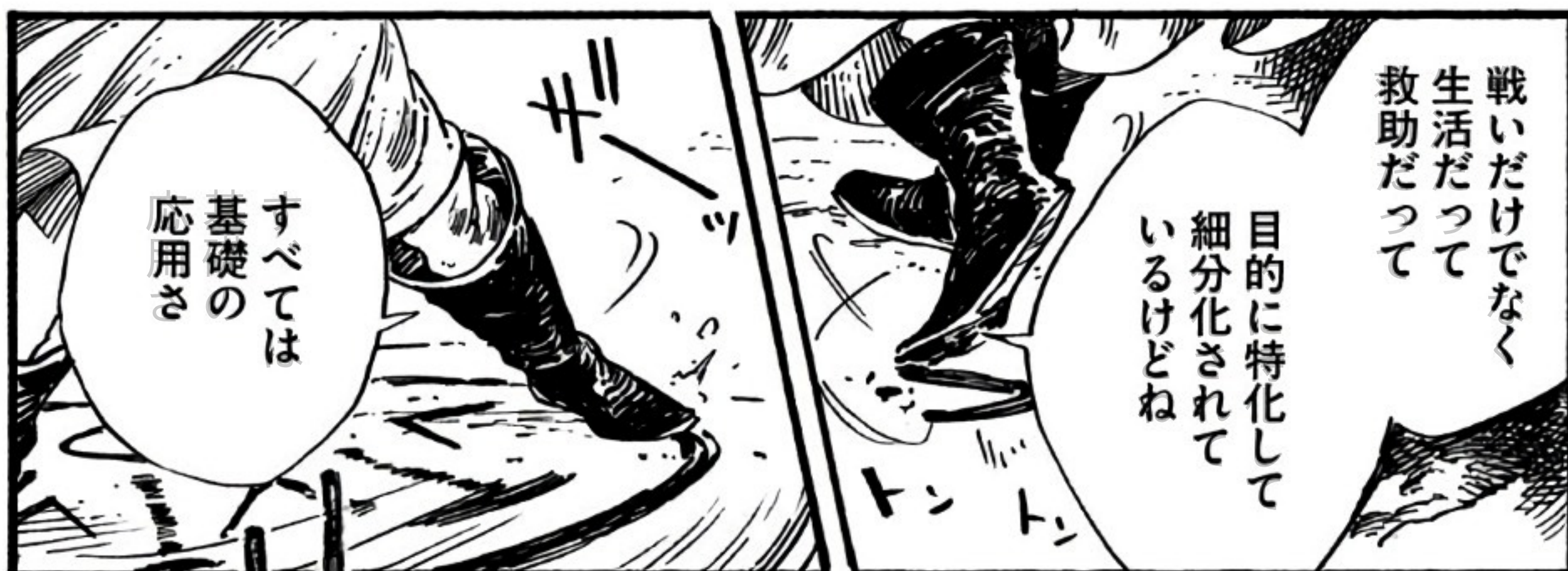
ただの
水鉄砲とはーはー

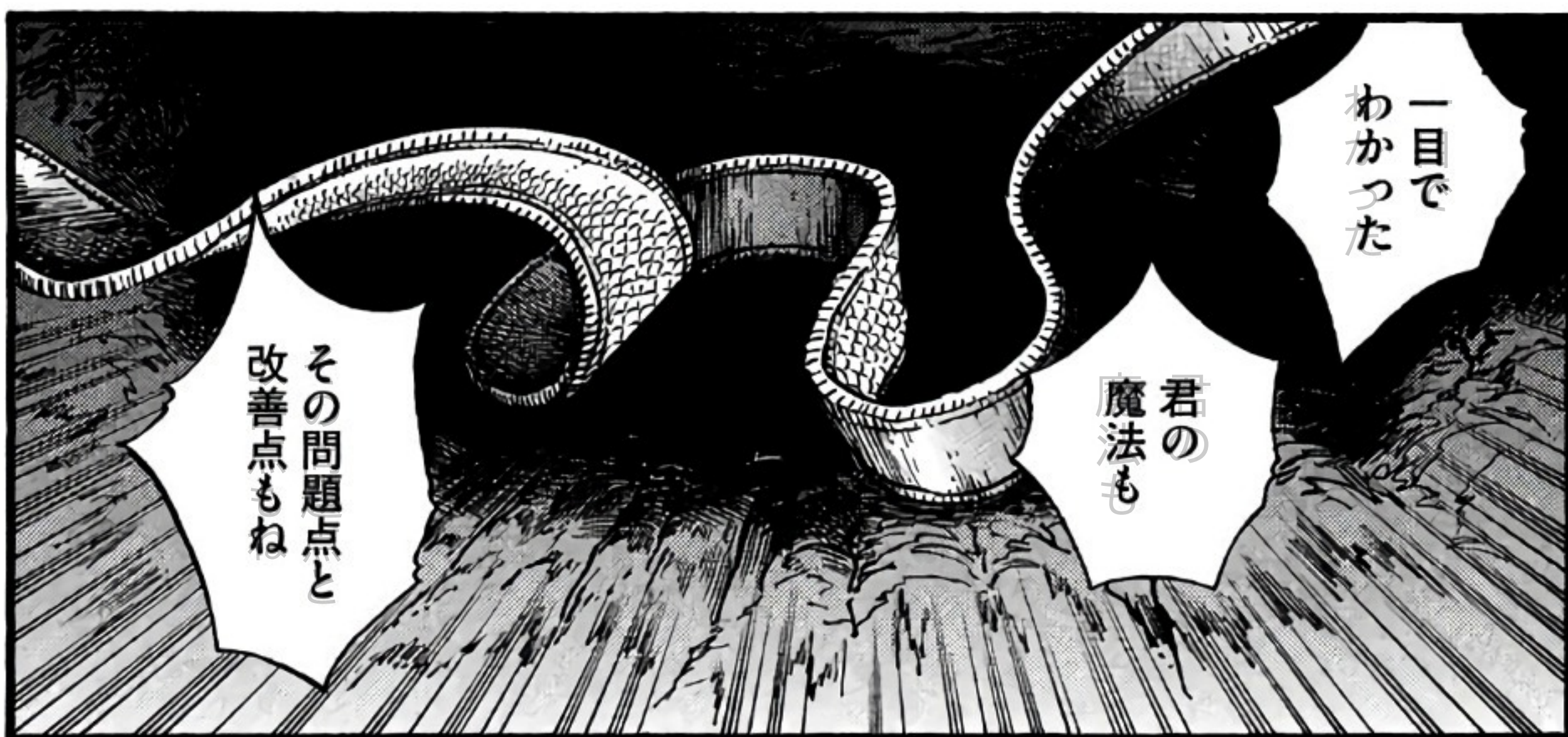
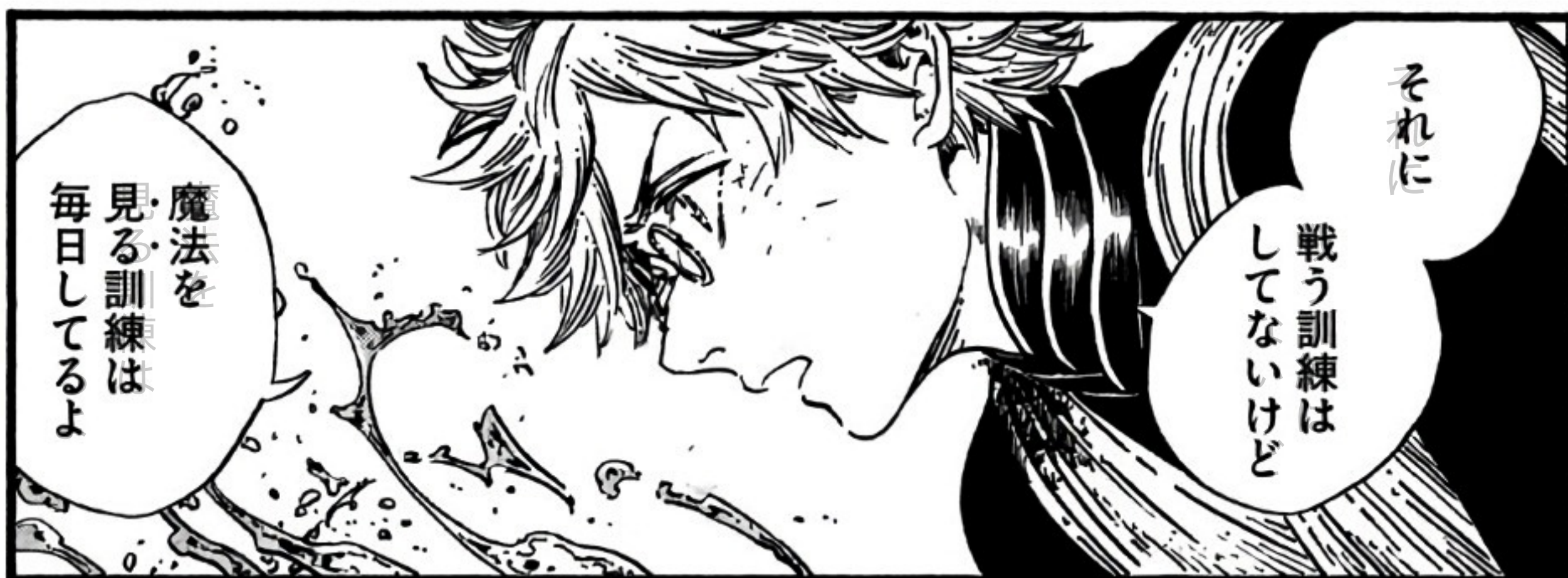


とんがり
帽子は
平和主義

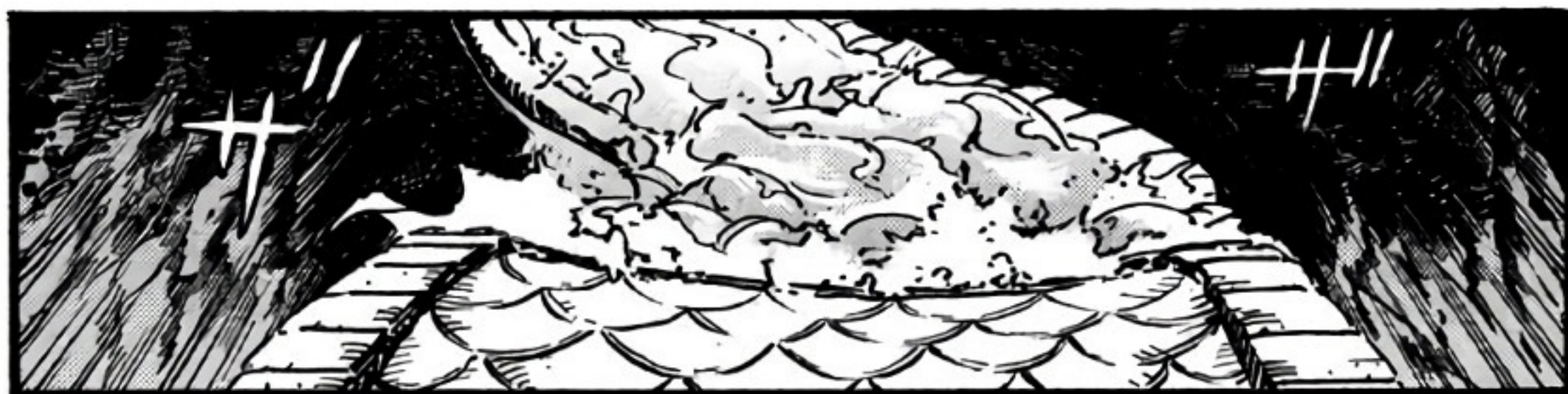
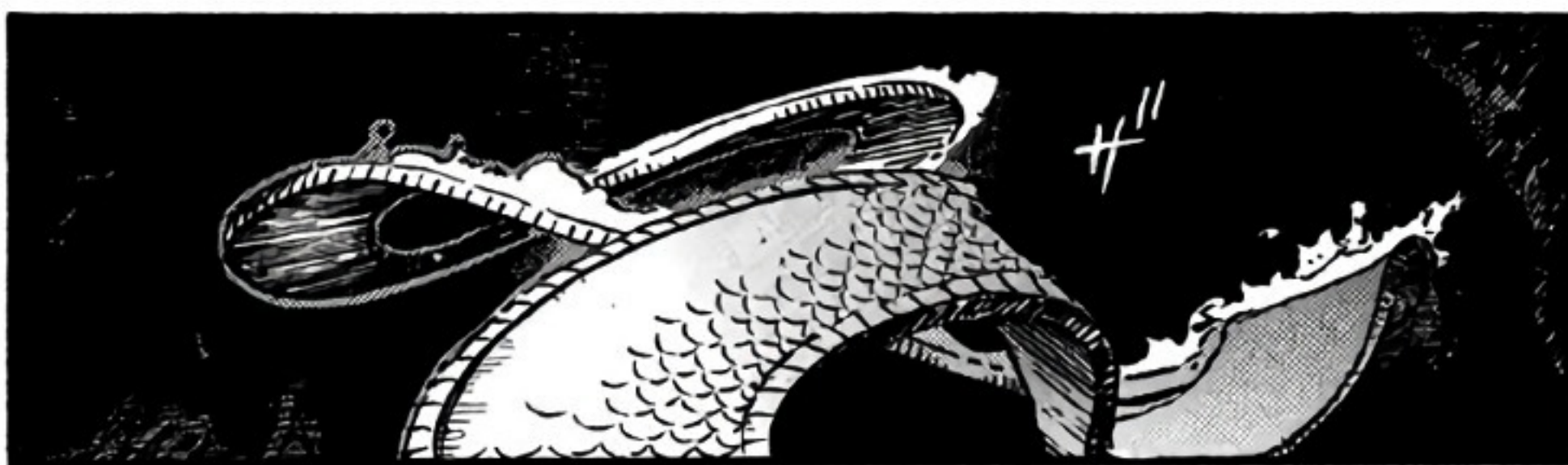
戦いのための
魔法の訓練など
しないのでしう





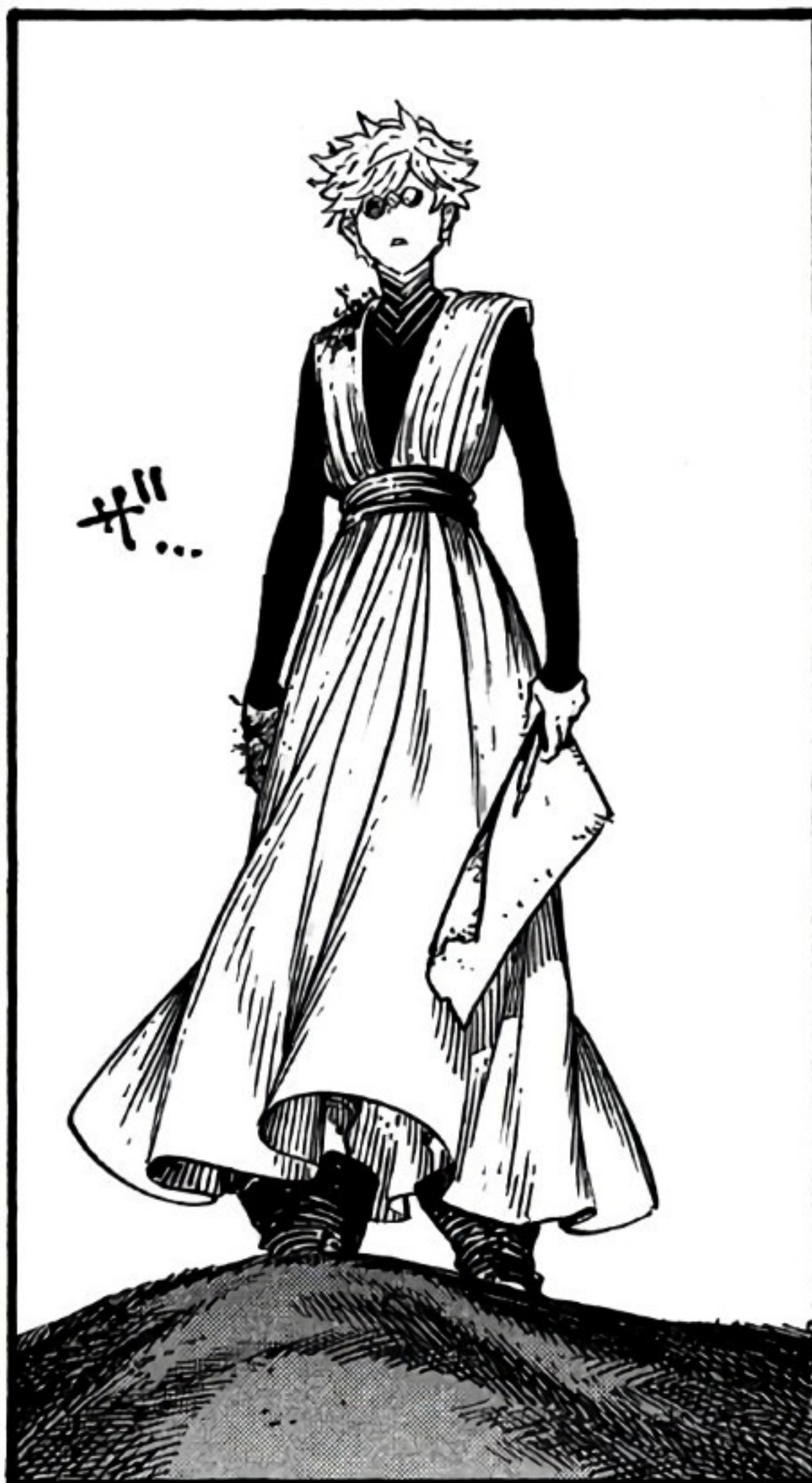
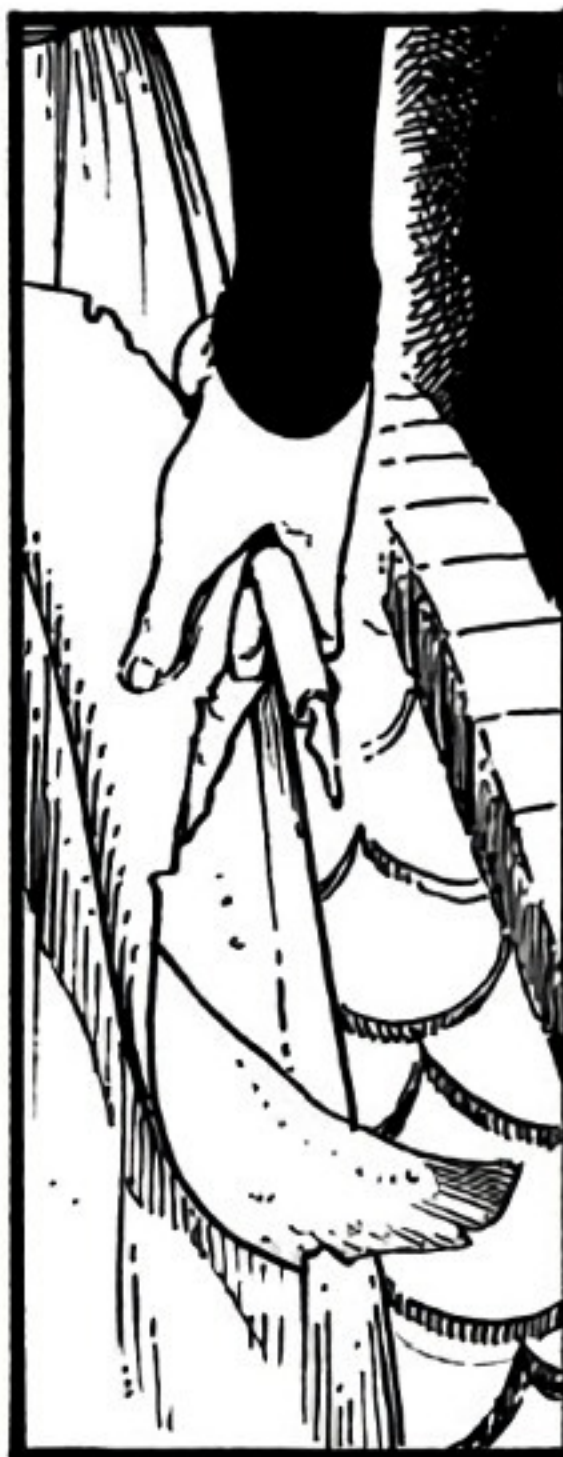






連れて
おいで







いくらつばあり帽が
禁止魔法の使い手
とはいえ

ロモノーシ洞窟を
自在に飛び回れる
はずがない



だから
水をまいて
つながりを
探したんだ



あの
水鉄砲……!!



裾のほつれは
本体の君との
つながりを誤魔化す
目くらまし

外套自体は
魔法の媒介と
囷を担う
魔法器だ



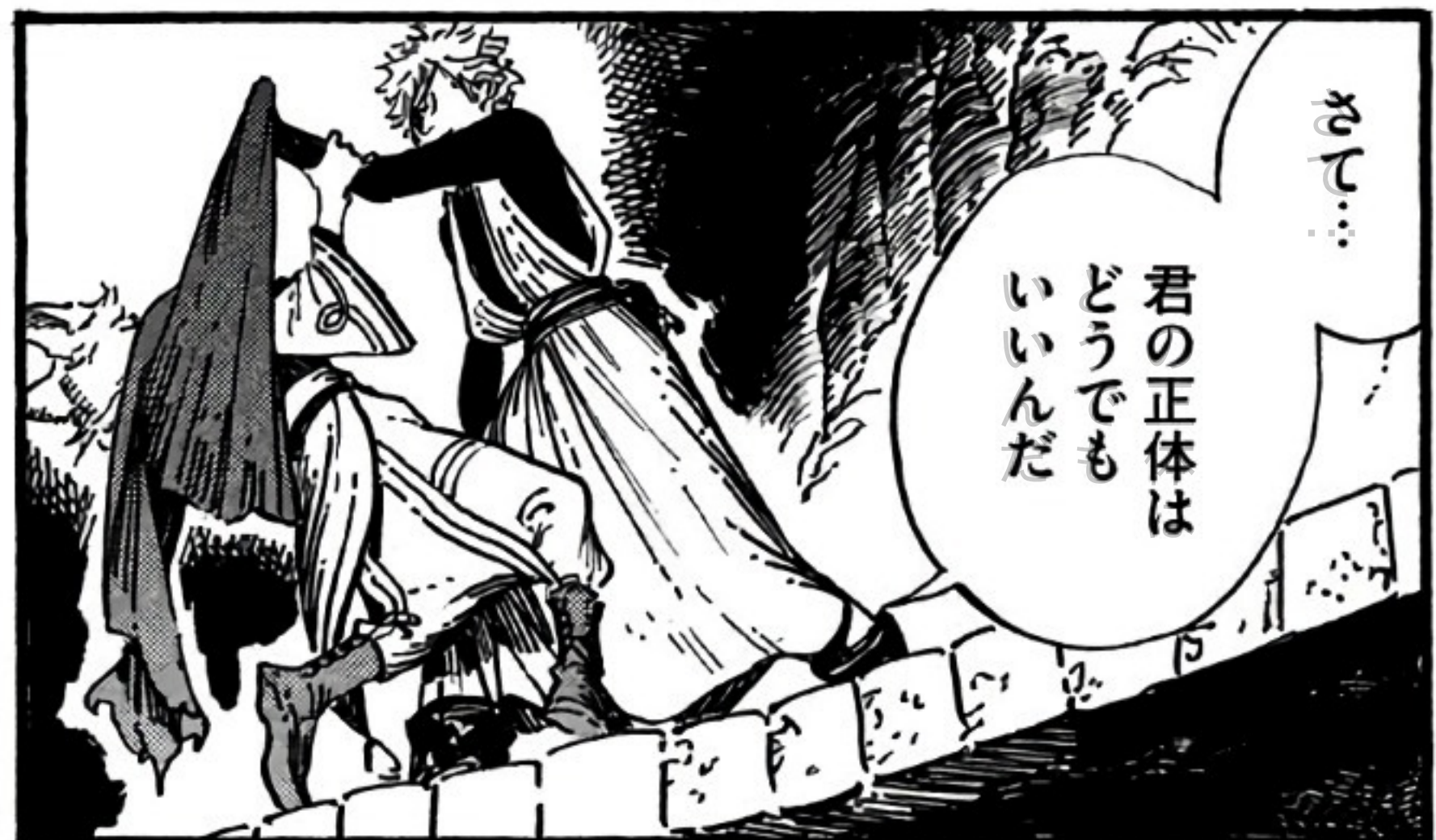
君自身は安全な
蛇の背の道から
離れることなく
遠隔で攻撃して
いたんだろう?



外套を脱げば
消えられるのに
わざわざ
見える姿で
現れるのは

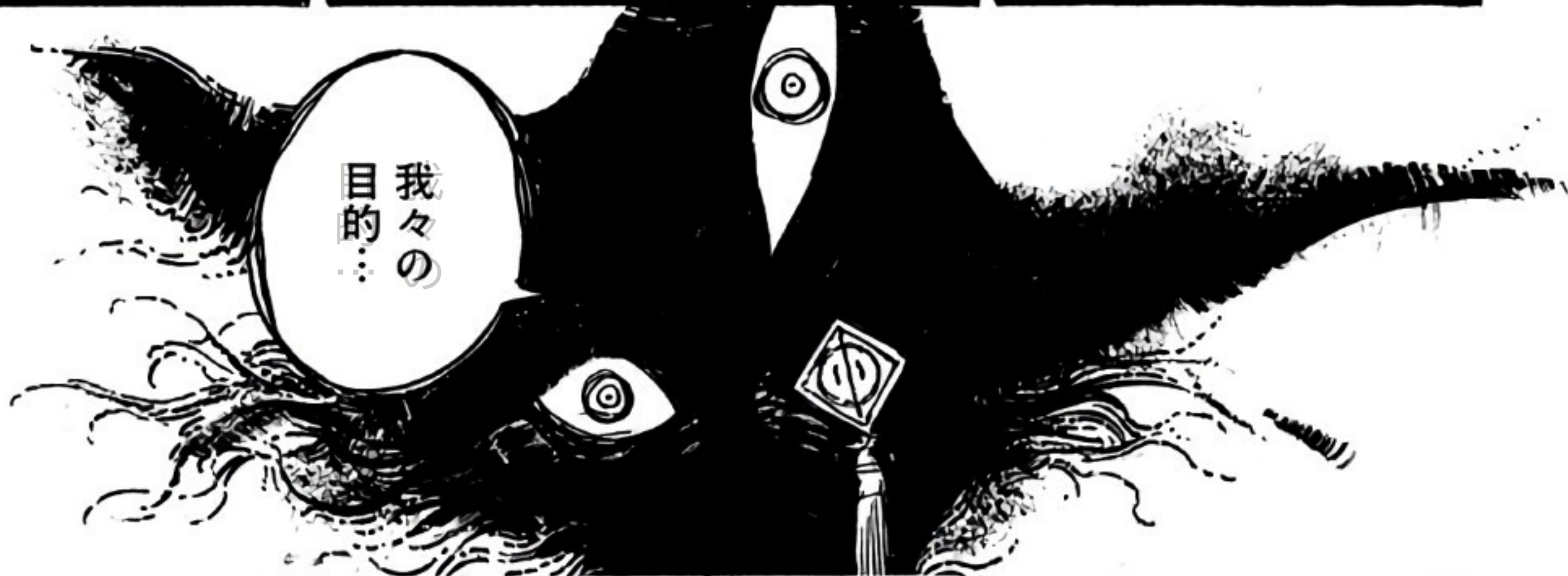
そうせざるを
得ないからだ

目的よりも
誤魔化す手段を
優先させた魔法は
稚拙だよ

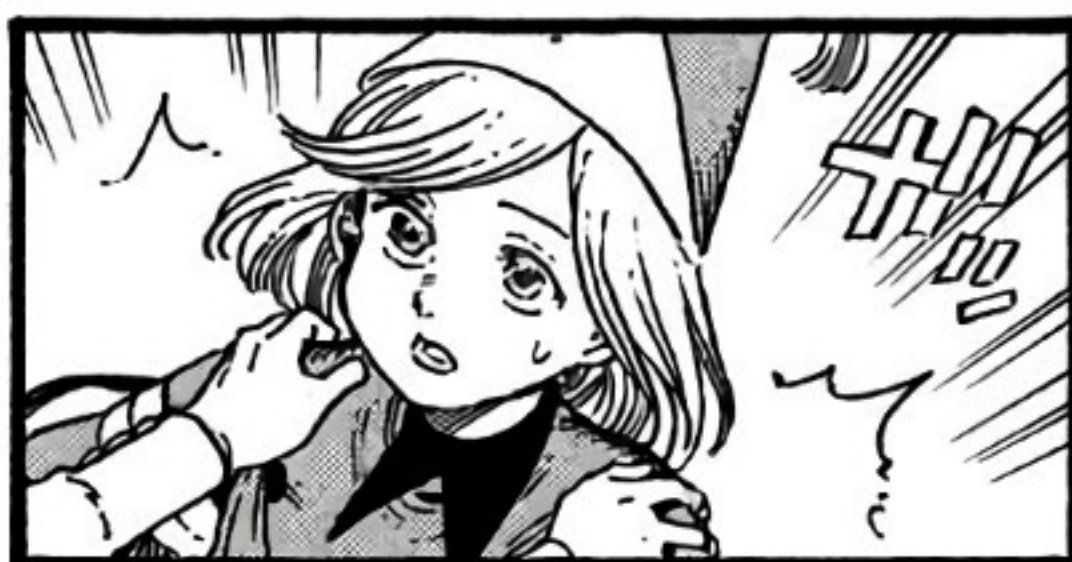














え...?

我々の
目的は...

あの子に
正しく
禁止魔法を
使わせること

禁じられ
失われた魔法の
正統性を
証明すること

正しい
理由
正しい
目的で

雑な規制で
奪われてしまった
魔法の無限の
可能性を

自由を

掟破りの
「知らざる者」が
解放する
こと……!

私が……
何……?

希望の子


そう
呼んだのよ

あなたに
禁止魔法を
使わせたいのかも
しれないわ

ココ

つばあり帽が
望んでいるのは
禁止魔法が
使われること

……やつらは
もしかしたら



ユイニイに
かけられた
恐ろしい魔法を
解かせるために

あなたに
つばのある帽子を
選ばせようと
してるのよ!!

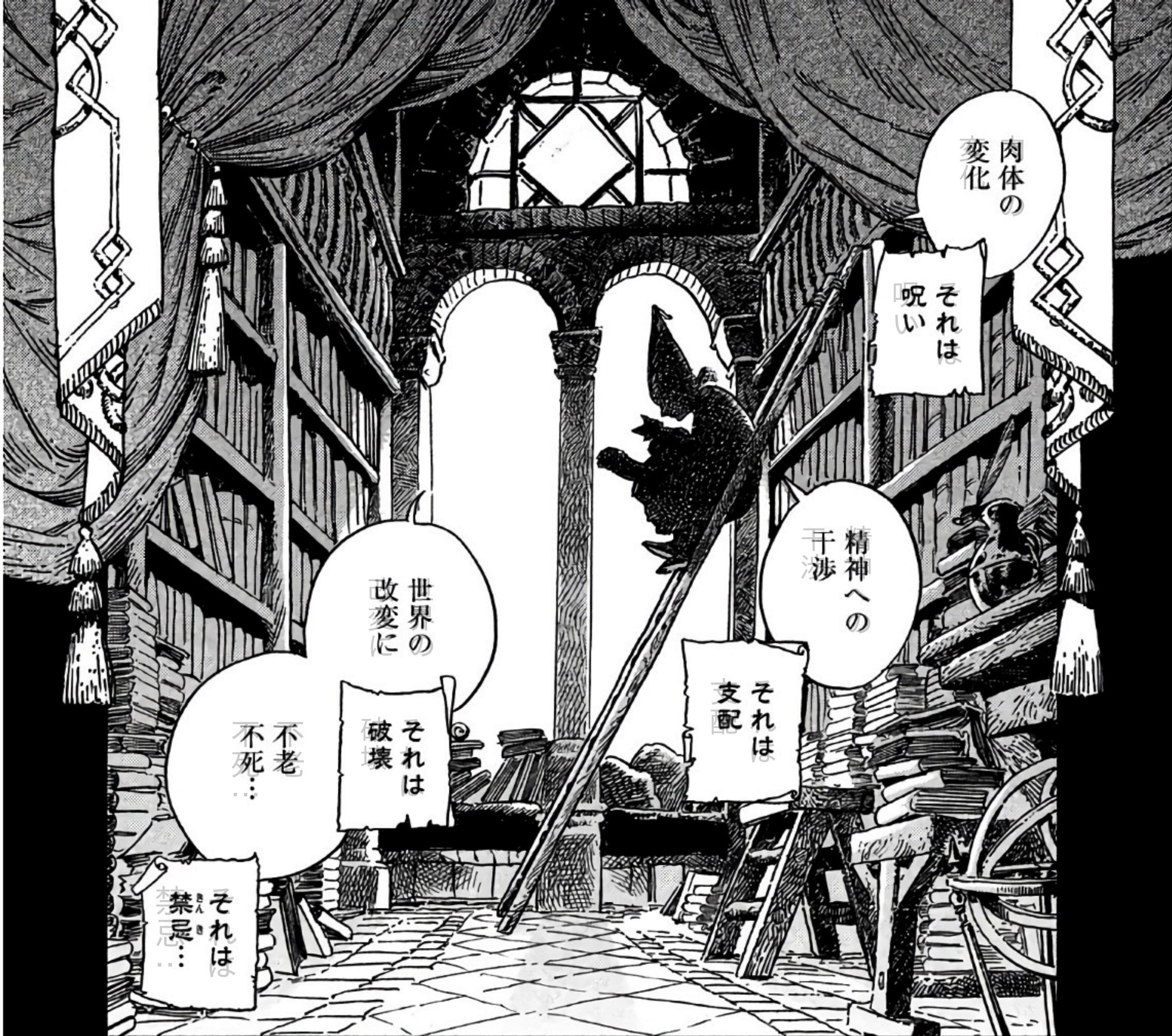



とんがり帽子のアトリエ



ATELIER OF WITCHAHAT

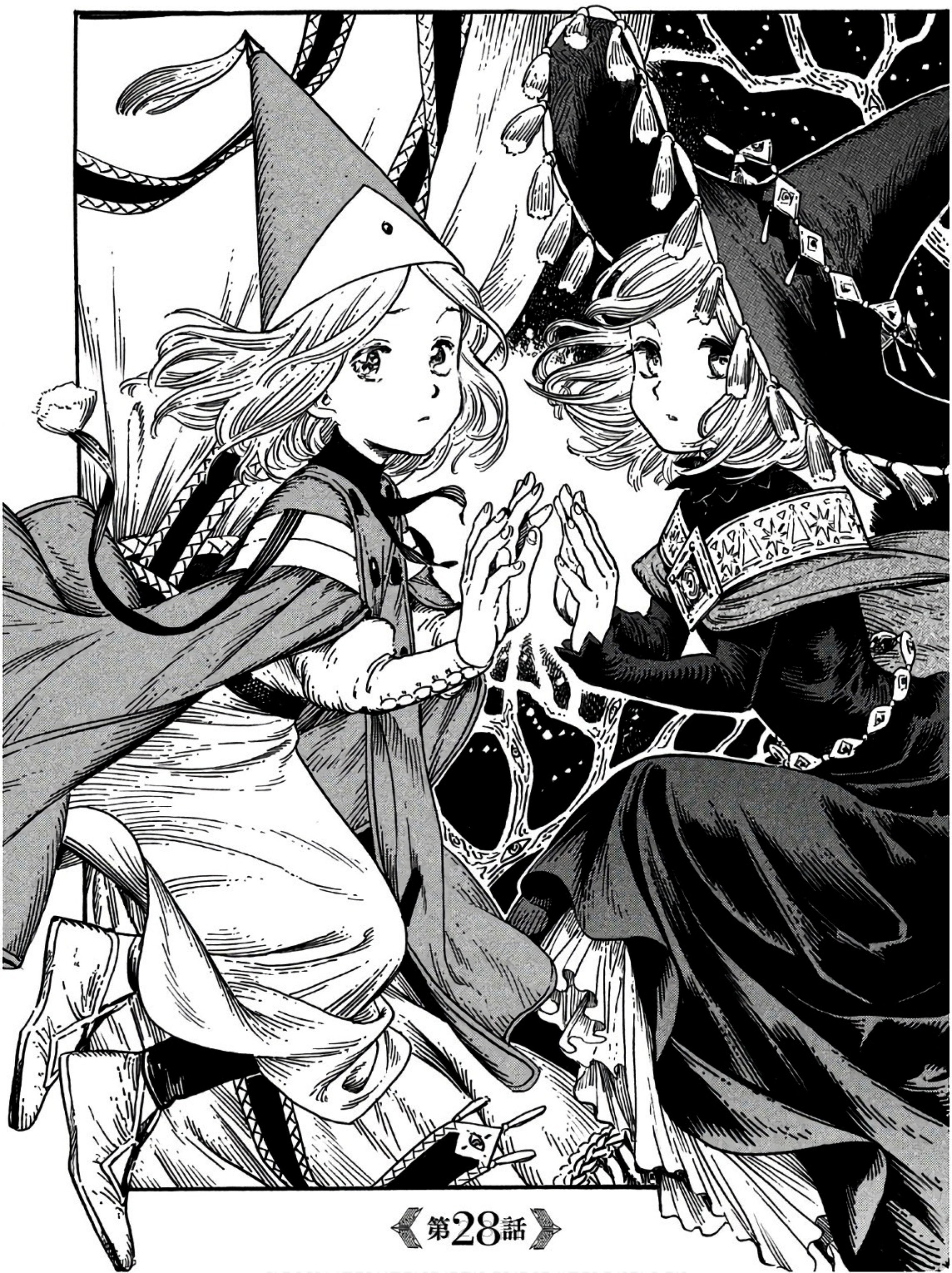




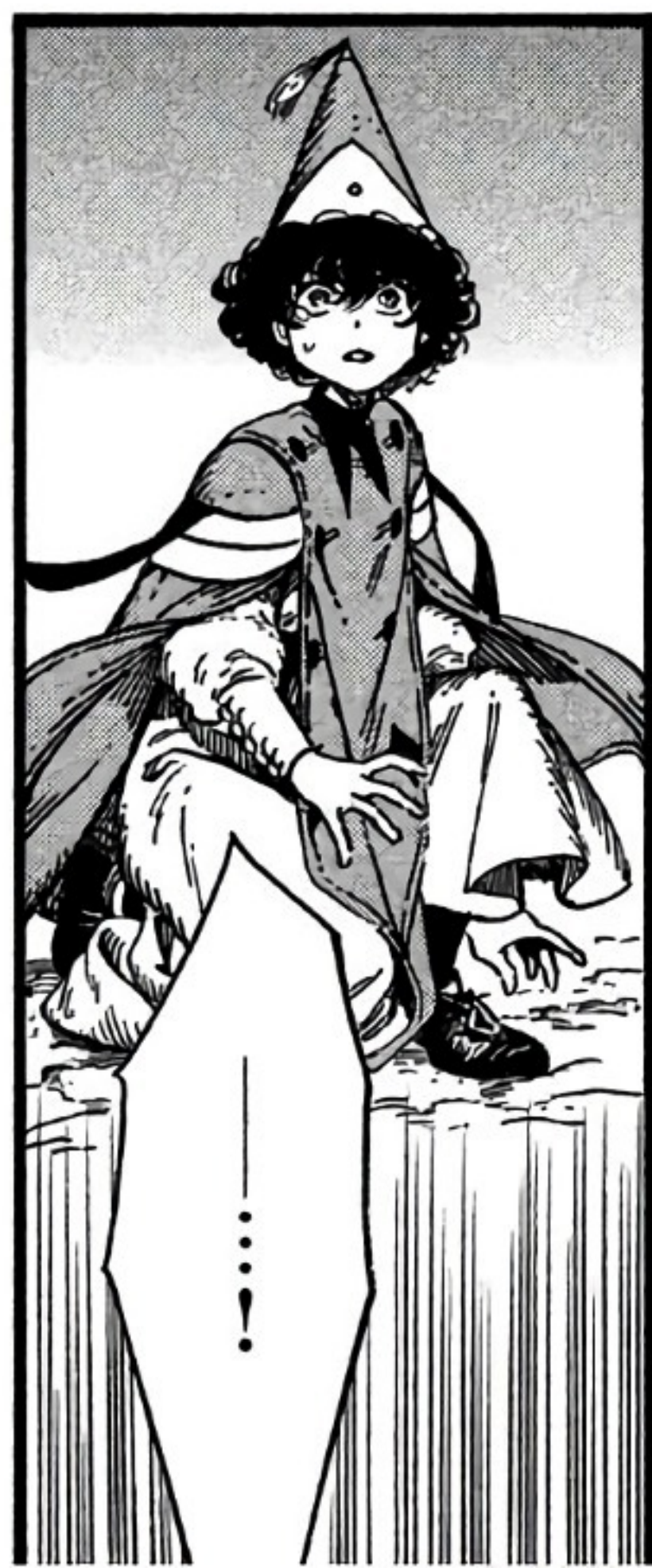


魔法は
何でも
できるのに

してはいけない
ことだらけなのは
何故――？









心配してくれて
るんだね

はい

なつ

ユイニイを
あんな姿にした連中の
思い通りになるのが
イヤなだけ！

つばあり帽も
禁止魔法も
世界から排除
されるだけの理由が
あるんだわ！

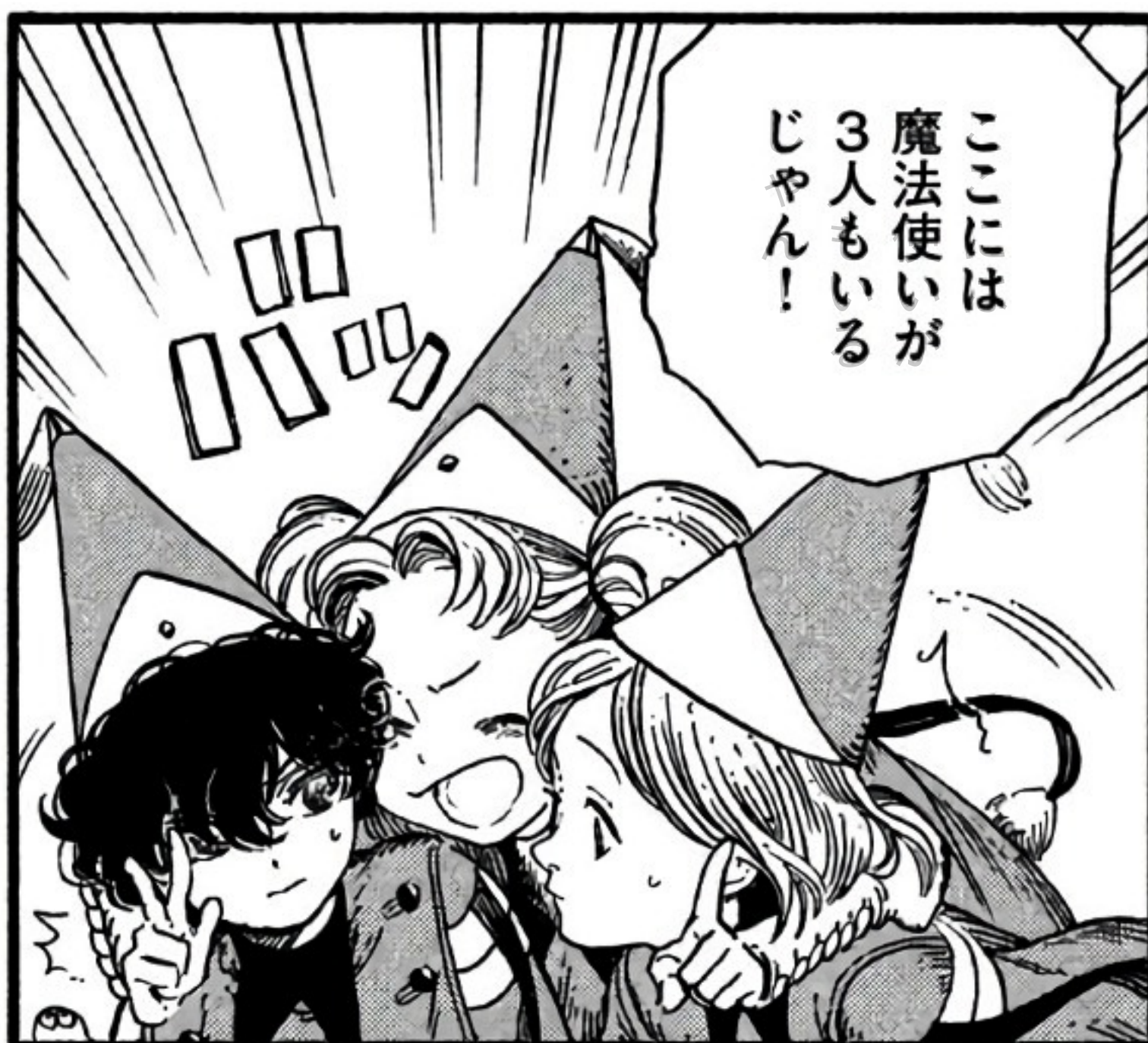
あんなに
禍々しくて

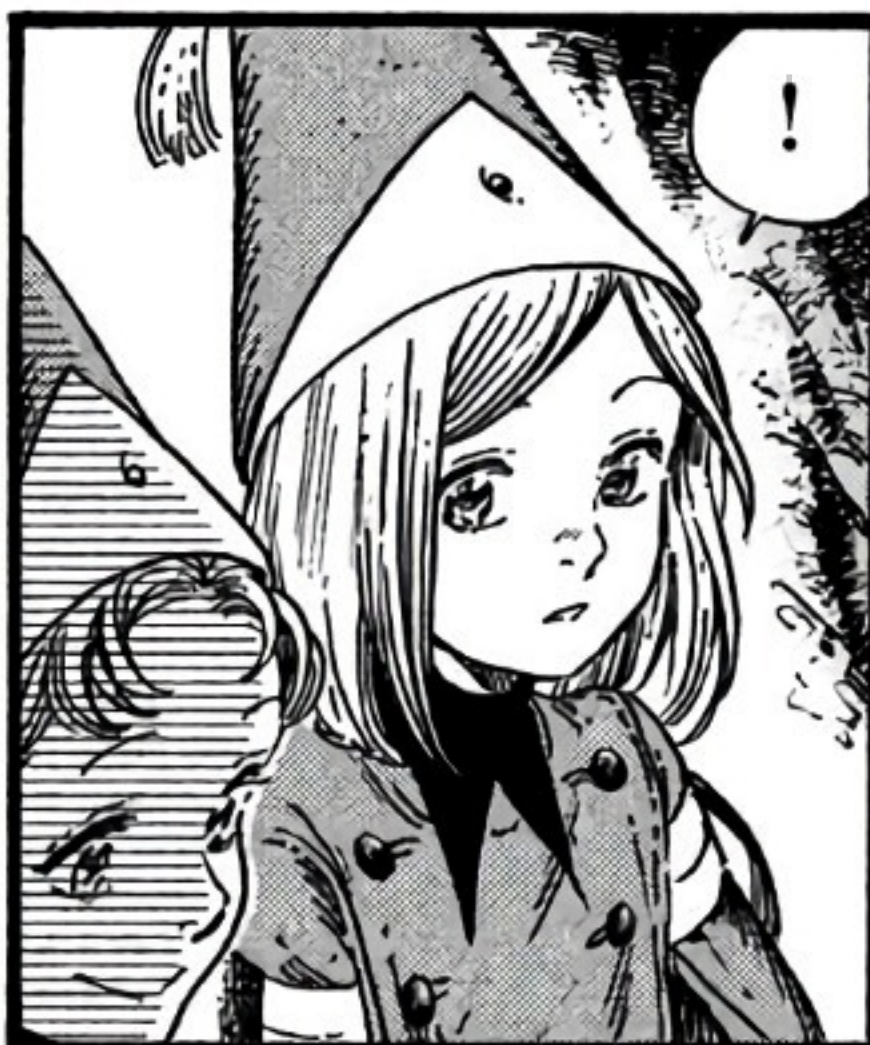
恐ろしい魔法は
見たことない

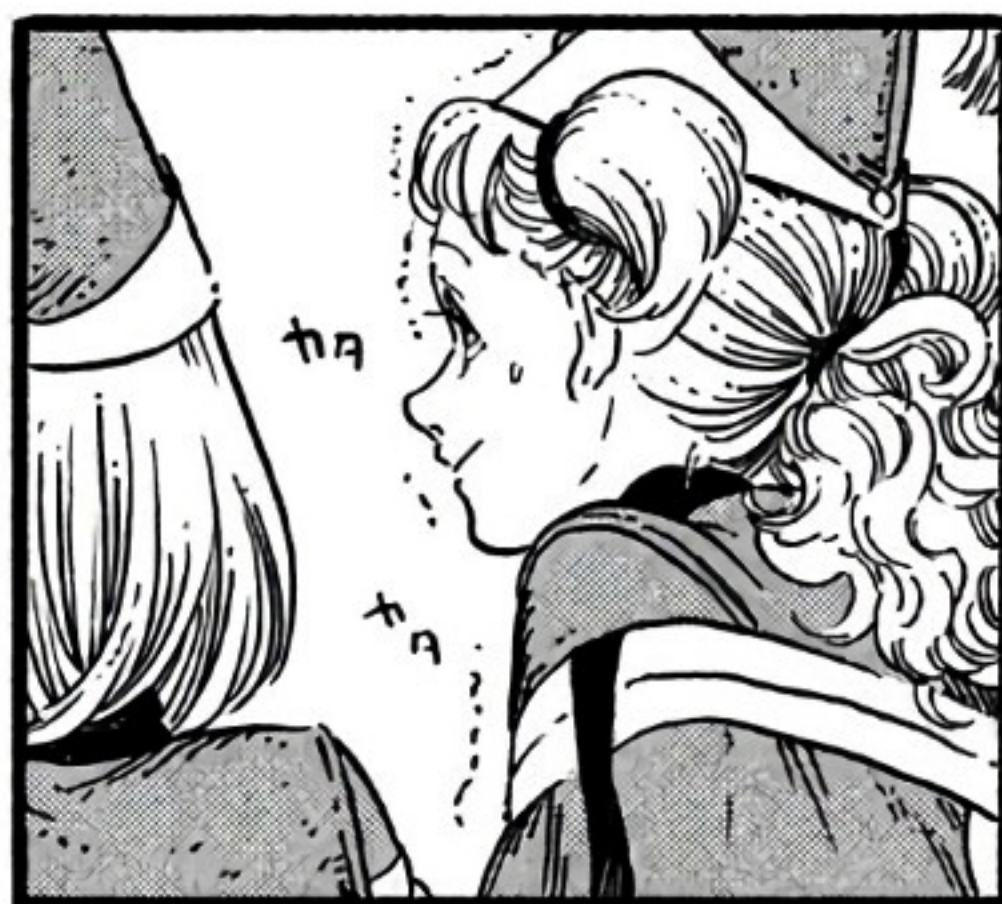
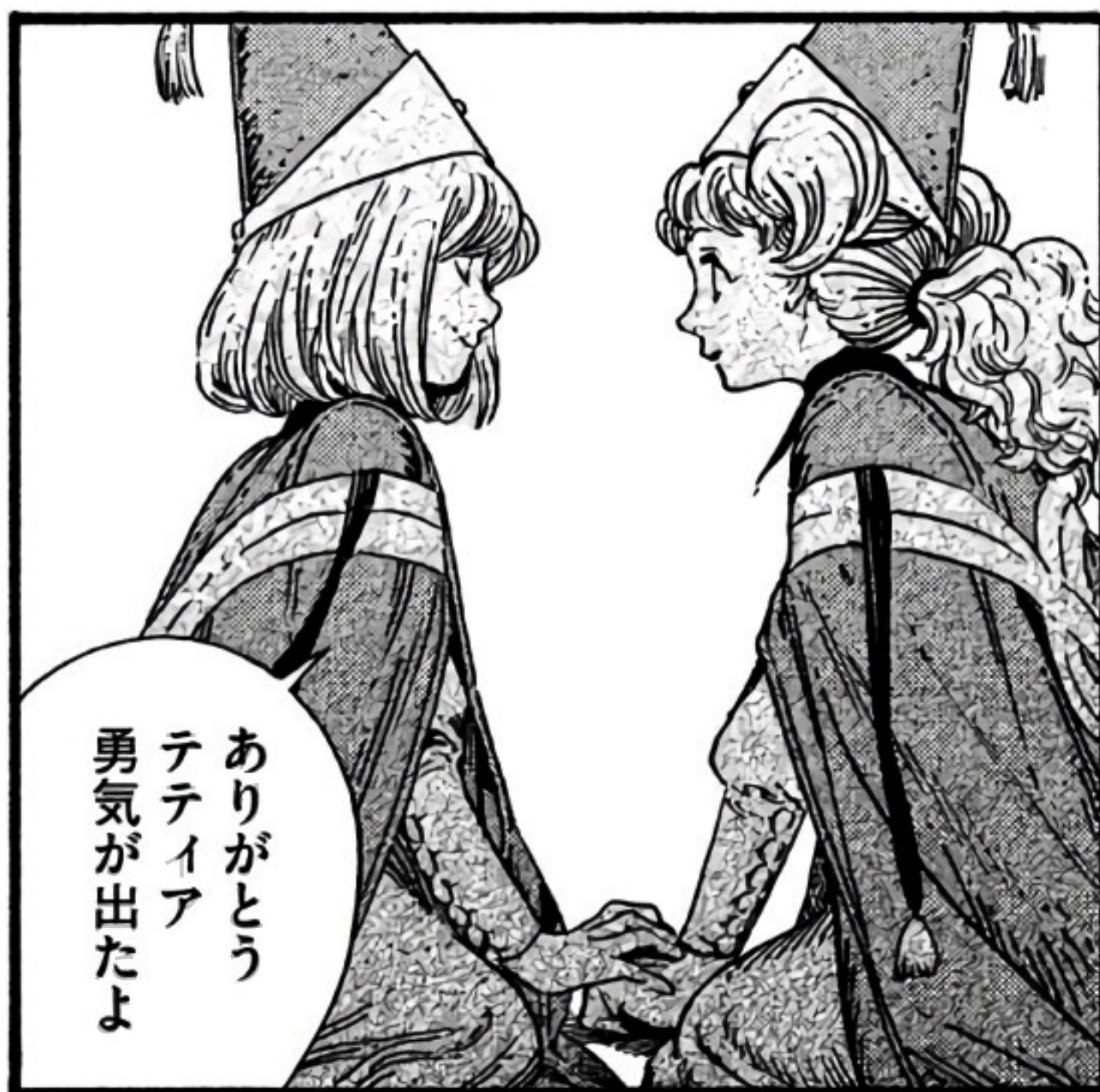
からだ
身体がすくんで
何も出来な
かった…

私一人じゃ
何も…

一人じゃ
出来なくても



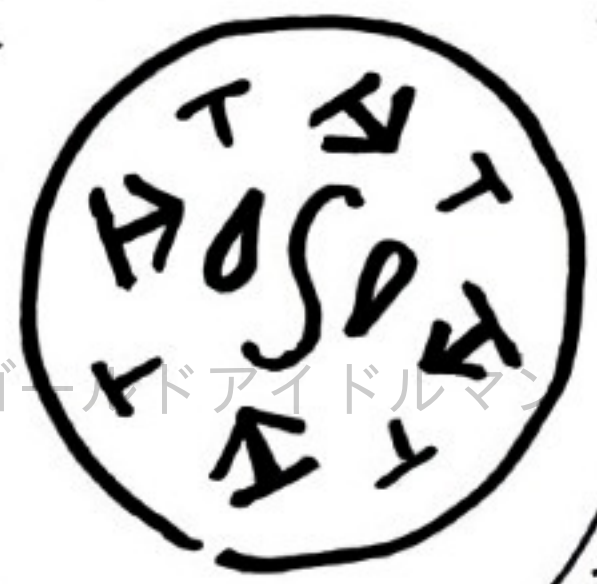




ランプの浮き灯り



水の昇り台



岩伸ばしの縄



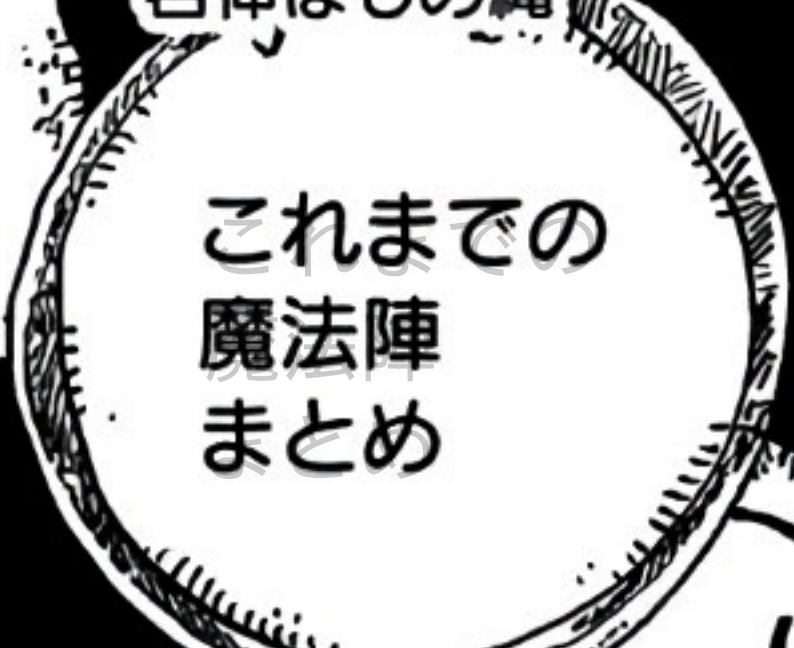
雨生みの陣



風寄せの手



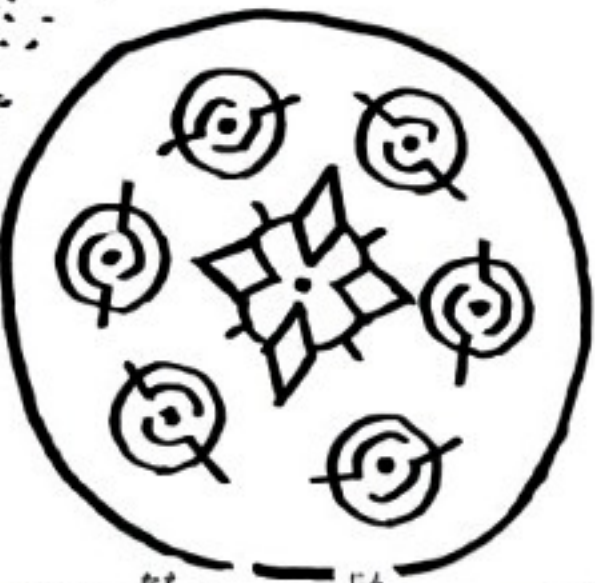
これまでの魔法陣
まとめ



焚火球の陣



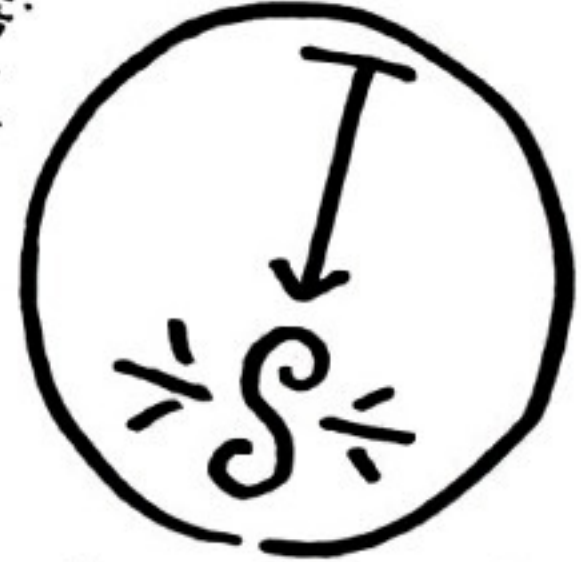
くり返しの陣



水飛ばしの陣



空すっ飛びの陣



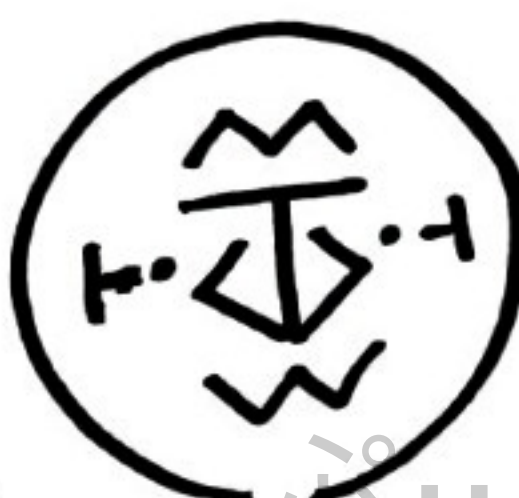
光の鳥狼煙



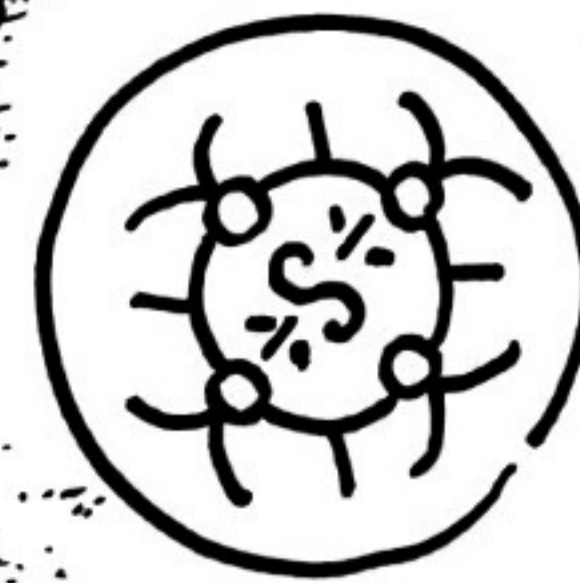
飛靴の陣



壁崩しの陣



空飛ぶ人形







二つの魔法が
打ち消しあつて

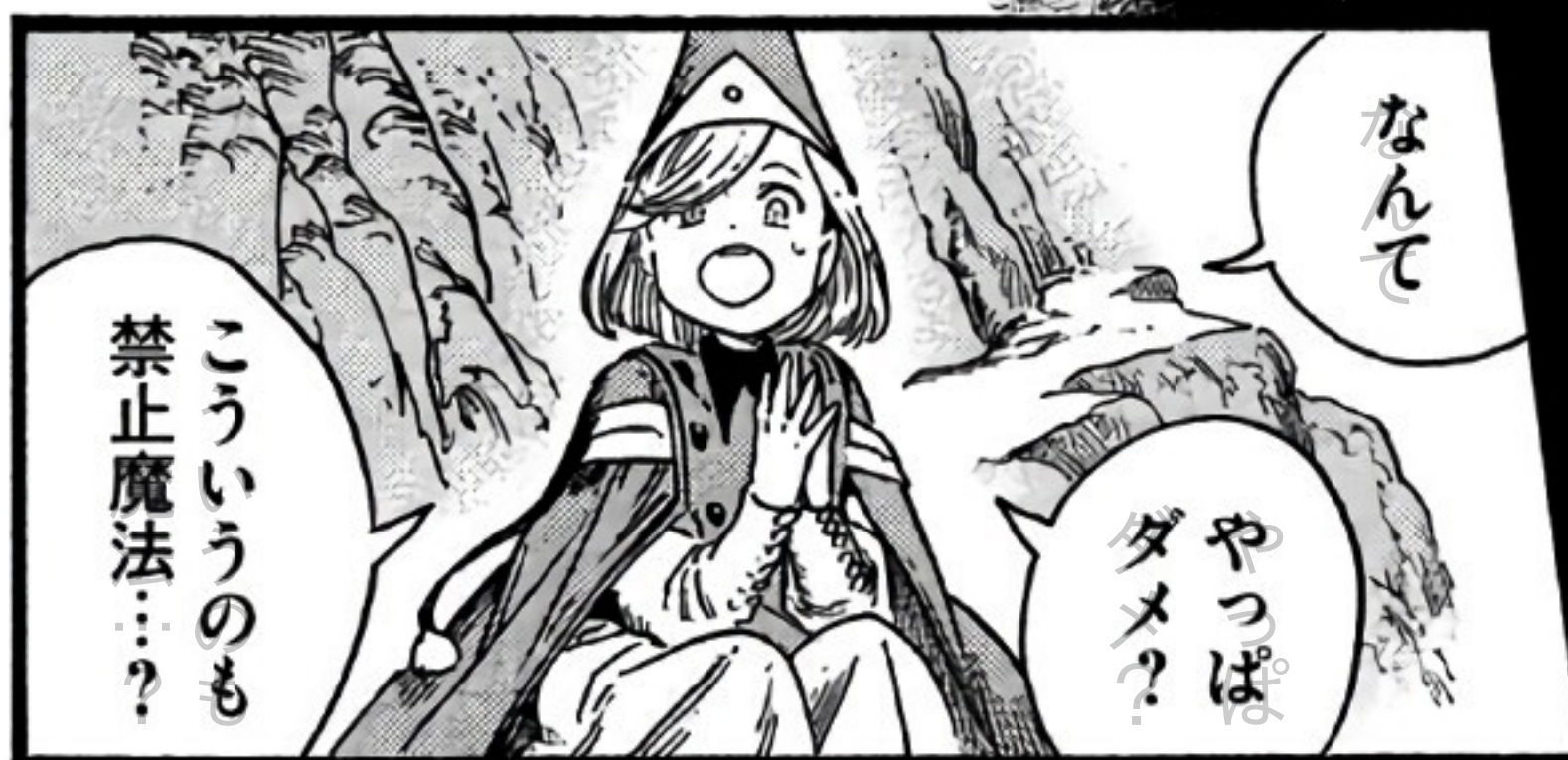
ユイニイ君を
取り戻せたり
しないかな



なんて

やっぱ
ダメ?

こういうのも
禁止魔法...?



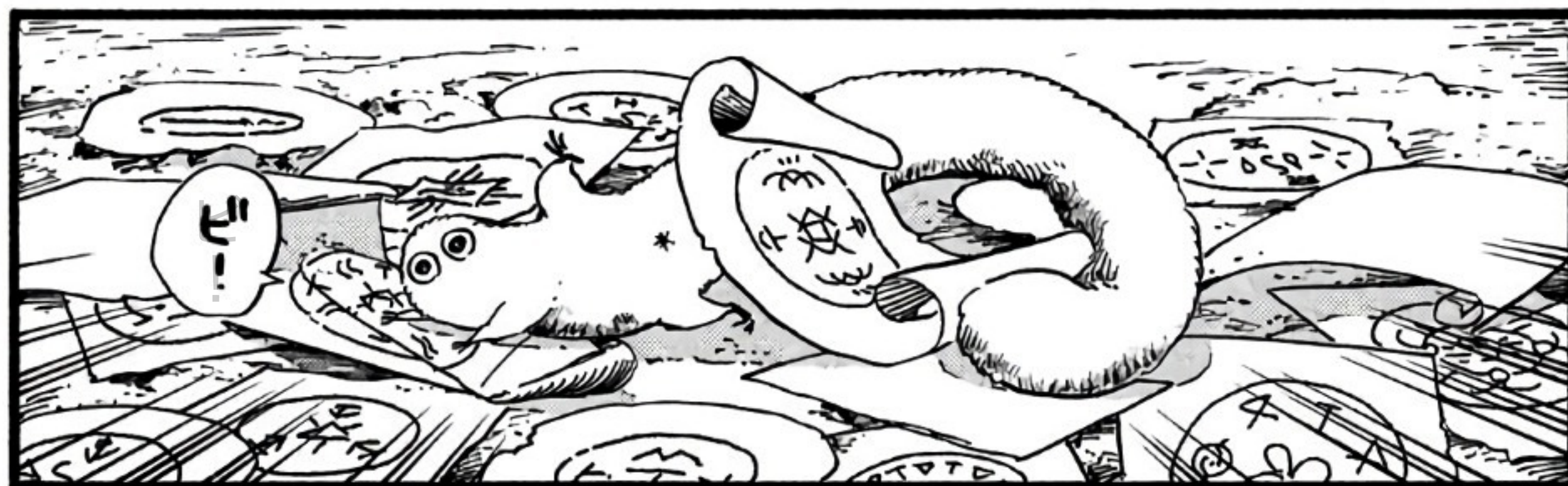
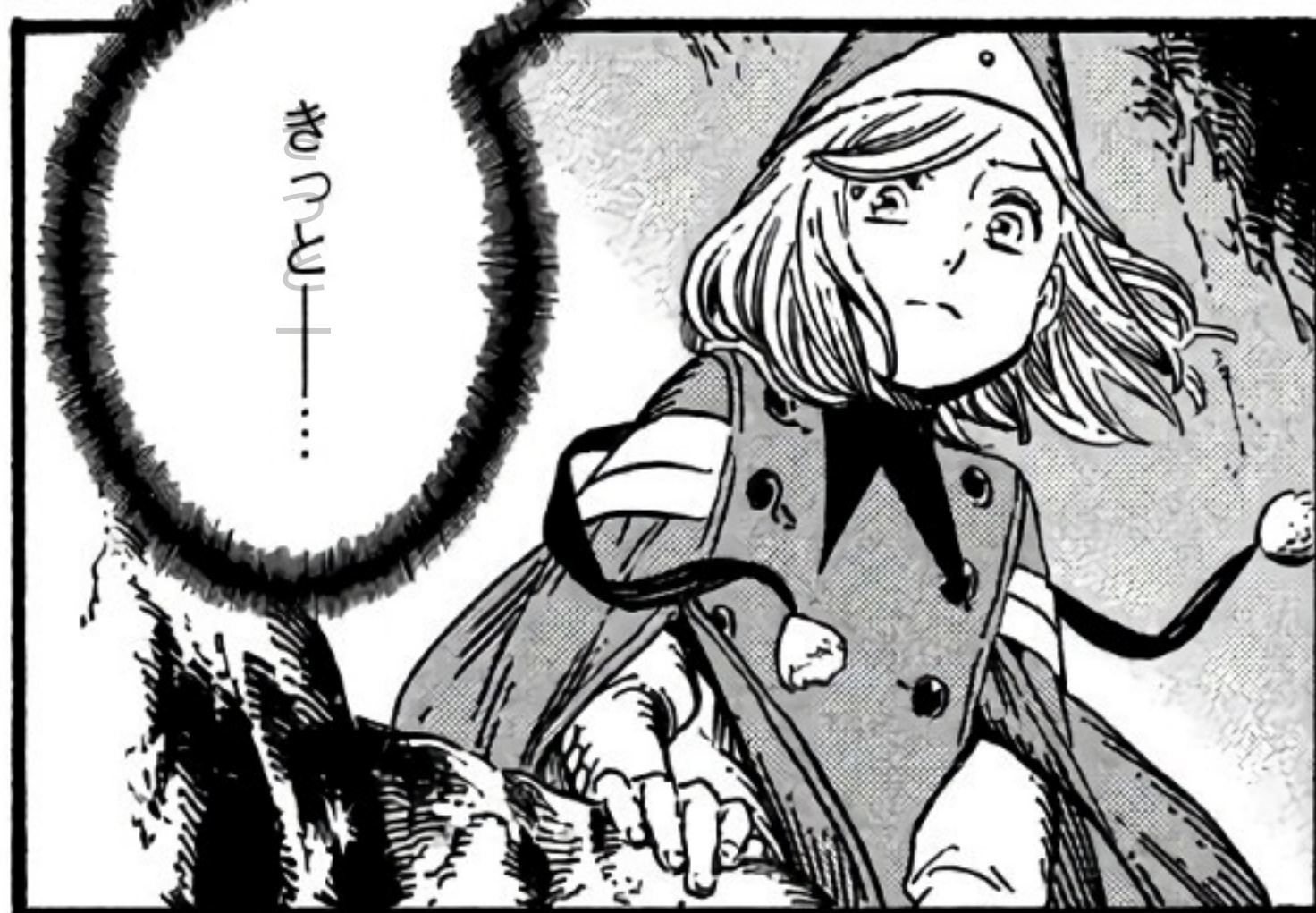
魔法を消す
魔法なら

魔法をかける
ことには
ならないと
思っただけど

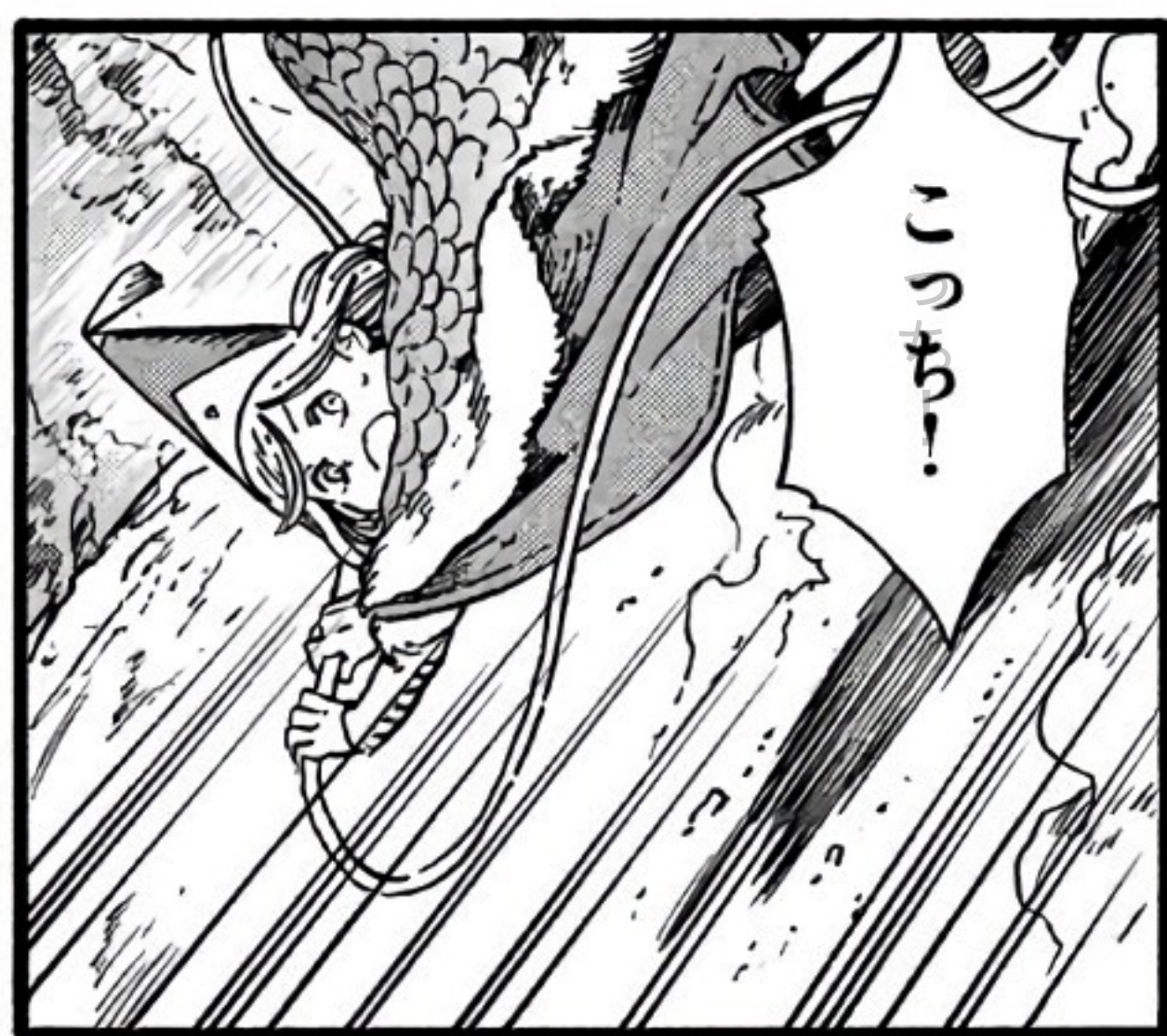


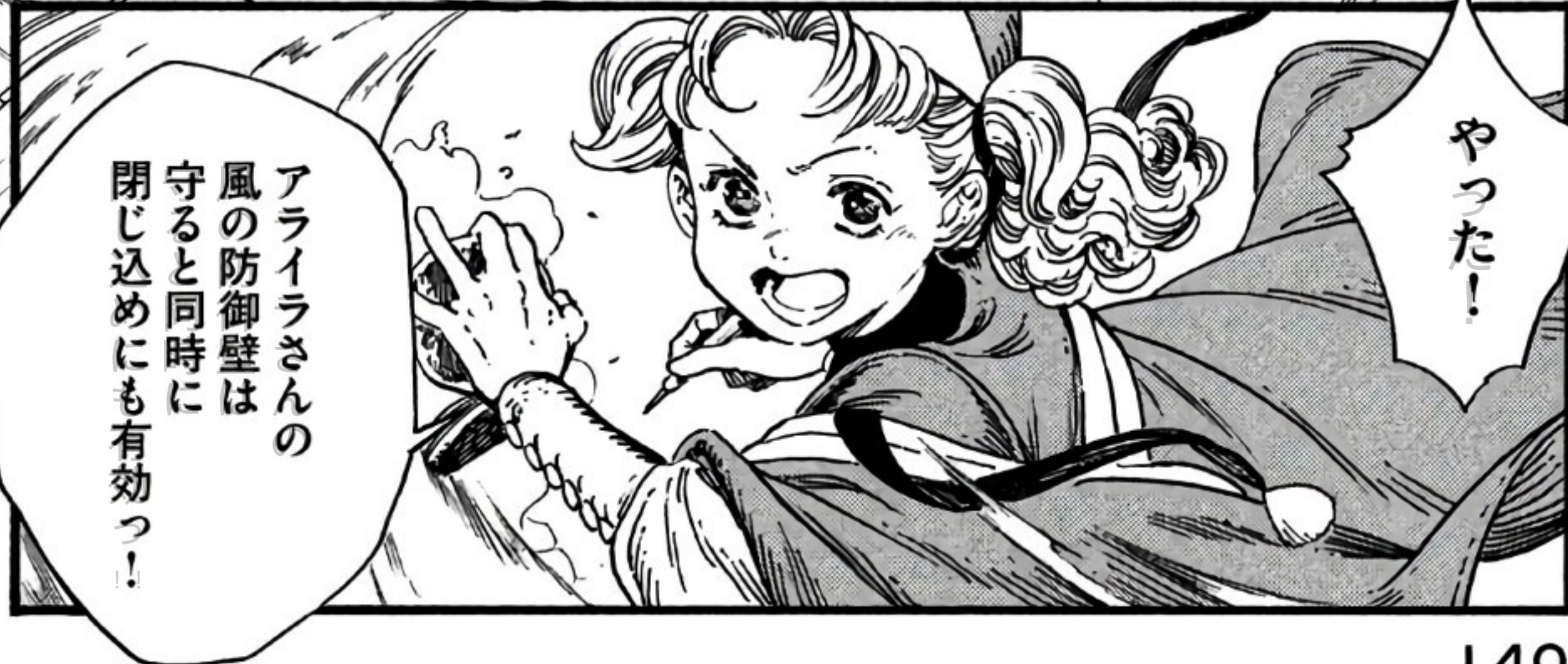
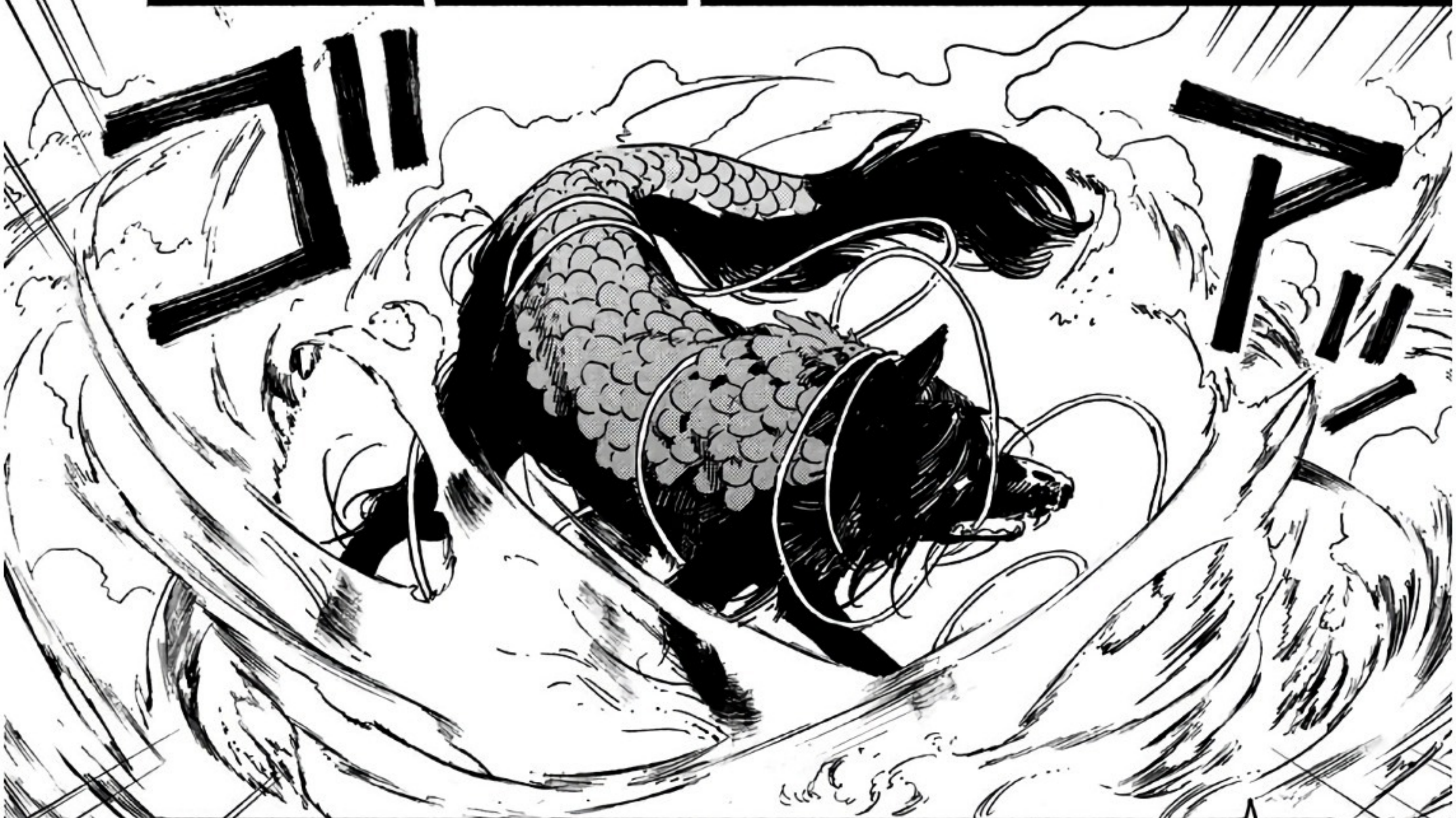


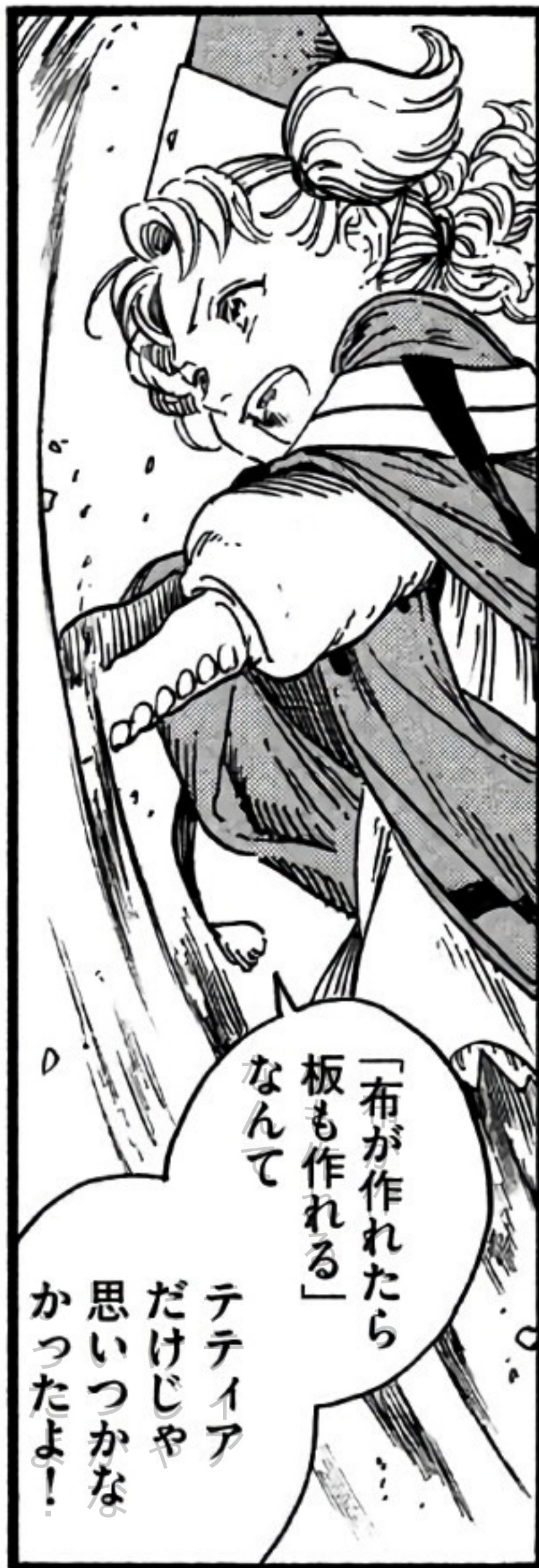












「布が作れたら
板も作れる」
なんて
テティア
だけじゃ
思いつかな
かったよ!



砂の壁で
できた檻!!

...からの



ンビ!



ば、

フデムシ!

...



今なら
しばらく
動けない!

急いで
アガツト!



足止め
できたら
フデムシを
放つ



魔墨の匂いに
惹かれる
フデムシは

ユイニイの身体に
刻まれてしまった
魔法陣を

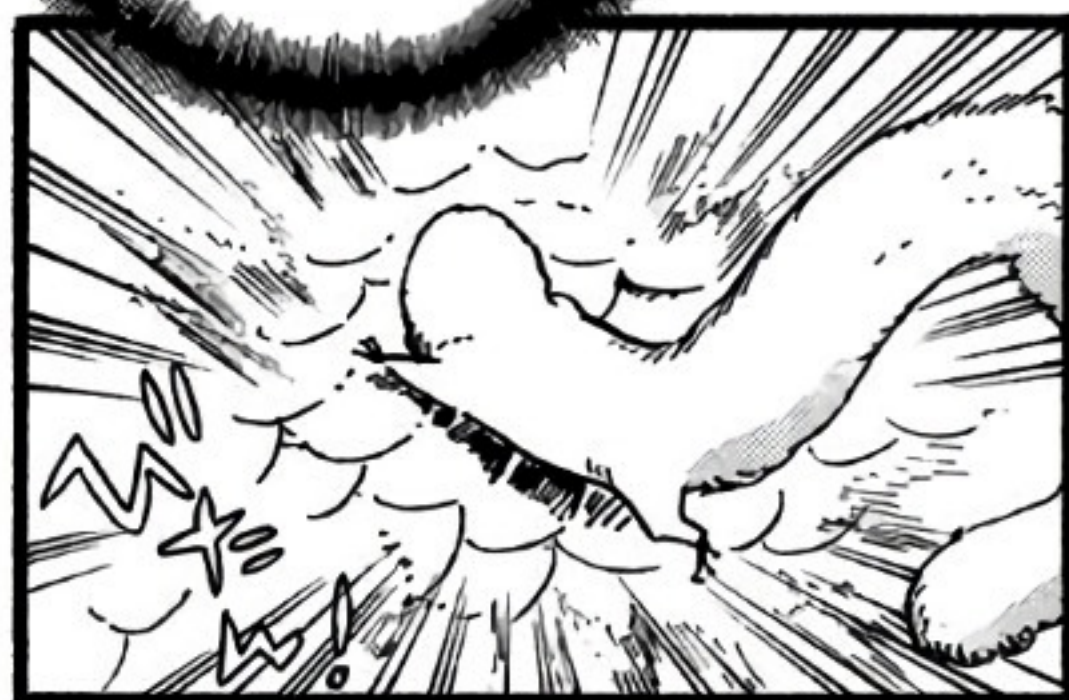


そこね！



ニエニエ！

きっと
見つけてくれる。
はず――！

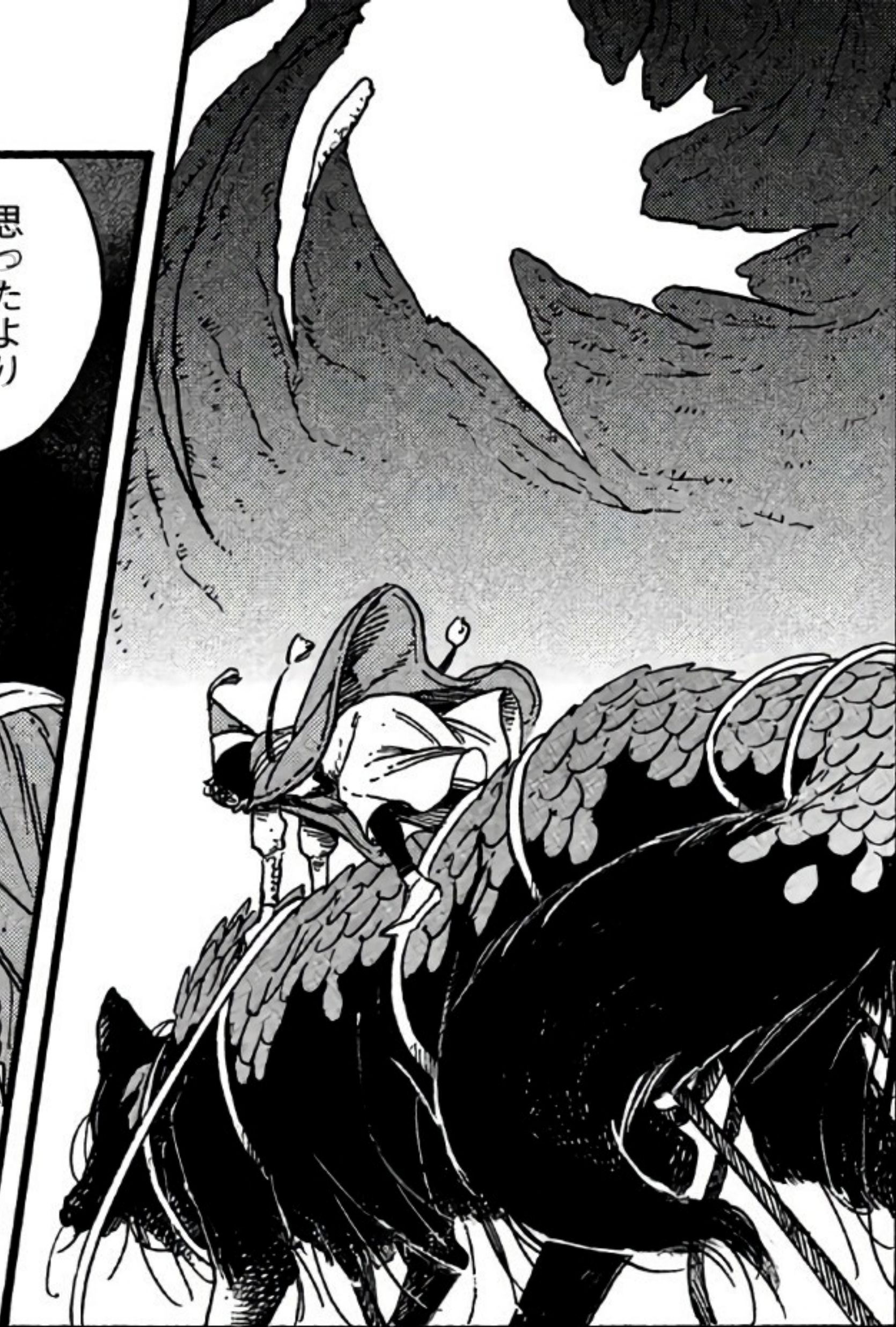


その
嗅覚で



思ったより
小さい

こういうのは
リチエの方が
得意なのに



あの子の
ためにも
戻って来てよね
ユイニィ!



あなたじゃ
助けにならない
なんて

酷いことを
言ってしまった



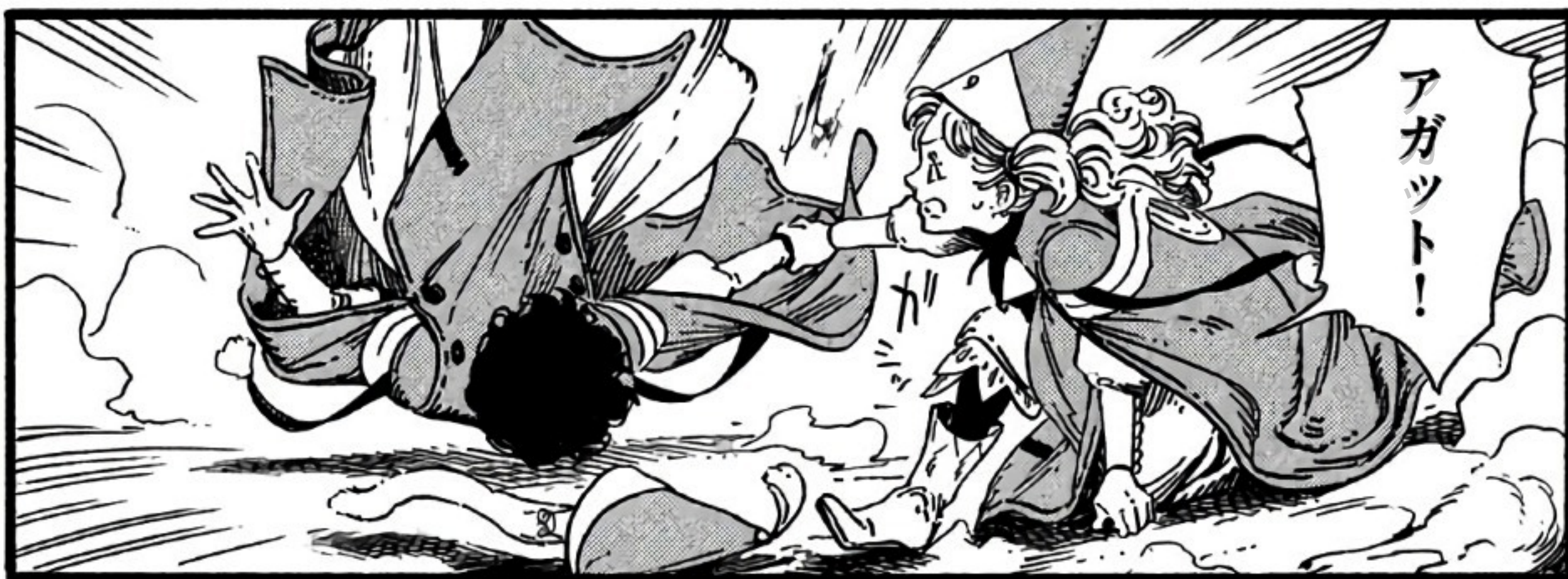
よし
描けた...っ！

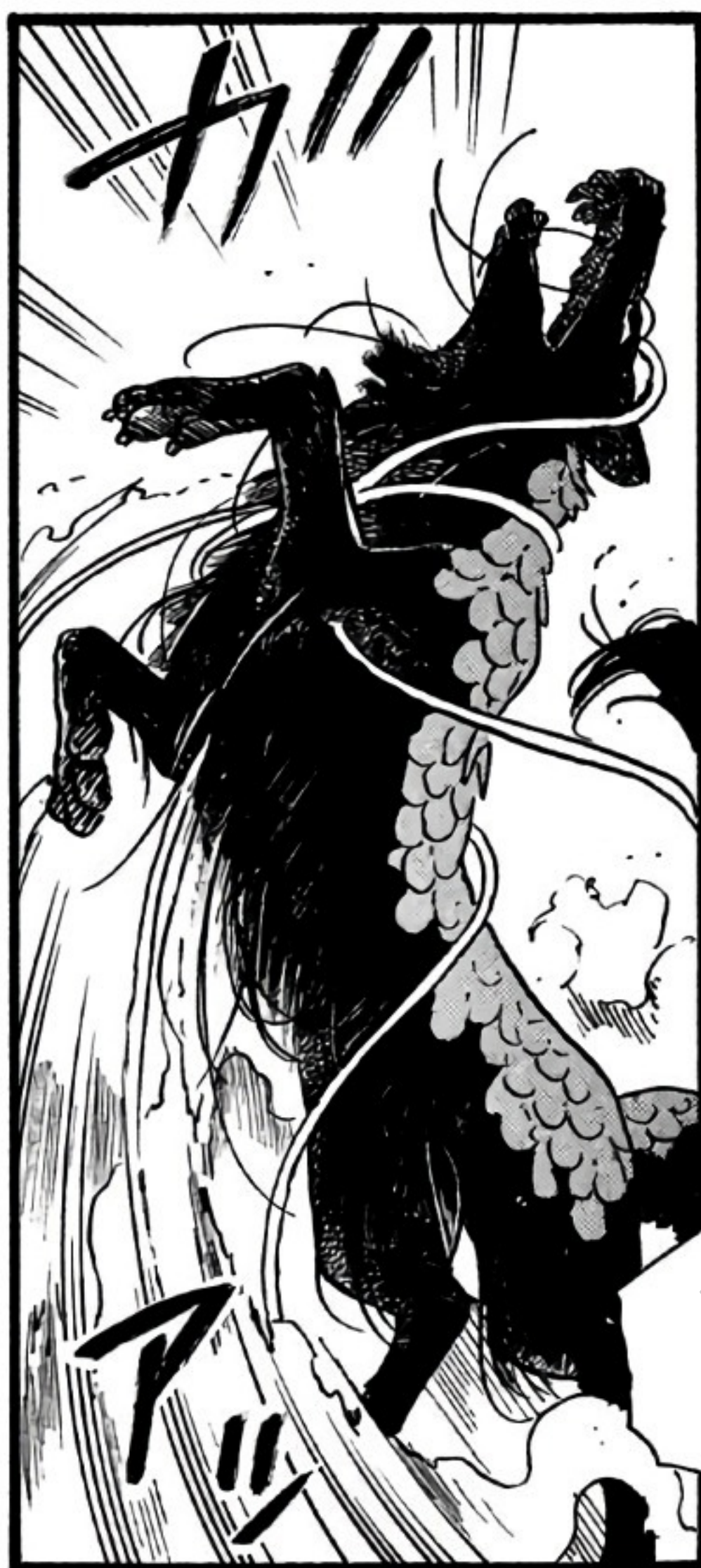
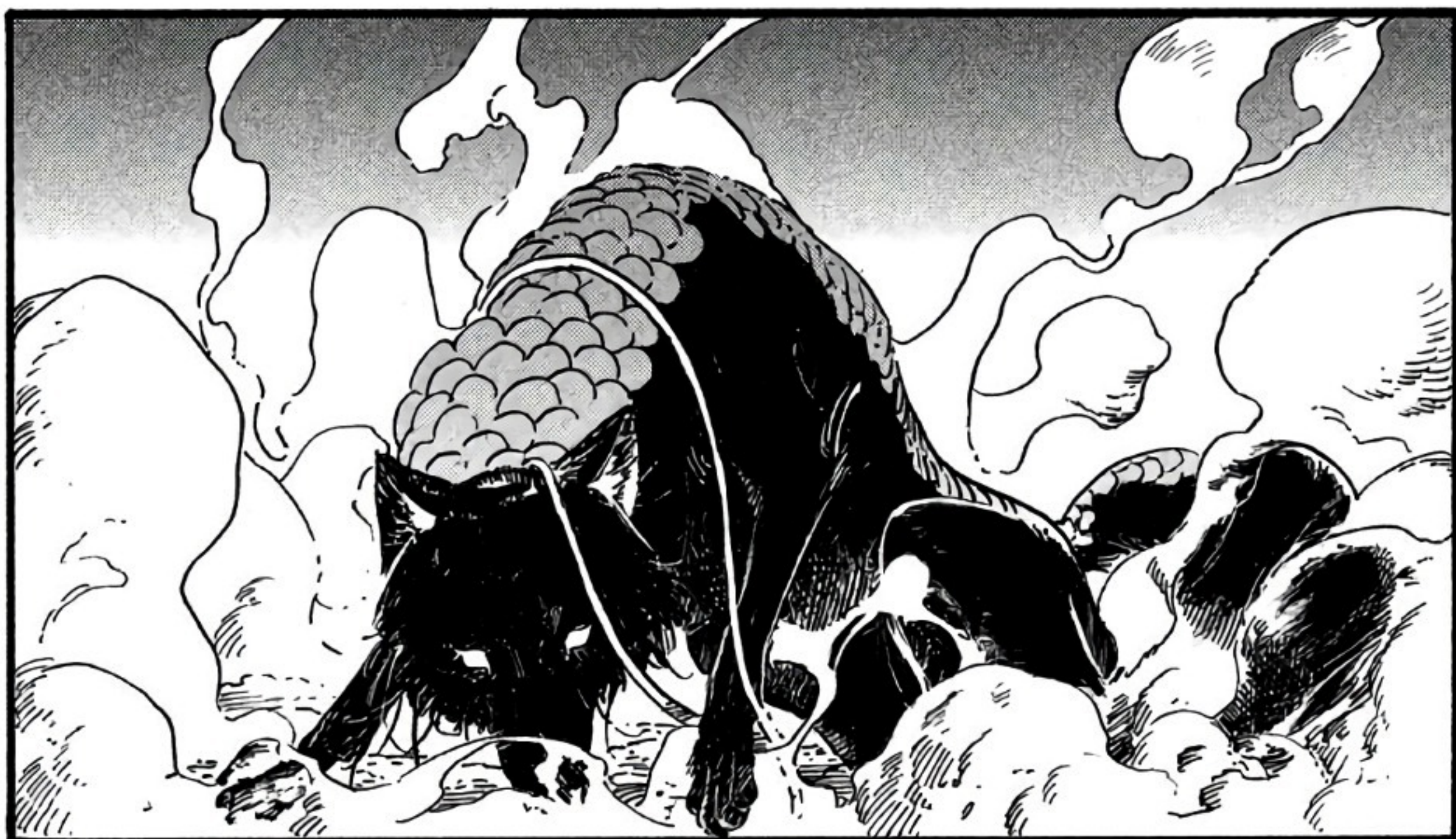
カッ

✕

✕

✕



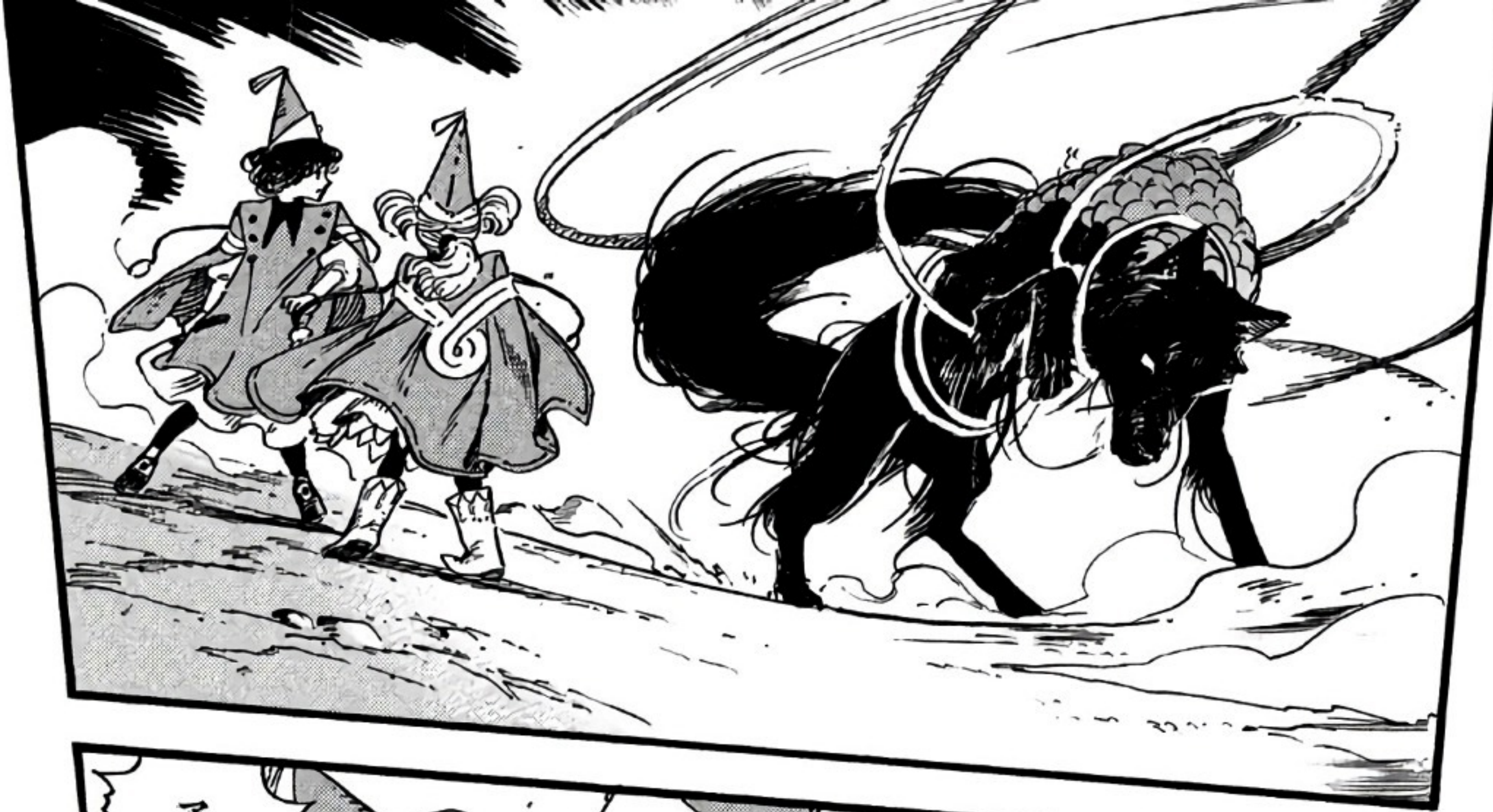


何が

精度が悪かった？

どうして？
何か
間違えた？

元の姿に
戻らない...



失敗
だった！

ユイニイ君は
狼のままだ

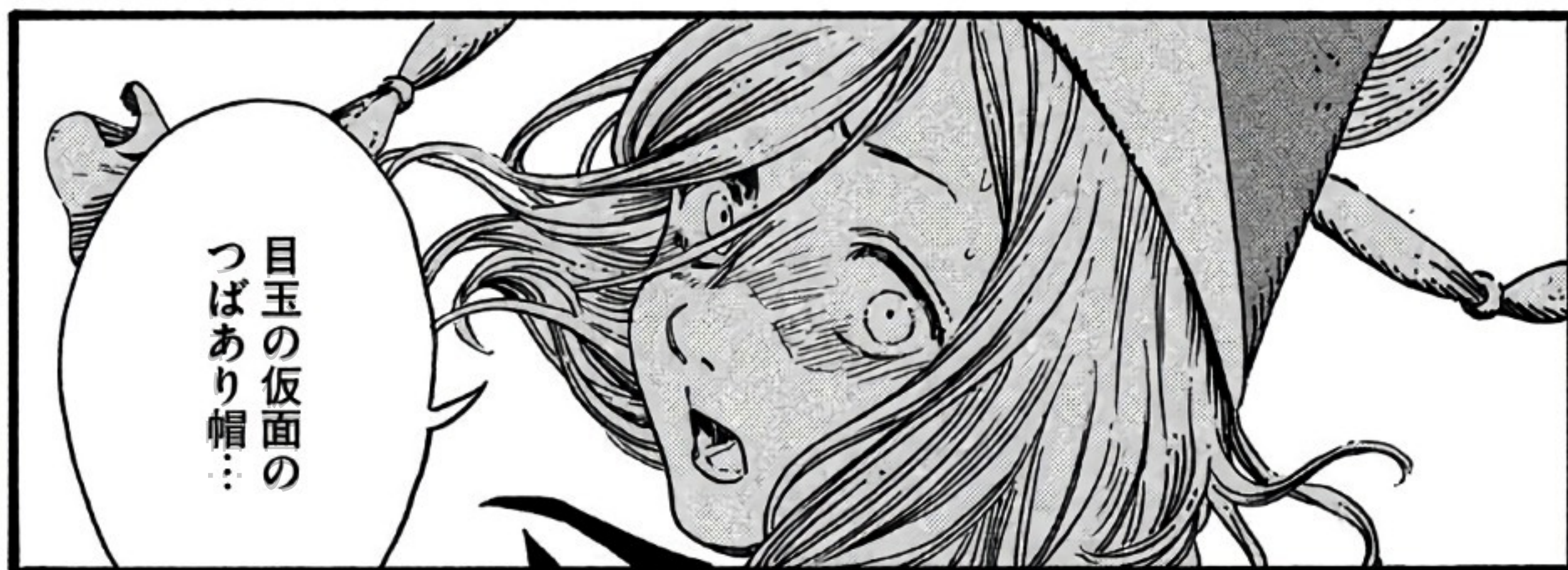
どうしたら
いいの…
二人が危ない

でも
反転魔法でも
ダメじゃ…！

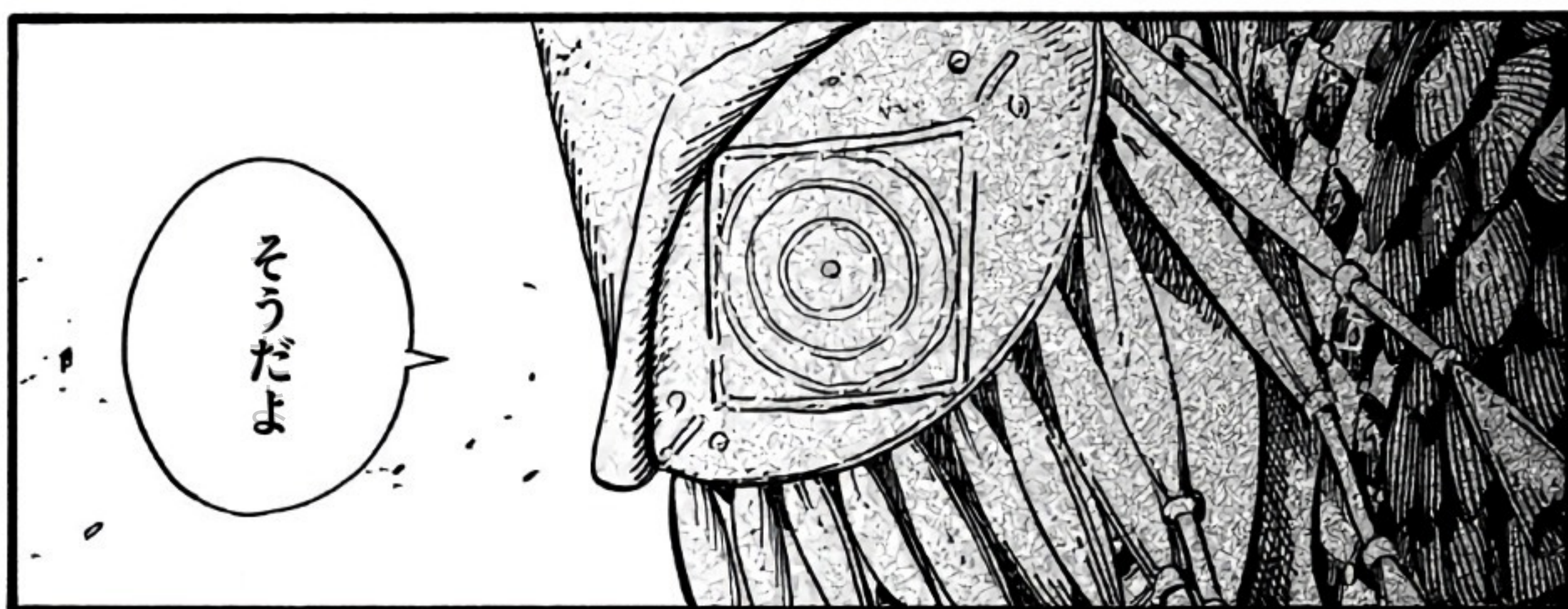
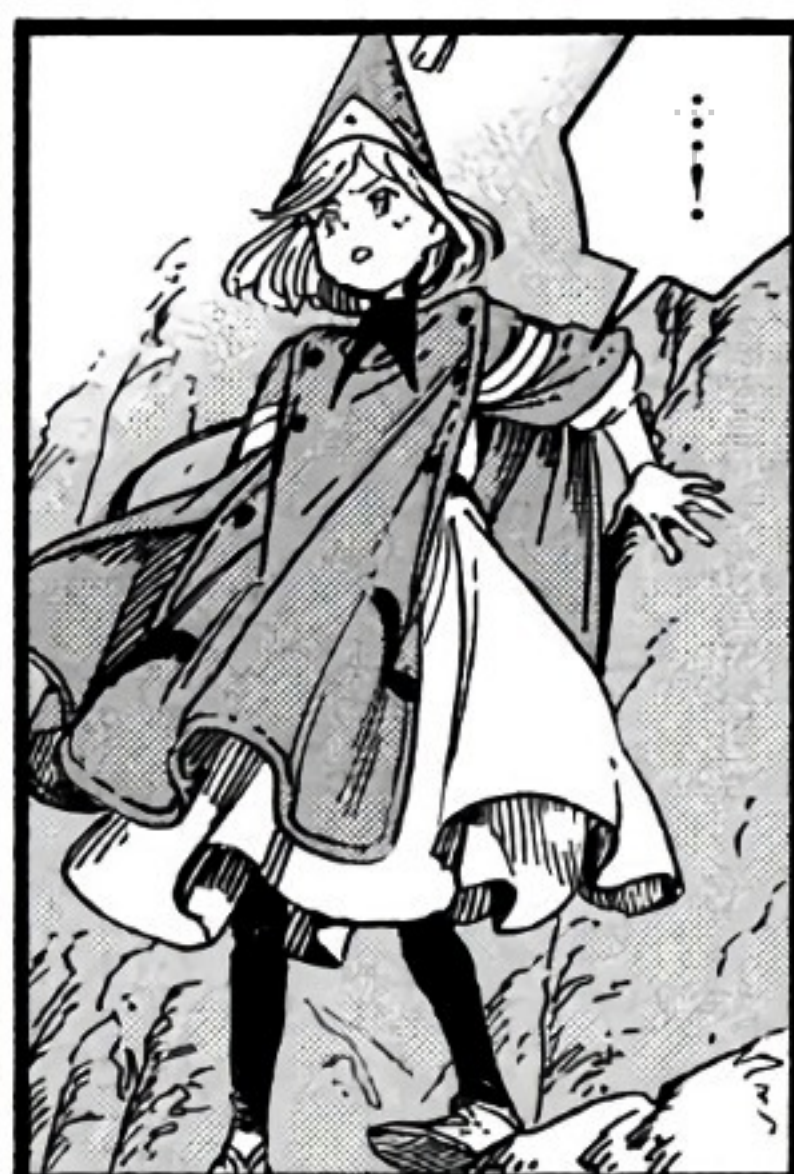
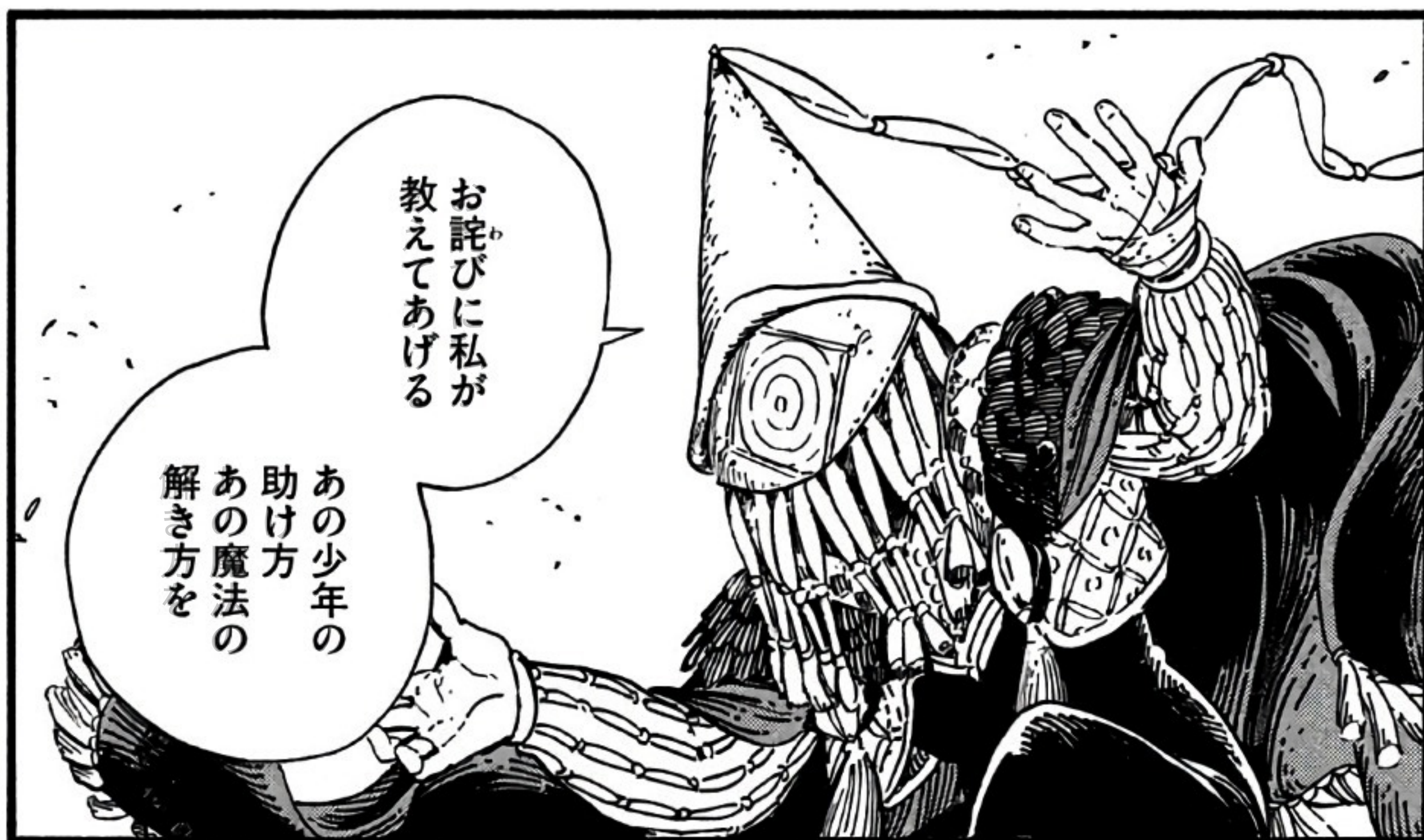
やっぱり
そうなの？

魔法で身体を
変えられて
しまったら

もう
普通の魔法では
解けないの…？







大丈夫
皆には内緒に
してあげる

魔法使いに
秘密は
つきもの

あの子達を
助けたいん
だろう？

さあ
ココ

描くんだ

とんがり帽子のアトリエ

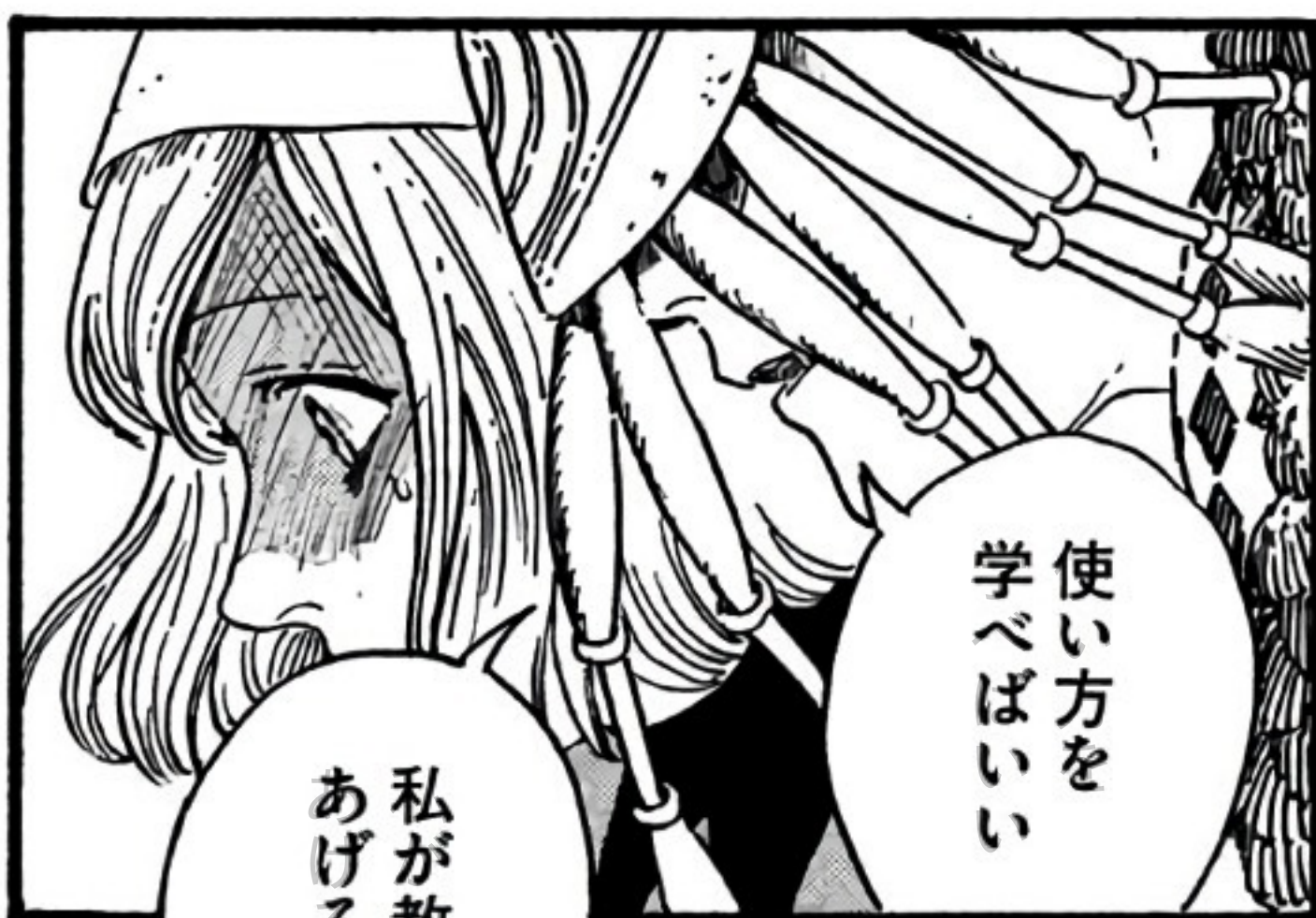
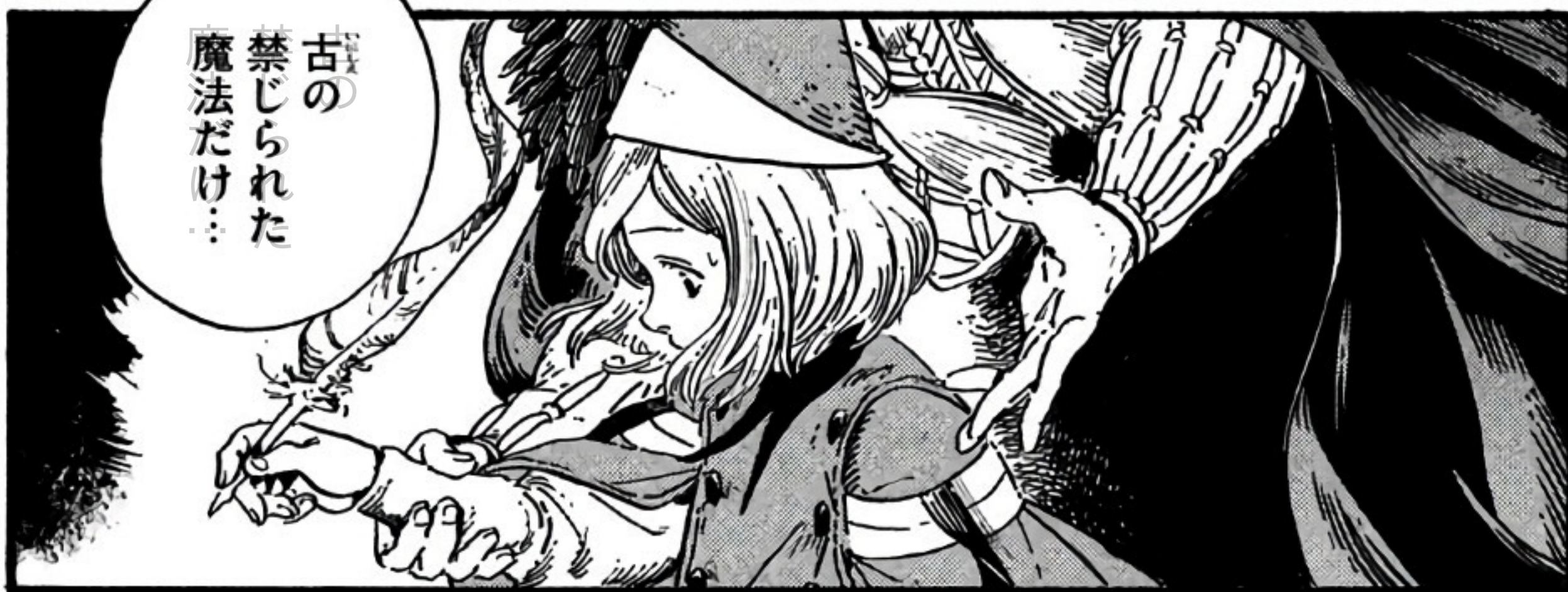
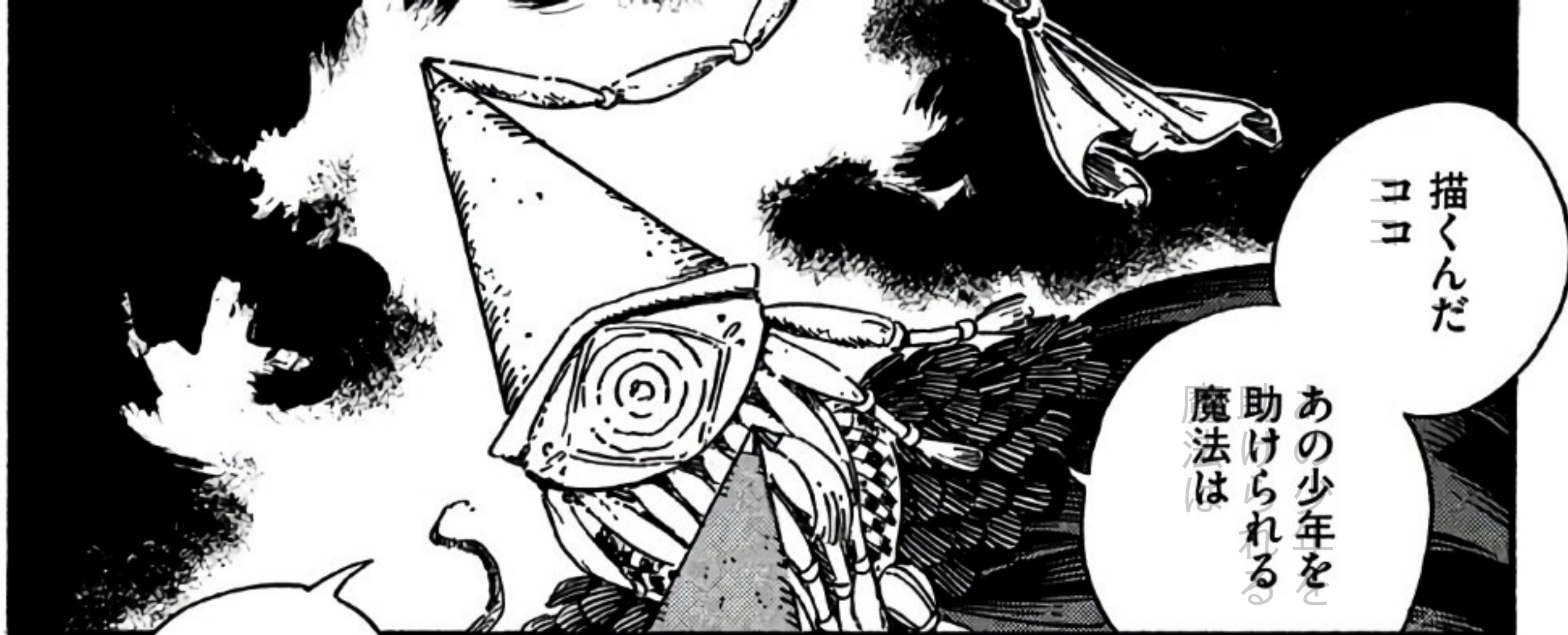


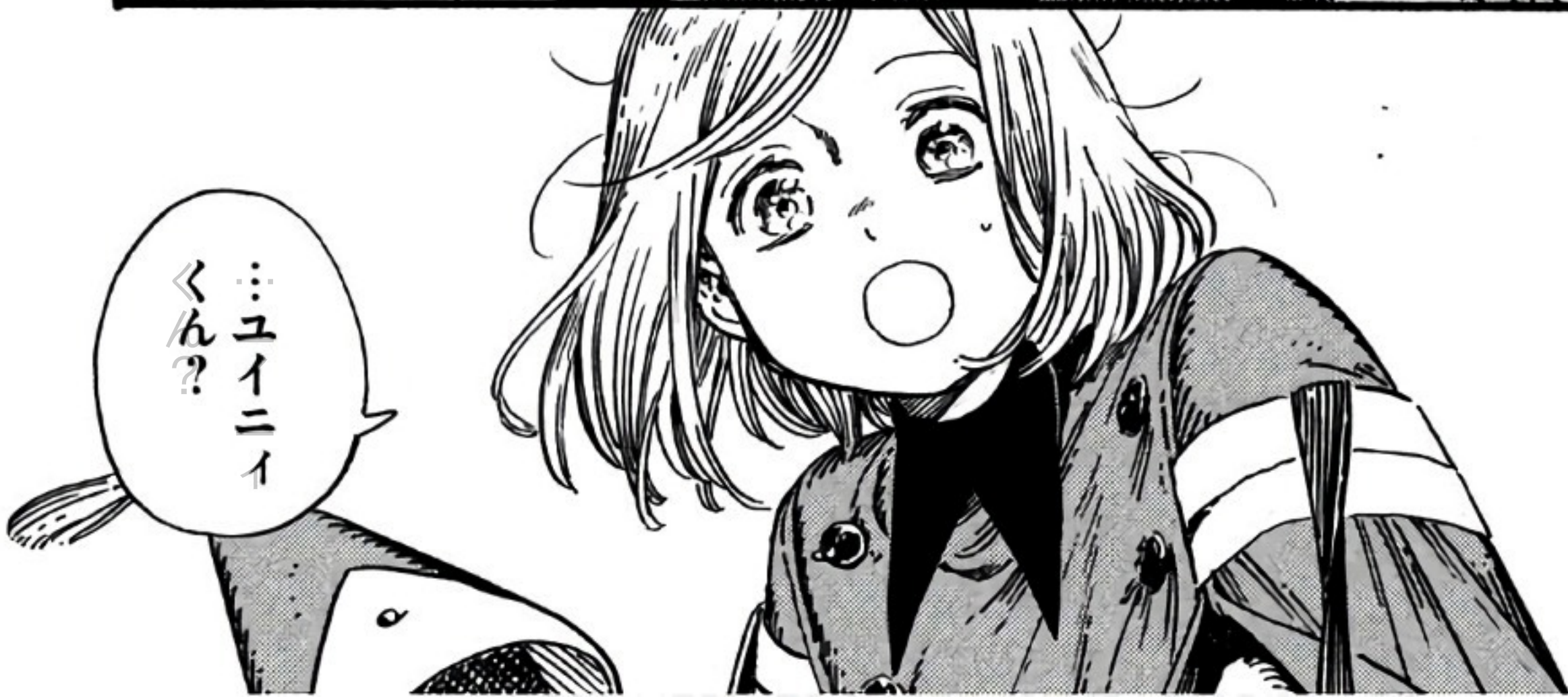
ATELIER OF WITCHAHAT



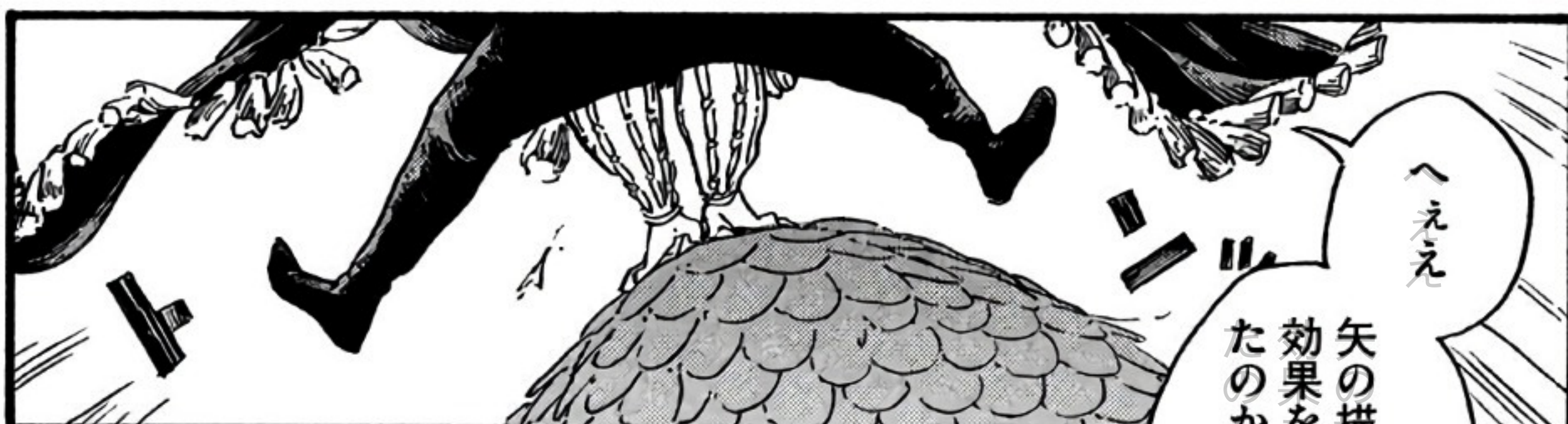
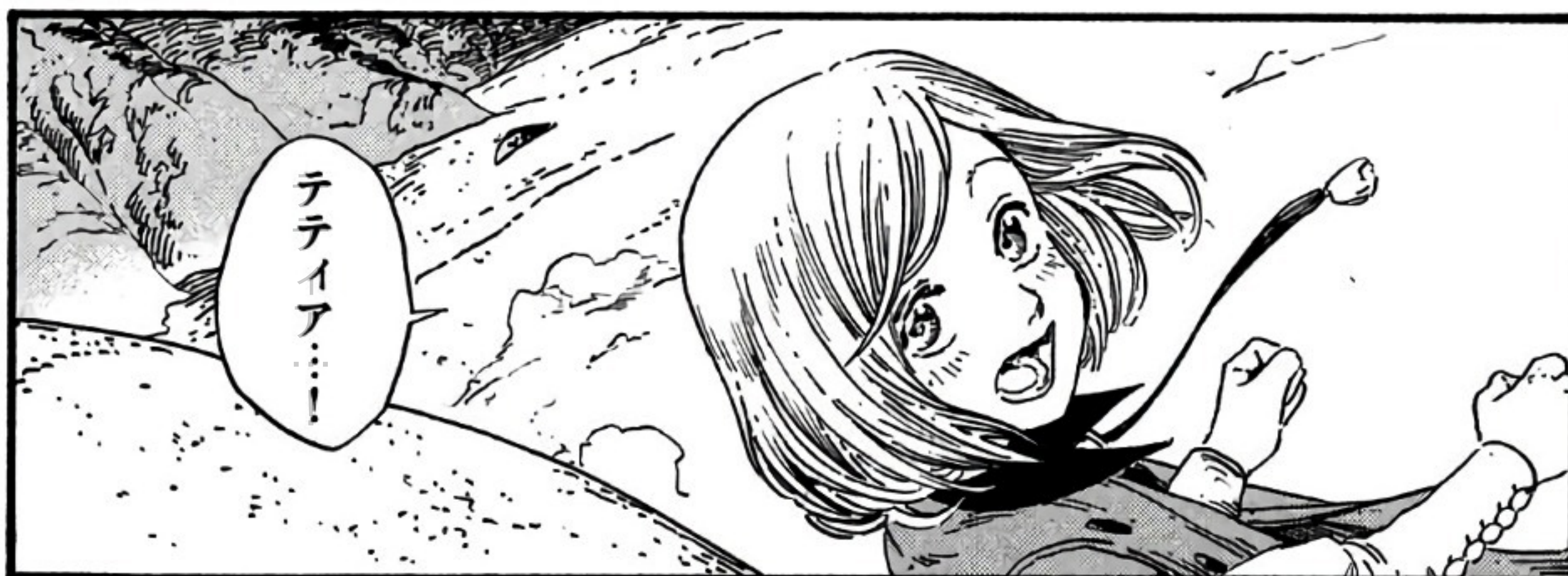
《第29話》

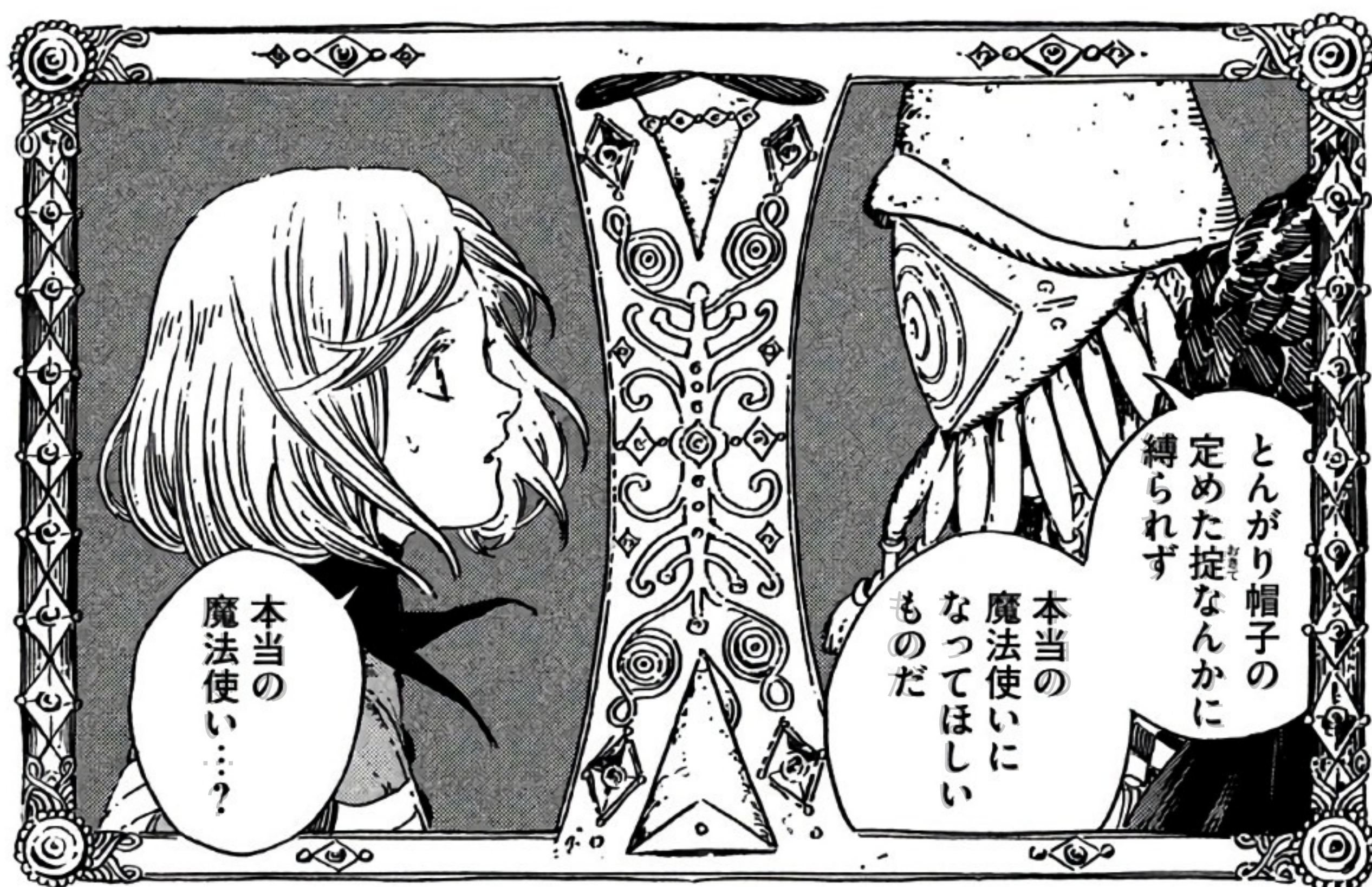













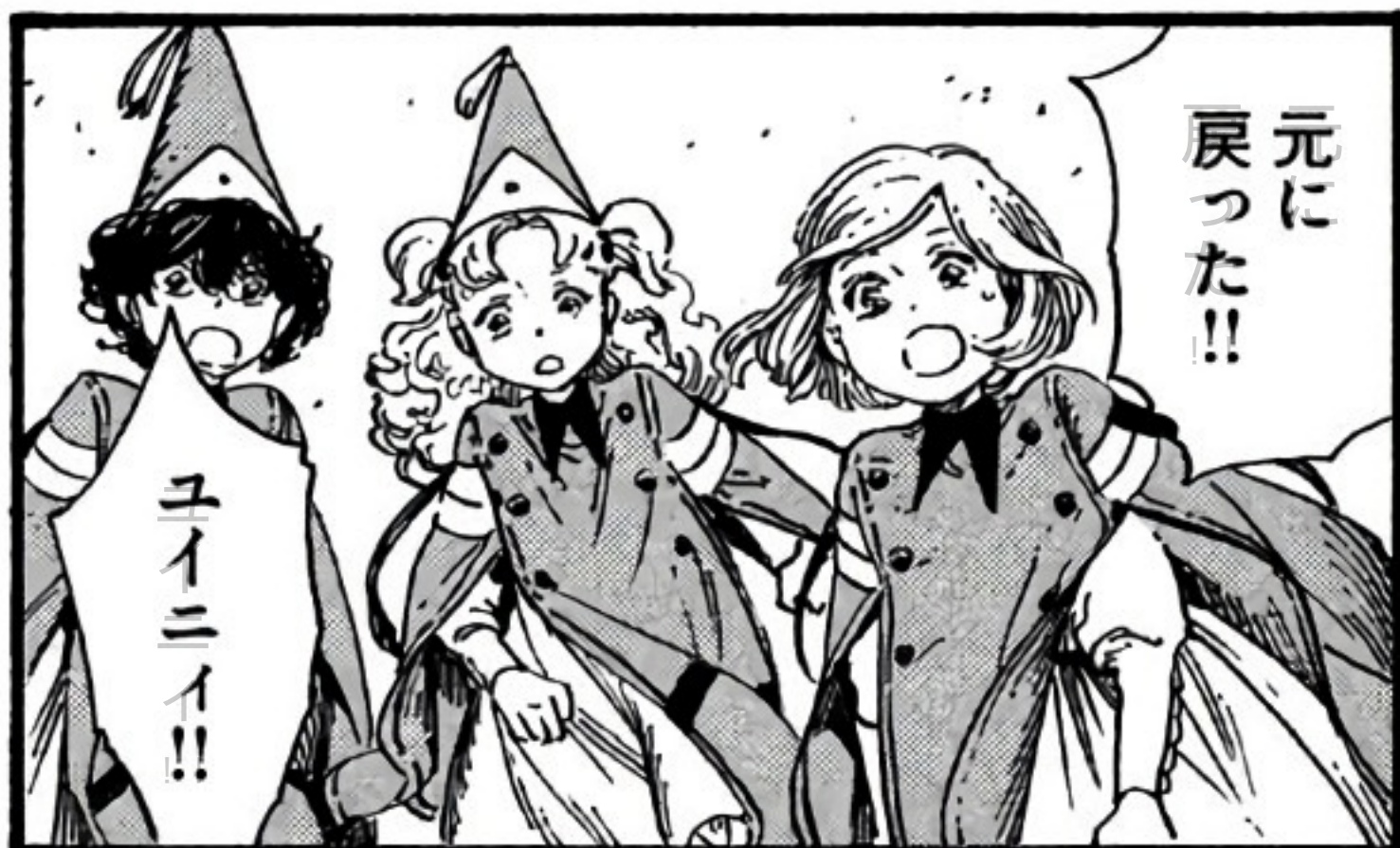
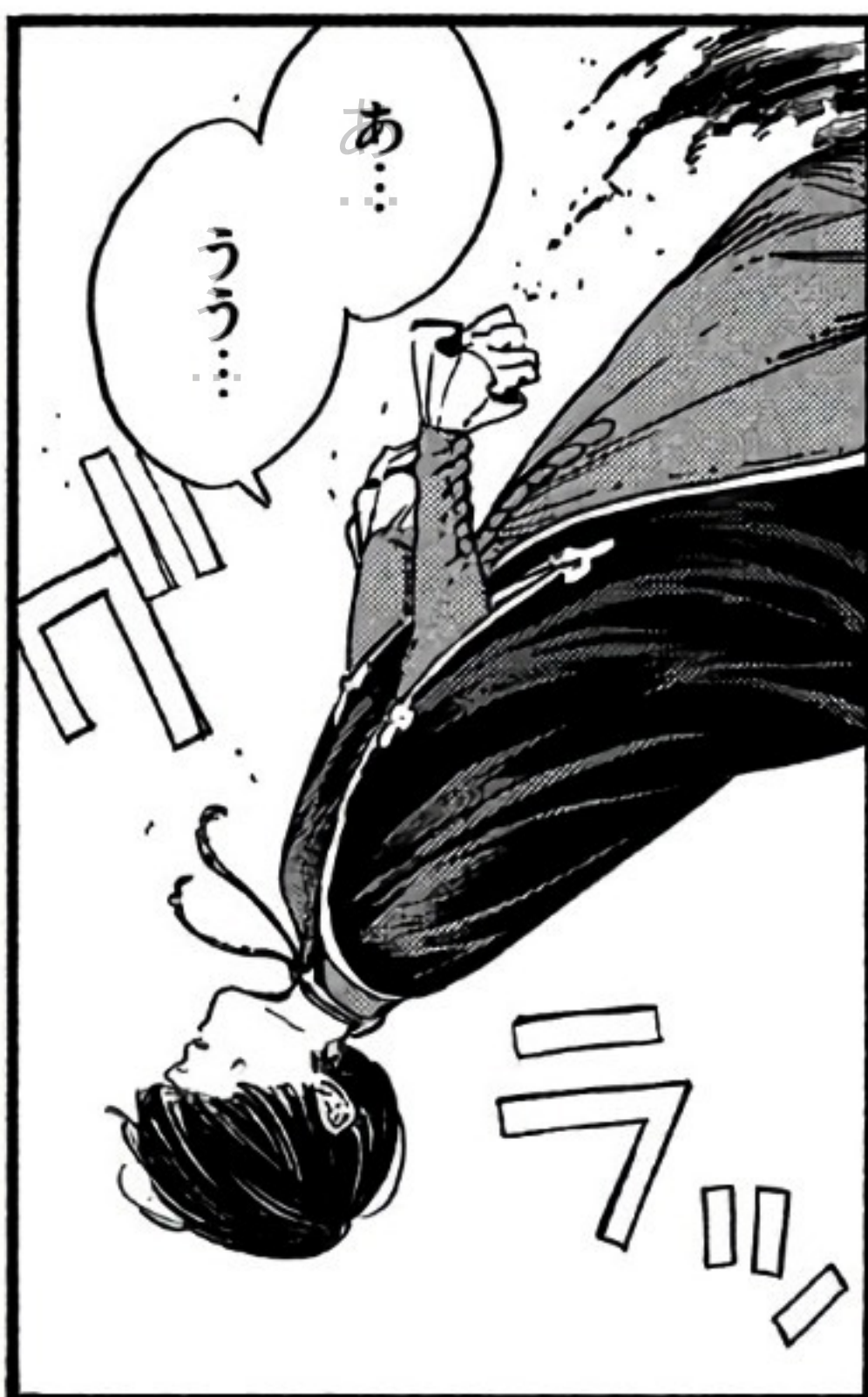


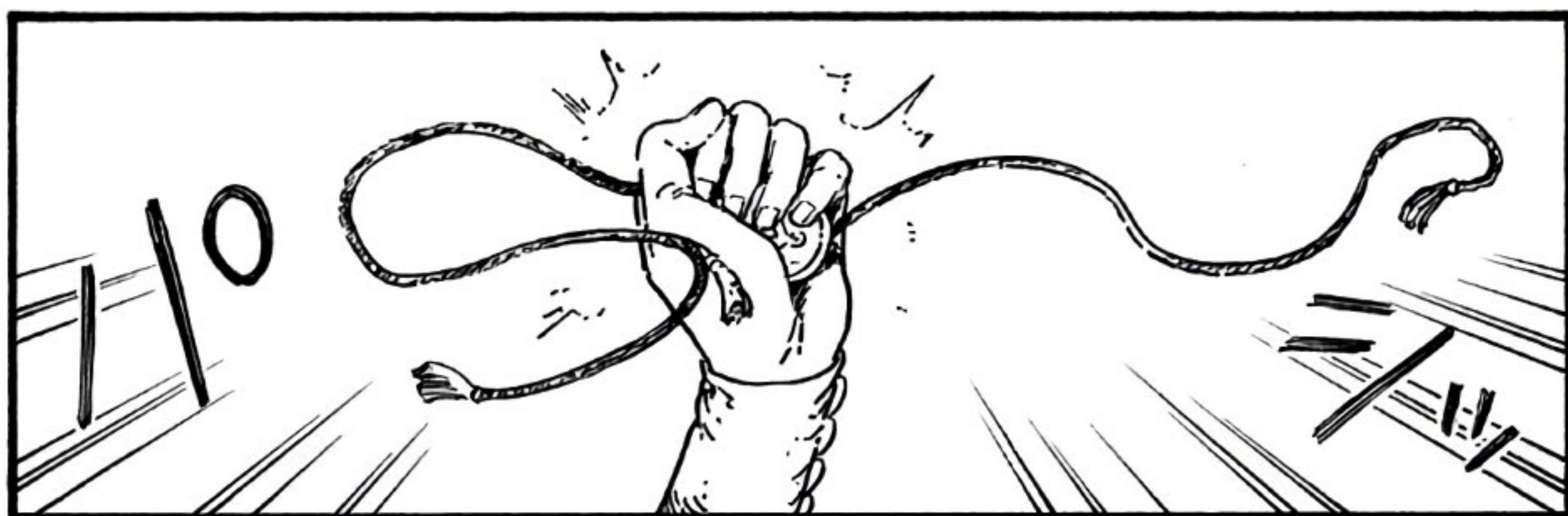
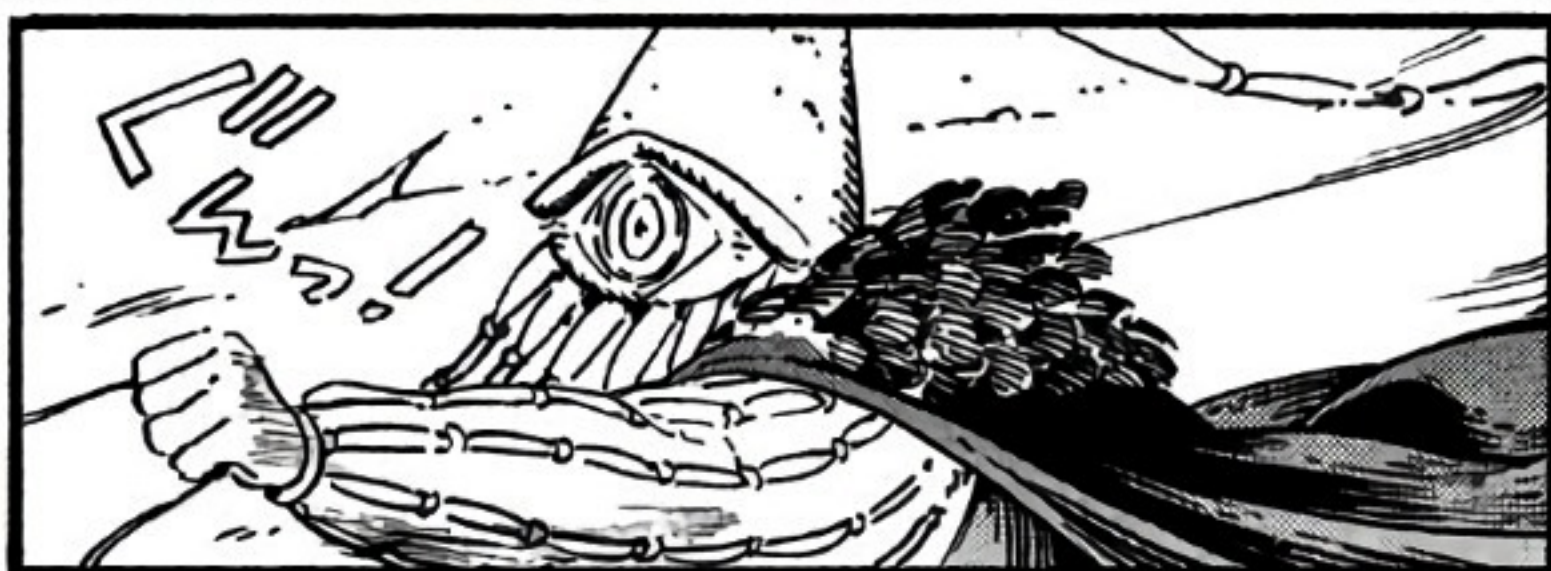
知っては
いけない

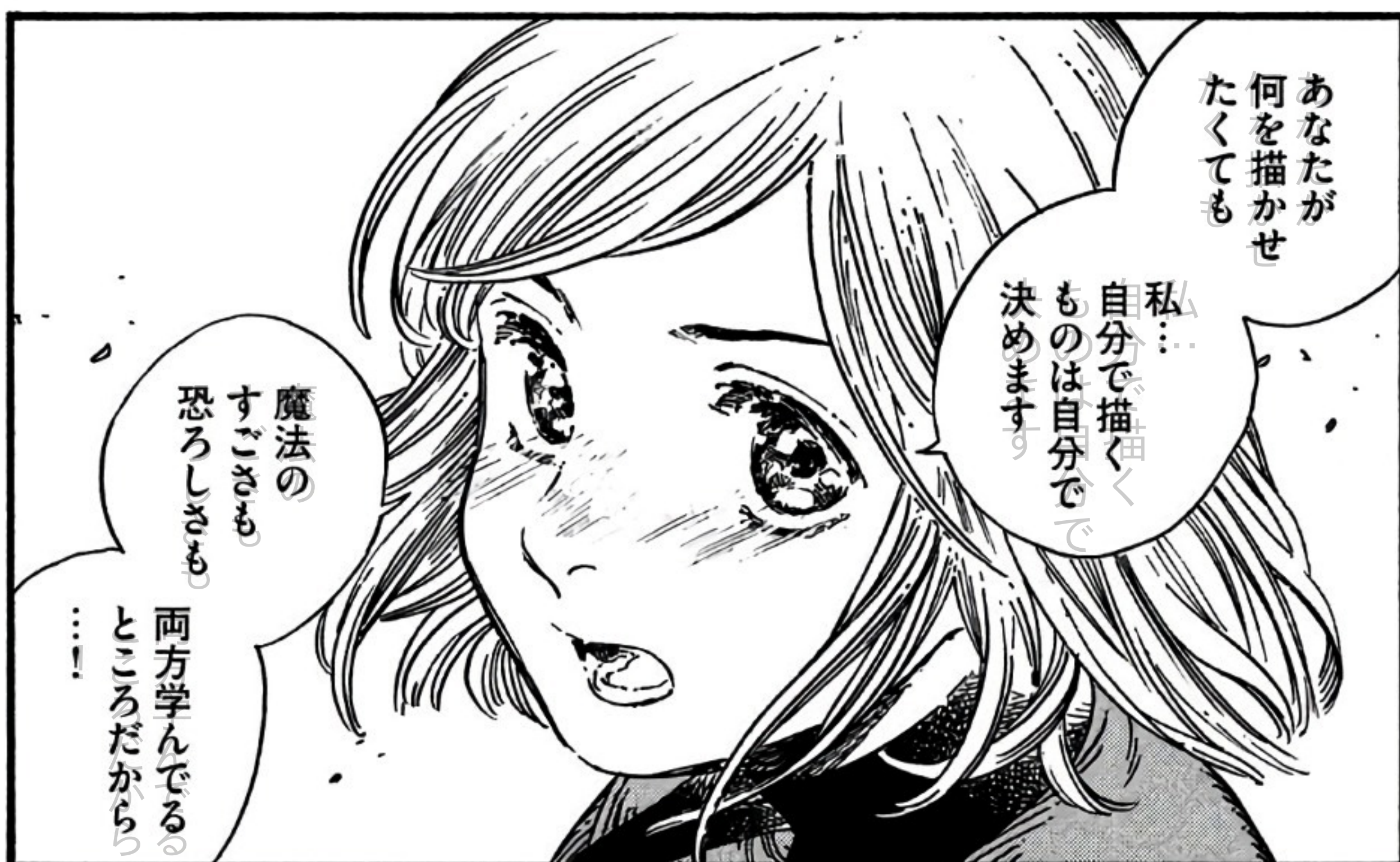
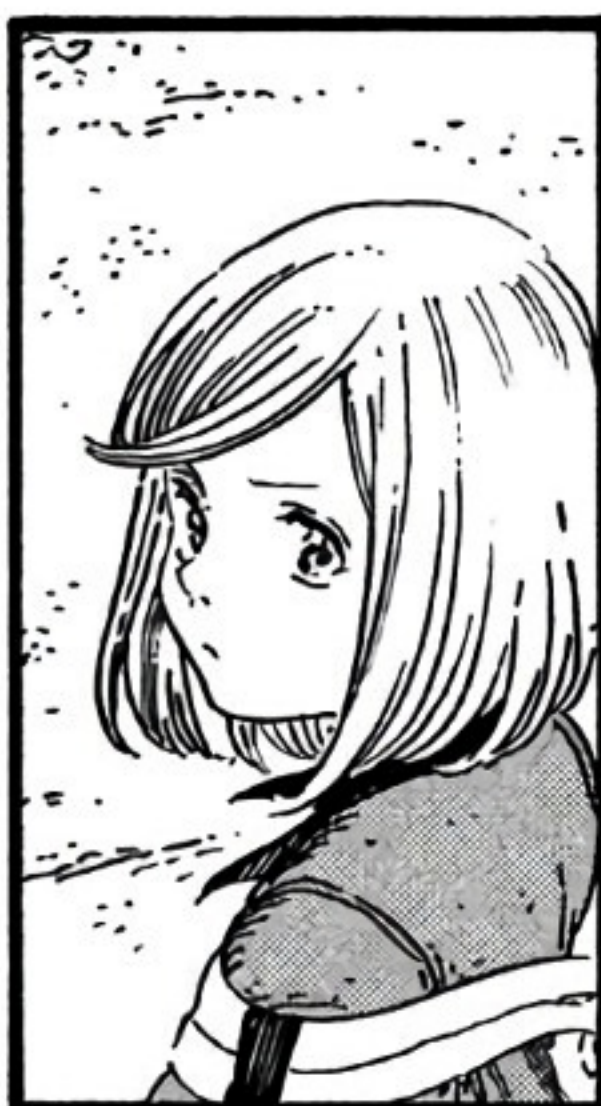
学んではいけない
描いてはいけない

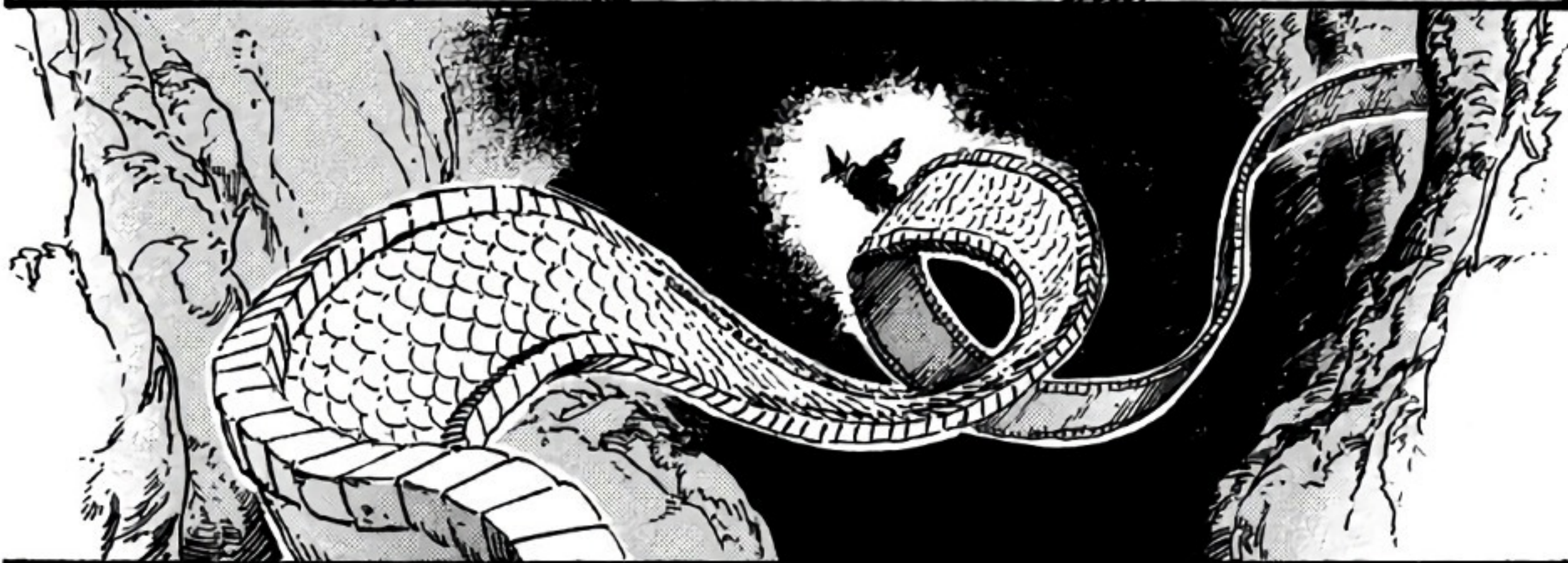
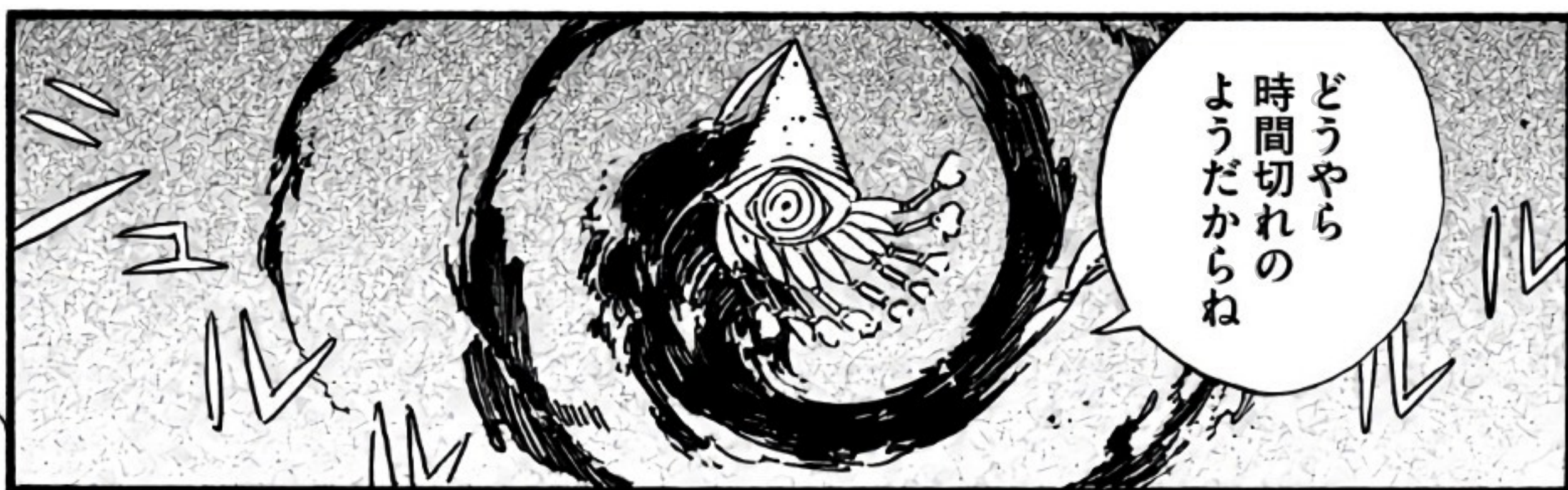
それがどれだけ
君達から
可能性を
奪っているか

一度見たら
わかるはず













あらゆる
炎が
俺の僕だ

布が凶器とは
笑わせて
くれるぜ！

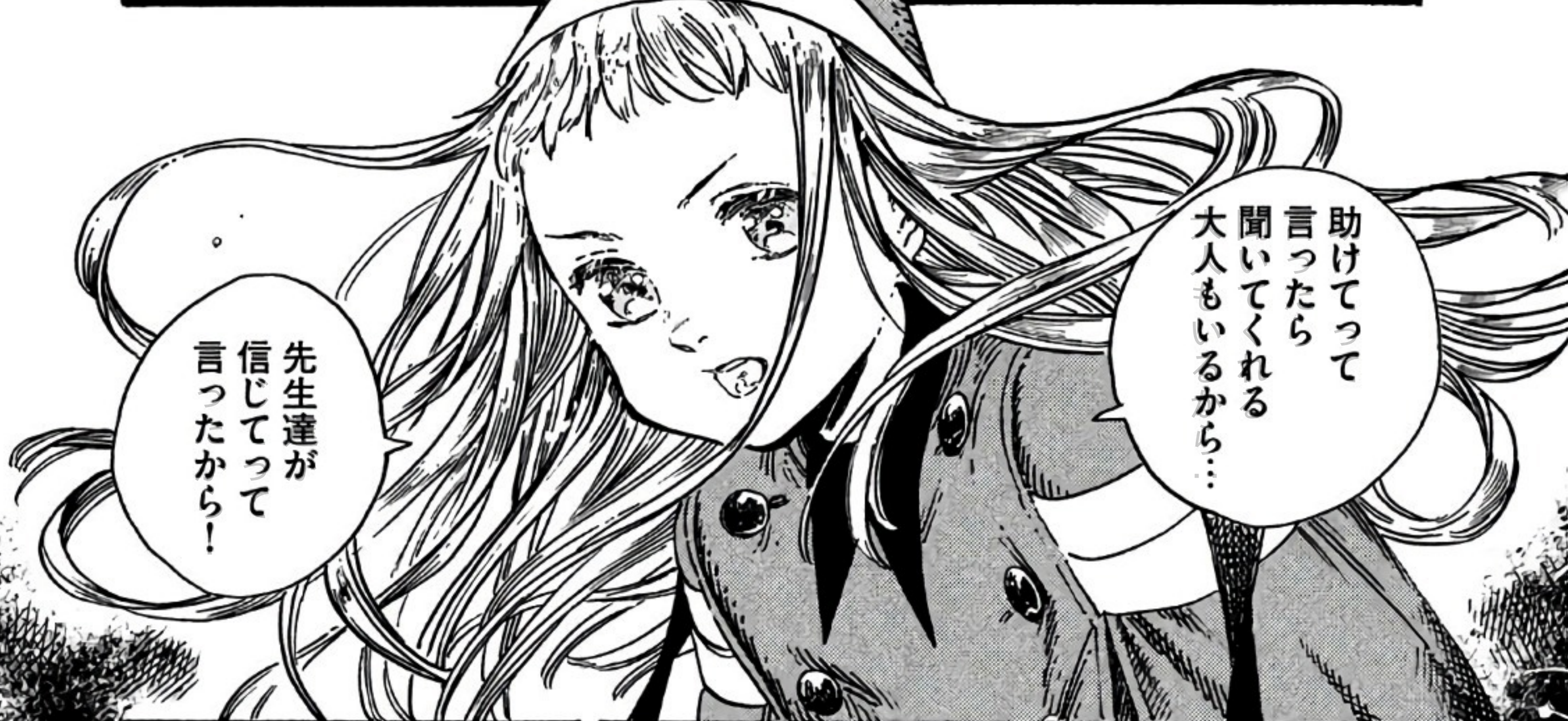
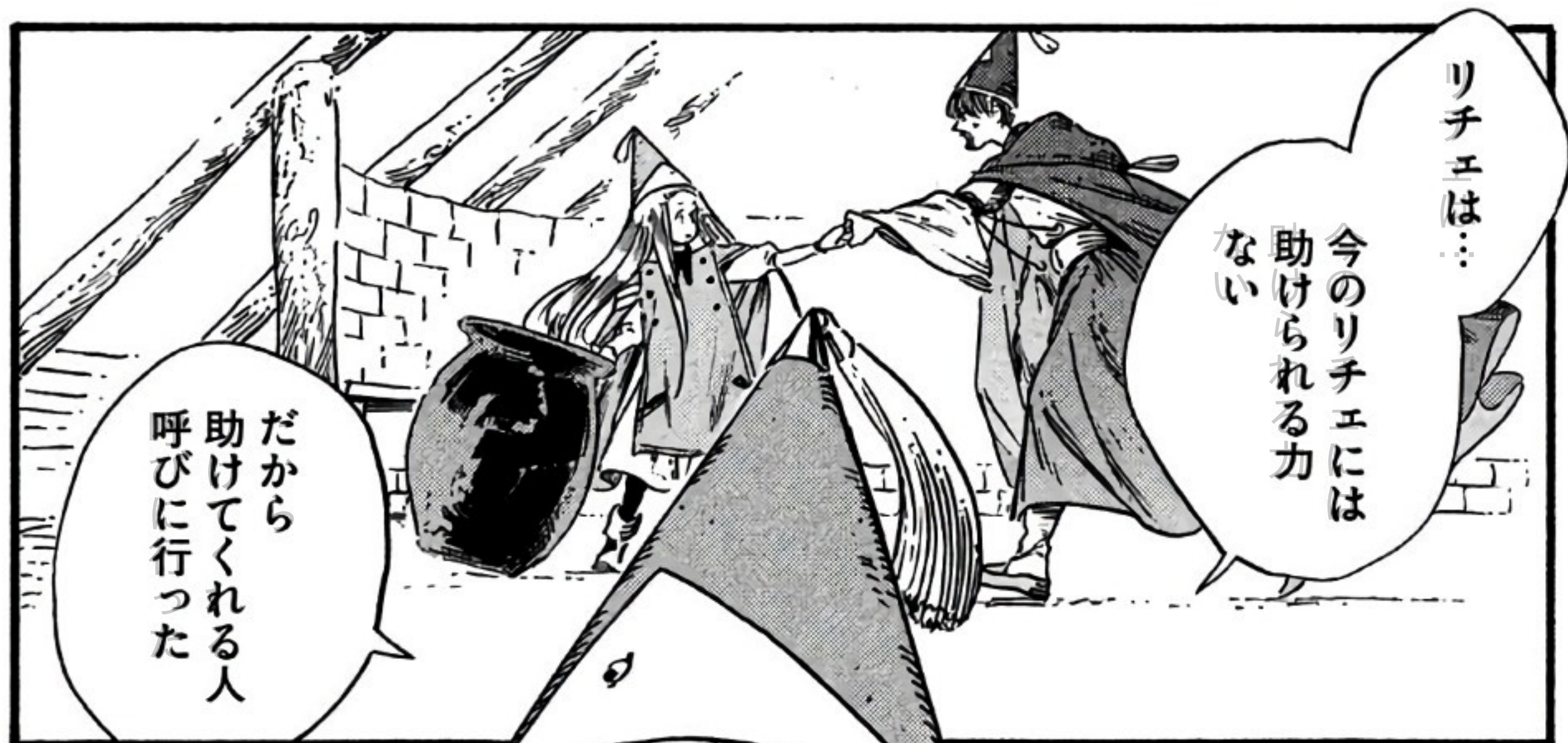
オルーギオ！

どうして
あんたが…

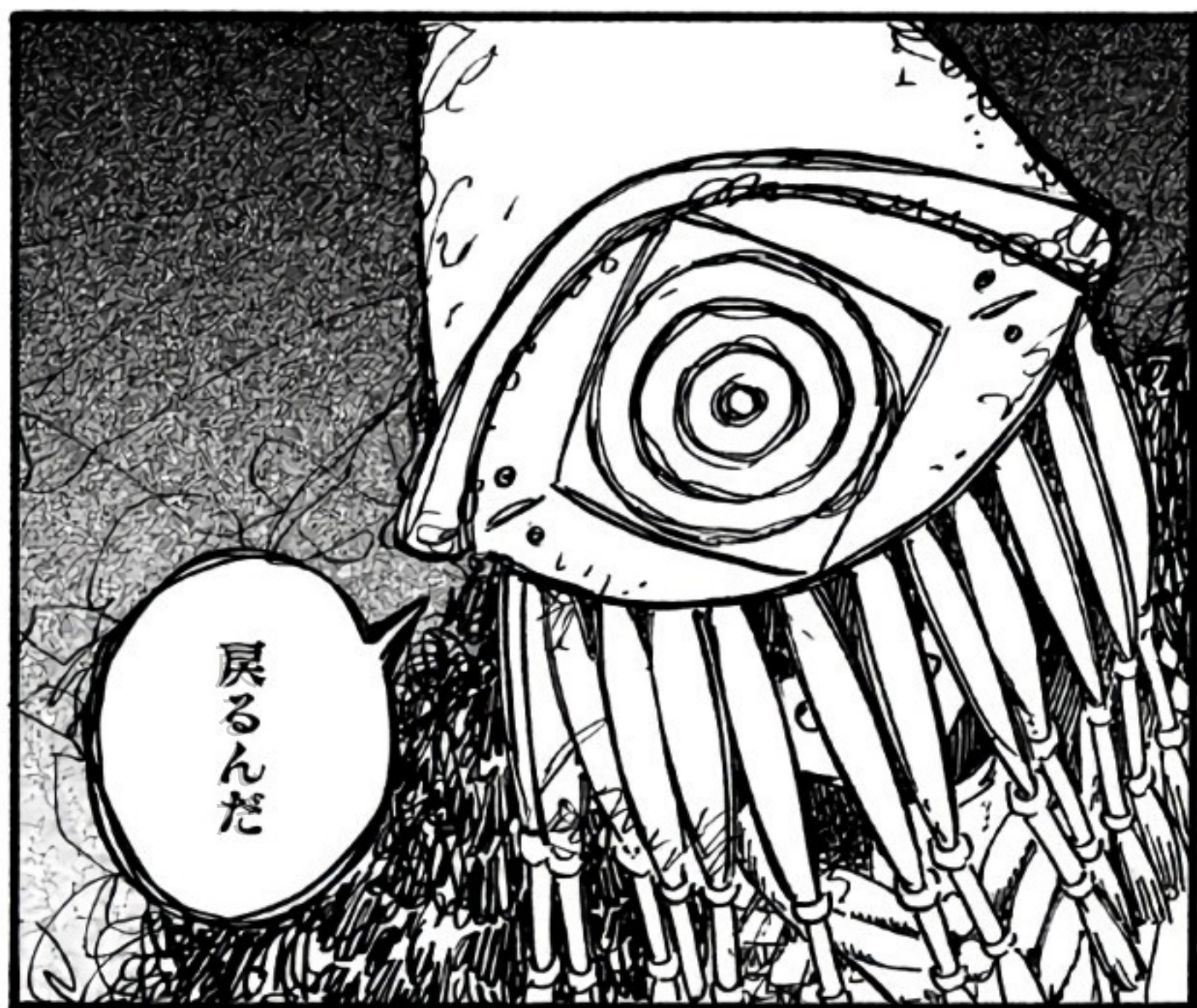
こいつが
報せて
くれたのさ！

リチエ…！









お前が今
一番優先しなきゃ
いけないことは
何だ!?

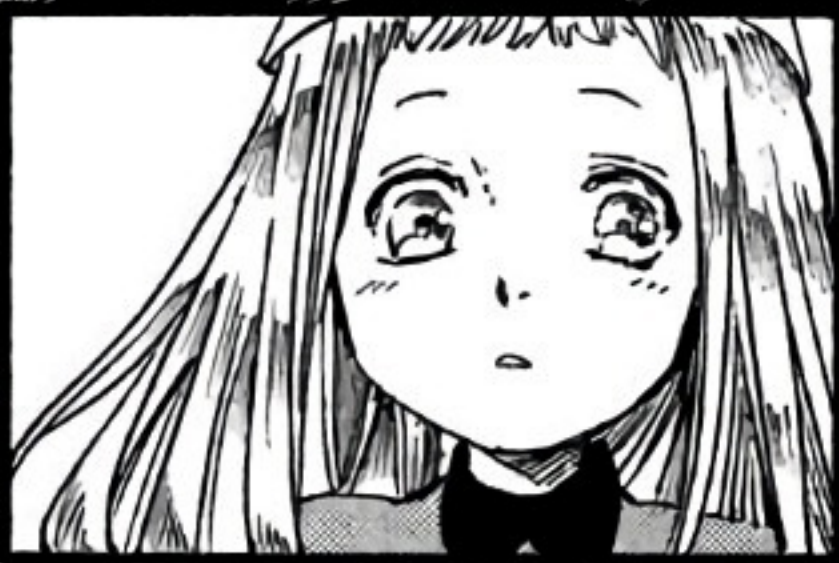
…っあ

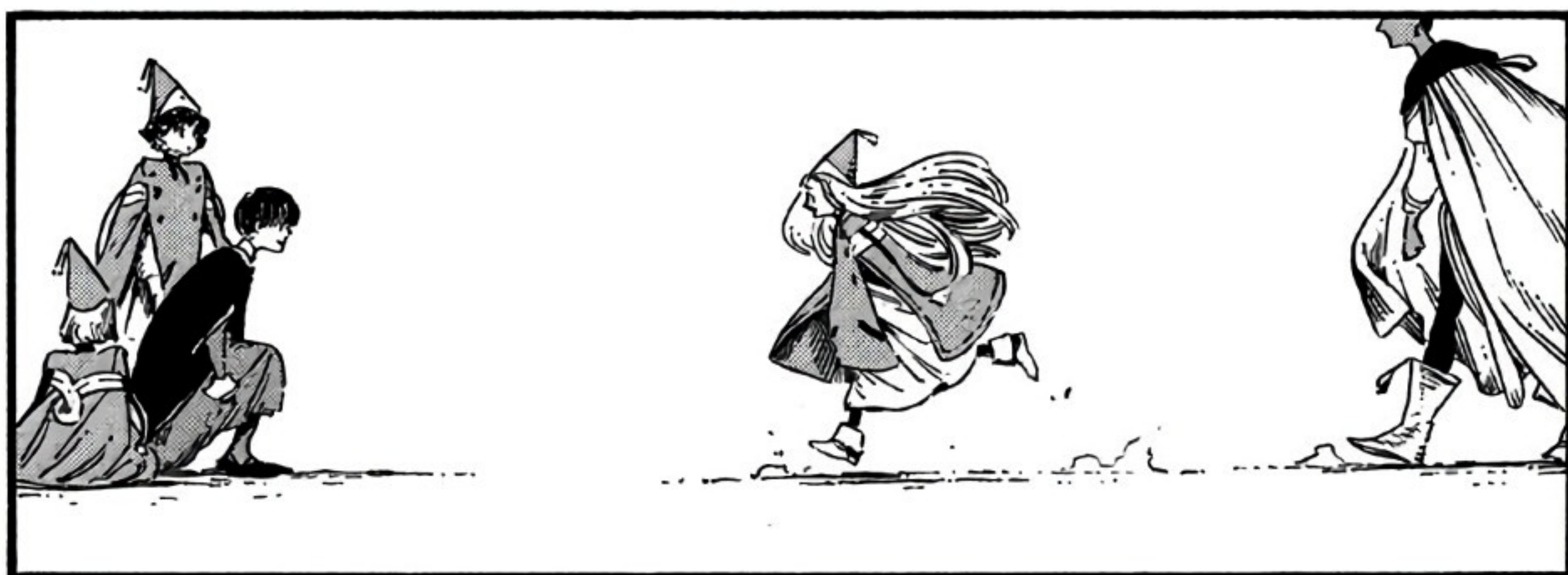
あの子
達だ
僕の
弟子…

そうだ

それで
いい

早く迎えに
行ってやろうぜ
先生







首に当てた
小さなメダル



この魔法器で
一時的に
魔法の効果を
打ち消してる
だけで

外したら
狼に戻っちゃう
みたいなんです

描かれた
禁止魔法は
消えてない…



ボク…

記憶を消されて
しまっんで
しょうか…



そんなのダメ！
だってユイニイは
被害者なのに！

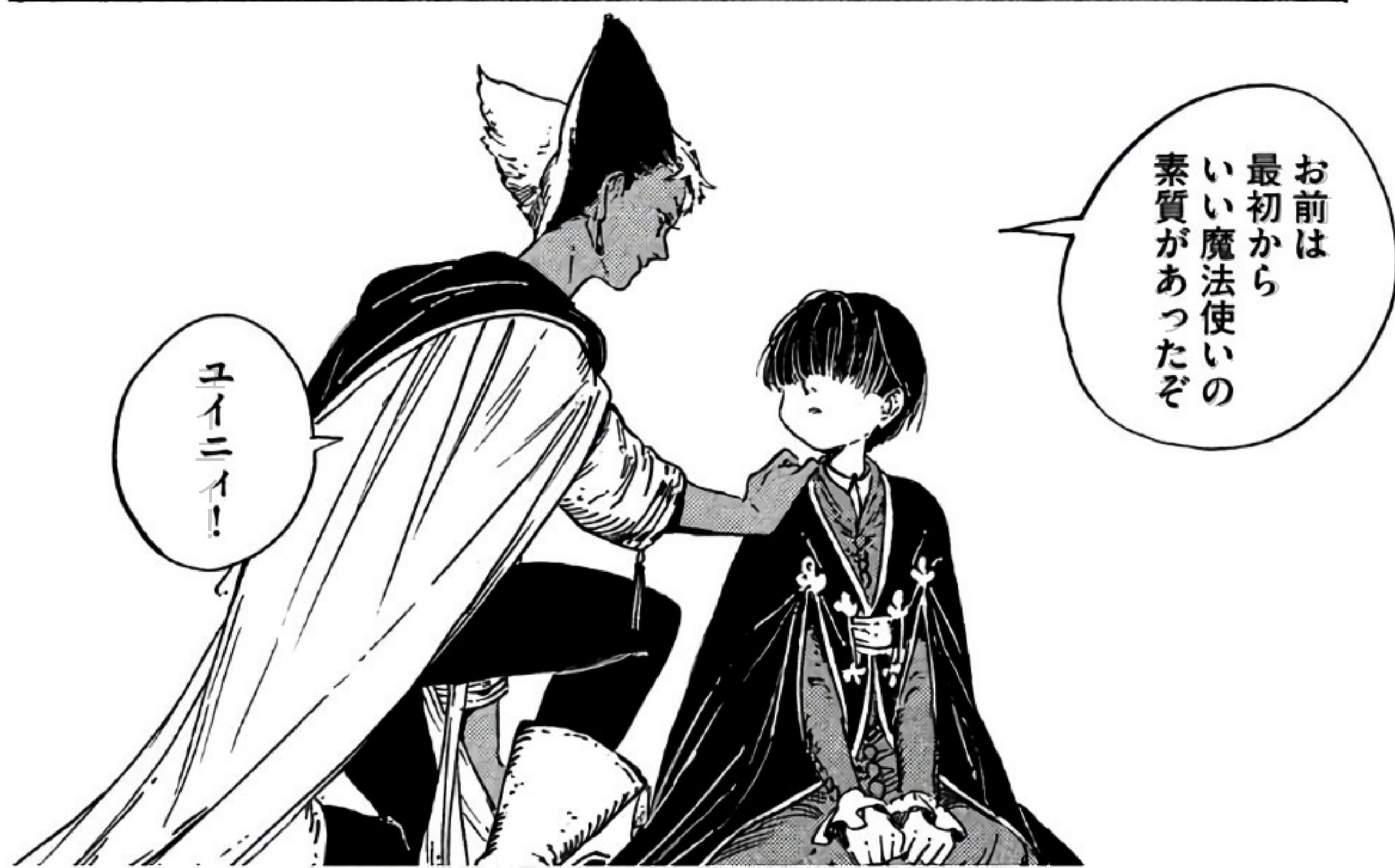
事情を話したら
わかってくれない
かな？

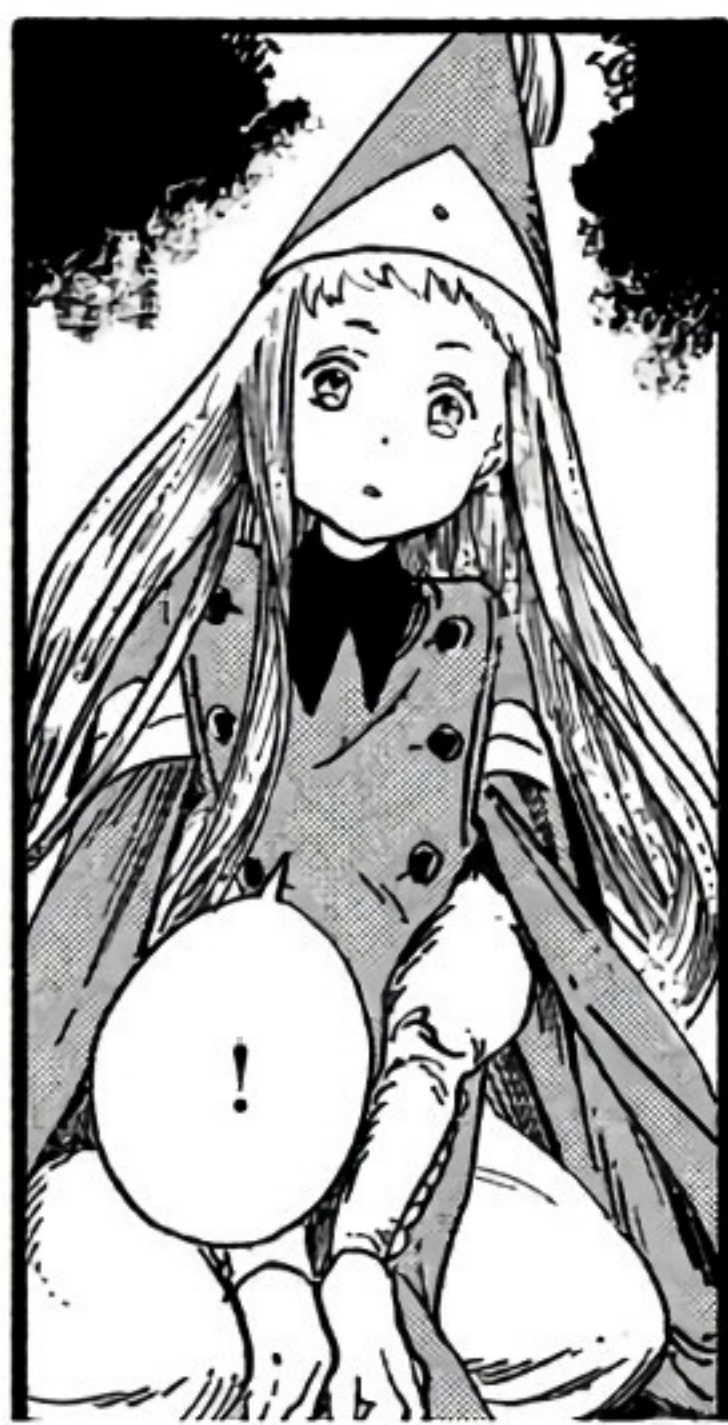
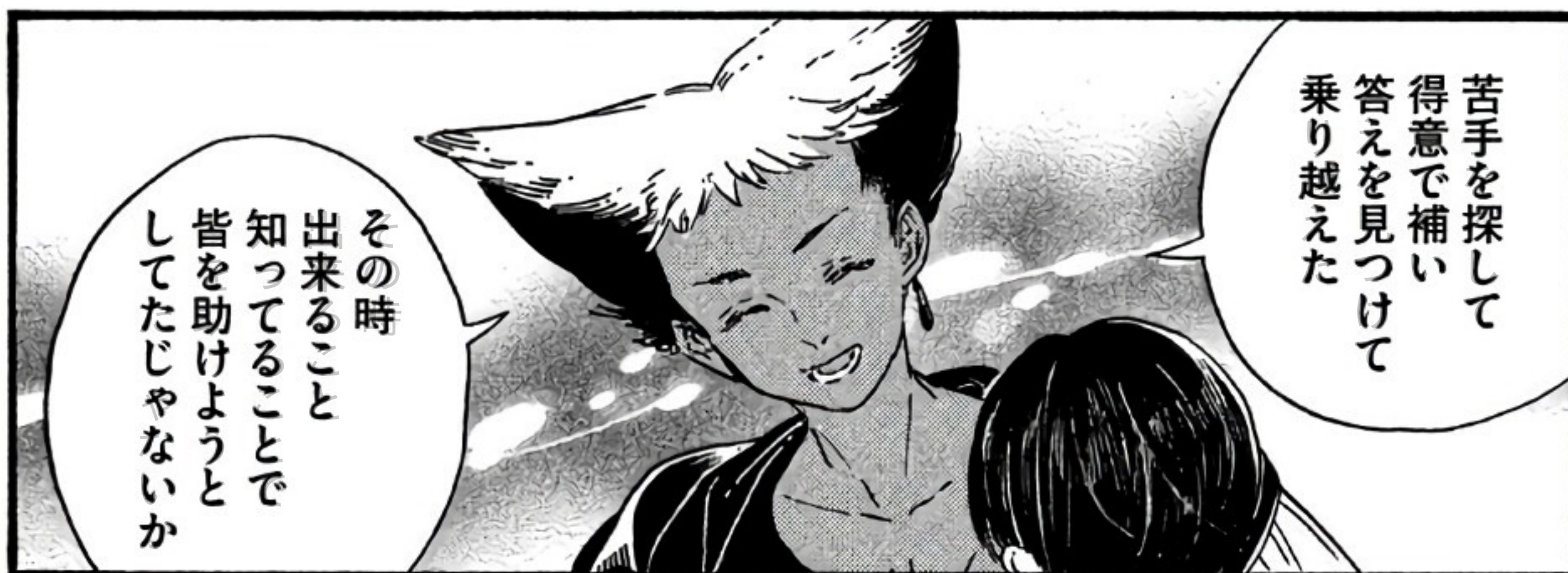
襲われた側が
責められるなんて
おかしいもん！

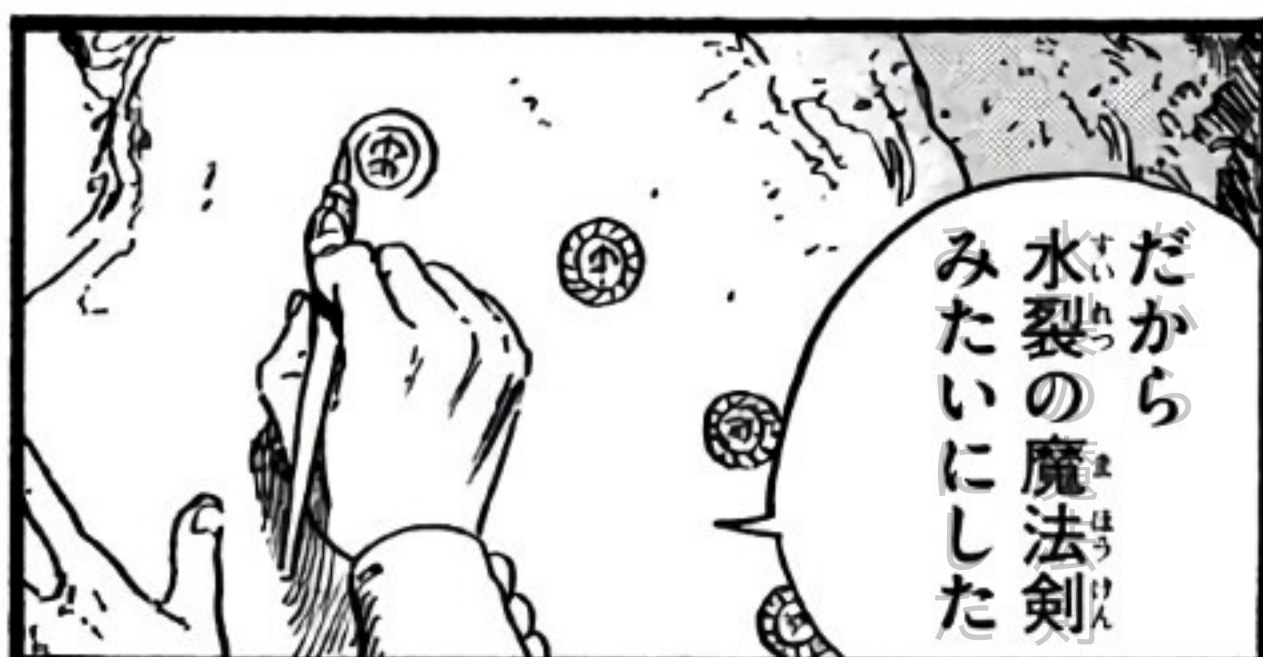


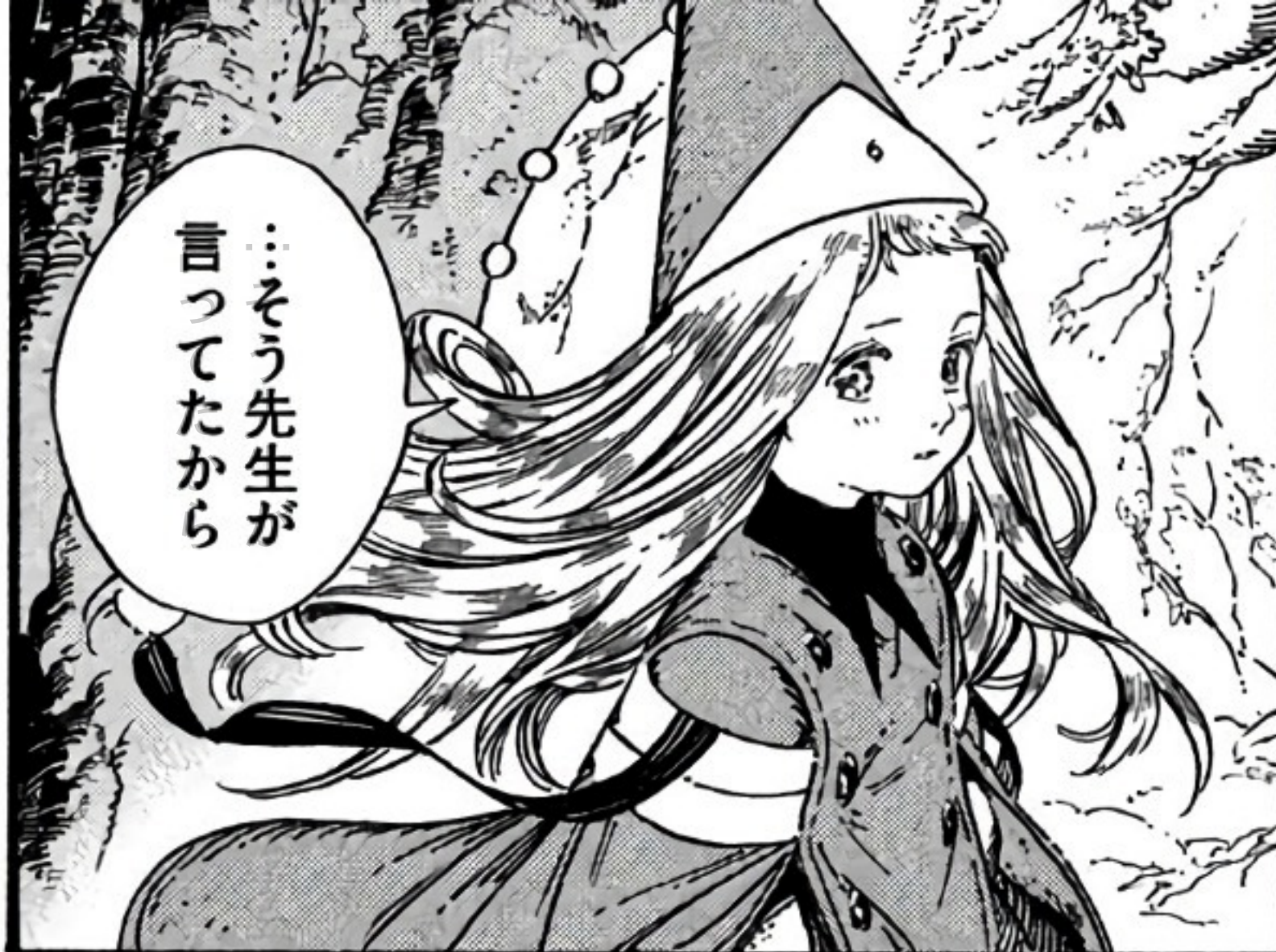
…魔警団は
聞いてくれない
と思うわ

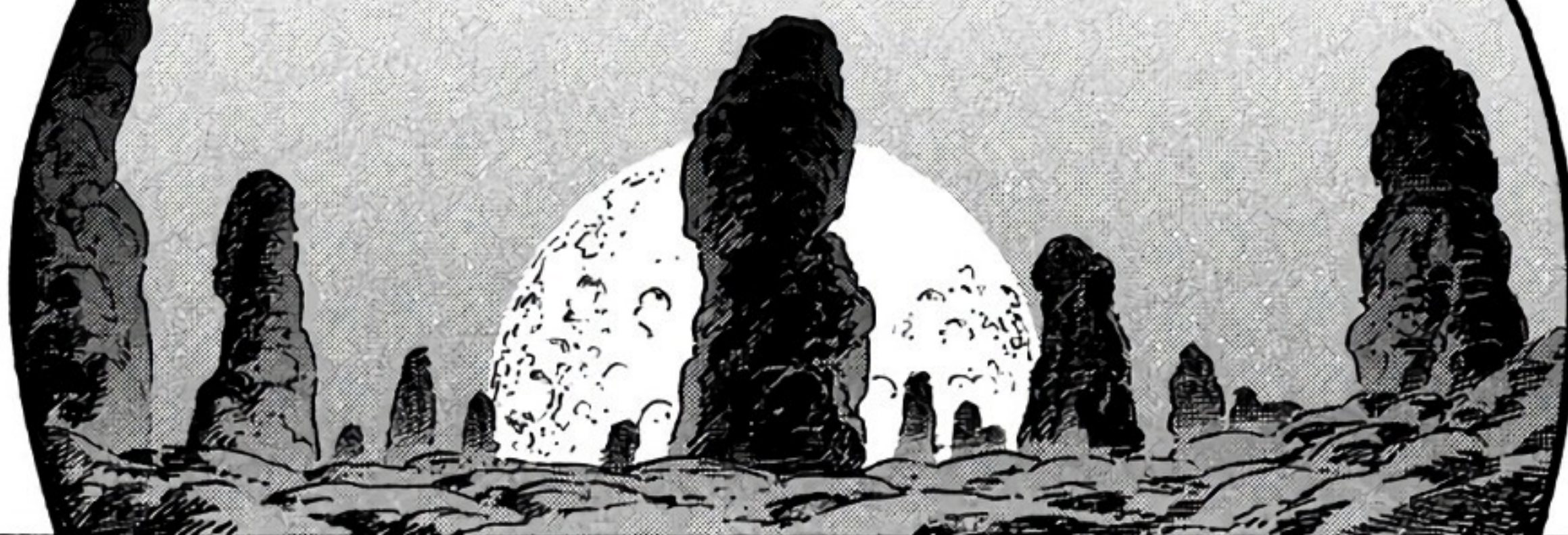
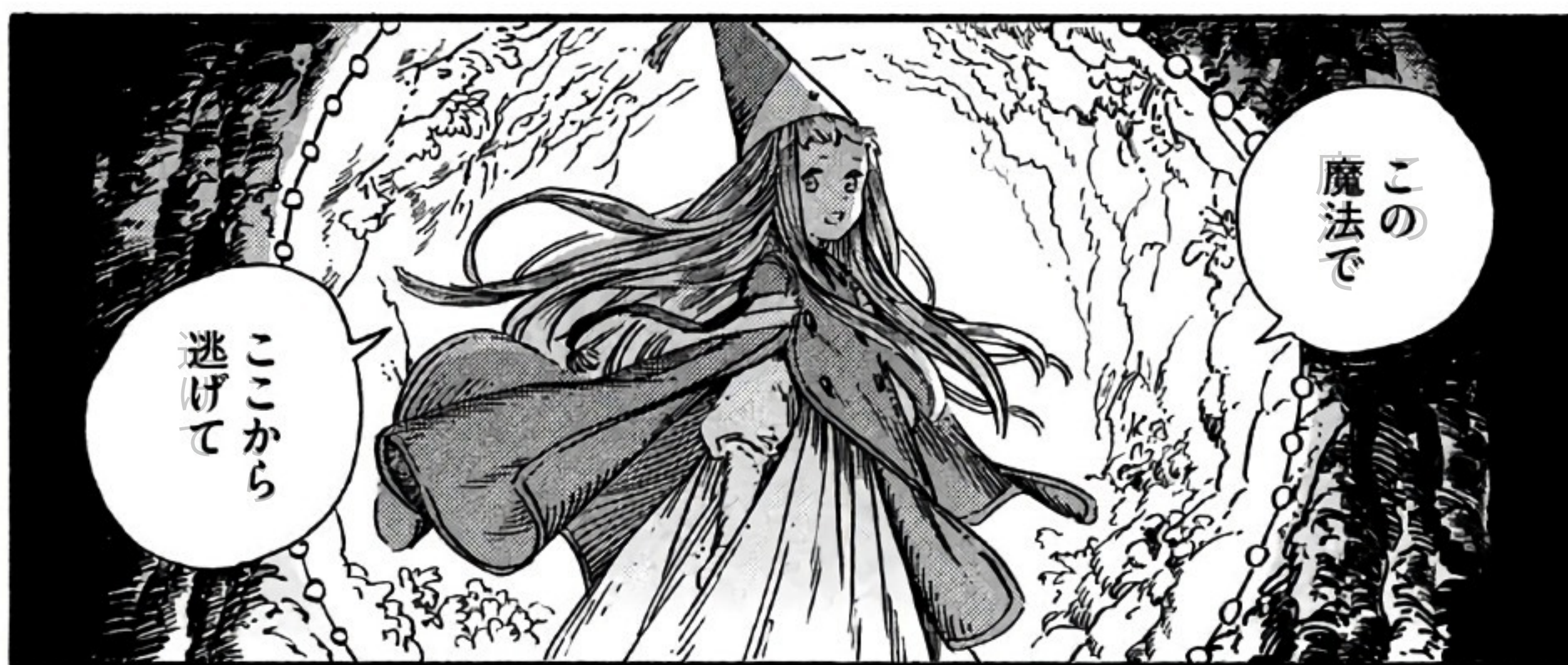




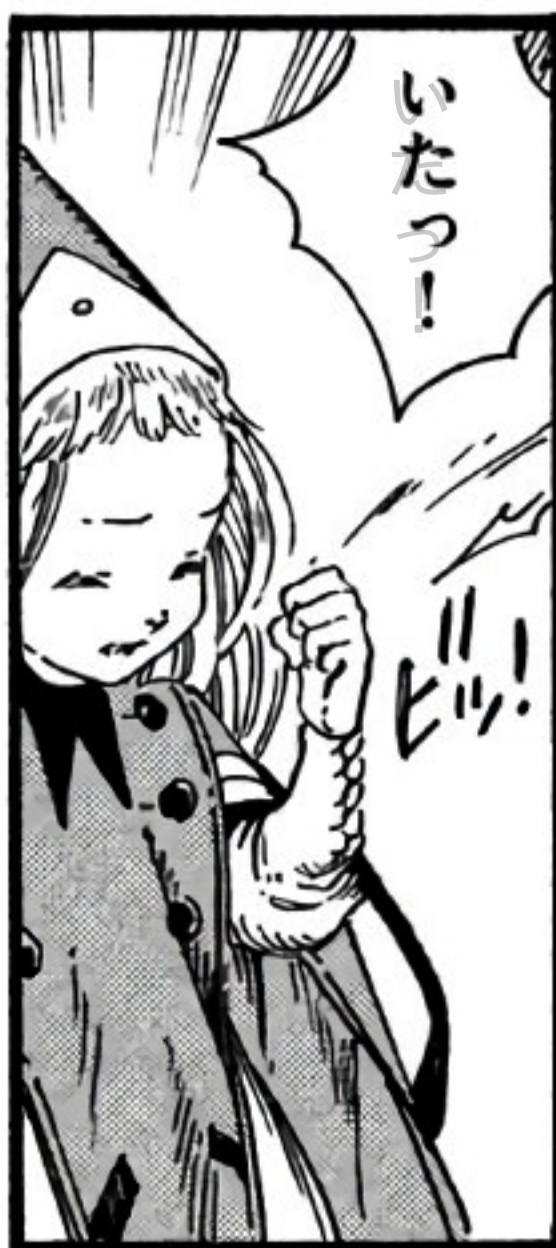
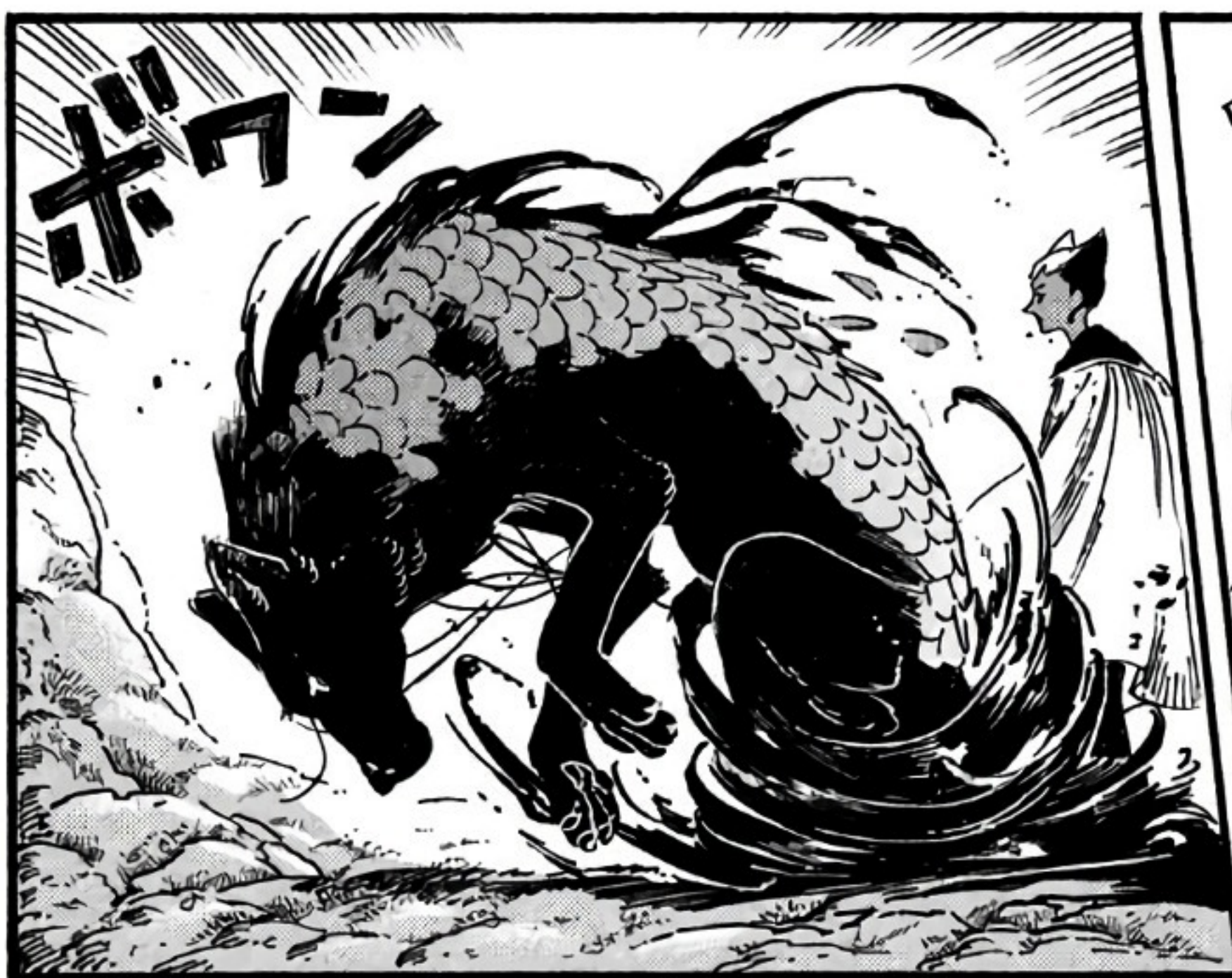






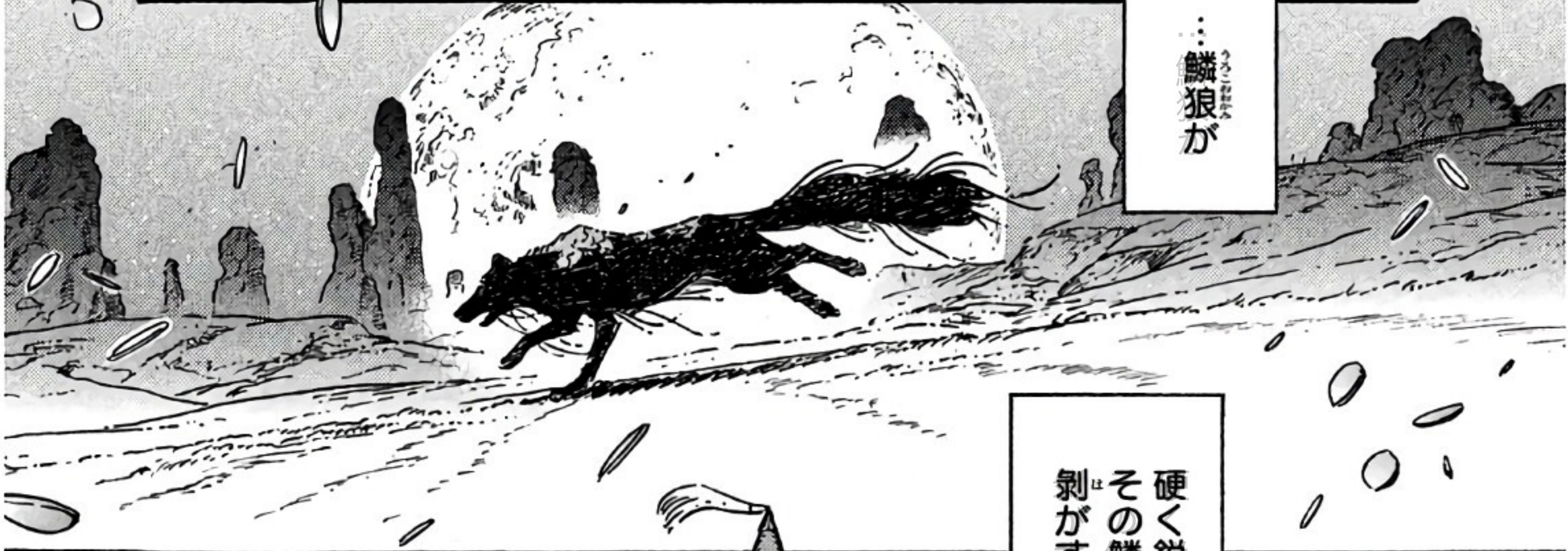








鱗狼が
うろはがき



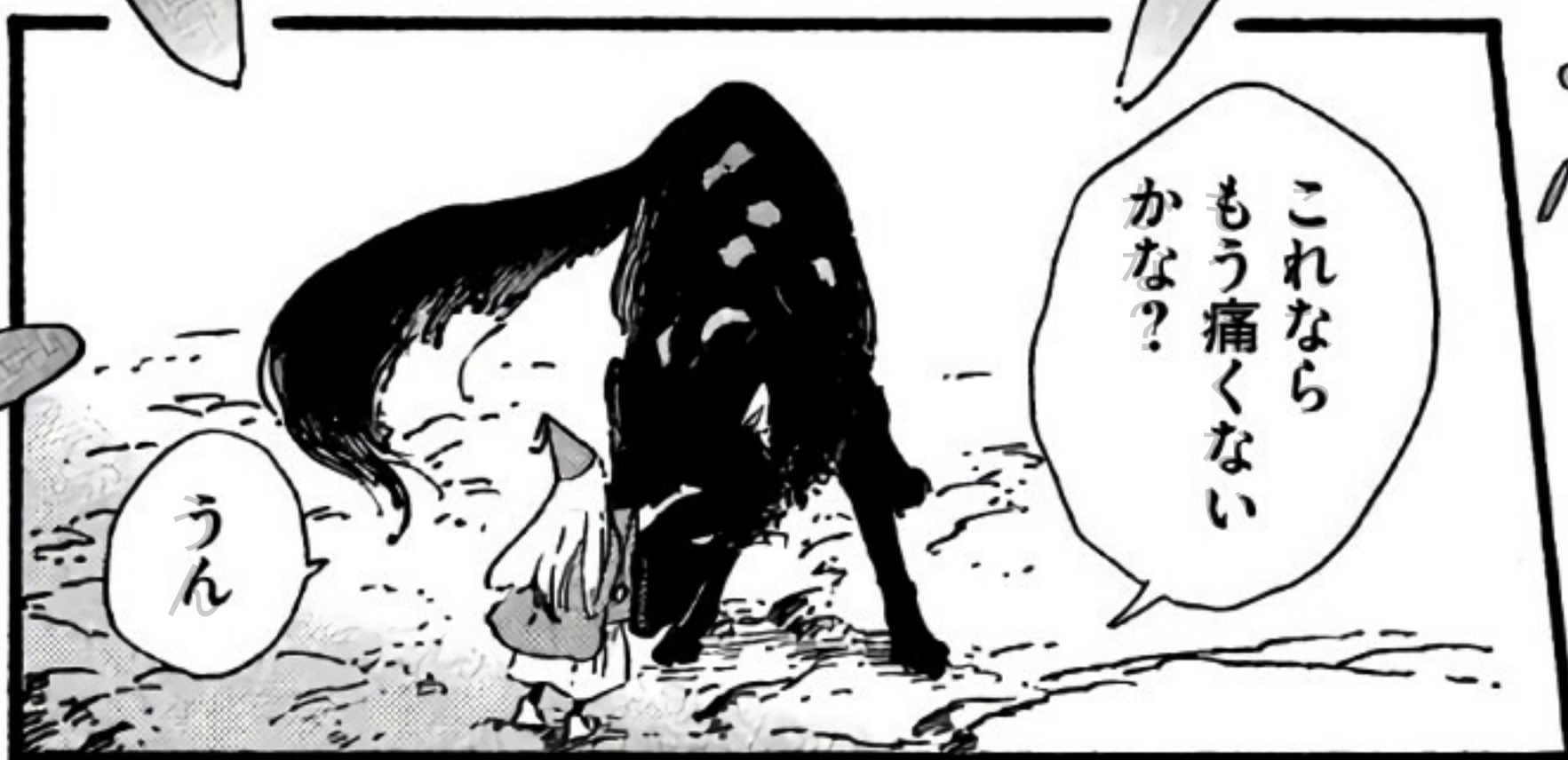
硬く鋭い
その鱗を
剥がすのは



それは







これなら
もう痛くない
かな？

うん



ボク…
ボクずっと
自分以外の誰かに
なりたかった

でも今は
本当のボクに
戻りたい

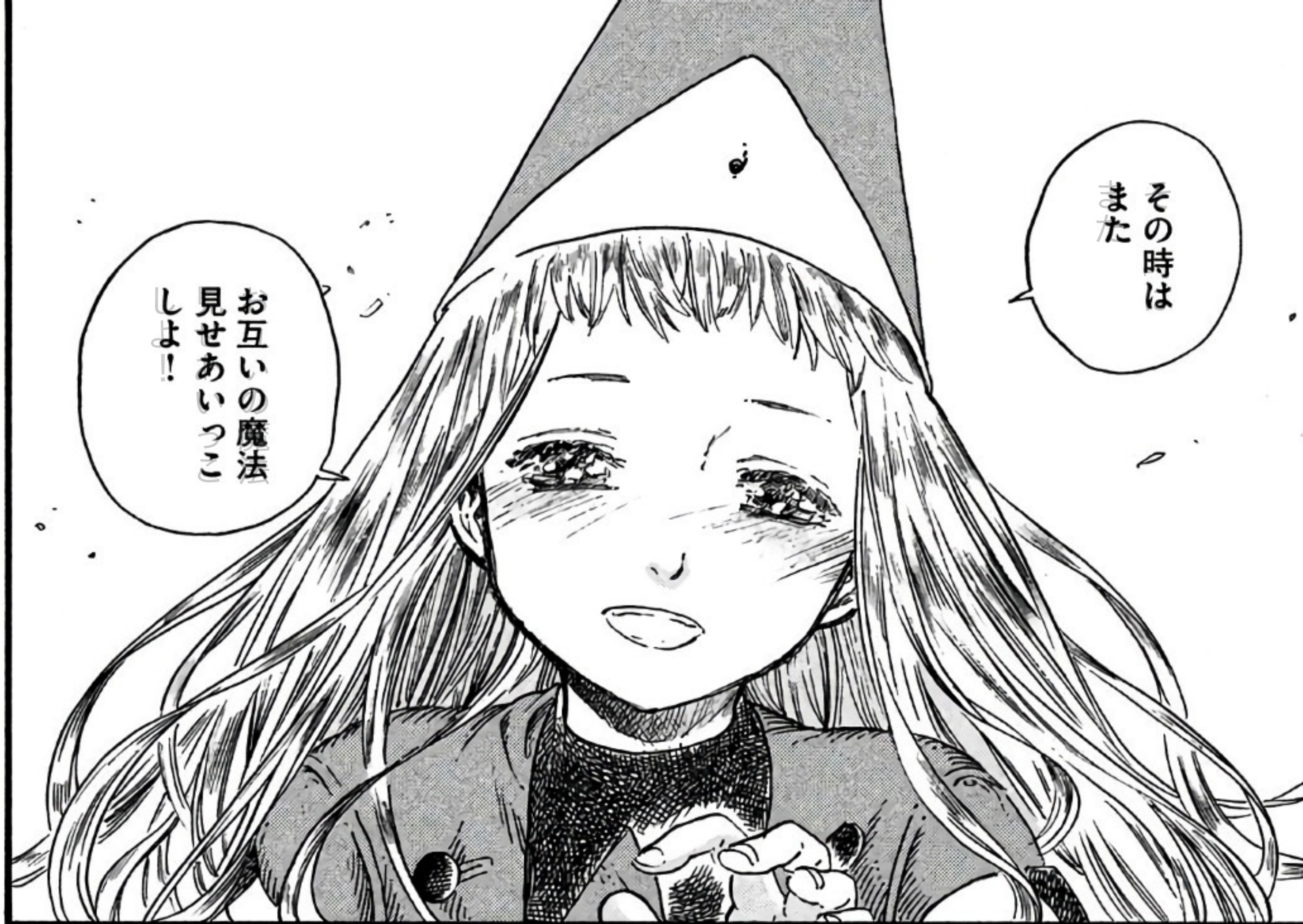


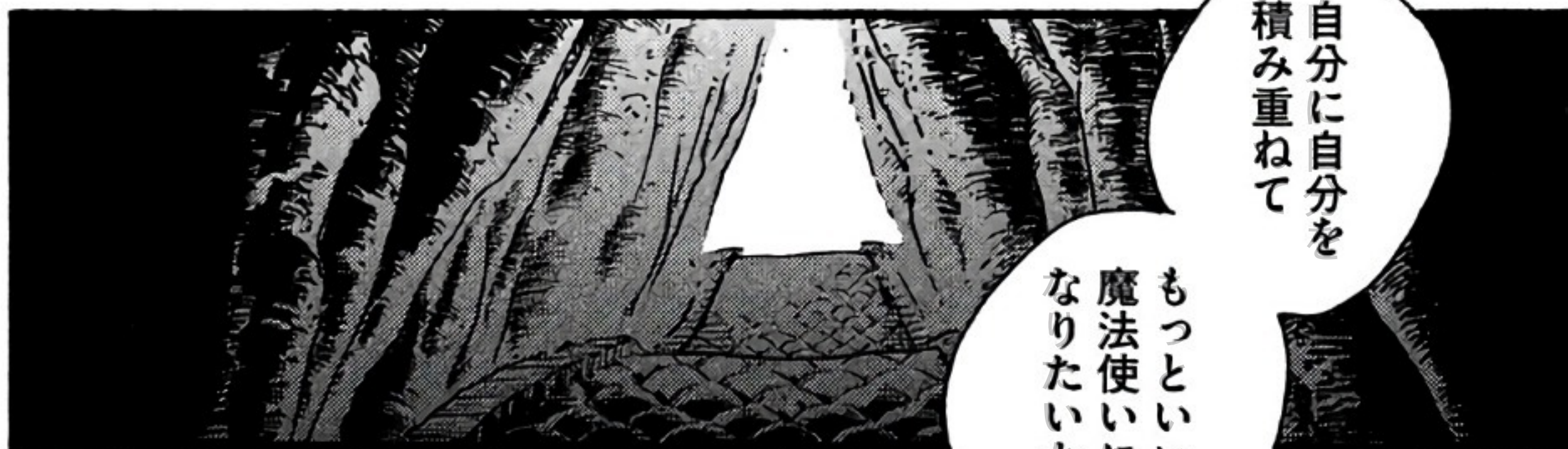
必ず
ボクになつて
帰ってくるよ

その時は

うん…

わかった



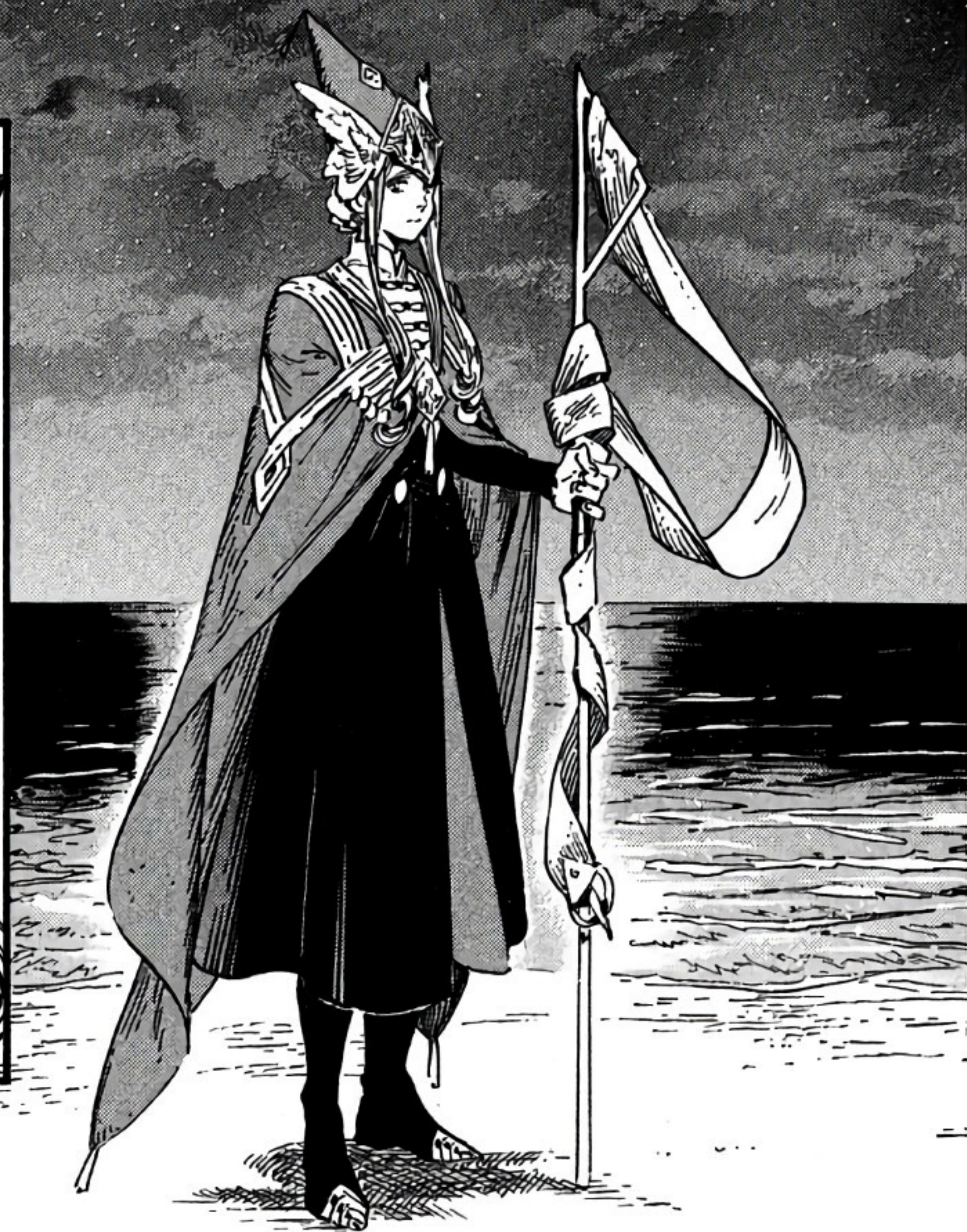


自分に自分を
積み重ねて

もっといい
魔法使いに
なりたいから



やっと出て
きましたね



魔警団!?

定刻を過ぎても
試験監督が
戻らないので

様子を見に
参りましたが
正解でした

あなた達には
何があったか
報告して
いただきます

私と
一緒に

大講堂へ
来てください

え…
大講堂…?

魔法使いの
本拠地へ…!?

とんがり帽子コレクション

COLLECTION OF WITCH HAT

魔法使いの証である「とんがり帽子」。

弟子入りしている期間は、そのアトリエの帽子を被るのが一般的だが、
一人前になれば自分で好きなデザインのものをはくことができます。
さまざまなデザインの帽子が登場しているので、その一部を紹介します。

ココの帽子

〔2話などに登場〕

キーフリーのアトリエの弟子が被る帽子。アガット達も同じ帽子を被っている。正面の白い布は金の釦で留めてあり、てっぺんにはタッセルが付いている。



キーフリーの帽子

〔1話などに登場〕

基本デザインはココ達の帽子と同じだが、地の布地の色が異なるのと、タッセルの代わりに長いリボンが先端に付いているのが特徴。



アライラの帽子

〔3話などに登場〕

てっぺんには羽根飾りが付いている。下の部分にはターバンのように緩やかに布が巻かれており、それを正面の金の装飾で留めている。



ノルノアの帽子

〔5話などに登場〕

比較的柔らかい布で出来ているので、自立させようとするとき少し潰れてしまう。下の部分の布は紐と金属製の輪で留めている。

オーギーオの帽子

〔10話などに登場〕

黒い布地に、金糸の刺繍で模様が施されている。てっぺんのタッセルはココ達の帽子のものと同じだが、これは昔キーフリーのものと交換したため。



魔警団の帽子

〔11話などに登場〕

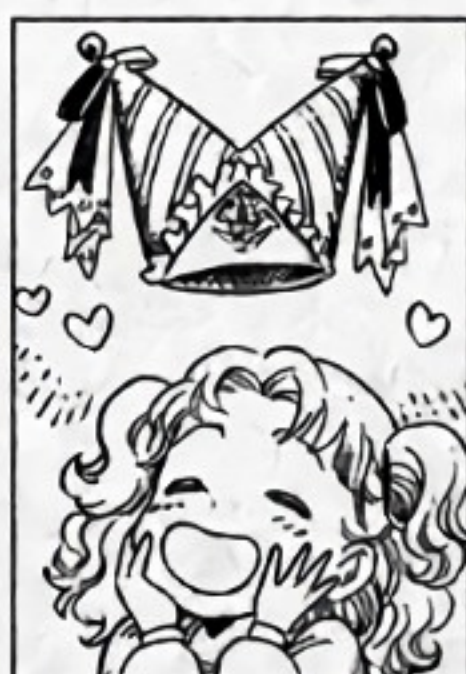
緋色の布地に、正面の金属製のプレートと、両脇の羽根飾りが付いている。「悪事を働く者の夢に現れる」とされる幻の鳥・罪告鳥がモチーフとなっている。



クックロウの帽子

〔19話などに登場〕

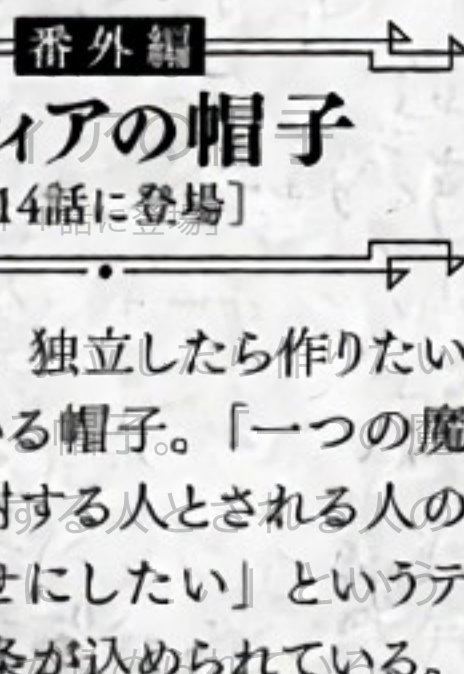
ユイニイも同じものを被っている。緑色の布地で、正面の飾りは黒い布に金糸で模様が入っている。てっぺんにはドアノッカーのような金属の輪っかが付いている。



テティアの帽子

〔14話に登場〕

テティアが、独立したら作りたいと夢見ている帽子。「一つの魔法で、感謝する人とされる人の両方を幸せにしたい」というテティアの信条が込められている。

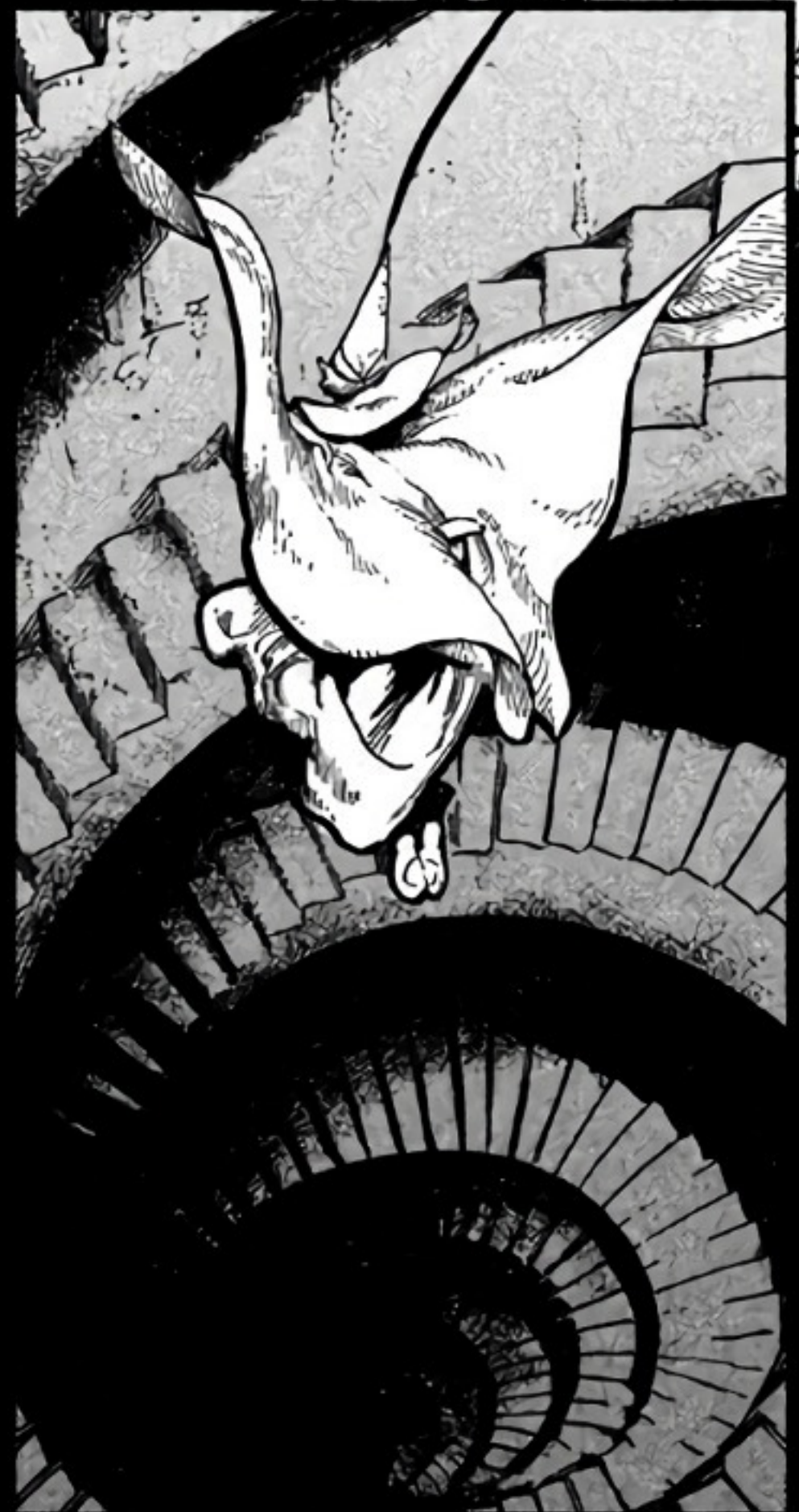


長い長い

螺旋階段を下^{くだ}った、

深い深い海の底に、

それはある。



第6卷

個性豊かな

魔法使たちの暮らす

「大講堂」編、

スタート。



月額
500円
毎週モーニングが
読める!

週刊

ウェブでもアプリでも! 電子で読むモーニング。

Dモエジ

Dモーニングとは…

漫画雑誌「モーニング」が
丸ごと読める電子版。

毎週木曜0時に最新号を自動配信、
有料会員登録後の号は
すべてバックナンバーに保存されるなど
電子ならではの利点がたくさん！



あなたのお好きな端末で
毎週「モーニング」をお楽しみください!!

※一部、紙のモーニングとは内容が異なります。

今すぐ **Dモーニング**  **で検索!**

※この物語はフィクションです。実在の人物・団体・出来事などは、一切関係ありません。

※収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、コミックス発売当時のまま掲載しています。

とんがり帽子のアトリエ(5)

2019年5月1日発行(01)

著 白浜鷗

©KAMOME SHIRAHAMA 2019

発行者 森田浩章

発行所 株式会社 講談社
〒112-8001
東京都文京区音羽 2-12-21